

伊賀市子ども・子育て支援に関する アンケート調査報告書

2019（平成31）年3月
伊 賀 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1. 就学前児童	3
(1) 回答者の属性	3
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	7
(3) 母親の就労状況について	12
(4) 父親の就労状況について	20
(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	28
(6) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	57
(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について	61
(7) 病気の際の対応について	70
(8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	76
(9) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	83
(10) 望ましい保育所（園）のすがたについて	94
(11) 家庭での生活について	104
(12) 子育て全般について	110
2. 小学生	118
(1) 回答者の属性	118
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	122
(3) 母親の就労状況について	127
(4) 父親の就労状況について	134
(5) 放課後の過ごし方について	142
(6) 病気の際の対応について	158
(7) 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	164
(8) 家庭での生活について	171
(9) 将来について	177
(10) 子育て全般について	178

3. 中学生	186
(1) 回答者の属性.....	186
(2) 保護者の就労状況について.....	189
(3) 家庭でのコミュニケーションについて.....	190
(4) 子どもの育ちをめぐる環境について.....	192
(5) 放課後の過ごし方について.....	198
(6) 家庭での生活について.....	203
(7) 子育て全般について.....	209

第3章 生活困窮の状況 214

1. 本調査における「生活困難層」の推定について	214
(1) 低所得	214
(2) 家計の逼迫.....	214
(3) 子どもの体験や所有物の欠如.....	215
2. 「生活困難層」について	215
3. 生活困難層の割合	216
(1) 生活困難層の割合.....	216
(2) 「低所得」、「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」の割合.....	216
(3) 世帯類型別生活困難層の割合.....	217
(4) 世帯類型別「低所得」、「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」の割合....	217
4. 生活困難層の現状	218
(1) 回答者の属性と家庭環境.....	218
(2) 保護者の就労状況について.....	221
(3) 子どもの育ちをめぐる環境について.....	222
(4) 放課後の過ごし方について.....	229
(5) 子どもの将来について.....	234
(6) 必要だと思う子育ての支援策.....	235
(7) 伊賀市への子育て支援の評価.....	236
5. 課題の整理	237

参考資料 239

1. 調査票	239
(1) 就学前児童保護者用.....	239
(2) 小学校児童保護者用.....	266
(3) 中学生保護者用.....	282

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

伊賀市では、平成 27 年 4 月から子ども・子育て支援新制度が施行されたことに伴い、「伊賀市子ども・子育て支援事業計画」（平成 27 年度～平成 31 年度）を策定し、様々な子育て支援施策を実施してきました。

平成 32 年度からの次期計画の策定に向けて、本市における教育・保育事業や子育て支援事業の利用状況や希望を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査の方法

表 1-2-1 調査の方法

	就学前児童	小学生	中学生
調査地域	市内全域	市内全域	市内全域
調査対象	市内在住の就学前のお子さんの保護者 2,500 人	市内在住の小学生の保護者 3,380 人	市内在住の中学生の保護者 2,026 人
抽出方法	住民基本台帳より 無作為抽出	全数を対象	全数を対象
調査方法	郵送による配布、回収	学校を通じて直接配布・回収	学校を通じて直接配布・回収
調査期間	平成 30 年 12 月 3 日 ～平成 31 年 1 月 4 日	平成 30 年 12 月 ～平成 31 年 1 月	平成 30 年 12 月 ～平成 31 年 1 月

3. 回収結果

表 1-3-1 回収結果

	就学前児童	小学生	中学生
①調査件数	2,500 件	3,380 件	2,026 件
②回収件数	1,172 件	2,846 件	1,778 件
③有効回答数	1,172 件	2,825 件	1,759 件
④回収率（③/①）	46.9%	83.6%	86.8%

4. 報告書の見方

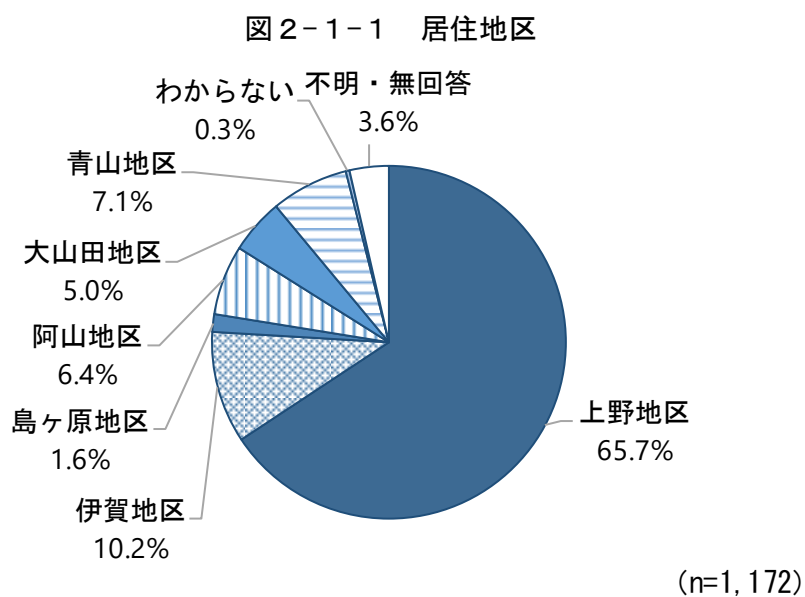
- (1) 集計は小数第 2 位を四捨五入して算出しています。したがって、回答率を合計しても 100%にならない場合があります。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数 n として算出しています。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100%を超えることがあります。
- (3) n (NumberofCases の略) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示しています。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化している場合があります。
- (5) クロス集計結果の表について、設問に対する「不明・無回答」がある場合にはこれを表示しないため、基数 n は設問により異なります。また、年齢別・学年別等の合計件数は「不明・無回答」を表示していないため、全体の件数と一致しないことがあります。
- (6) 第 2 章以降において記載している「前回調査」とは、平成 25 年 10 月に実施の「伊賀市子ども・子育てに関するアンケート調査」を示しています。また、小学生の前回調査との比較については、前回調査の対象者が小学生（1～3 年生）の保護者であったため、注意が必要です。

第2章 調査結果

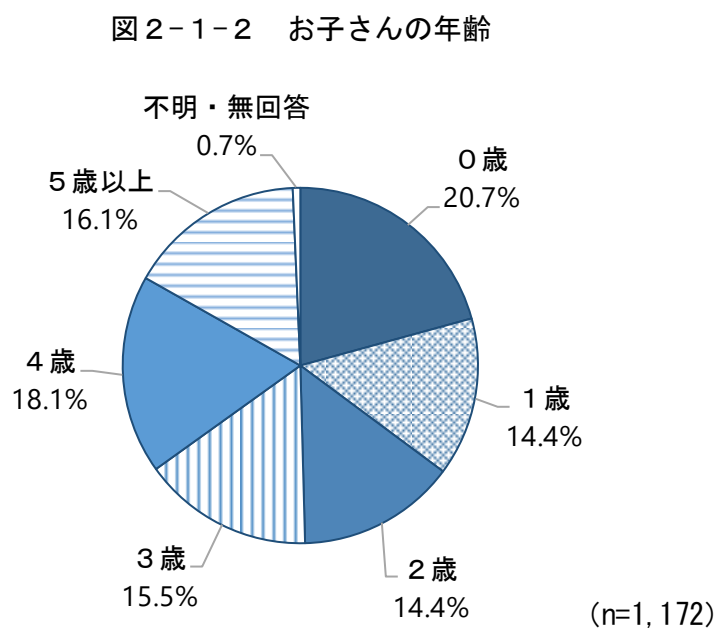
1. 就学前児童

(1) 回答者の属性

問1	宛名のお子さんは現在どちらの地区にお住まいですか。(〇はひとつ)
----	----------------------------------

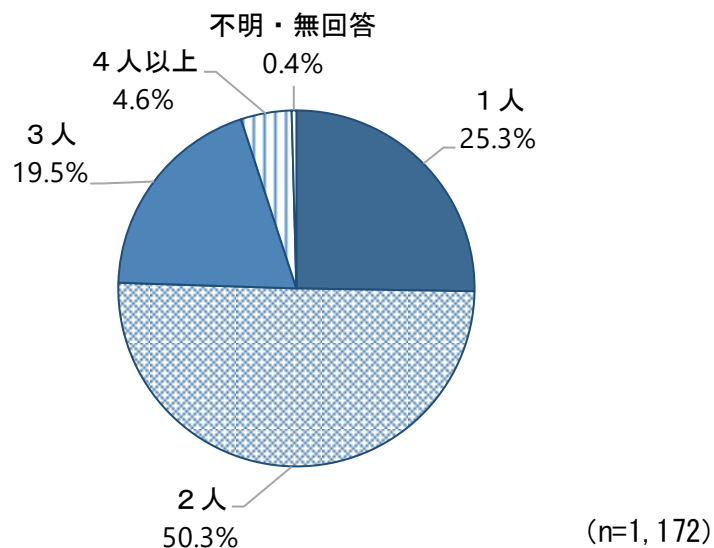


問2	宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。
----	-----------------------



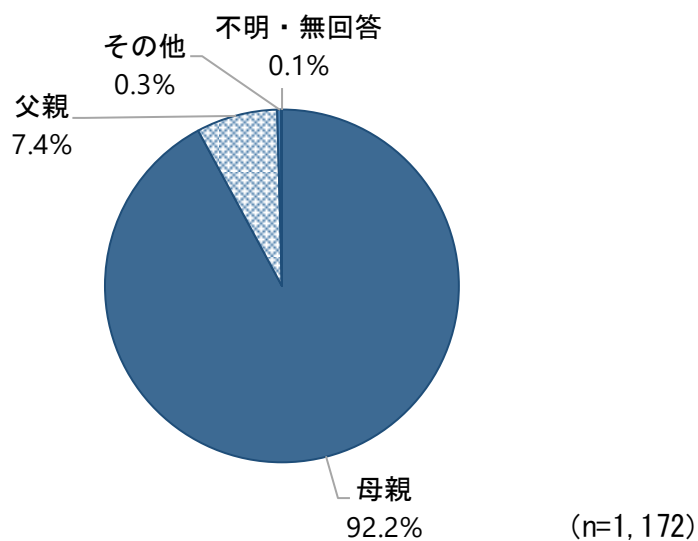
問3	宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。
----	--

図2-1-3 きょうだいの人数



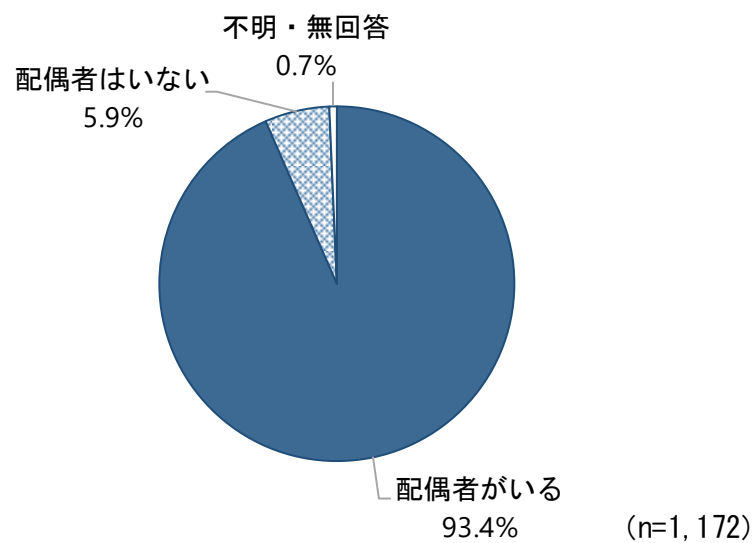
問4	この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（○はひとつ）
----	---

図2-1-4 回答者のお子さんとの関係



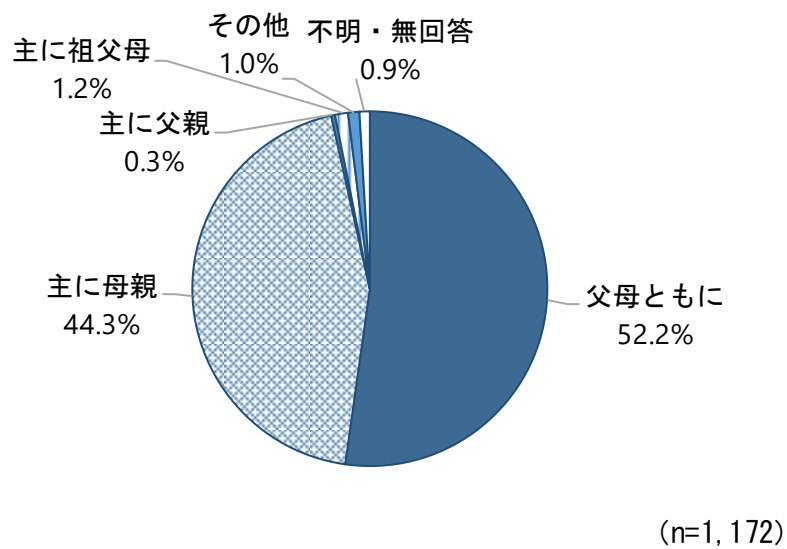
問5	この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。 (どちらかに○)
----	--

図 2-1-5 回答者の配偶関係



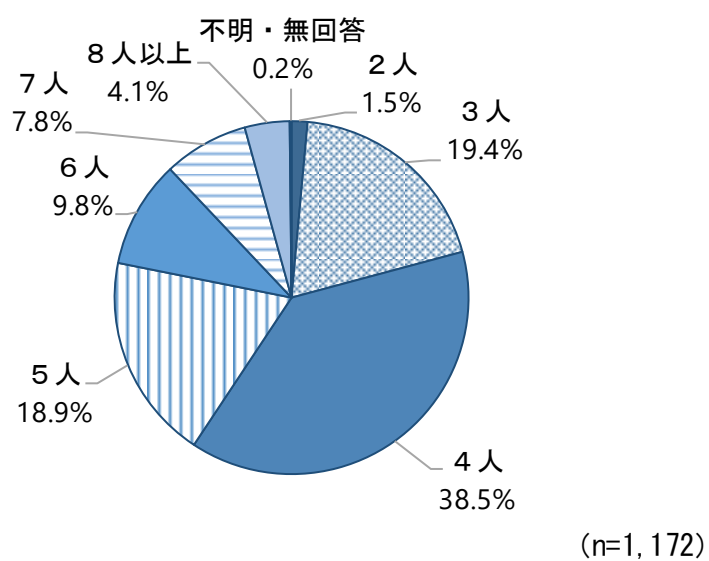
問6	宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。(○はひとつ)
----	--

図 2-1-6 子育てを主に行っている方



問7	宛名のお子さんと同居しているご家族の人数は何人ですか（あなたとお子さんも含む）。単身赴任しているご家族も含めてください。
----	--

図2-1-7 同居家族の人数



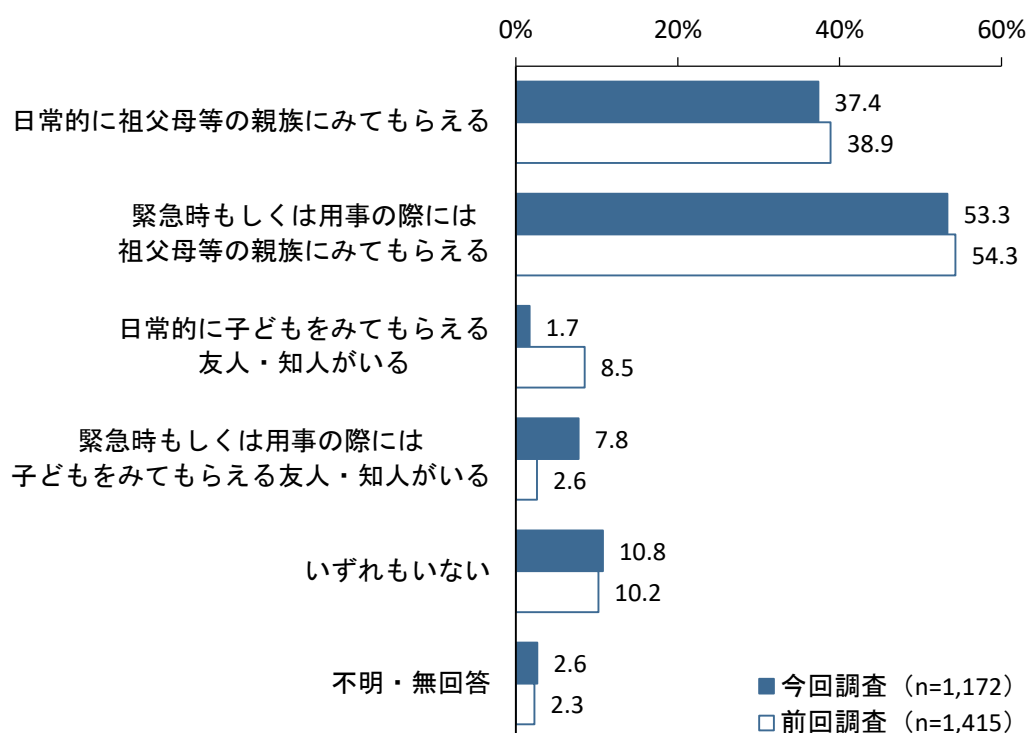
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問8	日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。 (あてはまるものすべてに○)
----	--

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が53.3%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が37.4%、「いずれもない」が10.8%と続いています。

前回調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」では、それぞれ前回調査よりも割合が減少しています。

図2-1-8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかどうか

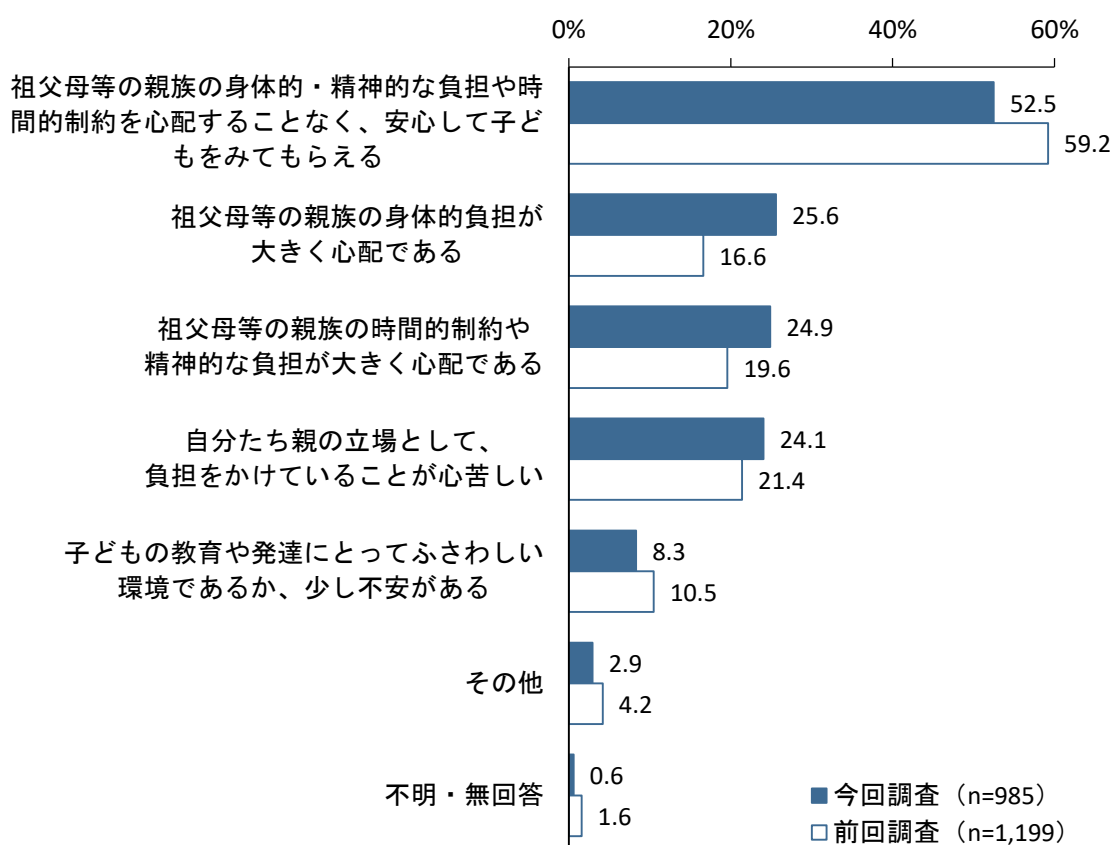


問8－①	【問8で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方】 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。 (あてはまるものすべてに○)
------	---

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 52.5%で最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 25.6%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 24.9%と続いています。

前回調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」では前回調査（59.2%）より 6.7 ポイント減少し、一方、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の負担を感じている割合が前回調査よりそれぞれ増加しています。

図 2-1-9 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

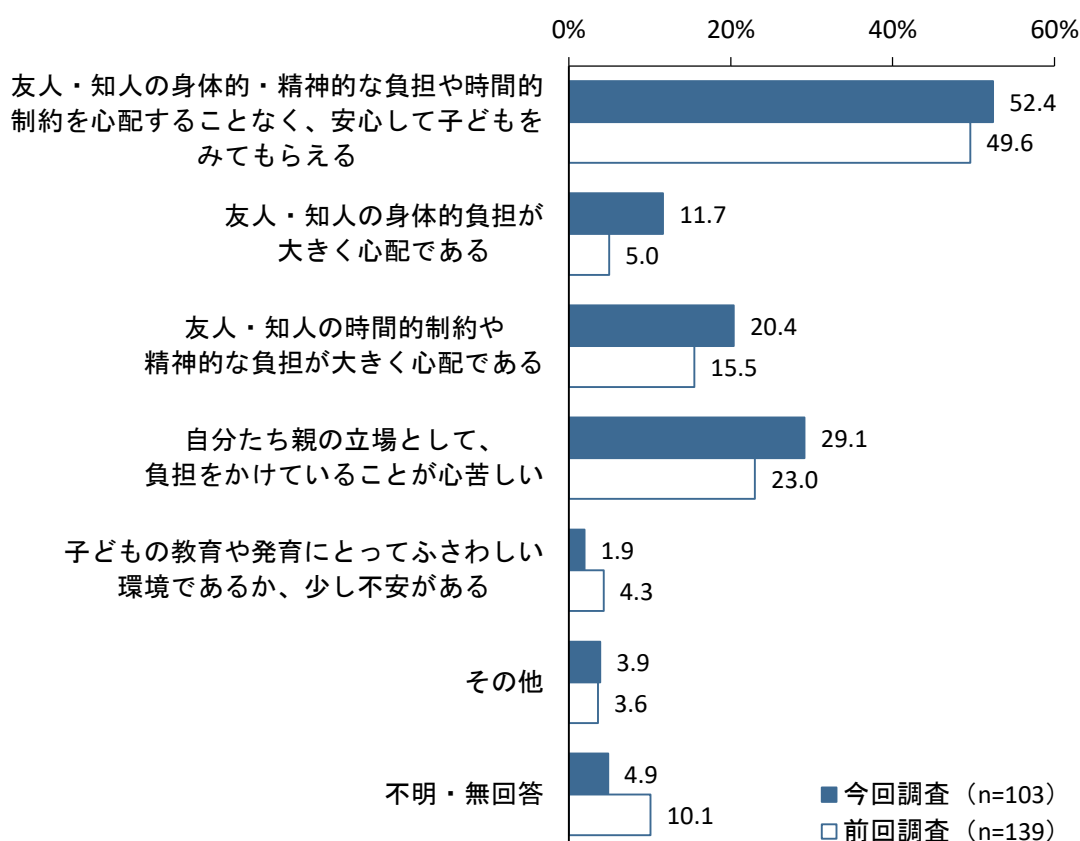


問8-②	【問8で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方】 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。 (あてはまるものすべてに○)
------	---

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が52.4%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.1%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が20.4%と続いています。

前回調査と比較すると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が前回調査(49.6%)より2.8ポイント増加している一方、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の負担を感じている割合についても増加しています。

図2-1-10 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

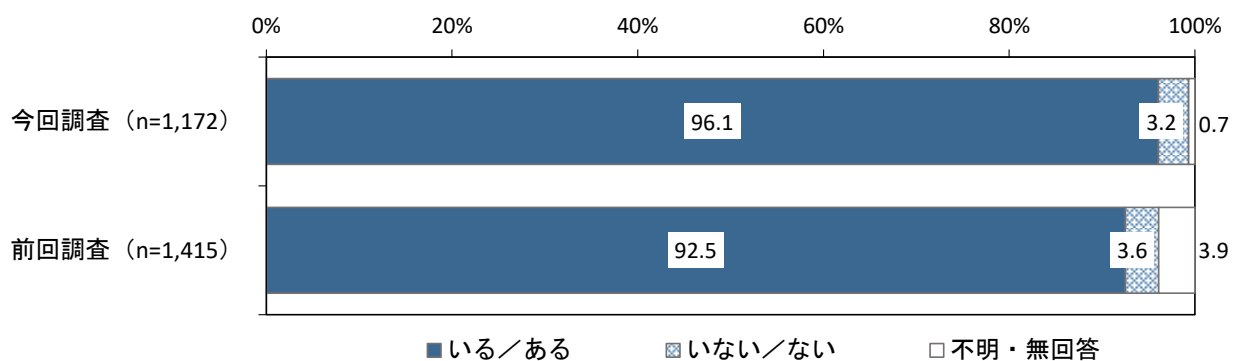


問9	宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。（どちらかに○）
----	--

子育てについて気軽に相談できる人や場所があるかどうかについては、「いる／ある」が96.1%、「いない／ない」が3.2%となっています。

前回調査と比較すると、「いる／ある」では、前回調査（92.5%）より3.6ポイント増加しています。

図2-1-11 子育てについて気軽に相談できる人や場所があるかどうか

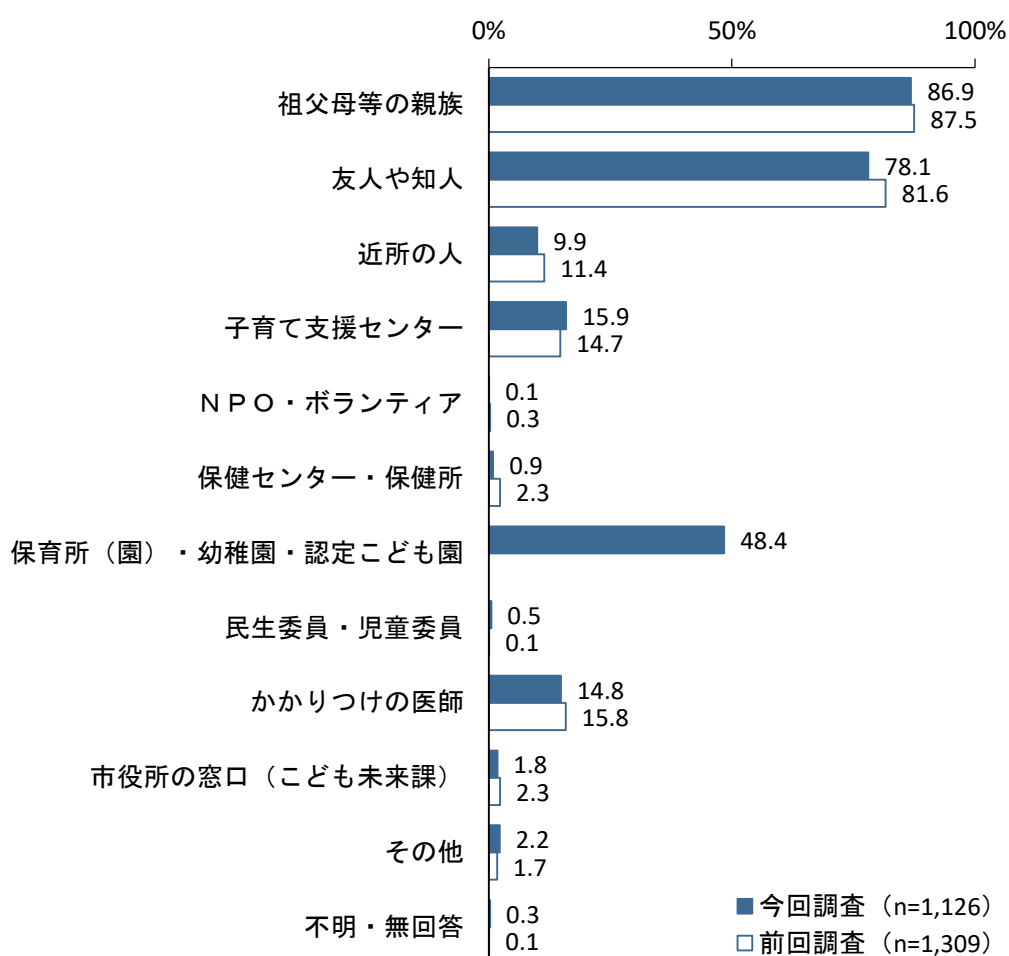


問9-①	【問9で「いる／ある」に○をつけた方】 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。 （あてはまるものすべてに○）
------	--

子育てに関して気軽に相談できる先については、「祖父母等の親族」が86.9%で最も高く、次いで「友人や知人」が78.1%、「保育所（園）・幼稚園・認定こども園」が48.4%と続いています。

前回調査と比較すると、「友人や知人」では、前回調査（81.6%）より3.5ポイント減少し、最も割合が減少しています。

図2-1-12 子育てに関して気軽に相談できる先¹



¹ 前回調査において、「保育所」、「幼稚園」は別の項目であったため表示していません。

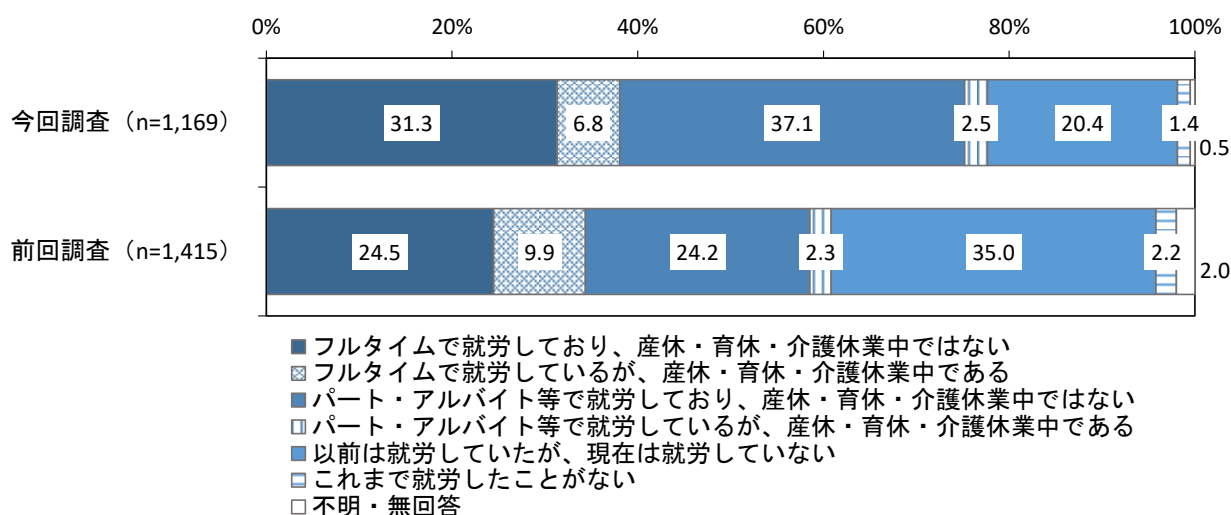
(3) 母親の就労状況について

問 10	宛名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（〇はひとつ）
------	---

母親の就労状況については、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 37.1%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 31.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 20.4%と続いています。

前回調査と比較すると、就労していない人（「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」の合計）（21.8%）が前回調査（37.2%）より減少し、フルタイムで就労している人（「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の合計）（38.1%）、パート・アルバイト等で就労している人（「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の合計）（39.6%）がそれぞれ前回調査より増加しています。

図 2-1-13 母親の就労状況



【問 11－①～③は問 10 で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方】

問 11－①	週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
--------	---

母親の週当たりの就労日数については、「5 日」が 64.0%で最も高く、次いで「4 日」が 16.0%、「6 日」が 8.1%と続いており、1 日当たりの就労時間については、「6～8 時間未満」が 34.3%で最も高く、次いで「8～10 時間未満」が 31.1%、「4～6 時間未満」が 23.9%と続いています。

前回調査と比較すると、就労日数については、「4 日」が前回調査（8.8%）より 7.2 ポイント増加し、就労時間については、「4～6 時間未満」が前回調査（14.2%）より 9.7 ポイント増加しています。

図 2－1－14 母親の就労日数

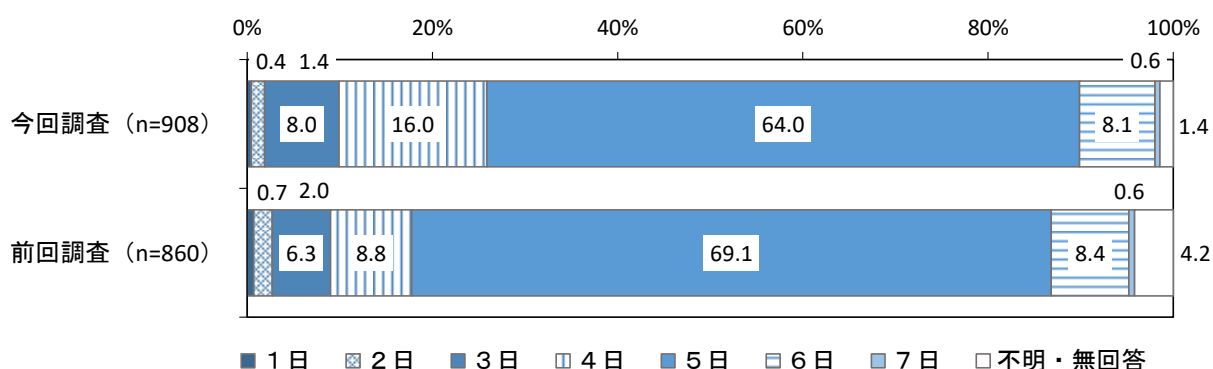
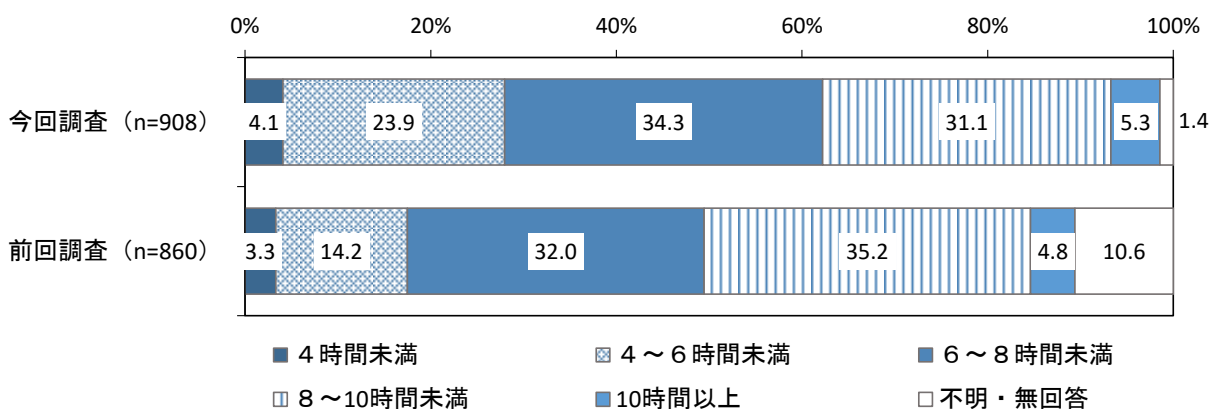


図 2－1－15 母親の就労時間

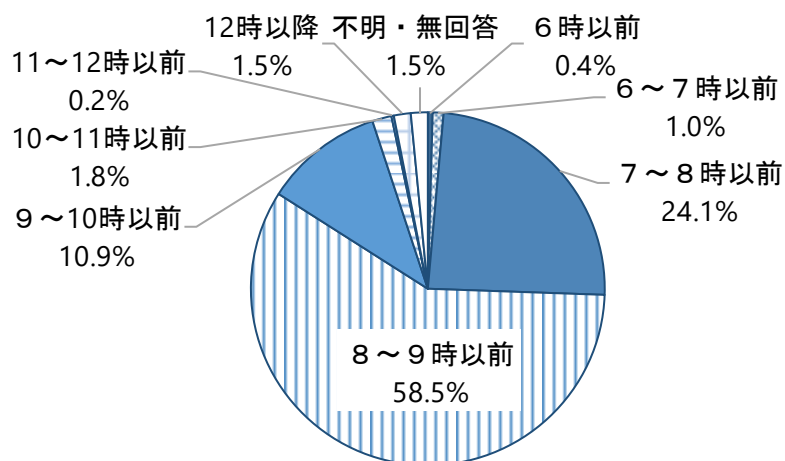


問 11-② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

母親の家を出る時間については、「8～9時以前」が58.5%で最も高く、次いで「7～8時以前」が24.1%、「9～10時以前」が10.9%と続いています。

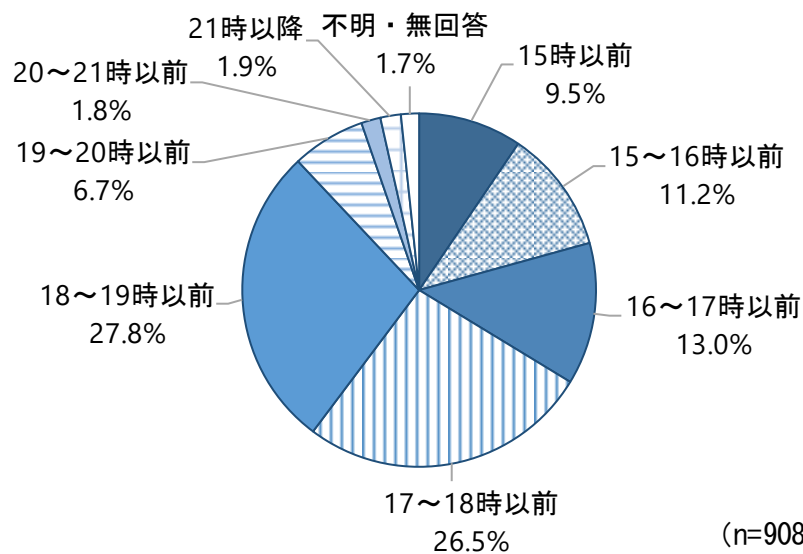
また、母親が帰宅する時間については、「18～19時以前」が27.8%で最も高く、次いで「17～18時以前」が26.5%、「16～17時以前」が13.0%と続いています。

図 2-1-16 母親が家を出る時間



(n=908)

図 2-1-17 母親が帰宅する時間

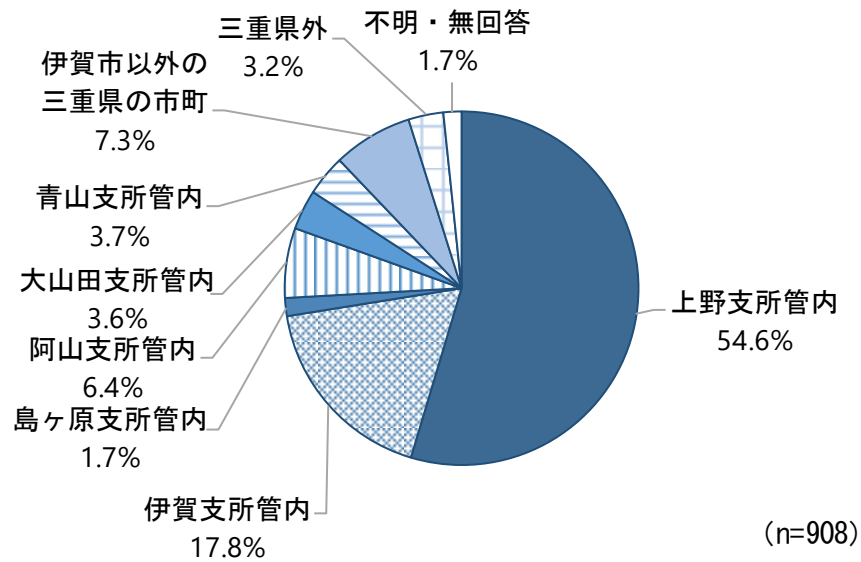


(n=908)

問 11－③ 主な「勤務地（就業地）」をお答えください。（〇はひとつ）

母親の勤務地（就業地）については、「上野支所管内」が 54.6%で最も高く、次いで「伊賀支所管内」が 17.8%、「伊賀市以外の三重県の市町」が 7.3%と続いています。

図 2－1－18 母親の勤務地（就業地）

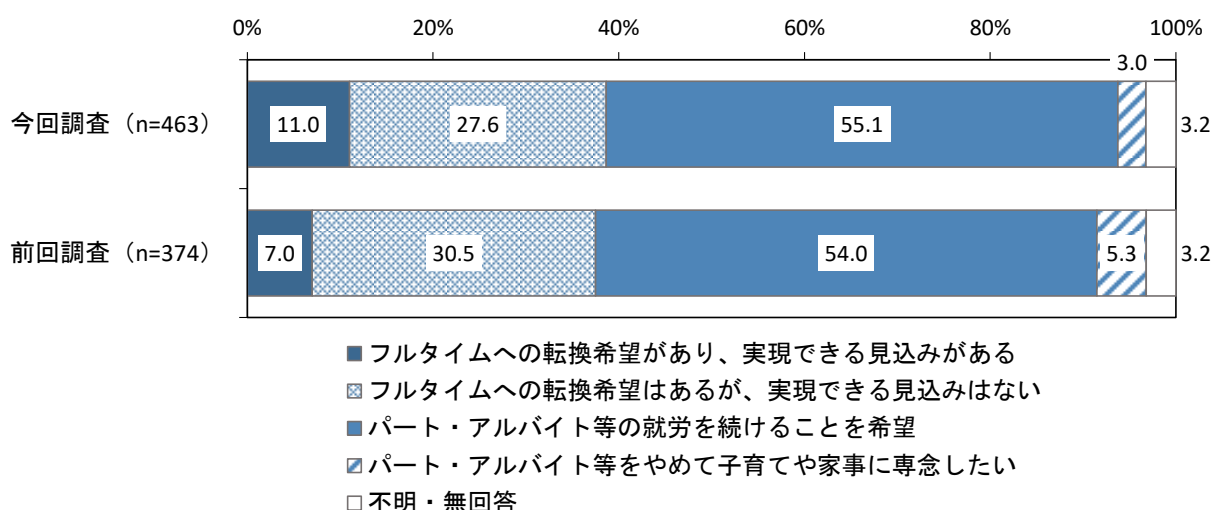


問 12	【問 10 で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方】 フルタイムへの転換希望はありますか。（○はひとつ）
------	--

パート・アルバイト就労の方のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 55.1%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 27.6%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 11.0%と続いており、フルタイムへの転換希望がある人（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の合計）は 38.6%となっています。

前回調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」では、前回調査（7.0%）より 4.0 ポイント増加しています。

図 2-1-19 パート・アルバイト就労の方のフルタイムへの転換希望



問 13-①	【問 10 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」に○をつけた方】 就労したいという希望はありますか。（○はひとつ）
--------	---

現在就労していない方の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」が48.6%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が16.1%となっており、就労希望のある人（「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の合計）は77.6%となっています。

また、一番下の子どもが何歳になったら就労したいかについては、「3歳」が37.1%で最も高く、次いで「6歳以上」が19.4%、「4歳」が16.1%と続いています。

前回調査と比較すると、就労希望のある人は、前回調査（75.7%）より1.9ポイント増加しています。

図 2-1-20 現在就労していない方の就労希望

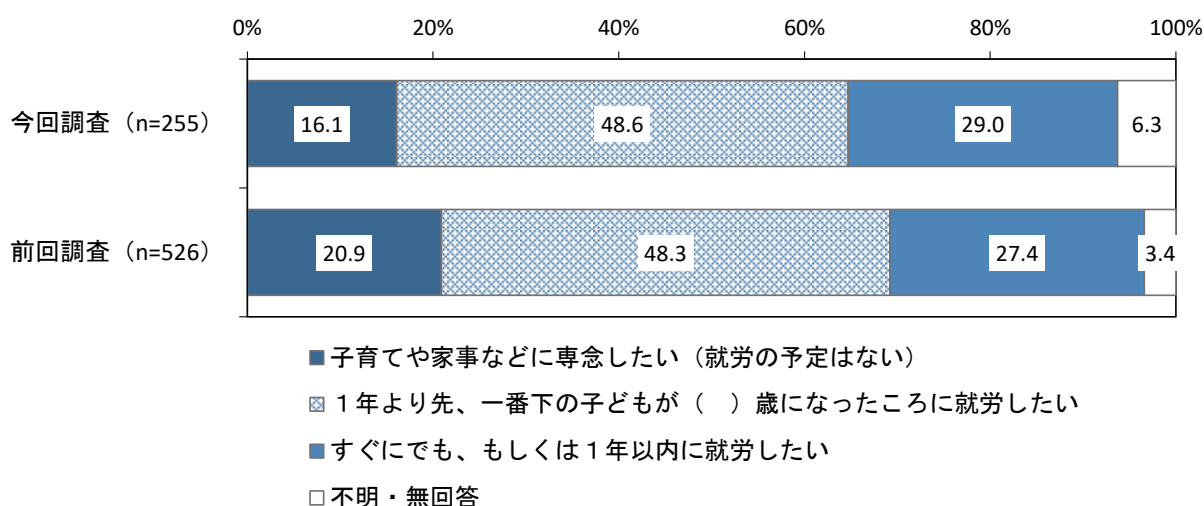
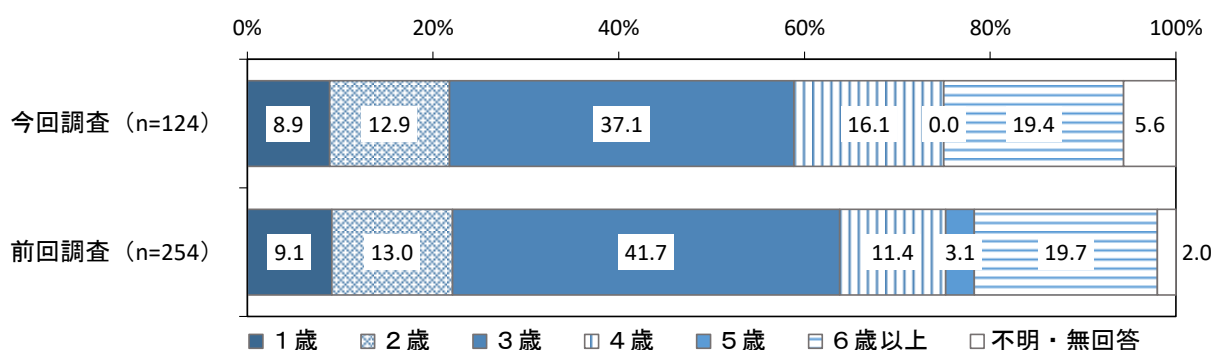


図 2-1-21 一番下の子どもが何歳になったら就労したいか



すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等」が79.7%、「フルタイム」が16.2%となっており、パートタイム、アルバイト等で就労する場合の1週当たりの希望就労日数については、「4日」が39.0%で最も高く、1日当たりの時間希望就労時間については「4～6時間未満」が62.7%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等」は前回調査（73.6%）より6.1ポイント増加し、「フルタイム」については前回調査（24.3%）より8.1ポイント減少しています。

また、パートタイム、アルバイト等で就労する場合の1週当たりの希望就労日数については、『5日未満』（62.7%）は前回調査（56.5%）より6.2ポイント増加しています。

図2-1-22 就労したい方の希望する就労形態

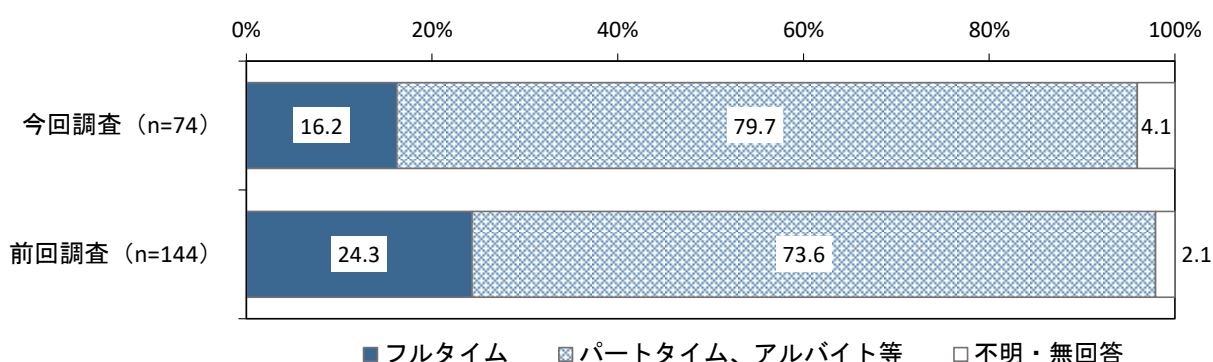


図2-1-23 1週当たりの希望就労日数（母親）

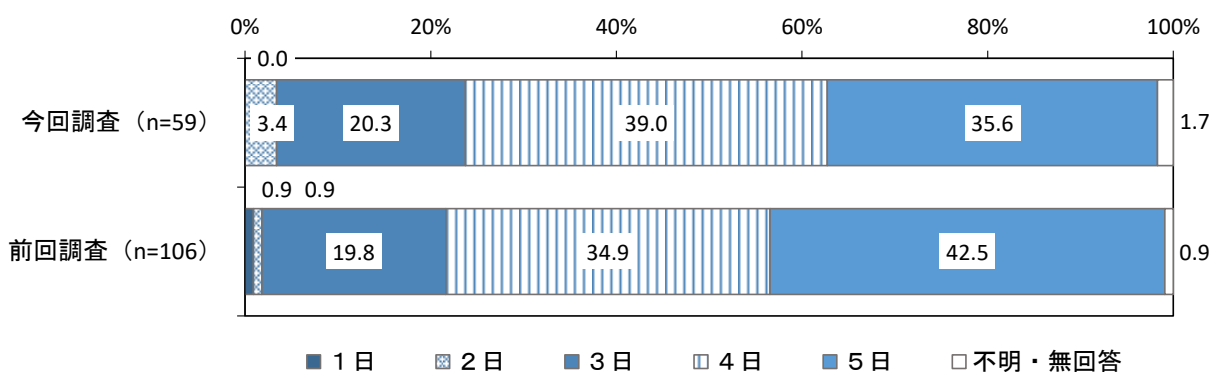
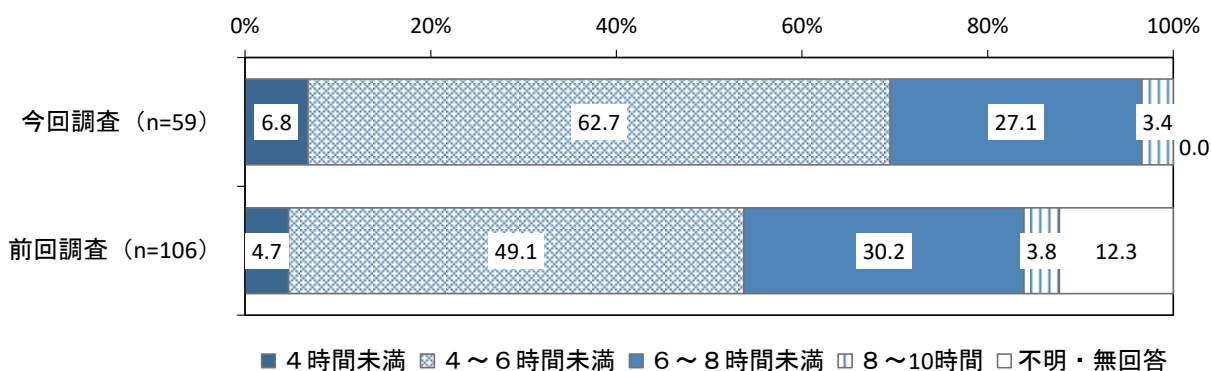


図2-1-24 1日当たりの時間希望就労時間（母親）

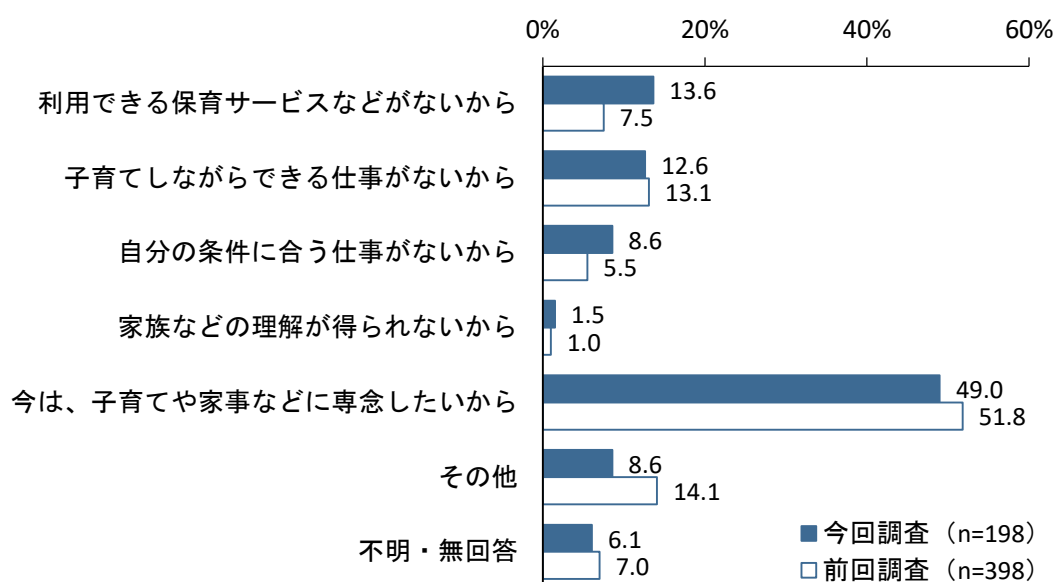


問 13-②	【問 13-①で「1 年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」または「すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい」に○をつけた方】 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。 （もっとも近いもの1 つに○）
--------	---

就労希望がありながら現在働いていない理由については、「今は、子育てや家事などに専念したいから」が 49.0%で最も高く、次いで「利用できる保育サービスなどがないから」が 13.6%、「子育てしながらできる仕事がないから」が 12.6%と続いています。

前回調査と比較すると、「今は、子育てや家事などに専念したいから」では前回調査（51.8%）より 2.8 ポイント減少し、「利用できる保育サービスなどがないから」が前回調査（7.5%）より 6.1 ポイント、「自分の条件に合う仕事がないから」が前回調査（5.5%）より 3.1 ポイントそれぞれ増加しています。

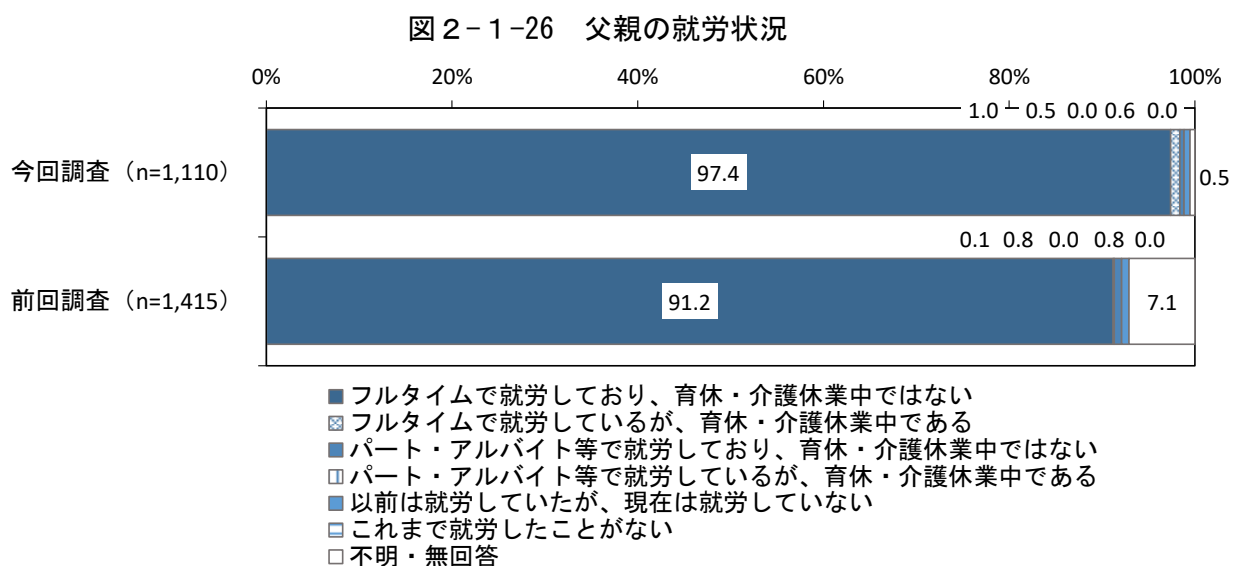
図 2-1-25 就労希望がありながら現在働いていない理由



(4) 父親の就労状況について

問 14	宛名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（○はひとつ）
------	---

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が97.4%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」が1.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.6%と続いています。



【問 15－①～③は問 10 で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方】

問 15－①	週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
--------	---

父親の就労日数については、「5 日」が 60.2%で最も高く、次いで「6 日」が 31.4%、「7 日」が 3.1%と続いており、1 日当たりの就労時間については、「10 時間以上」が 56.4%で最も高く、次いで「8～10 時間未満」が 38.8%、「6～8 時間未満」が 2.5%と続いています。

前回調査と比較すると、就労日数については大きな差はみられませんが、就労時間については、「10 時間以上」が前回調査（49.8%）より 6.6 ポイント増加しています。

図 2－1－27 父親の就労日数

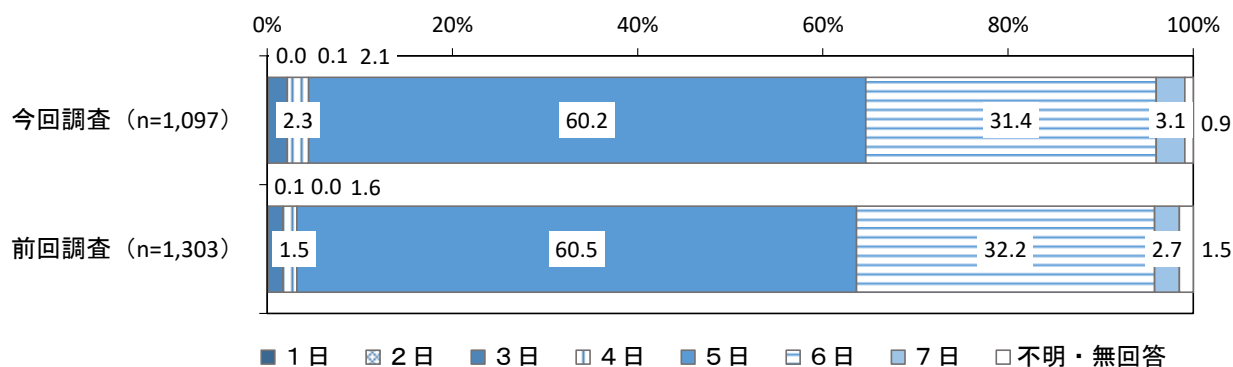
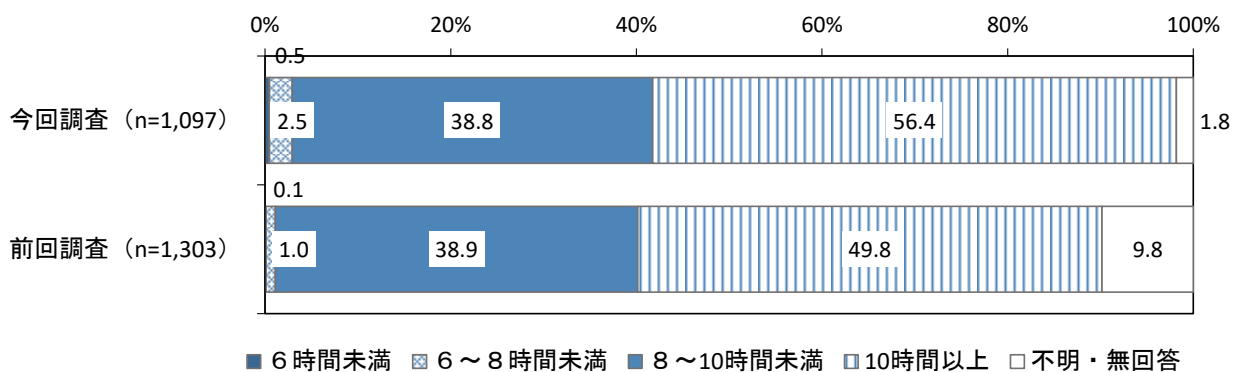


図 2－1－28 父親の就労時間



問 15-② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

父親の家を出る時間については、「7～8時以前」が55.7%で最も高く、次いで「8～9時以前」が21.3%、「6～7時以前」が11.9%と続いています。

また、父親が帰宅する時間については、「21時以降」が23.6%で最も高く、次いで「19～20時以前」が22.2%、「20～21時以前」が21.1%と続いています。

図 2-1-29 父親が家を出る時間

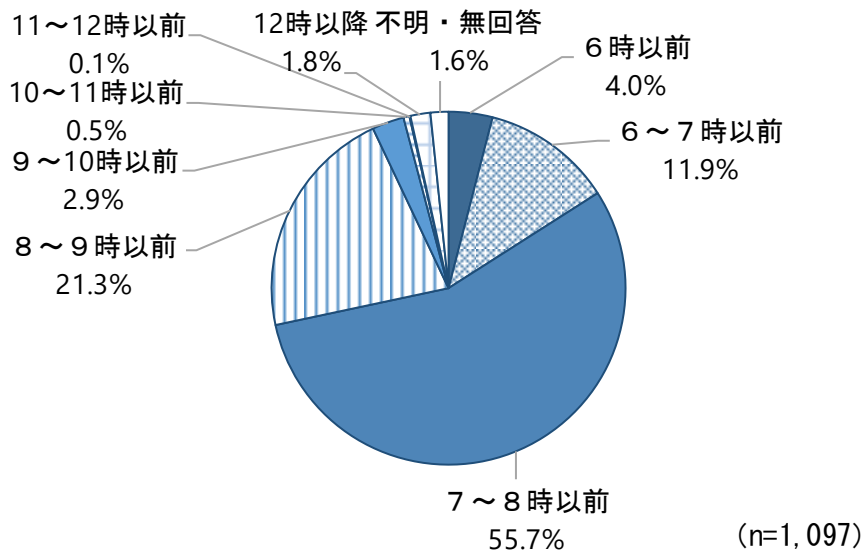
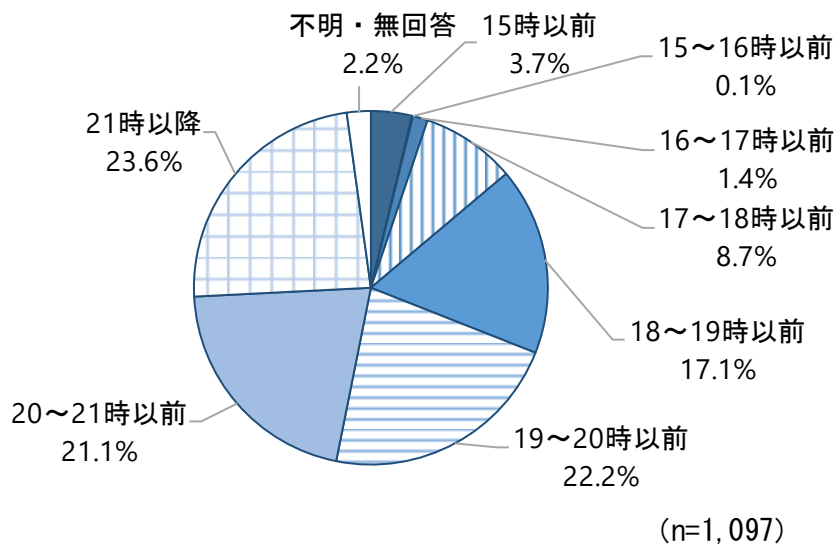


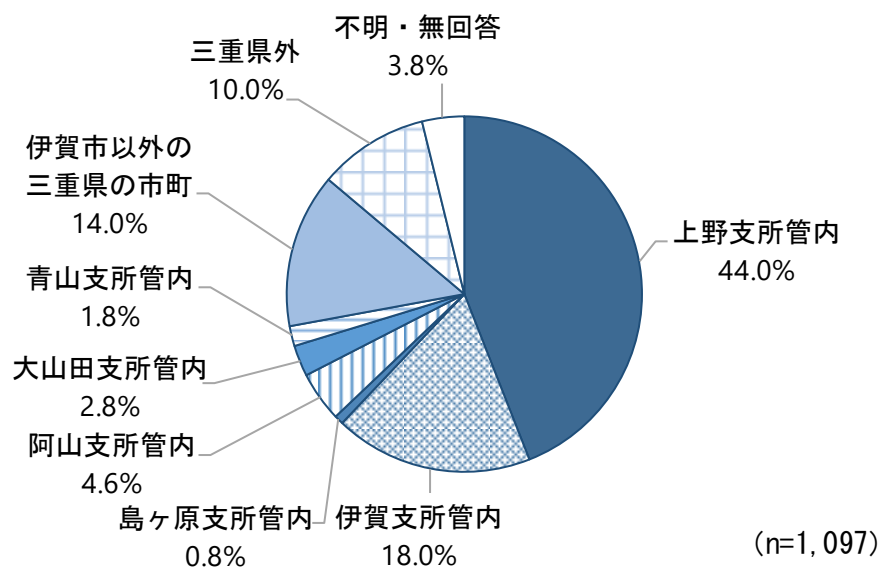
図 2-1-30 父親の帰宅時間



問 15-③ 主な「勤務地（就業地）」をお答えください。（○はひとつ）

父親の勤務地（就業地）については、「上野支所管内」が 44.0%で最も高く、次いで「伊賀支所管内」が 18.0%、「伊賀市以外の三重県の市町」が 14.0%と続いています。

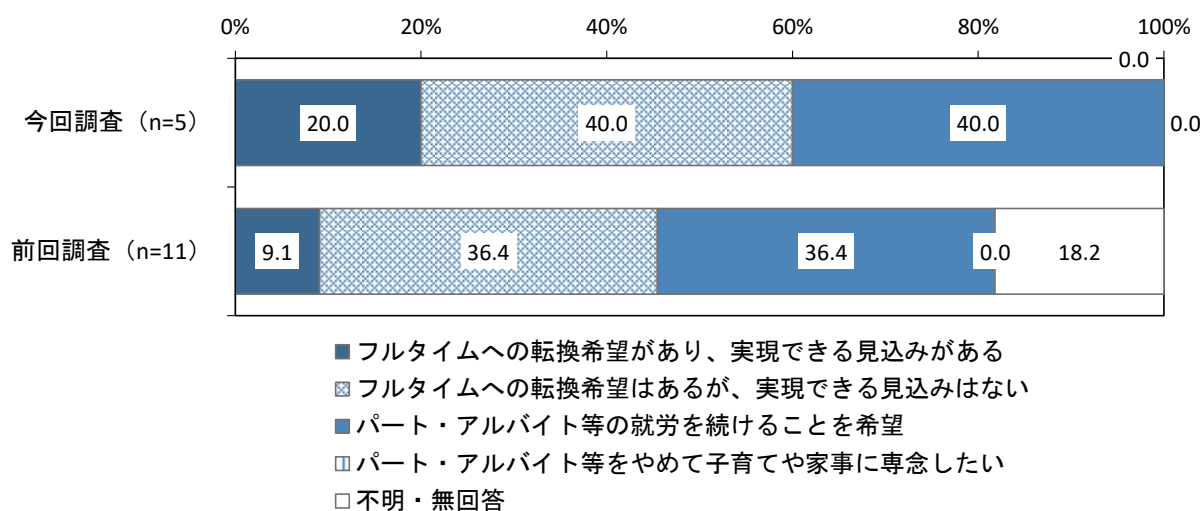
図 2-1-31 父親の勤務地（就業地）



問 16	【問 14 で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方】 フルタイムへの転換希望はありますか。（○はひとつ）
------	--

パート・アルバイト就労の方のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」がいずれも 40.0%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 20.0%となっており、フルタイムへの転換希望がある人は 60.0%となっています。

図 2-1-32 パート・アルバイト就労の方のフルタイムへの転換希望



問 17-①	【問 14 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」に○をつけた方】 就労したいという希望はありますか。(○はひとつ)
--------	---

現在就労していない方の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が85.7%で最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」が14.3%となっています。

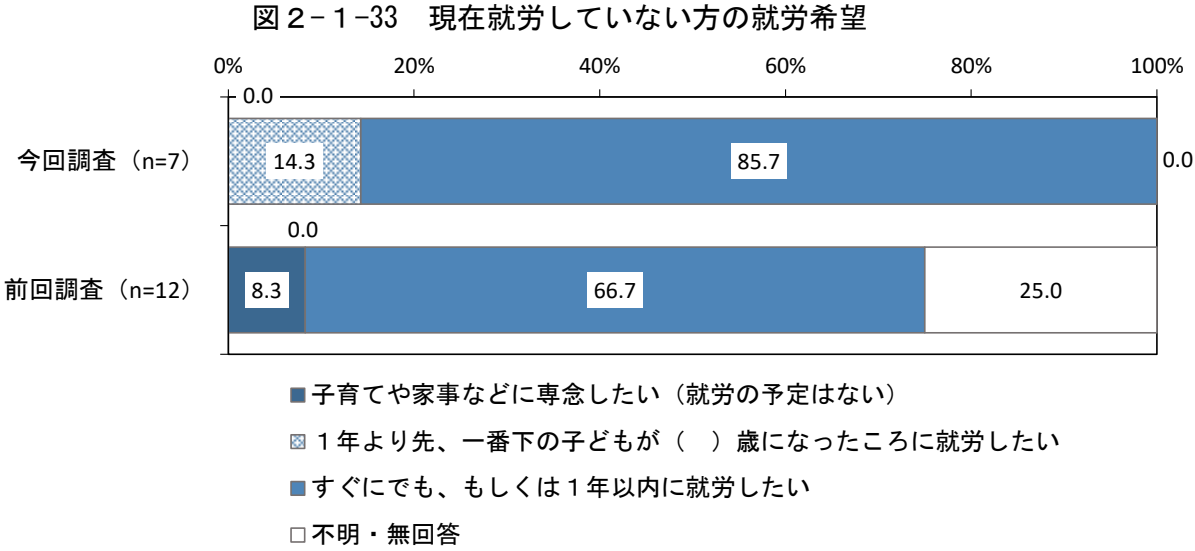
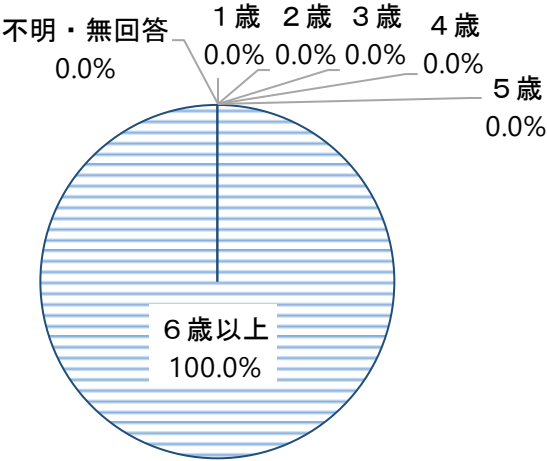


図 2-1-34 一番下の子どもが何歳になったら就労したいか



(n=1)

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方の希望する就労形態については、「フルタイム」が83.3%、「パートタイム、アルバイト等」が16.7%となっています。

図2-1-35 就労したい方の希望する就労形態

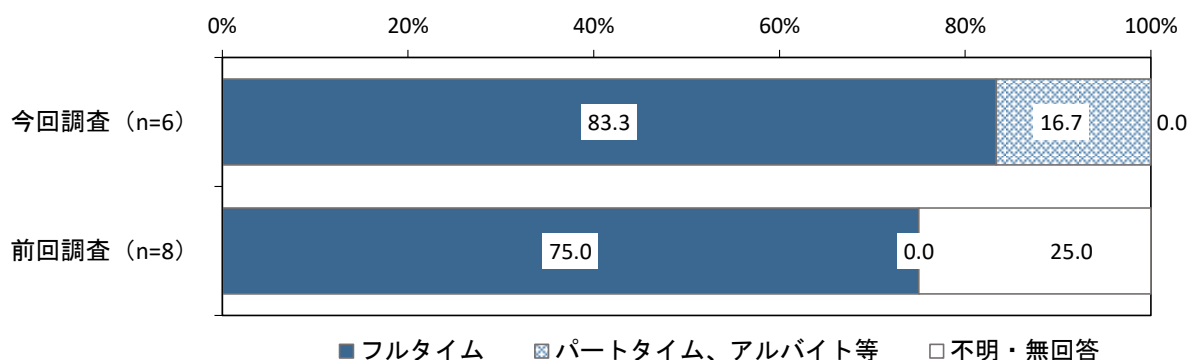
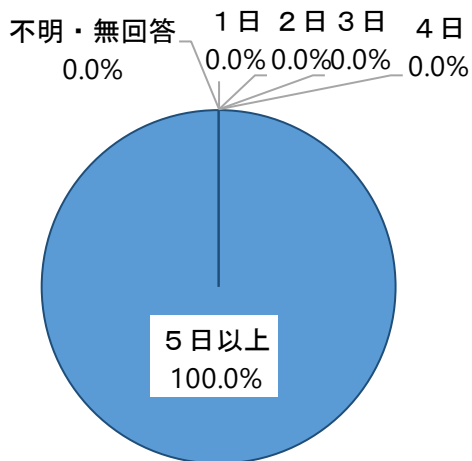
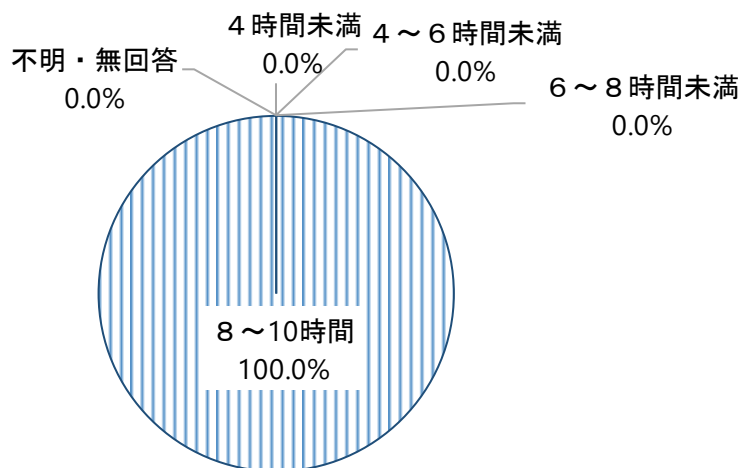


図2-1-36 1週当たりの希望就労日数（父親）



(n=1)

図2-1-37 1日当たりの希望就労時間（父親）

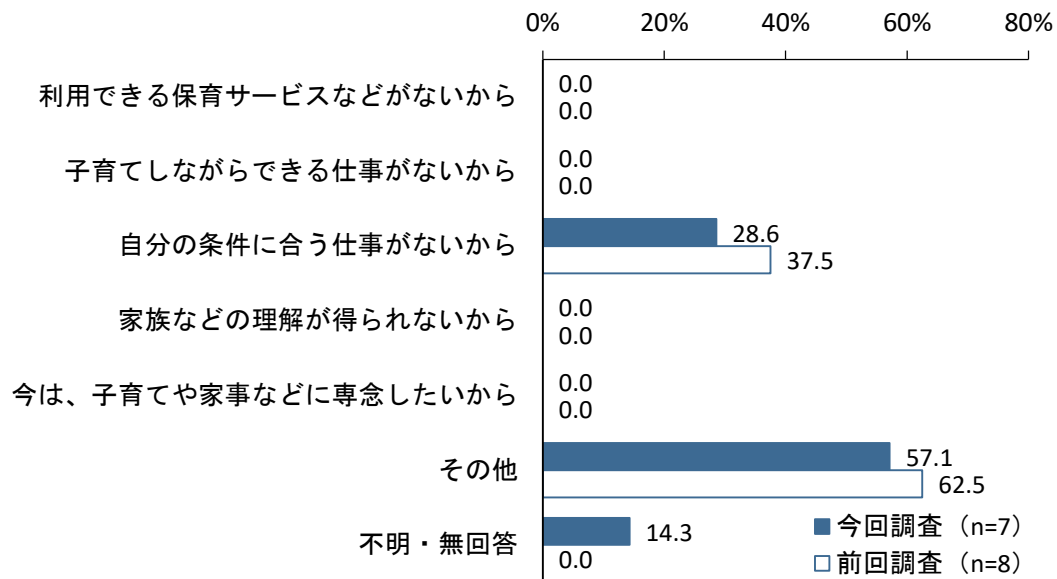


(n=1)

問 17-②	【問 13-①で「1 年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」または「すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい」に○をつけた方】就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。（もっとも近いもの1 つに○）
--------	--

就労希望がありながら現在働いていない理由については、「その他」が 57.1%で最も高く、次いで「自分の条件に合う仕事がないから」が 28.6%となっています。

図 2-1-38 就労希望がありながら現在働いていない理由



（５）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 18	宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（どちらかに○）
------	---

定期的な教育・保育の事業の利用状況については、「利用している」が 75.0%、「利用していない」が 24.5%となっています。

年齢別にみると、「利用している」は、0歳では 28.8%、1歳では 60.5%、2歳で 79.9%、3歳以上では9割以上となっています。

母親の就労状況別にみると、「利用している」は、「フルタイム（育休中等含む、以下同じ）」で 85.1%、「パート・アルバイト等（育休中等含む、以下同じ）」で 90.0%、「無職」で 31.7%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」は、全体では前回調査（65.0%）より 10.0 ポイント増加しています。

年齢別でみると、「利用している」は、0～3歳で前回調査よりも増加しており、0歳では 15.1 ポイント、1歳では 26.2 ポイント、2歳では 25.9 ポイント、3歳では 1.9 ポイントそれぞれ増加しています。

母親の就労状況別にみると、「利用している」は、「フルタイム」で 8.1 ポイント、「パート・アルバイト等」で 3.4 ポイントそれぞれ前回調査よりも増加しており、「無職」では 8.3 ポイント減少しています。

図 2-1-39 定期的な教育・保育の事業の利用状況

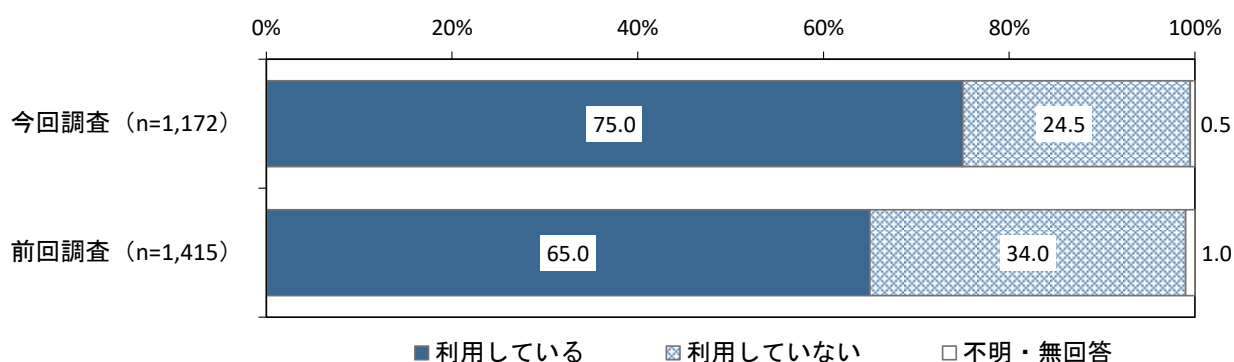


表 2-1-1 定期的な教育・保育の事業の利用状況【年齢別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	利用して いる	利用して いない
0 歳	今回調査	240 100.0	69 28.8	171 71.3
	前回調査	284 100.0	39 13.7	245 86.3
1 歳	今回調査	167 100.0	101 60.5	66 39.5
	前回調査	181 100.0	62 34.3	119 65.7
2 歳	今回調査	169 100.0	135 79.9	34 20.1
	前回調査	200 100.0	108 54.0	92 46.0
3 歳	今回調査	182 100.0	171 94.0	11 6.0
	前回調査	215 100.0	198 92.1	17 7.9
4 歳	今回調査	211 100.0	209 99.1	2 0.9
	前回調査	232 100.0	231 99.6	1 0.4
5 歳	今回調査	189 100.0	188 99.5	1 0.5
	前回調査	278 100.0	276 99.3	2 0.7

※網掛け■は最も割合が高いもの

表 2-1-2 定期的な教育・保育の事業の利用状況【母親の就労状況別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	利用して いる	利用して いない
フルタイム	今回調査	443 100.0	377 85.1	66 14.9
	前回調査	483 100.0	372 77.0	111 23.0
パート・アル バイト等	今回調査	462 100.0	416 90.0	46 10.0
	前回調査	372 100.0	322 86.6	50 13.4
無職	今回調査	252 100.0	80 31.7	172 68.3
	前回調査	522 100.0	209 40.0	313 60.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

【問 19－①～⑨は、問 18 で「利用している」に○をつけた方】

問 19－①	宛名のお子さんは、平日の昼間、主にどのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。 (○はひとつ)
--------	--

平日の昼間、定期的に利用している教育・保育事業については、「認可保育所（園）（公立）」が 49.5%で最も高く、次いで「認可保育所（園）（私立）」が 29.0%、「公立幼稚園」が 9.3%と続いており、『認可保育所（園）』（「認可保育所（園）（公立）」と「認可保育所（園）（私立）」の合計）は 78.5%、『幼稚園』（「公立幼稚園」と「私立幼稚園」の合計）は 15.8%となっています。

年齢別にみると、『認可保育所（園）』では、2歳が 85.1%で最も高く、『幼稚園』では、4歳が 20.3%で最も高く、「認定こども園」では、4歳が 5.3%で最も高く、「事業所内保育施設」では、1歳が 4.0%で最も高く、「その他の保育施設」では、0歳が 6.1%で最も高くなっています。

母親の就労状況別にみると、「フルタイム」では、「認可保育所（園）（公立）」が 52.3%で最も高く『認可保育所（園）』は 88.5%、「パート・アルバイト等」では、「認可保育所（園）（公立）」が最も高く『認可保育所（園）』は 77.7%、「無職」では、「認可保育所（園）（公立）」が 37.5%で最も高く『認可保育所（園）』は 46.3%、『幼稚園』は 48.8%となっています。

地区別にみると、上野地区では「認可保育所（園）（私立）」が最も高く、その他の地区では「認可保育所（園）（公立）」が最も高くなっています。

また、前回調査と比較すると、全体では『認可保育所（園）』は前回調査（81.3%）より 2.8 ポイント減少し、「認定こども園」は前回調査（0.3%）より 1.9 ポイント増加しています。

図 2-1-40 平日の昼間、定期的に利用している教育・保育事業

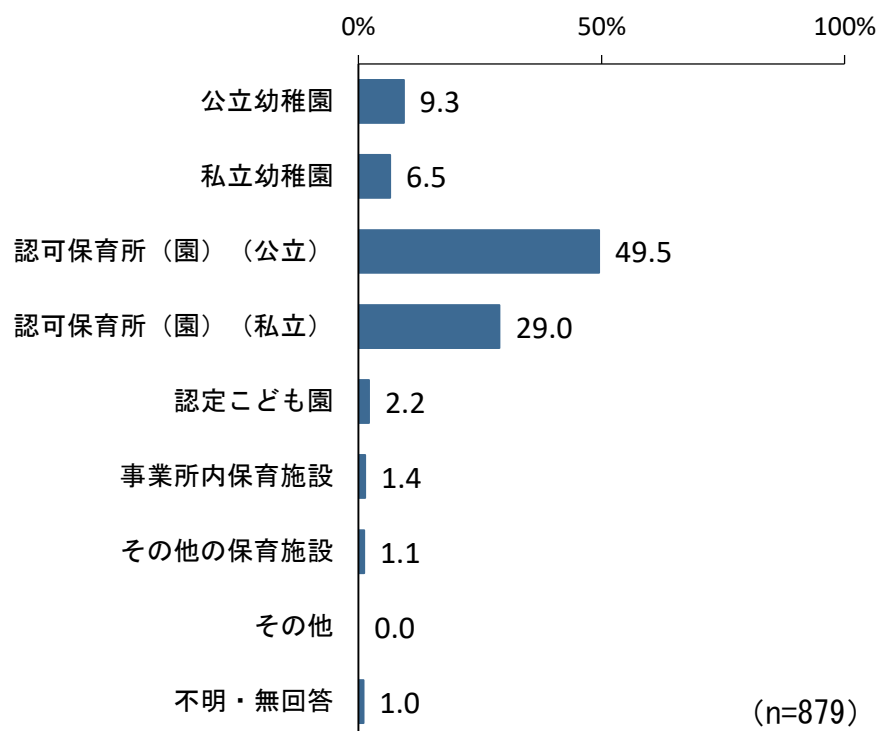


図 2-1-41 平日の昼間、定期的にご利用している教育・保育事業（前回調査）

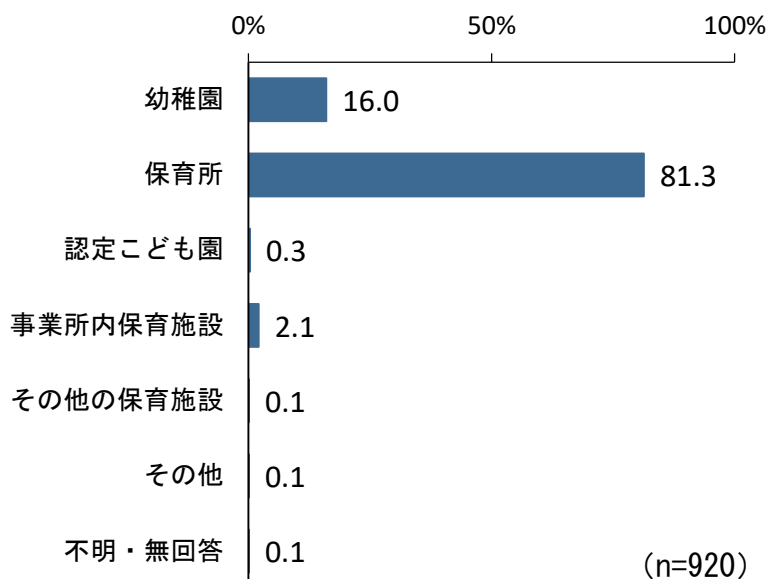


表 2-1-3 平日の昼間、定期的にご利用している教育・保育事業【年齢別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（%）

		全体	公立 幼稚園	私立 幼稚園	認可保育 所（園） （公立）	認可保育 所（園） （私立）	認定 こども園	事業所内 保育施設	その他の 保育施設	その他
0 歳	今回調査	66 100.0	3 4.5	2 3.0	26 39.4	28 42.4	1 1.5	2 3.0	4 6.1	-
	前回調査	39 100.0	-	-	-	34 87.2	-	5 12.8	-	-
1 歳	今回調査	101 100.0	9 8.9	3 3.0	54 53.5	30 29.7	-	4 4.0	1 1.0	-
	前回調査	62 100.0	-	-	-	55 88.7	-	6 9.7	-	1 1.6
2 歳	今回調査	134 100.0	5 3.7	9 6.7	65 48.5	49 36.6	1 0.7	3 2.2	2 1.5	-
	前回調査	108 100.0	-	5 4.6	-	97 89.8	1 0.9	5 4.6	-	-
3 歳	今回調査	170 100.0	17 10.0	13 7.6	93 54.7	41 24.1	4 2.4	1 0.6	1 0.6	-
	前回調査	198 100.0	-	29 14.6	-	166 83.8	1 0.5	2 1.0	-	-
4 歳	今回調査	207 100.0	28 13.5	14 6.8	94 45.4	56 27.1	11 5.3	2 1.0	2 1.0	-
	前回調査	230 100.0	-	48 20.9	-	180 78.3	1 0.4	-	1 0.4	-
5 歳	今回調査	186 100.0	20 10.8	15 8.1	98 52.7	51 27.4	2 1.1	-	-	-
	前回調査	276 100.0	-	65 23.6	-	210 76.1	-	1 0.4	-	-

※網掛け■は最も割合が高いもの

表 2-1-4 平日の昼間、定期的にご利用している教育・保育事業【母親の就労状況別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	公立 幼稚園	私立 幼稚園	認可保育 所（園） （公立）	認可保育 所（園） （私立）	認定 こども園	事業所内 保育施設	その他の 保育施設	その他
フルタイム	今回調査	373 100.0	19 5.1	9 2.4	195 52.3	135 36.2	4 1.1	6 1.6	5 1.3	-
	前回調査	372 100.0	-	9 2.4	349 93.8	-	-	14 3.8	-	-
パート・アル バイト等	今回調査	411 100.0	36 8.8	35 8.5	209 50.9	110 26.8	13 3.2	5 1.2	3 0.7	-
	前回調査	321 100.0	-	27 8.4	290 90.3	1 0.3	2 0.6	1 0.3	-	-
無職	今回調査	80 100.0	26 32.5	13 16.3	30 37.5	7 8.8	2 2.5	-	2 2.5	-
	前回調査	209 100.0	-	110 52.6	96 45.9	1 0.5	1 0.5	-	-	0.5

※網掛け■は最も割合が高いもの

表 2-1-5 平日の昼間、定期的にご利用している教育・保育事業【地区別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	公立 幼稚園	私立 幼稚園	認可保育 所（園） （公立）	認可保育 所（園） （私立）	認定 こども園	事業所内 保育施設	その他の 保育施設	その他
上野	今回調査	571 100.0	60 10.5	52 9.1	208 36.4	235 41.2	5 0.9	8 1.4	3 0.5	-
	前回調査	556 100.0	-	98 17.6	441 79.3	1 0.2	16 2.9	-	-	-
伊賀	今回調査	86 100.0	4 4.7	1 1.2	77 89.5	1 1.2	-	2 2.3	1 1.2	-
	前回調査	83 100.0	-	6 7.2	77 92.8	-	-	-	-	-
島ヶ原	今回調査	14 100.0	-	-	12 85.7	-	1 7.1	-	1 7.1	-
	前回調査	11 100.0	-	2 18.2	9 81.8	-	-	-	-	-
阿山	今回調査	59 100.0	7 11.9	-	50 84.7	1 1.7	-	1 1.7	-	-
	前回調査	61 100.0	-	-	61 100.0	-	-	-	-	-
大山田	今回調査	46 100.0	4 8.7	-	40 87.0	1 2.2	-	-	1 2.2	-
	前回調査	44 100.0	-	3 6.8	39 88.6	1 2.3	1 2.3	-	-	-
青山	今回調査	63 100.0	3 4.8	2 3.2	37 58.7	4 6.3	12 19.0	1 1.6	4 6.3	-
	前回調査	65 100.0	-	17 26.2	46 70.8	-	1 1.5	-	-	1

※網掛け■は最も割合が高いもの

問 19-②	問 19-①で選んだ教育・保育の事業について、現在、どのくらい利用していますか。
--------	--

平日に定期的に利用している教育・保育事業の1週当たりの利用日数については、「5日」が90.6%で最も高く、次いで「6日以上」が4.8%、「4日」が0.8%と続いており、1日当たりの利用時間については、「8～11 時間未満」が67.9%で最も高く、次いで「6～8 時間未満」が20.3%、「4～6 時間未満」が7.2%と続いています。

前回調査と比較すると、1日当たりの利用時間については、「6～8 時間未満」は前回調査（44.2%）より23.9ポイント減少し、「8～11 時間未満」は前回調査（32.7%）より35.2ポイント増加しています。

図 2-1-42 1 週当たりの利用日数

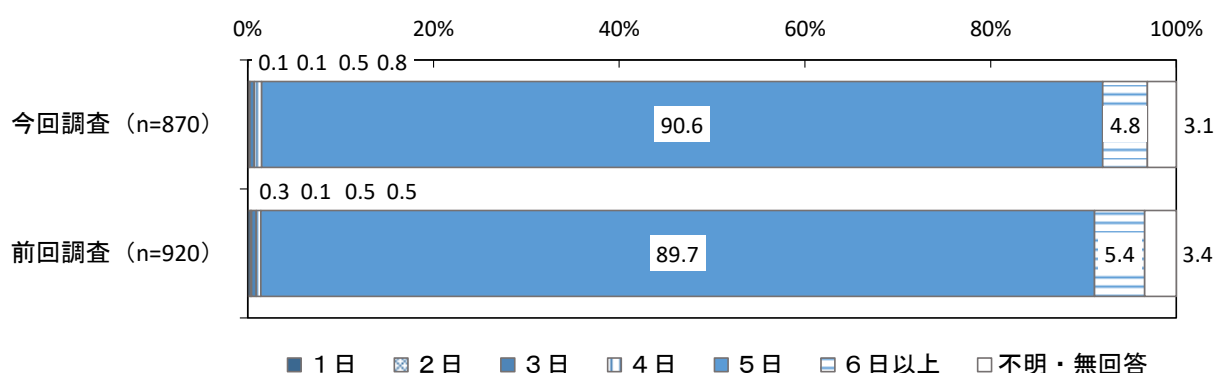
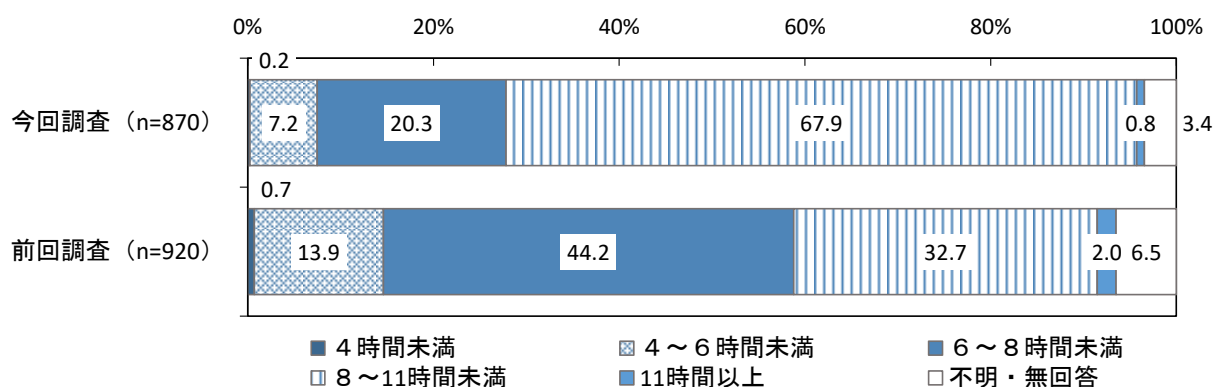


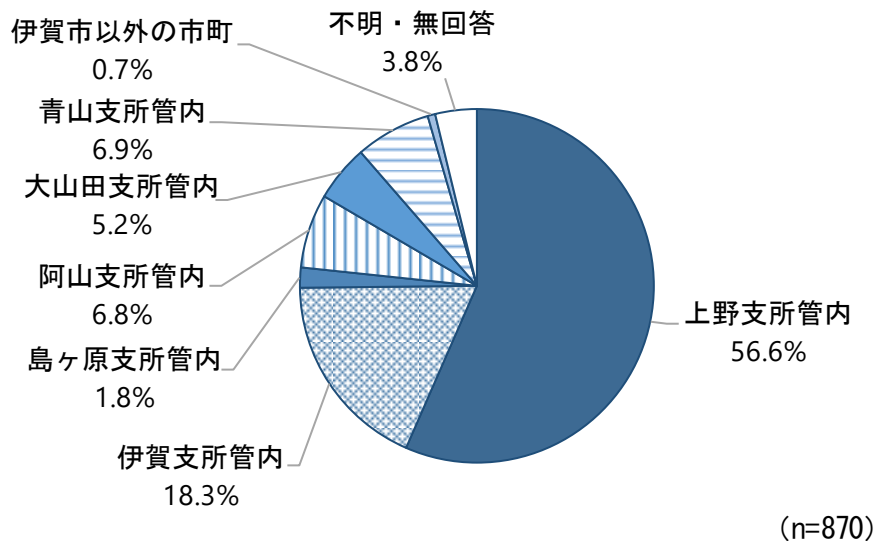
図 2-1-43 1 日当たりの利用時間



問 19－③ 問 19－①で選んだ教育・保育事業の実施場所はどこにありますか。

平日に定期的に利用している教育・保育事業の実施場所については、「上野支所管内」が 56.6%で最も高く、次いで「伊賀支所管内」が 18.3%、「青山支所管内」が 6.9%と続いています。

図 2－1－44 定期的な教育・保育事業の実施場所



問 19-④	問 19-①で選んだ教育・保育事業の実施場所への主な通園手段は何ですか。 (〇はひとつ)
--------	---

定期的な教育・保育事業の実施場所への主な通園手段については、「自家用車」が90.1%で最も高く、次いで「徒歩」が3.4%、「自転車」が3.3%と続いています。

また、定期的な教育・保育事業の実施場所への送迎時間については、「5～10分未満」が44.1%で最も高く、次いで「10～15分未満」が23.9%、「5分未満」が14.5%と続いています。

図 2-1-45 定期的な教育・保育事業の実施場所への主な通園手段

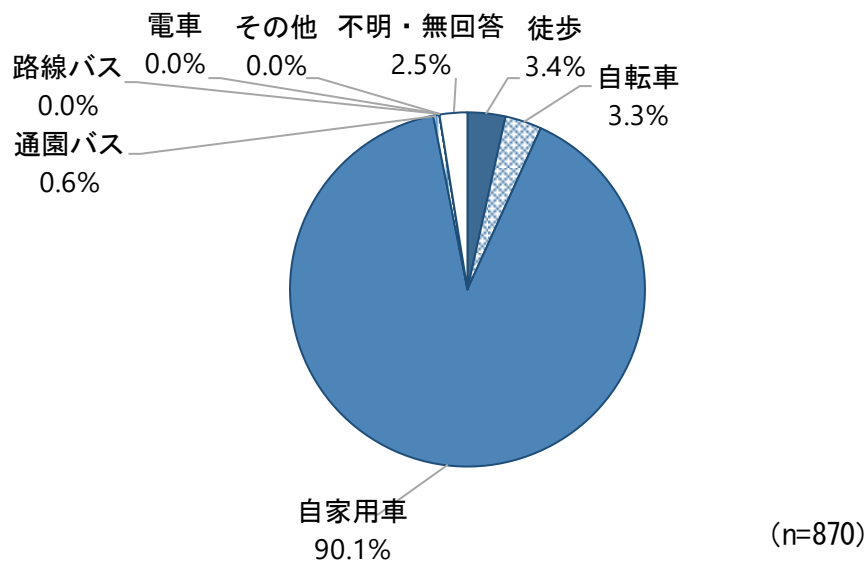
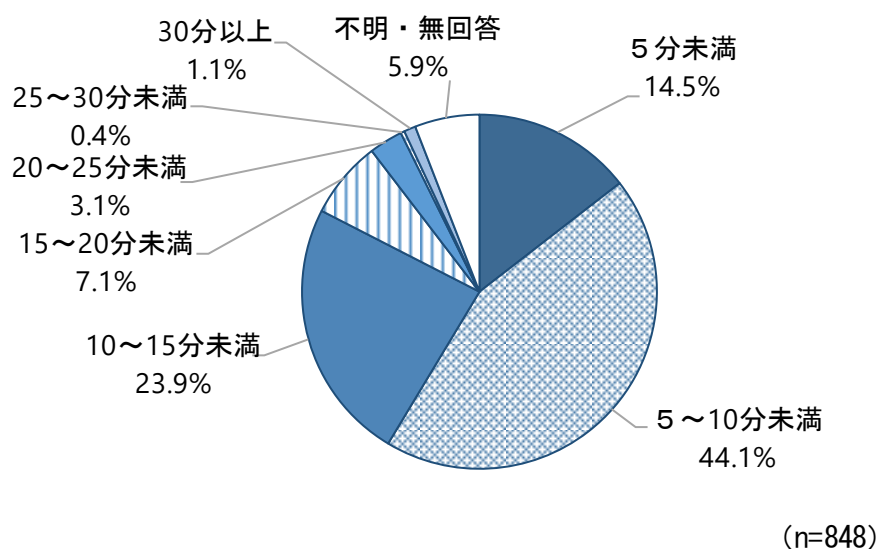


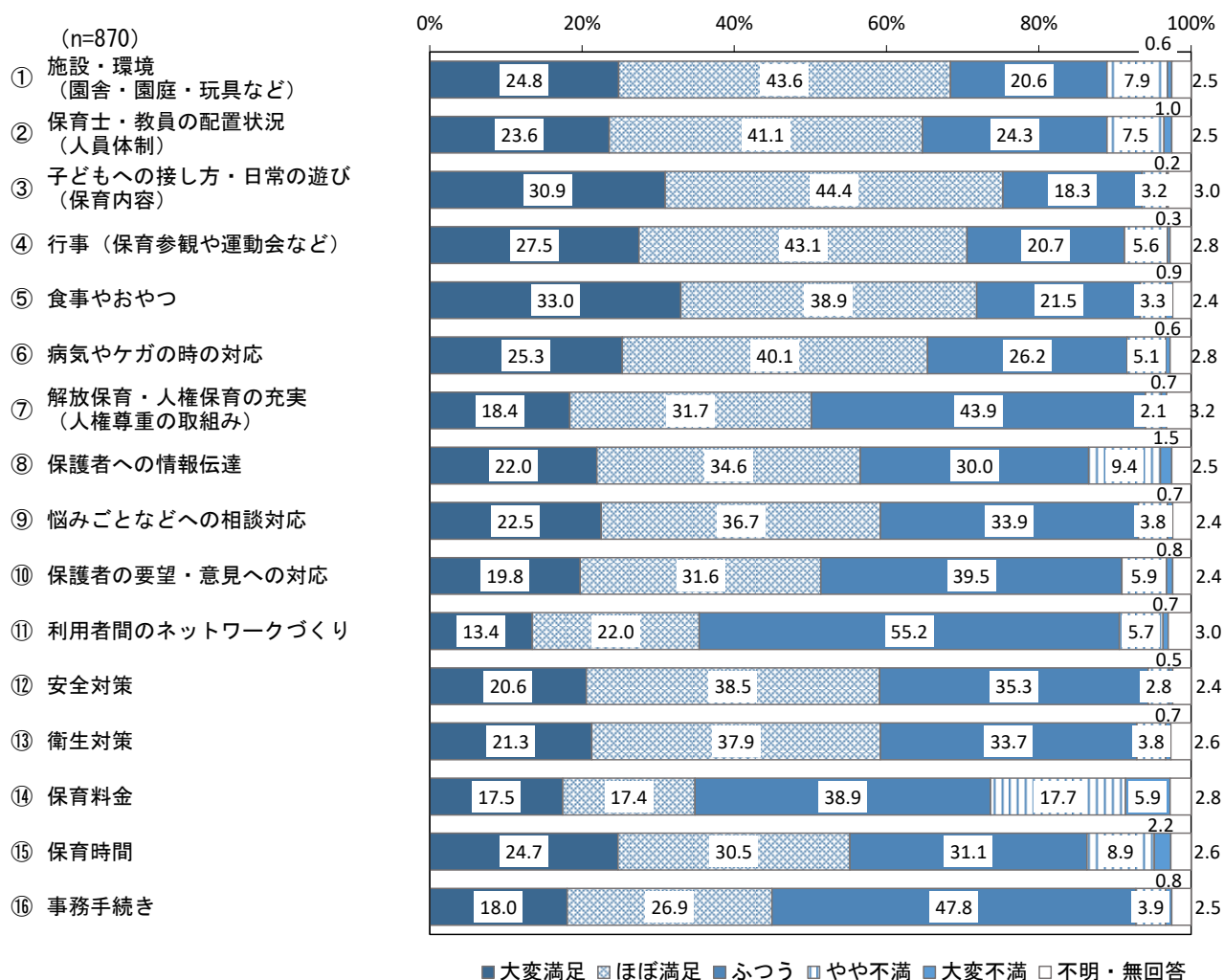
図 2-1-46 定期的な教育・保育事業の実施場所への送迎時間



問 19-⑤	問 19-①で選んだ教育・保育の事業に対して、どのように感じていますか。 次①～⑯の項目ごとにあてはまるものを、それぞれ選んでください。 (〇はひとつずつ)
--------	--

利用している定期的な教育・保育事業の満足度について、『満足』（「大変満足」と「ほぼ満足」の合計）では、「子どもへの接し方・日常の遊び（保育内容）」が75.3%で最も高く、次いで「食事やおやつ」が71.9%、「行事（保育参観や運動会など）」が70.6%と続いており、一方、『不満』（「やや不満」と「大変不満」の合計）では、「保育料金」が23.6%で最も高く、次いで「保育時間」が11.1%、「保護者への情報伝達」が10.9%と続いています。

図 2-1-47 利用している定期的な教育・保育事業の満足度



問 19－⑥	【問 19－①で「公立幼稚園」「私立幼稚園」に○をつけた方】 幼稚園の「預かり保育」（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）は利用していますか。（どちらかに○）
--------	---

幼稚園の預かり保育の利用状況については、「利用していない」が44.6%、「利用している」が41.7%で、母親の就労状況別でみると、「利用している」では、「パート・アルバイト等」が64.5%で最も高く、次いで「無職」が35.9%、「フルタイム」が22.2%となっています。

また、幼稚園の預かり保育の1週当たりの利用日数については、「1日」、「5日以上」がいずれも31.1%で最も高く、次いで「3日」が17.0%と続いており、1日当たりの利用時間については、「1～2時間未満」が51.7%で最も高く、次いで「2～3時間未満」が22.4%、「5時間以上」が17.2%と続いています。

前回調査と比較すると、「利用している」では、前回調査（27.2%）より14.5ポイント増加しており、母親の就労状況別でみると、全ての就労状況で前回調査よりも増加しており、「パート・アルバイト等」では、前回調査（48.1%）より16.4ポイント増加し、最も増加幅が大きくなっています。

また、幼稚園の預かり保育の1週当たりの利用日数については、「1日」は前回調査（60.0%）より29.0ポイント減少し、「5日以上」が前回調査（17.5%）より13.5ポイント増加しています。

図 2-1-48 幼稚園の預かり保育の利用状況

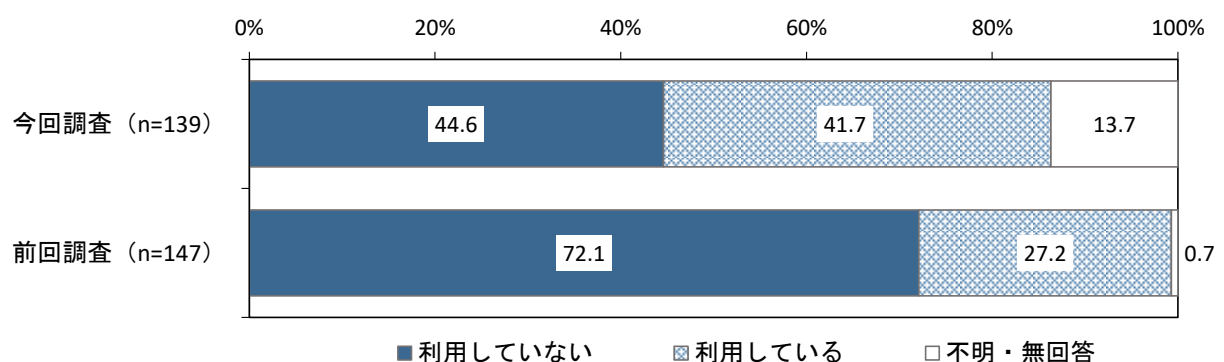


表 2-1-6 幼稚園の預かり保育の利用状況【母親の就労状況別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（%）

		全体	利用して いない	利用して いる
フルタイム	今回調査	18 100.0	14 77.8	4 22.2
	前回調査	8 100.0	7 87.5	1 12.5
パート・アル バイト等	今回調査	62 100.0	22 35.5	40 64.5
	前回調査	27 100.0	14 51.9	13 48.1
無職	今回調査	39 100.0	25 64.1	14 35.9
	前回調査	110 100.0	84 76.4	26 23.6

※網掛け■は最も割合が高いもの

図 2-1-49 1 週当たりの利用日数

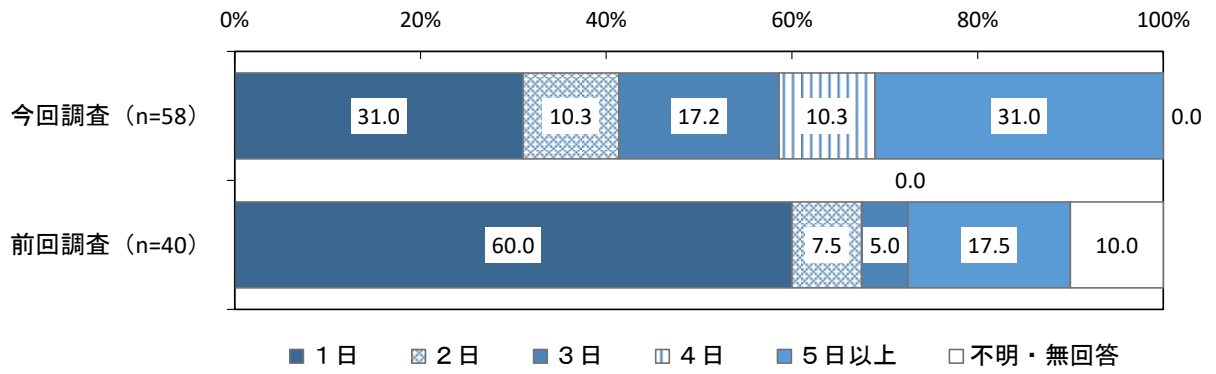
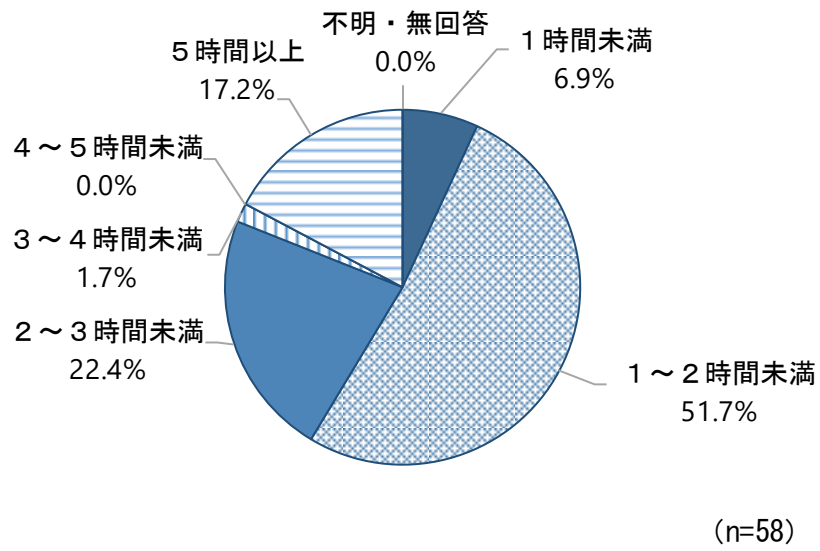


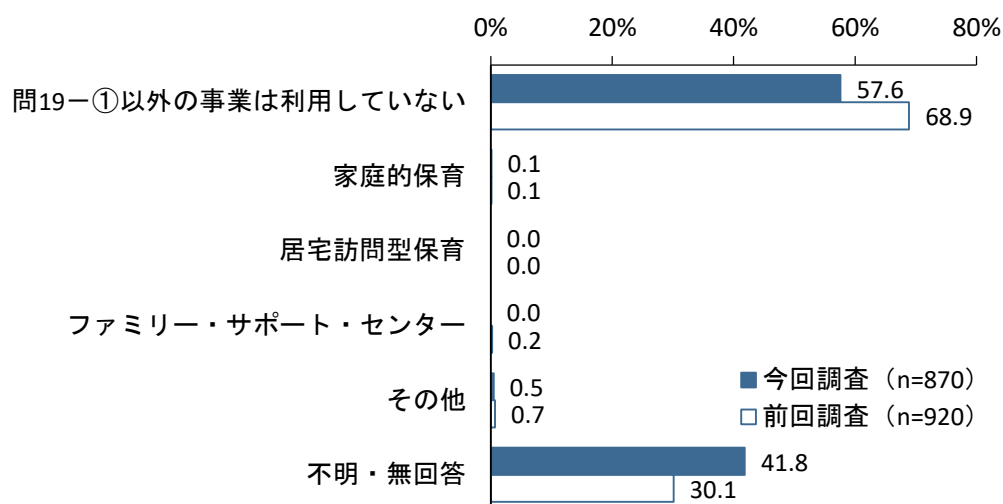
図 2-1-50 1 日当たりの利用時間



問 19-⑦	問 19-①で選んだ教育・保育の事業以外に、ふだんの平日に、年間を通じて「定期的に」利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)
--------	---

問 19-①で選んだ教育・保育事業以外に平日に定期的に事業を利用している事業については、「問 19-①以外の事業は利用していない」が 57.6%で最も高く、次いで「その他」が 0.5%、「家庭的保育」が 0.1%と続いています。

図 2-1-51 年間を通じて定期的に利用している他の教育・保育事業



問 19-⑧	問 19-⑦で選んだ教育・保育の事業について、現在、どのくらい利用していますか。
--------	--

問 19-⑦で選んだ教育・保育の事業の1週当たりの利用日数については、「1日」が40.0%、「2日」が20.0%となっており、1日当たりの利用時間については、「3～4時間未満」が40.0%、「2～3時間未満」が20.0%となっています。

図 2-1-52 1週当たりの利用日数

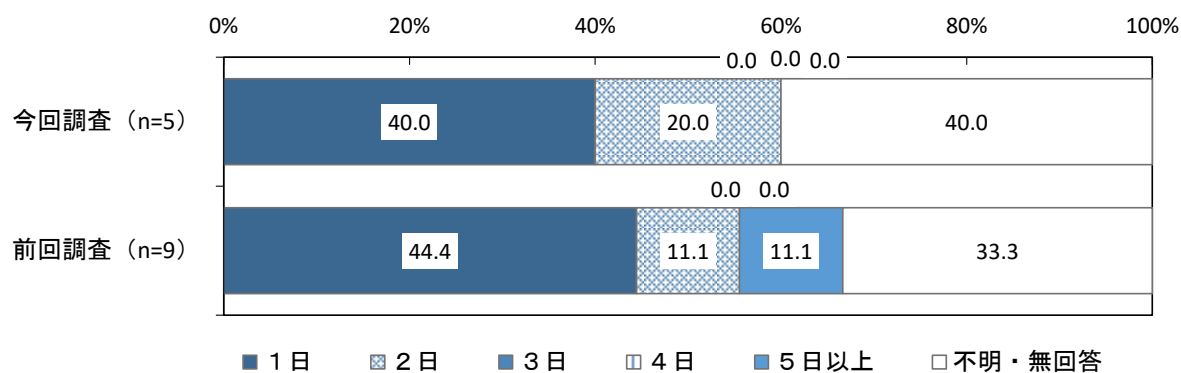
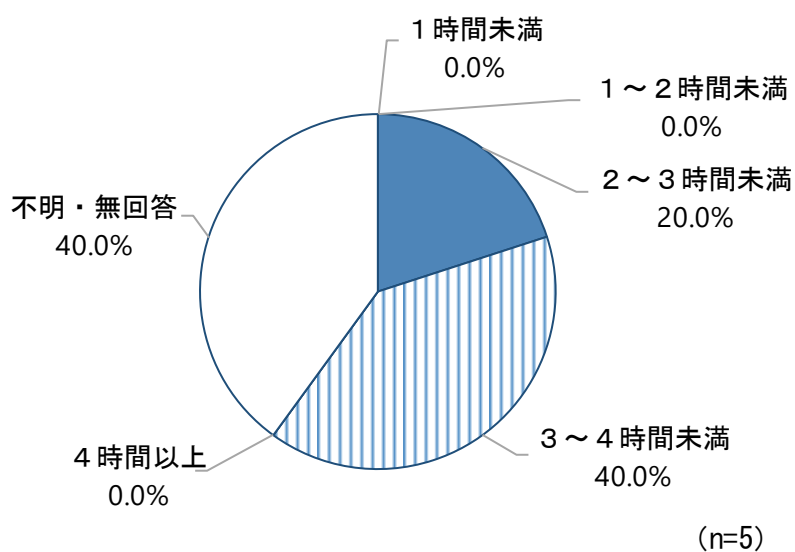


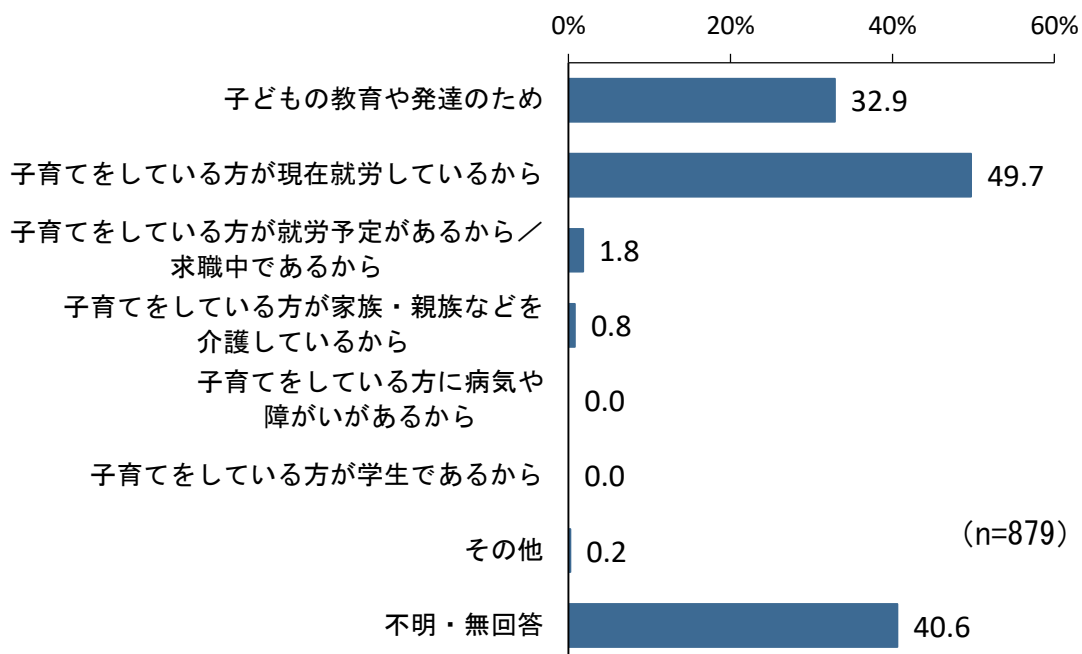
図 2-1-53 1日当たりの利用時間



問 19-⑨	平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)
--------	--

平日に定期的に教育・保育事業を利用している主な理由については、「子育てをしている方が現在就労しているから」が 49.7%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 32.9%、「子育てをしている方が就労予定があるから／求職中であるから」が 1.8%と続いています。

図 2-1-54 平日に定期的に教育・保育事業を利用している主な理由



問 20	【問 18 で「利用していない」に○をつけた方】 利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
------	---

平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」が 59.6%で最も高く、次いで「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がないから」が 45.6%、「その他」が 11.5%と続いています。

母親の就労状況別にみると、全ての就労状況で「子どもがまだ小さいため」が最も高くなっており、「フルタイム」、「無職」では次いで「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がないから」が高く、「パート・アルバイト等」では次いで「その他」が高くなっています。

前回調査と比較すると、平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由について、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないから」では、全体では、前回調査（10.2%）より 6.4 ポイント減少し、「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がないから」では、前回調査（41.6%）より 4.0 ポイント増加しています。

図 2-1-55 定期的に教育・保育事業を利用していない理由

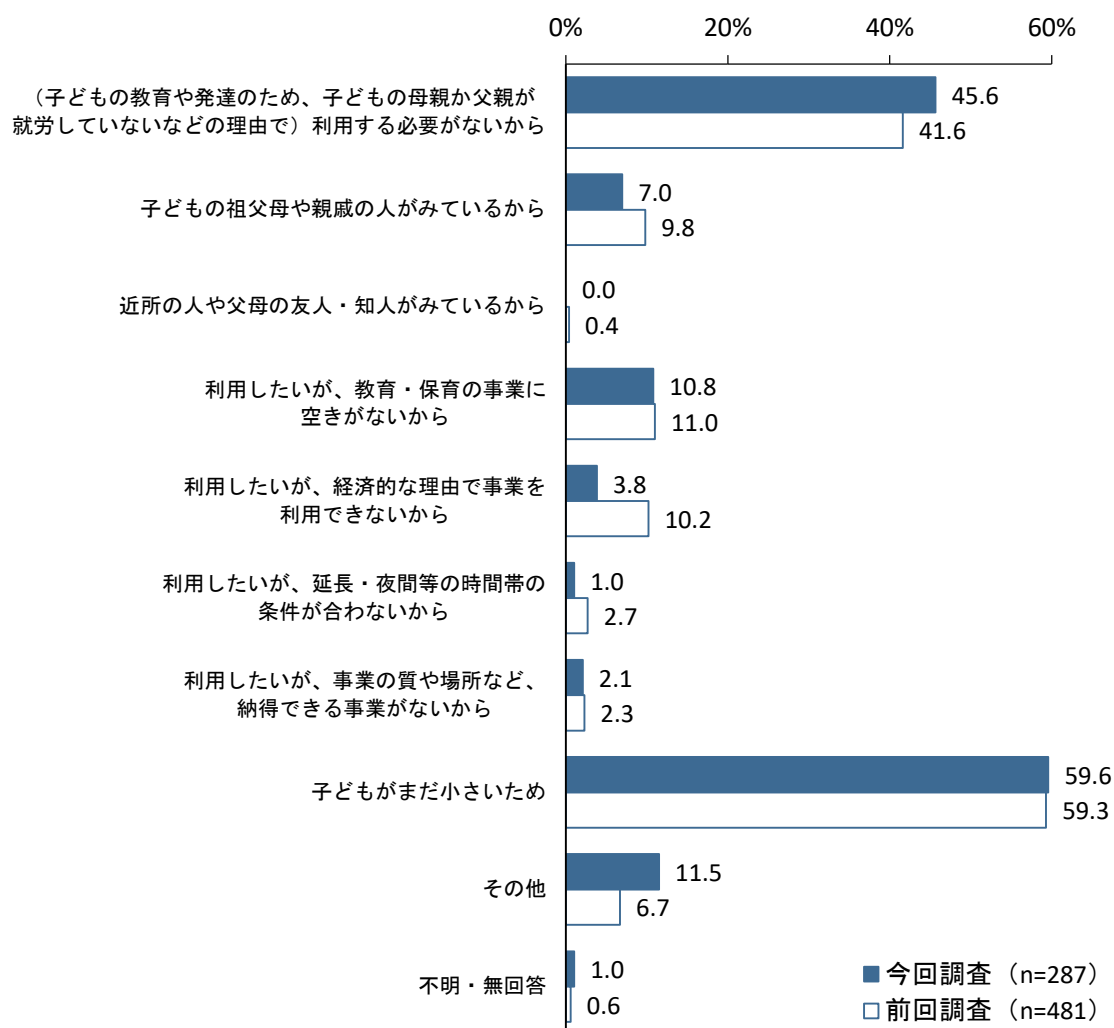


表 2-1-7 定期的に教育・保育事業を利用していない理由【母親の就労状況別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

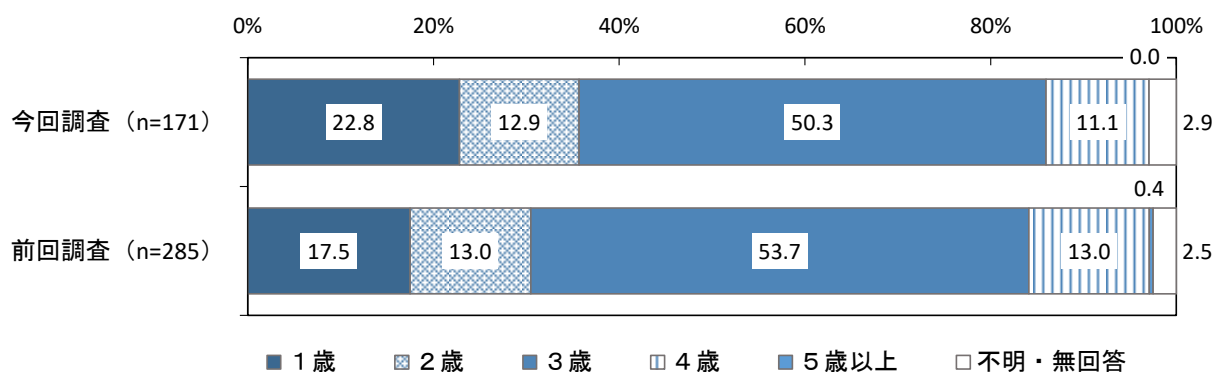
		全体	（子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がないから	子どもの祖父母や親戚の人がみているから	近所の人や父母の友人・知人がみているから	利用したいが、教育・保育の事業に空きがないから	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないから	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わないから	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がないから	子どもがまだ小さいため	その他
フルタイム	今回調査	66	26	9	-	4	2	-	-	35	18
		100.0	39.4	13.6	-	6.1	3.0	-	-	53.0	27.3
パート・アルバイト等	今回調査	110	27	19	1	6	5	3	3	64	15
		100.0	24.5	17.3	0.9	5.5	4.5	2.7	2.7	58.2	13.6
パート・アルバイト等	今回調査	45	7	3	-	6	3	1	1	29	10
		100.0	15.6	6.7	-	13.3	6.7	2.2	2.2	64.4	22.2
無職	今回調査	49	11	14	-	11	11	4	3	30	2
		100.0	22.4	28.6	-	22.4	22.4	8.2	6.1	61.2	4.1
無職	今回調査	170	96	8	-	21	6	2	4	106	5
		100.0	56.5	4.7	-	12.4	3.5	1.2	2.4	62.4	2.9
無職	前回調査	312	158	13	1	35	31	6	5	188	15
		100.0	50.6	4.2	0.3	11.2	9.9	1.9	1.6	60.3	4.8

※網掛け■は最も割合が高いもの

また、子どもが何歳になったら利用しようと考えているかについては、「3歳」が50.3%で最も高く、次いで「1歳」が22.8%、「2歳」が12.9%と続いています。

前回調査と比較すると、「3歳」は、前回調査（53.7%）より3.4ポイント減少し、「1歳」は、前回調査（17.5%）より5.3ポイント増加しています。

図 2-1-56 子どもが何歳になったら利用したいか



問 21	現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）
------	---

平日に定期的に利用したい教育・保育事業については、「認可保育所（園）」が 69.4%で最も高く、次いで「幼稚園」が 19.7%、「認定こども園」が 17.1%と続いています。

母親の就労希望別にみると、「フルタイム」、「パート・アルバイト等」、「将来希望（フルタイムへの転換を希望する人と現在無職だが就労を希望する人）」では「認可保育所（園）」が最も高く、「無職」では「幼稚園」が最も高くなっています。

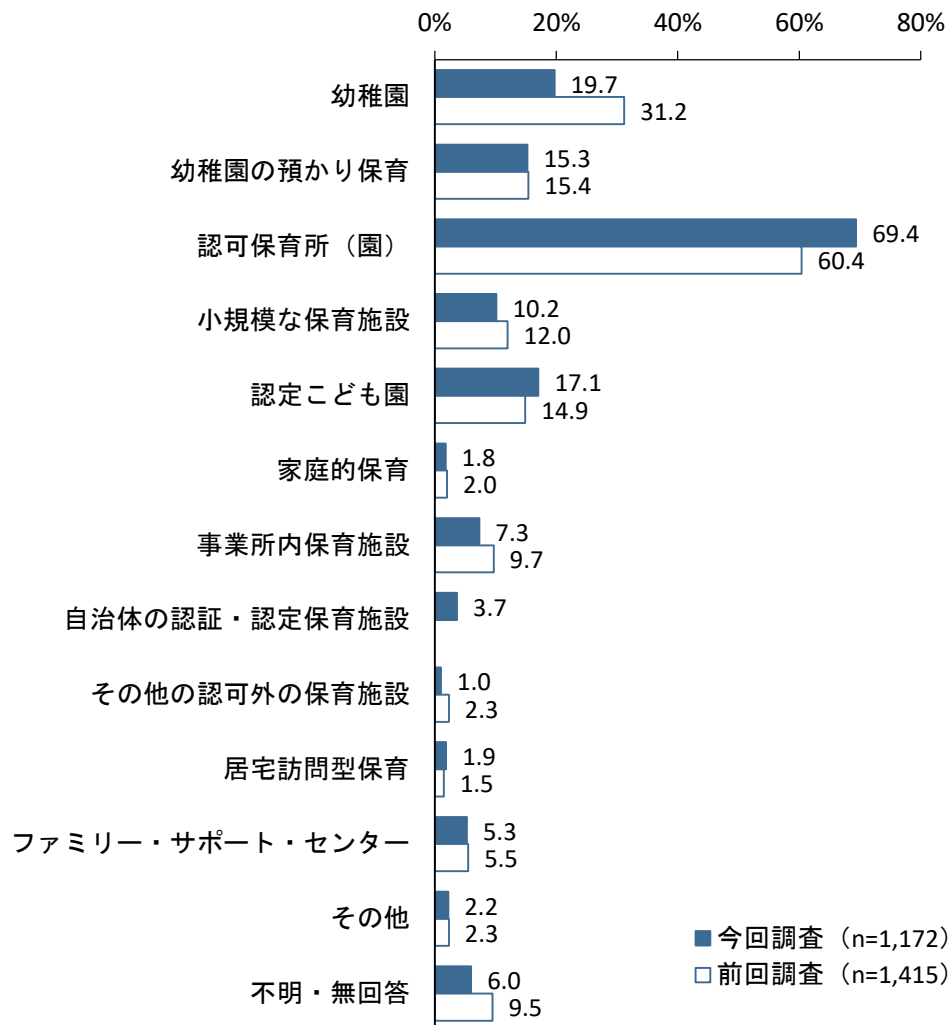
地区別にみると、全ての地域で「認可保育所（園）」が最も高くなっており、「幼稚園」では上野地域が 24.0%で最も高く、「認定こども園」では青山地域が 34.2%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、全体では、「認可保育所（園）」は前回調査（60.4%）より 9.0 ポイント増加している一方、「幼稚園」は前回調査（31.2%）より 11.5 ポイント減少しています。

母親の就労希望別にみると、「フルタイム」では、「認可保育所（園）」の割合が増加している一方、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「小規模な保育施設」、「事業所内保育施設」の割合が減少し、「パート・アルバイト等」では、「幼稚園」の割合が減少している一方、「幼稚園の預かり保育」、「認定こども園」の割合が増加し、「将来希望」では、「幼稚園」、「認定こども園」の割合が減少している一方、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所（園）」、「小規模な保育施設」の割合が増加し、「無職」では、「認定こども園」の割合が増加している一方、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所（園）」の割合が減少しています。

地区別にみると、「認可保育所（園）」では、青山地域を除く全ての地域で前回調査よりも割合が増加しており、青山地域では「認定こども園」が前回調査よりも割合が増加しています。

図 2-1-57 平日に定期的に利用したい教育・保育事業²



² 「自治体の認証・認定保育施設」は今回調査から追加されています。

表 2-1-8 平日に定期的に利用したい教育・保育事業【母親の就労希望別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所（園）	小規模な保育施設	認定こども園	家庭的保育
フルタイム	今回調査	593 100.0	56 9.4	59 9.9	495 83.5	56 9.4	111 18.7	14 2.4
	前回調査	598 100.0	106 17.7	74 12.4	464 77.6	95 15.9	108 18.1	19 3.2
パート・アルバイト等	今回調査	299 100.0	75 25.1	63 21.1	206 68.9	32 10.7	63 21.1	5 1.7
	前回調査	271 100.0	81 29.9	44 16.2	189 69.7	31 11.4	43 15.9	6 2.2
将来希望	今回調査	133 100.0	66 49.6	46 34.6	75 56.4	23 17.3	18 13.5	2 1.5
	前回調査	244 100.0	146 59.8	63 25.8	131 53.7	26 10.7	44 18.0	3 1.2
無職	今回調査	38 100.0	26 68.4	7 18.4	13 34.2	2 5.3	6 15.8	-
	前回調査	120 100.0	87 72.5	27 22.5	45 37.5	8 6.7	5 4.2	-
		全体	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他
フルタイム	今回調査	593 100.0	57 9.6	24 4.0	5 0.8	16 2.7	42 7.1	13 2.2
	前回調査	598 100.0	96 16.1	-	15 2.5	12 2.0	48 8.0	17 2.8
パート・アルバイト等	今回調査	299 100.0	19 6.4	12 4.0	4 1.3	3 1.0	10 3.3	9 3.0
	前回調査	271 100.0	14 5.2	-	8 3.0	5 1.8	12 4.4	6 2.2
将来希望	今回調査	133 100.0	8 6.0	6 4.5	2 1.5	2 1.5	7 5.3	2 1.5
	前回調査	244 100.0	17 7.0	-	5 2.0	3 1.2	13 5.3	3 1.2
無職	今回調査	38 100.0	1 2.6	-	1 2.6	1 2.6	1 2.6	2 5.3
	前回調査	120 100.0	6 5.0	-	2 1.7	1 0.8	2 1.7	4 3.3

※網掛け■は最も割合が高いもの

表 2-1-9 平日に定期的に利用したい教育・保育事業【地区別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所（園）	小規模な保育施設	認定こども園	家庭的保育
上野	今回調査	726 100.0	174 24.0	143 19.7	527 72.6	79 10.9	136 18.7	12 1.7
	前回調査	744 100.0	264 35.5	132 17.7	493 66.3	95 12.8	122 16.4	12 1.6
伊賀	今回調査	107 100.0	13 12.1	8 7.5	88 82.2	8 7.5	8 7.5	1 0.9
	前回調査	112 100.0	33 29.5	14 12.5	79 70.5	12 10.7	10 8.9	1 0.9
島ヶ原	今回調査	18 100.0	2 11.1	2 11.1	15 83.3	4 22.2	3 16.7	2 11.1
	前回調査	17 100.0	5 29.4	4 23.5	11 64.7	2 11.8	5 29.4	-
阿山	今回調査	69 100.0	7 10.1	3 4.3	56 81.2	8 11.6	10 14.5	2 2.9
	前回調査	78 100.0	15 19.2	7 9.0	59 75.6	15 19.2	17 21.8	3 3.8
大山田	今回調査	58 100.0	7 12.1	3 5.2	47 81.0	6 10.3	8 13.8	1 1.7
	前回調査	51 100.0	6 11.8	5 9.8	37 72.5	7 13.7	10 19.6	1 2.0
青山	今回調査	79 100.0	17 21.5	12 15.2	47 59.5	8 10.1	27 34.2	2 2.5
	前回調査	93 100.0	41 44.1	15 16.1	56 60.2	9 9.7	14 15.1	2 2.2
		全体	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他
上野	今回調査	726 100.0	60 8.3	28 3.9	7 1.0	15 2.1	44 6.1	16 2.2
	前回調査	744 100.0	70 9.4	-	15 2.0	11 1.5	47 6.3	15 2.0
伊賀	今回調査	107 100.0	5 4.7	2 1.9	-	2 1.9	5 4.7	4 3.7
	前回調査	112 100.0	13 11.6	-	2 1.8	2 1.8	4 3.6	2 1.8
島ヶ原	今回調査	18 100.0	3 16.7	3 16.7	-	-	4 22.2	-
	前回調査	17 100.0	3 17.6	-	-	-	3 17.6	1 5.9
阿山	今回調査	69 100.0	8 11.6	3 4.3	2 2.9	2 2.9	3 4.3	1 1.4
	前回調査	78 100.0	10 12.8	-	4 5.1	2 2.6	4 5.1	3 3.8
大山田	今回調査	58 100.0	2 3.4	1 1.7	-	-	3 5.2	2 3.4
	前回調査	51 100.0	5 9.8	-	1 2.0	-	1 2.0	4 7.8
青山	今回調査	79 100.0	4 5.1	3 3.8	3 3.8	2 2.5	2 2.5	3 3.8
	前回調査	93 100.0	8 8.6	-	-	3 3.2	4 4.3	1 1.1

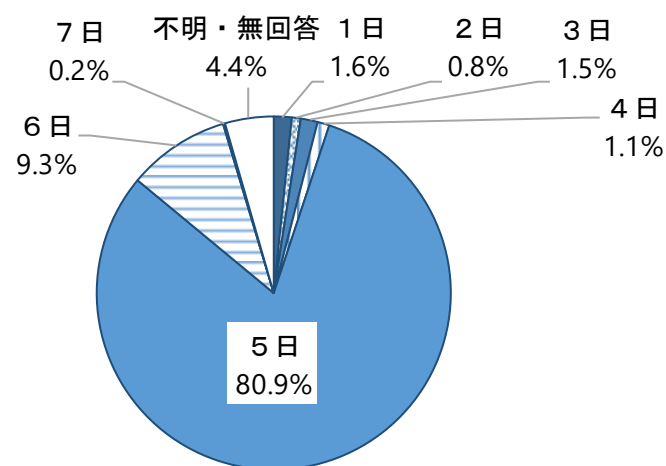
※網掛け■は最も割合が高いもの

問 21－①	問 21 で選んだ教育・保育の事業について、希望としてはどのくらい利用したいですか。
--------	--

問 21 で選んだ教育・保育の事業の 1 週当たりの希望利用日数については、「5 日」が 80.9% で最も高く、次いで「6 日」が 9.3%、「1 日」が 1.6%と続いており、1 日当たりの希望利用時間については、「8～9 時間未満」が 25.1%で最も高く、次いで「9～10 時間未満」が 20.7%、「10～11 時間未満」が 17.2%と続いています。

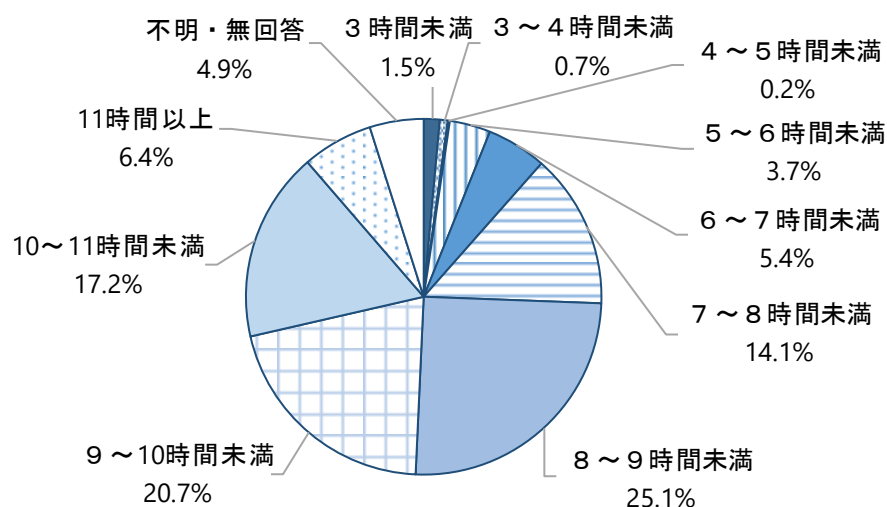
前回調査と比較すると、1 日当たりの希望利用時間について、「6～8 時間未満」は前回調査（38.9%）より 19.4 ポイント減少し、「8～11 時間未満」は前回調査（33.3%）より 29.8 ポイント増加しています。

図 2-1-58 1 週当たりの希望利用日数



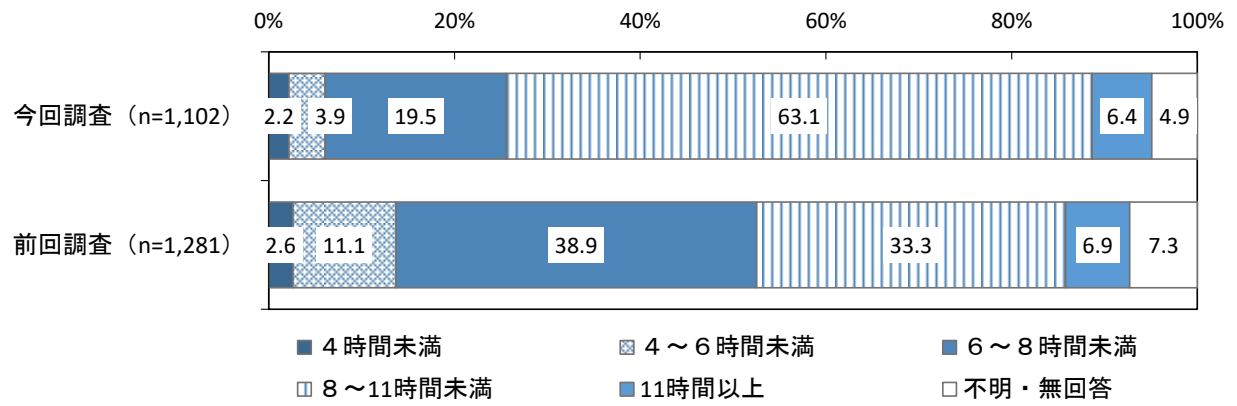
(n=1,102)

図 2-1-59 1 日当たりの希望利用時間



(n=1,102)

図 2-1-60 1日当たりの希望利用時間 前回調査との比較

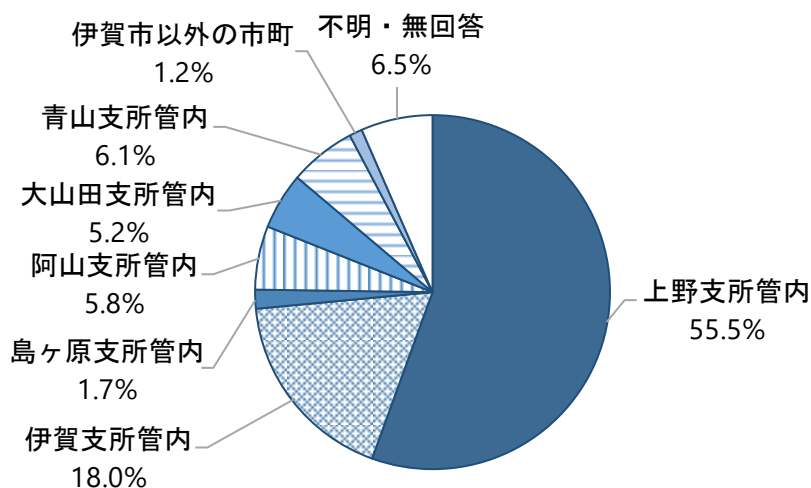


問 21-②	問 21 で選んだ教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。 (どちらかに○)
--------	---

問 21 で選んだ教育・保育事業を利用したい場所については、「上野支所管内」が 55.5%で最も高く、次いで「伊賀支所管内」が 18.0%、「青山支所管内」が 6.1%と続いています。

定期的に利用したい教育・保育事業別にみると、全ての事業で「上野支所管内」が最も高くなっています。

図 2-1-61 教育・保育事業を利用したい場所



(n=1,102)

表 2-1-10 教育・保育事業を利用したい場所【定期的に利用したい教育・保育事業別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（%）

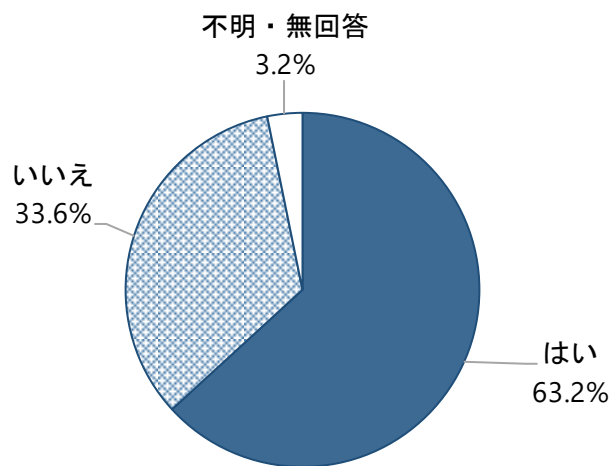
	全体	上野支所管内	伊賀支所管内	島ヶ原支所管内	阿山支所管内	大山田支所管内	青山支所管内	伊賀市以外の市町
幼稚園	215 100.0	157 73.0	30 14.0	1 0.5	6 2.8	5 2.3	14 6.5	2 0.9
幼稚園の預かり保育	170 100.0	132 77.6	19 11.2	1 0.6	4 2.4	2 1.2	11 6.5	1 0.6
認可保育所（園）	770 100.0	448 58.2	159 20.6	16 2.1	54 7.0	49 6.4	39 5.1	5 0.6
小規模な保育施設	112 100.0	69 61.6	18 16.1	3 2.7	7 6.3	7 6.3	4 3.6	4 3.6
認定こども園	185 100.0	118 63.8	23 12.4	2 1.1	9 4.9	7 3.8	23 12.4	3 1.6
家庭的保育	20 100.0	11 55.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0
事業所内保育施設	78 100.0	51 65.4	14 17.9	1 1.3	6 7.7	2 2.6	2 2.6	2 2.6
自治体の認証・認定保育施設	40 100.0	26 65.0	6 15.0	2 5.0	2 5.0	1 2.5	-	3 7.5
その他の認可外の保育施設	11 100.0	5 45.5	1 9.1	-	1 9.1	-	-	4 36.4
居宅訪問型保育	20 100.0	12 60.0	3 15.0	-	2 10.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0
ファミリー・サポート・センター	57 100.0	32 56.1	14 24.6	3 5.3	4 7.0	2 3.5	2 3.5	-
その他	10 100.0	5 50.0	-	-	-	1 10.0	2 20.0	2 20.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

問 21－③	【問 21 で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「認可保育所（園）」～「その他」のいずれかにも○をつけた方】 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○はひとつ）
--------	---

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望については、「はい」が 63.2%、「いいえ」が 33.6%となっています。

図 2－1－62 幼稚園の利用希望



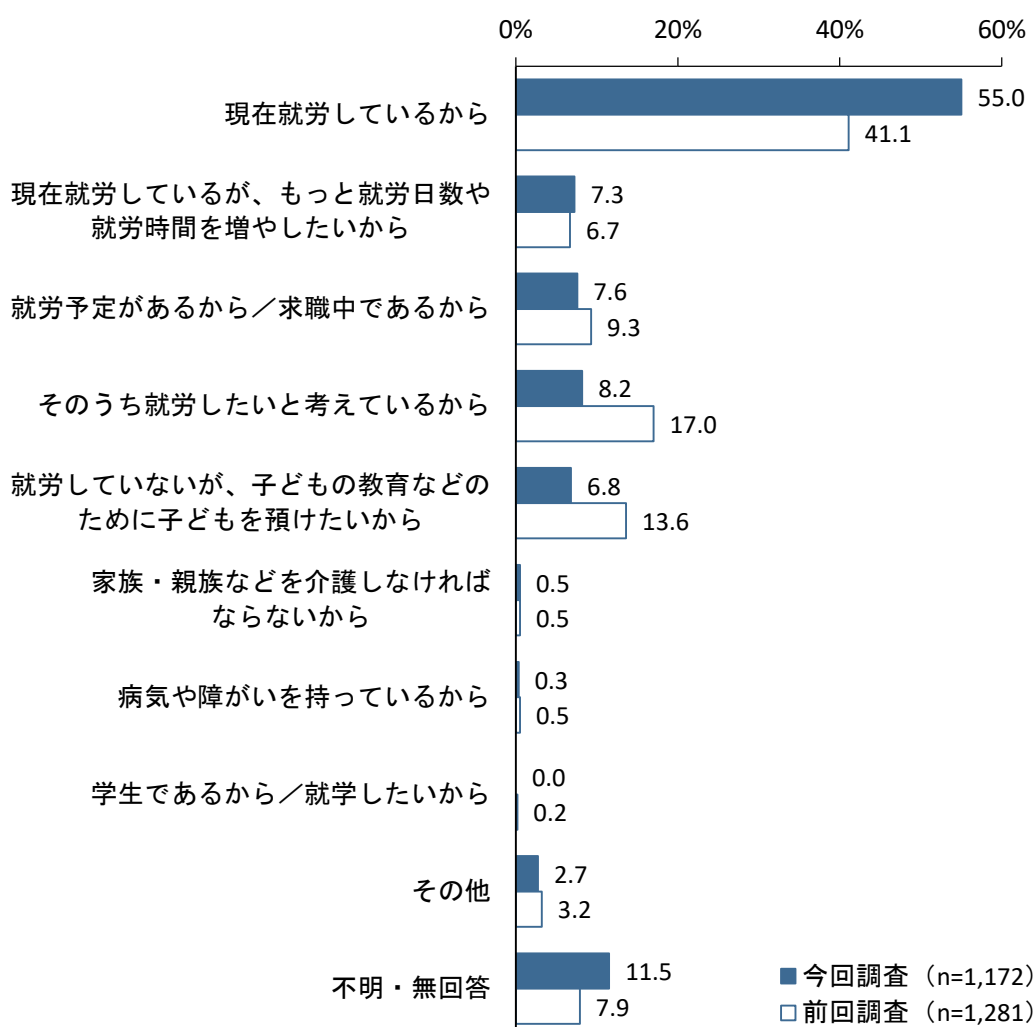
(n=125)

問 21－④	問 21 で選んだ教育・保育事業を利用したいと考えている理由は主にどのようなことですか。（〇はひとつ）
--------	---

問 21 で選んだ教育・保育事業を利用したいと考えている主な理由については、「現在就労しているから」が 55.0%で最も高く、次いで「そのうち就労したいと考えているから」が 8.2%、「就労予定があるから／求職中であるから」が 7.6%と続いています。

前回調査と比較すると、「そのうち就労したいと考えているから」は前回調査（17.0%）より 8.8 ポイント、「就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたいから」は前回調査（13.6%）より 6.8 ポイントそれぞれ減少し、「現在就労しているから」は前回調査（41.1%）より 13.9 ポイント増加しています。

図 2-1-63 定期的に教育・保育事業を利用したい主な理由



問 22	問 21 に記載した内容で、幼児教育の無償化が実施（一定の条件において、幼稚園、保育所（園）等の費用を無償化すること）された場合、現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。 （あてはまるものすべてに○）
------	--

幼児教育の無償化が実施された場合の平日に定期的に利用したい教育・保育事業については、「認可保育所（園）」が 72.4%で最も高く、次いで「幼稚園」が 19.9%、「認定こども園」が 17.7%と続いています。

母親の就労希望別に問 21 の利用希望と比較すると、全ての就労希望で「認可保育所（園）」が無償化後の割合が高くなっており、特に「将来希望」が 5.4 ポイント高くなっています。一方、「幼稚園」は「パート・アルバイト等」のみ無償化後の割合が低くなっており、その他の就労希望では無償化後の割合が高くなっています。また、「認定こども園」については、「将来希望」で無償化後の割合が 2.7 ポイント高くなっており、その他の就労希望では大きな差はみられません。

図 2-1-64 幼児教育の無償化が実施された場合の平日に定期的に利用したい教育・保育事業

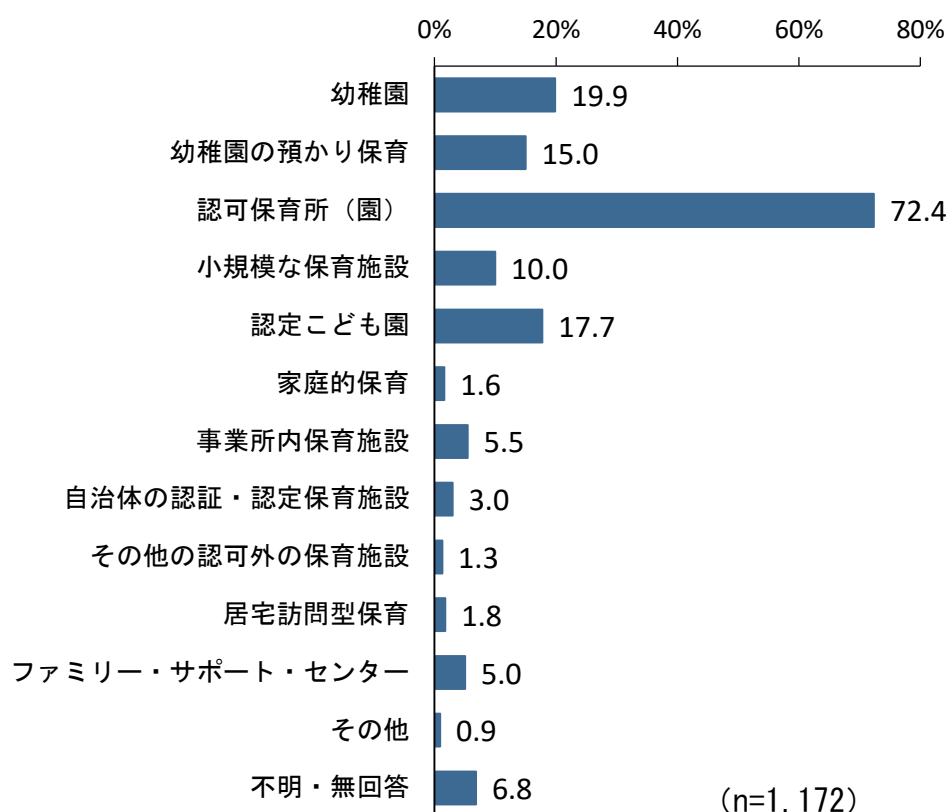


表 2-1-11 幼児教育の無償化が実施された場合の平日に定期的に利用したい教育・保育事業
【母親の就労希望別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所（園）	小規模な保育施設	認定こども園	家庭的保育
フルタイム	利用希望	593 100.0	56 9.4	59 9.9	495 83.5	56 9.4	111 18.7	14 2.4
	無償化後の利用希望	586 100.0	63 10.8	62 10.6	507 86.5	55 9.4	115 19.6	12 2.0
パート・アルバイト等	利用希望	299 100.0	75 25.1	63 21.1	206 68.9	32 10.7	63 21.1	5 1.7
	無償化後の利用希望	294 100.0	65 22.1	60 20.4	215 73.1	33 11.2	60 20.4	4 1.4
将来希望	利用希望	133 100.0	66 49.6	46 34.6	75 56.4	23 17.3	18 13.5	2 1.5
	無償化後の利用希望	136 100.0	69 50.7	43 31.6	84 61.8	23 16.9	22 16.2	3 2.2
無職	利用希望	38 100.0	26 68.4	7 18.4	13 34.2	2 5.3	6 15.8	-
	無償化後の利用希望	38 100.0	27 71.1	6 15.8	15 39.5	1 2.6	6 15.8	0 0.0
		全体	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他
フルタイム	利用希望	593 100.0	57 9.6	24 4.0	5 0.8	16 2.7	42 7.1	13 2.2
	無償化後の利用希望	586 100.0	44 7.5	16 2.7	6 1.0	16 2.7	43 7.3	4 0.7
パート・アルバイト等	利用希望	299 100.0	19 6.4	12 4.0	4 1.3	3 1.0	10 3.3	9 3.0
	無償化後の利用希望	294 100.0	12 4.1	11 3.7	5 1.7	2 0.7	9 3.1	5 1.7
将来希望	利用希望	133 100.0	8 6.0	6 4.5	2 1.5	2 1.5	7 5.3	2 1.5
	無償化後の利用希望	136 100.0	7 5.1	7 5.1	3 2.2	2 1.5	4 2.9	1 0.7
無職	利用希望	38 100.0	1 2.6	-	1 2.6	1 2.6	1 2.6	2 5.3
	無償化後の利用希望	38 100.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6

※網掛け■は最も割合が高いもの

問 23	宛名のお子さんについて、小学校入学以降のことについてうかがいます。 放課後に、「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用したいと思いますか。 （〇はひとつ）
------	--

放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向については、「利用する必要はない」が 39.2%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 37.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 18.9%となっています。

また、学童保育所を利用したい時間帯については、「18～19 時以前」が 63.0%で最も高く、次いで「17～18 時以前」が 20.8%、「19 時以降」が 10.0%となっており、学年別でみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」ではいずれも「18～19 時以前」が最も高く、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」では次いで「17～18 時以前」が高くなっており、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」では次いで「19 時以降」が高くなっています。

前回調査と比較すると、放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は前回調査（30.9%）より 6.5 ポイント増加している一方、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」は前回調査（22.7%）より 3.8 ポイント減少しています。

また、学童保育所を利用したい時間帯については、『18 時以前』が前回調査より大きく減少し、『18 時以降』が大きく増加しています。

図 2-1-65 放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向

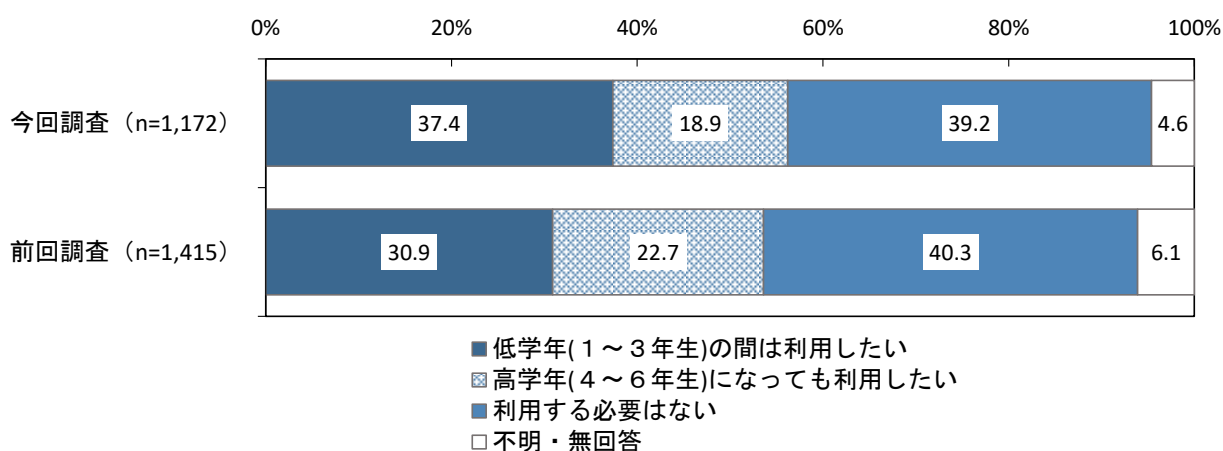
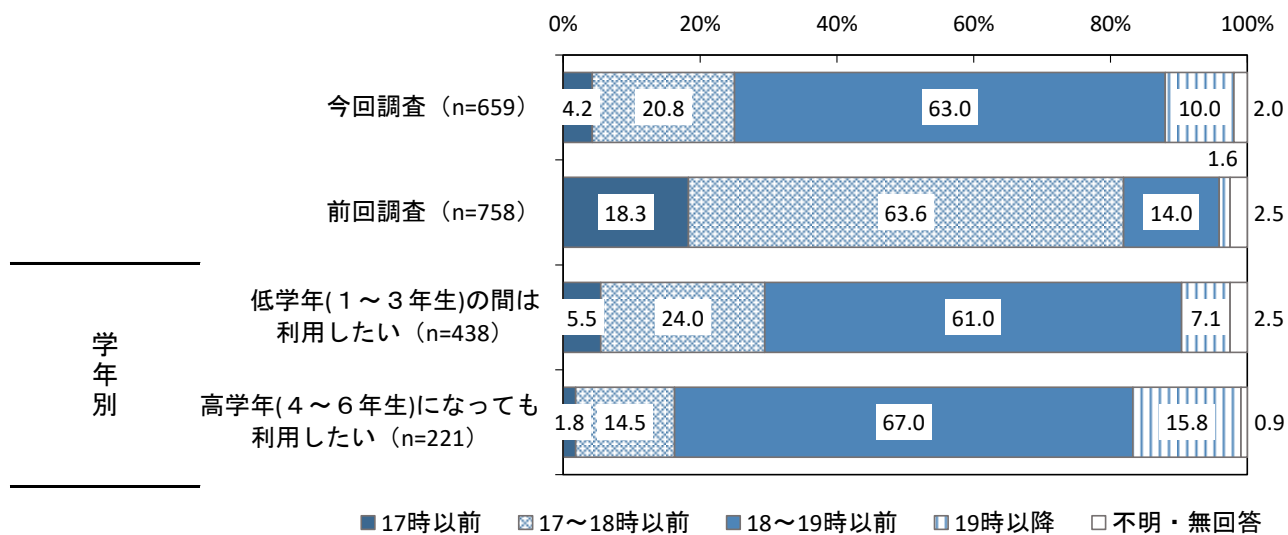


図 2-1-66 学童保育所を利用したい時間帯



（６）土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 24	宛名のお子さんについて、（１）土曜日と（２）日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。 （それぞれに○はひとつ）
------	---

土曜と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、土曜日は、「利用希望はない」が68.1%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が22.8%、「ほぼ毎週利用したい」が6.9%となっており、日曜日は、「利用希望はない」が83.2%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が11.4%、「ほぼ毎週利用したい」が1.2%となっています。

また、利用したい時間帯について、開始時間では、土曜日、日曜日・祝日いずれも「8～9時以前」の割合が最も高く、終了時間では、土曜日、日曜日・祝日いずれも「18～19時以前」の割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、『利用したい』（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計）では、土曜日、日曜日・祝日いずれも大きな差はみられません。

図 2-1-67 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望

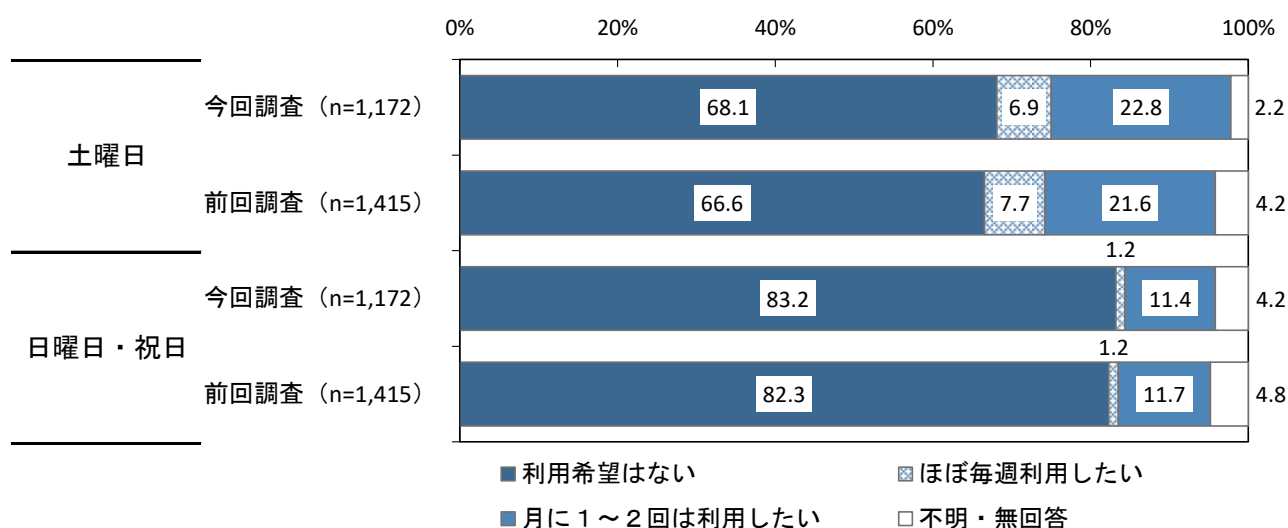


図 2-1-68 土曜日の利用したい時間帯 開始時間

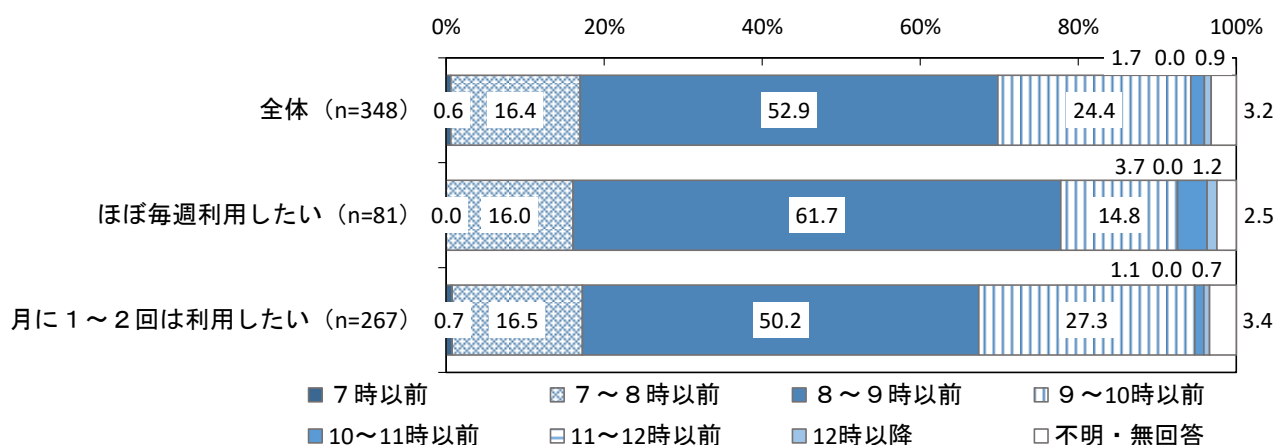


図 2-1-69 土曜日の利用したい時間帯 終了時間

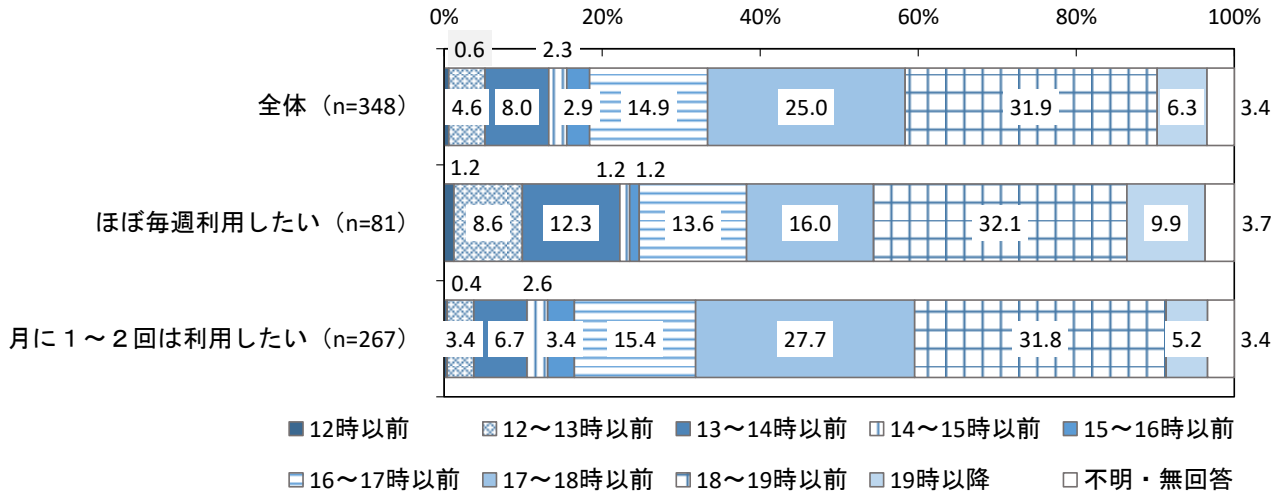


図 2-1-70 日曜日・祝日の利用したい時間帯 開始時間

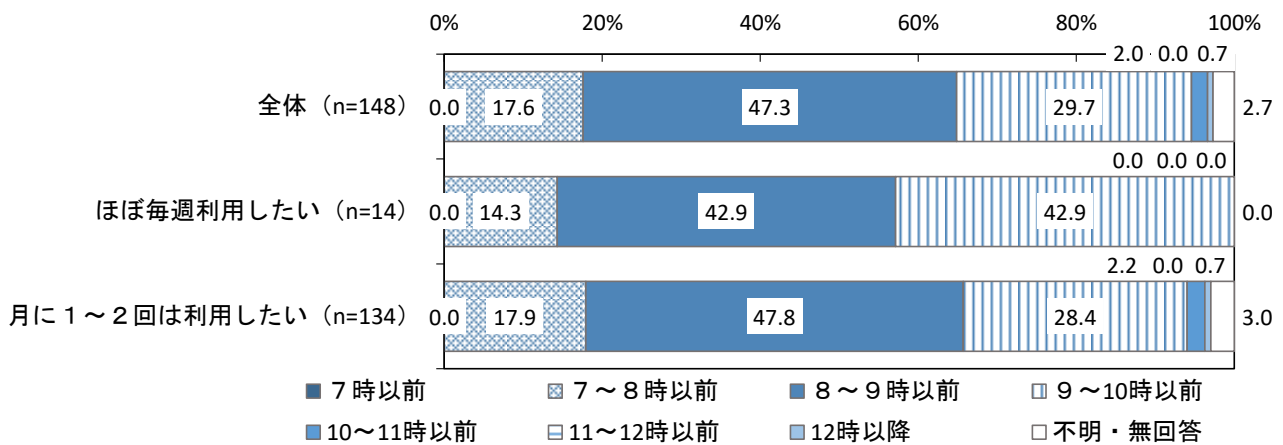
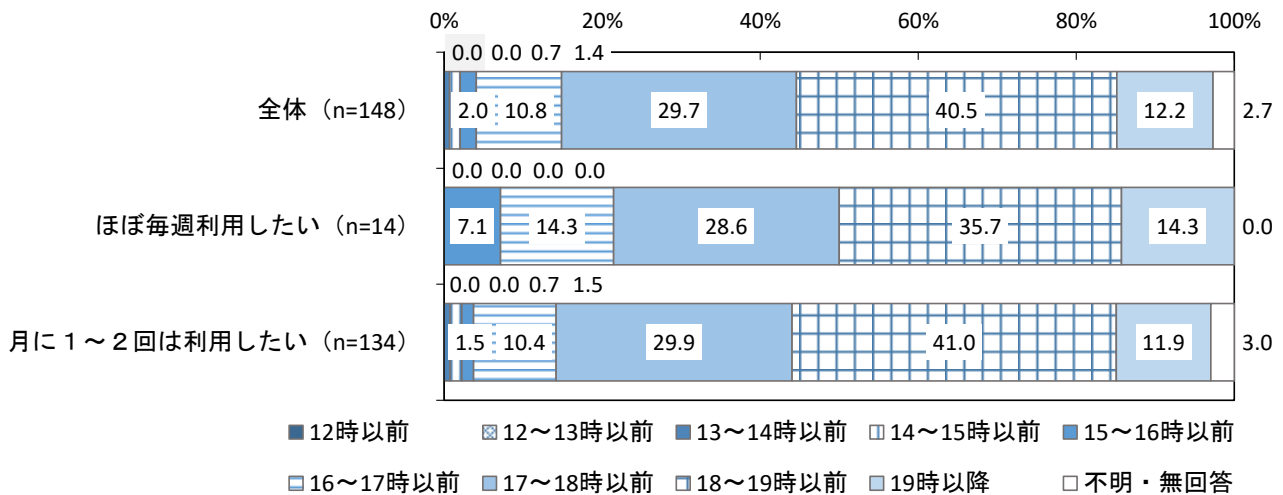


図 2-1-71 日曜日・祝日の利用したい時間帯 終了時間



問 25	【問 19－①で「公立幼稚園」「私立幼稚園」に○をつけた方】 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。（○はひとつ）
------	---

幼稚園を利用している方の長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 31.7%で最も高く、次いで「利用希望はない」が 25.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 10.8%と続いています。

利用したい時間帯について、開始時間では、「8～9時以前」「8～9時以前」が同率で最も高く、終了時間では、「16～17時以前」の割合が最も高くなっています。

また、利用希望別で利用したい時間帯をみると、開始時間は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」では「8～9時以前」の割合が最も高く、「休みの期間中、週に数日利用したい」では「9～10時以前」の割合が最も高くなっており、終了時間は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」では「18時以降」の割合が最も高く、「休みの期間中、週に数日利用したい」では「15～16時以前」「16～17時以前」が同率で最も高くなっています。

図 2-1-72 幼稚園を利用している方の長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

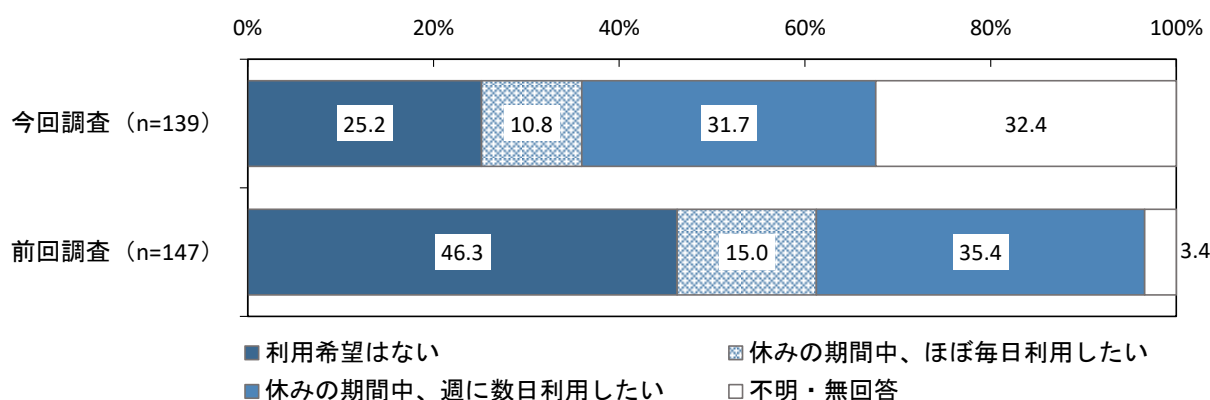


図 2-1-73 利用したい時間帯 開始時間

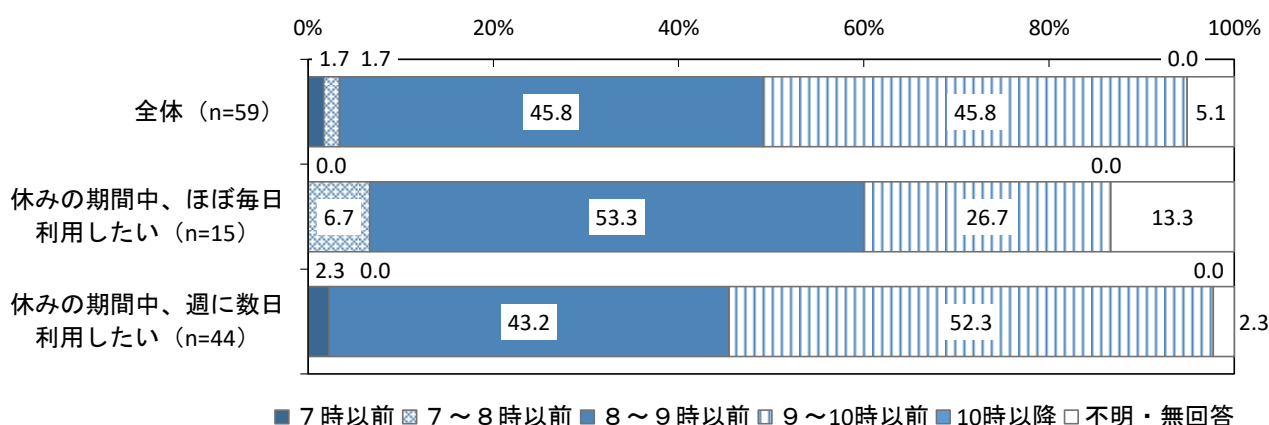
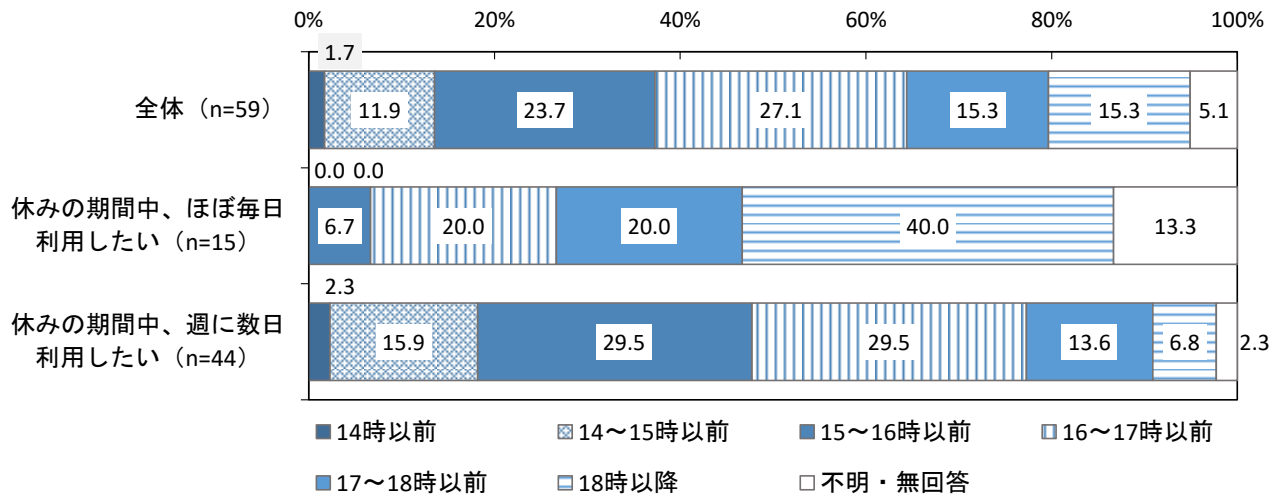


図 2-1-74 利用したい時間帯 終了時間



（６）地域の子育て支援事業の利用状況について

問 26	宛名のお子さんは、現在、子育て支援センターを利用していますか。 (あてはまるものすべてに○)
------	---

地域の子育て支援事業の利用状況については、「利用していない」が 79.5%で最も高く、次いで「子育て支援センターを利用している」が 17.2%、「伊賀市が実施している他の類似事業を利用している」が 2.4%となっています。

年齢別にみると、「利用していない」では、年齢が上がるにつれて概ね割合が高くなり、4歳が 97.6%で最も高く、一方、「子育て支援センターを利用している」では、年齢が下がるにつれて割合が高くなり、0歳が 43.3%で最も高くなっています。

地区別でみると、「子育て支援センターを利用している」では、島ヶ原地区が 31.6%で最も高く、次いで阿山地区が 21.3%、伊賀地区が 18.3%と続いています。

また、利用している人の1か月当たり平均利用回数について、「子育て支援センターを利用している」では、「1回」が 31.3%で最も高く、「伊賀市が実施している他の類似事業を利用している」では、「1回」が 25.0%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「子育て支援センターを利用している」、「伊賀市が実施している他の類似事業を利用している」がそれぞれ前回調査より割合が減少し、「利用していない」の割合が増加しています。

年齢別でみると、0歳では、「利用していない」の割合が減少し、「子育て支援センターを利用している」の割合が増加しているのに対し、1～4歳では「利用していない」の割合が増加し「子育て支援センターを利用している」の割合が減少しています。

図 2-1-75 子育て支援センターの利用状況

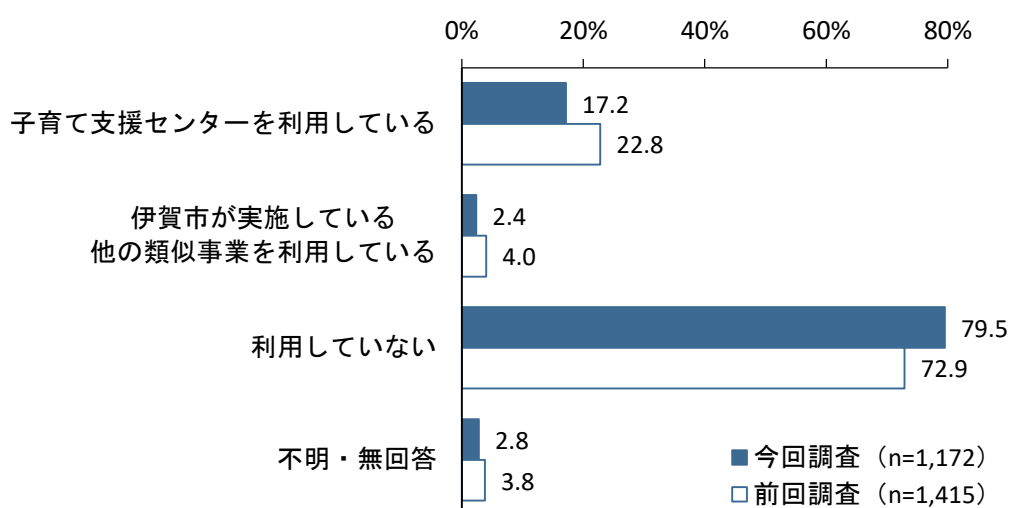


表 2-1-12 子育て支援センターの利用状況【年齢別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	子育て支援センターを利用している	伊賀市が実施している他の類似事業を利用している	利用していない
0 歳	今回調査	238 100.0	103 43.3	16 6.7	133 55.9
	前回調査	275 100.0	109 39.6	28 10.2	162 58.9
1 歳	今回調査	161 100.0	54 33.5	5 3.1	107 66.5
	前回調査	177 100.0	82 46.3	12 6.8	93 52.5
2 歳	今回調査	162 100.0	26 16.0	5 3.1	134 82.7
	前回調査	197 100.0	66 33.5	9 4.6	131 66.5
3 歳	今回調査	177 100.0	9 5.1	1 0.6	167 94.4
	前回調査	208 100.0	32 15.4	6 2.9	174 83.7
4 歳	今回調査	209 100.0	4 1.9	1 0.5	204 97.6
	前回調査	222 100.0	24 10.8	1 0.5	198 89.2
5 歳	今回調査	185 100.0	5 2.7	-	180 97.3
	前回調査	269 100.0	7 2.6	-	262 97.4

※網掛け■は最も割合が高いもの

表 2-1-13 子育て支援センターの利用状況【地区別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

	全体	子育て支援センターを利用している	伊賀市が実施している他の類似事業を利用している	利用していない	不明・無回答
上野	770 100.0	130 16.9	18 2.3	612 79.5	25 3.2
伊賀	120 100.0	22 18.3	6 5.0	95 79.2	2 1.7
島ヶ原	19 100.0	6 31.6	1 5.3	12 63.2	0 0.0
阿山	75 100.0	16 21.3	0 0.0	58 77.3	1 1.3
大山田	59 100.0	6 10.2	2 3.4	50 84.7	2 3.4
青山	83 100.0	12 14.5	1 1.2	68 81.9	3 3.6

※網掛け■は最も割合が高いもの

図 2-1-76 子育て支援センターの 1 か月当たり平均利用回数

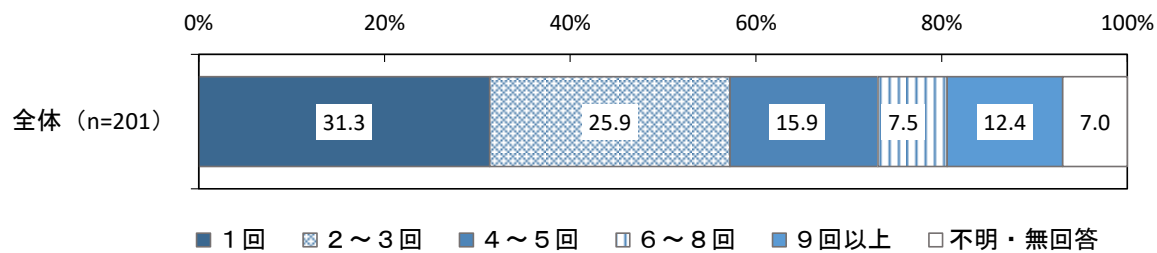
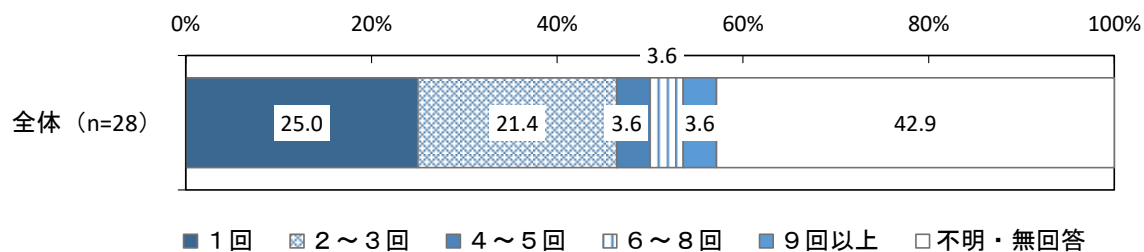


図 2-1-77 伊賀市が実施している他の類似事業の 1 か月当たり平均利用回数



問 27	問 26 のような地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（〇はひとつ）
------	---

子育て支援センターを今後利用したいかどうか、利用日数を増やしたいかどうかについては、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 72.1%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 13.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 7.7%となっています。

年齢別にみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」では、年齢が上がるにつれて概ね割合が高くなり、4歳が 89.9%で最も高く、一方、「利用していないが、今後利用したい」では、0～4歳で年齢が下がるにつれて割合が高くなり、0歳が 23.8%で最も高くなっています。

また、利用している人の1か月当たり平均利用回数について、「利用していないが、今後利用したい」では、「2～3回」が 29.4%で最も高く、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」では、「2～3回」が 30.0%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」がそれぞれ前回調査より割合が減少し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が増加しています。

年齢別でみると、全ての年齢で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が増加し、「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が減少しています。

図 2-1-78 子育て支援センターを今後利用したいかどうか、利用日数を増やしたいかどうか

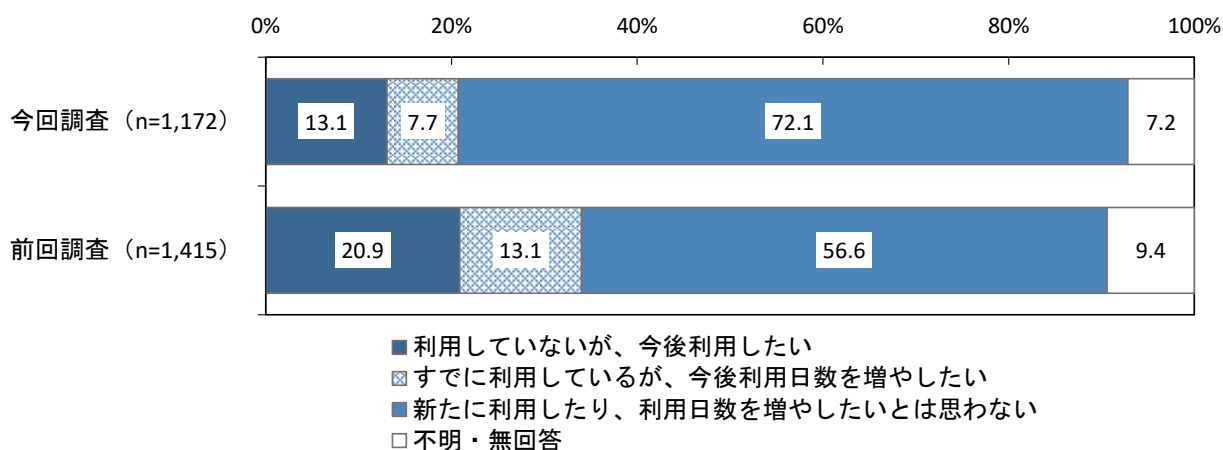


表 2-1-14 子育て支援センターを今後利用したいかどうか、利用日数を増やしたいかどうか

【年齢別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
0 歳	今回調査	227 100.0	54 23.8	51 22.5	122 53.7
	前回調査	261 100.0	109 41.8	75 28.7	77 29.5
1 歳	今回調査	155 100.0	24 15.5	24 15.5	107 69.0
	前回調査	167 100.0	37 22.2	48 28.7	82 49.1
2 歳	今回調査	158 100.0	20 12.7	8 5.1	130 82.3
	前回調査	189 100.0	44 23.3	28 14.8	117 61.9
3 歳	今回調査	166 100.0	17 10.2	4 2.4	145 87.3
	前回調査	199 100.0	42 21.1	13 6.5	144 72.4
4 歳	今回調査	198 100.0	19 9.6	1 0.5	178 89.9
	前回調査	201 100.0	27 13.4	14 7.0	160 79.6
5 歳	今回調査	178 100.0	19 10.7	2 1.1	157 88.2
	前回調査	253 100.0	35 13.8	5 2.0	213 84.2

※網掛け■は最も割合が高いもの

図 2-1-79 利用していないが今後利用したい方の子育て支援センターの希望利用回数

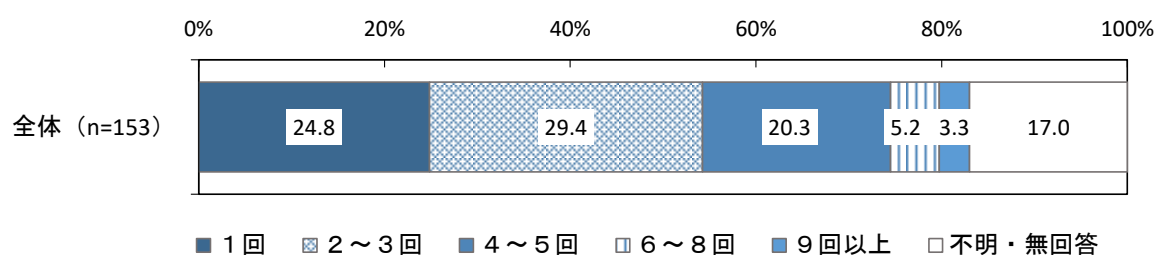
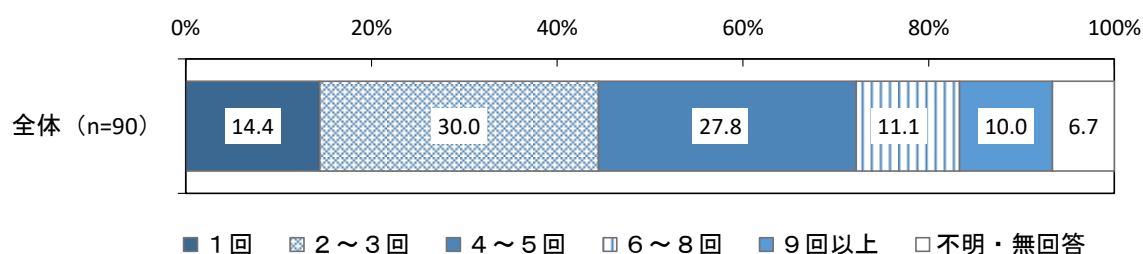


図 2-1-80 利用しており今後利用日数を増やしたい方の子育て支援センターの希望利用回数



問 28	下の①～⑦の事業等の（１）認知度・利用度、（２）利用意向について、あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。
------	---

①認知度・利用度

事業等の認知度・利用度について、認知度（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の合計）は、「新生児訪問・赤ちゃん訪問」が95.2%で最も高く、次いで「乳幼児相談」が91.9%、「離乳食教室」が91.6%と続いています。

前回調査と比較すると、認知度については、①～⑤の事業で前回調査よりも割合が増加しています。

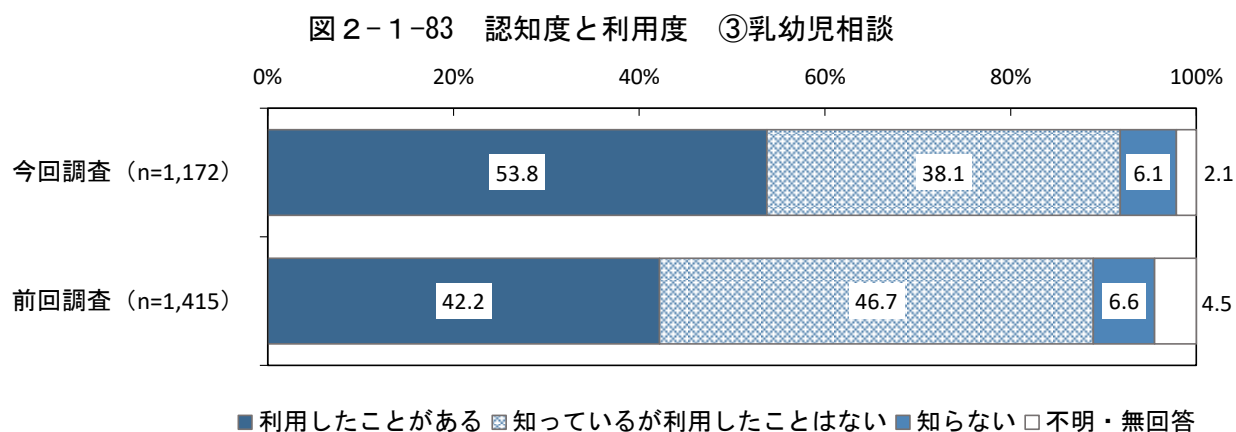
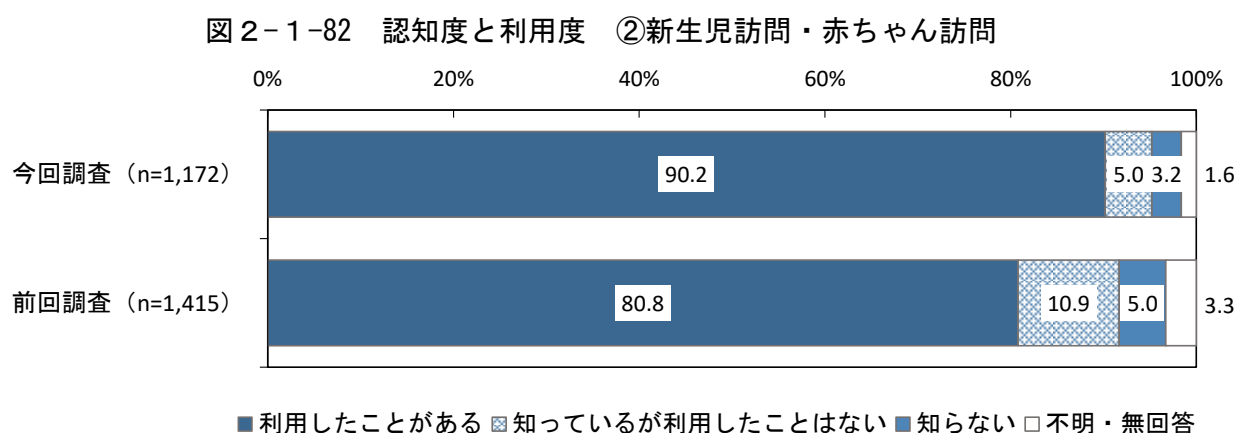
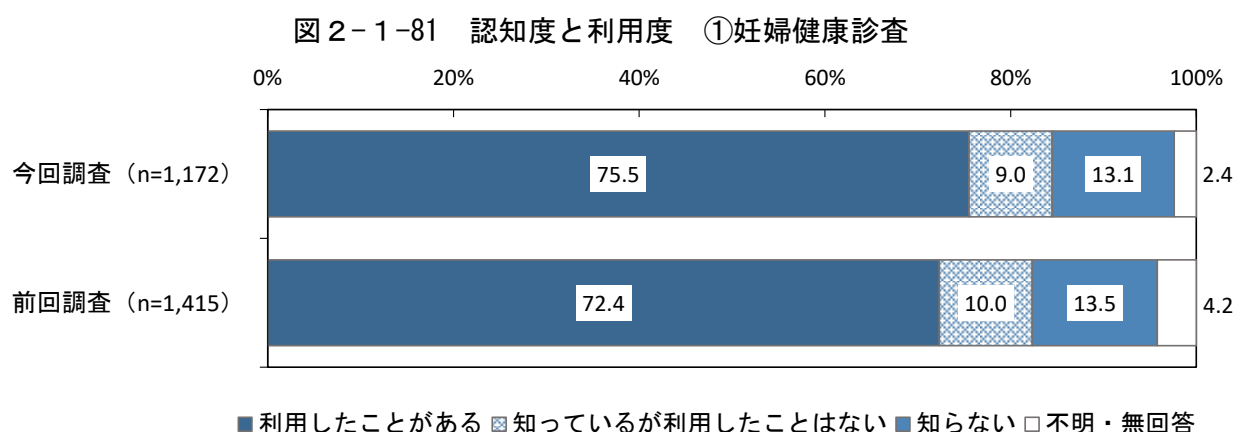


図 2-1-84 認知度と利用度 ④離乳食教室

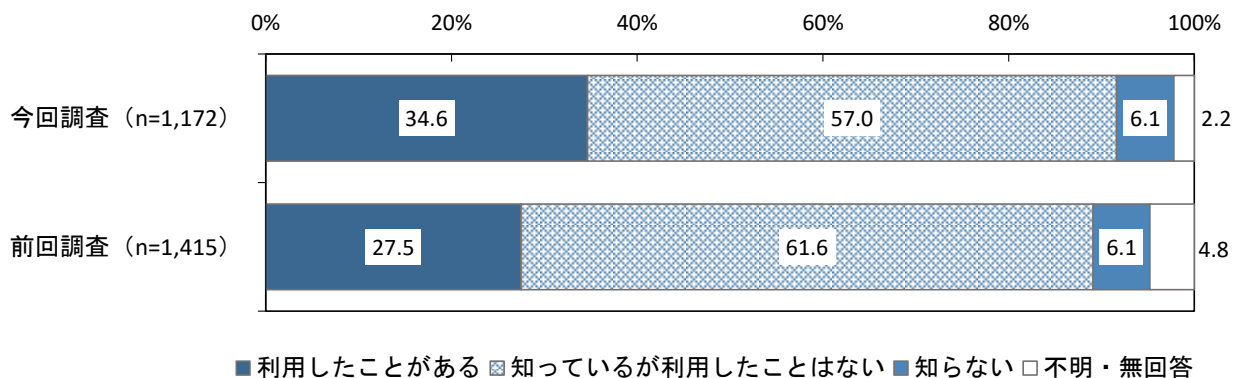


図 2-1-85 認知度と利用度 ⑤食育教室

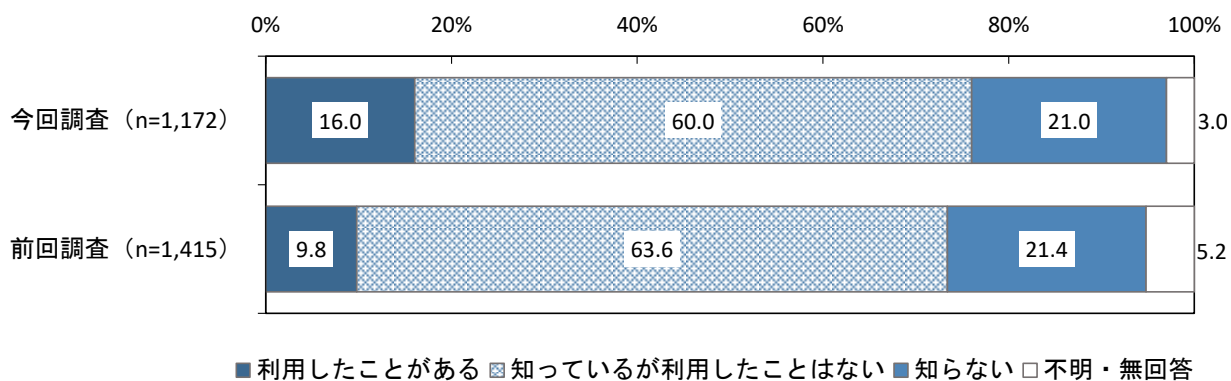


図 2-1-86 認知度と利用度 ⑥子育て支援サイト「伊賀流未来応援の術」

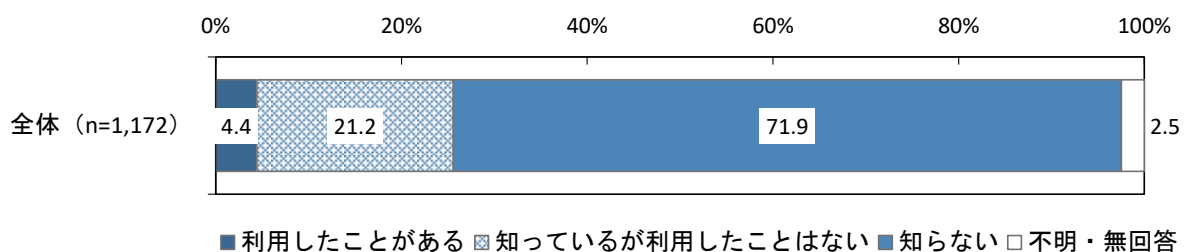
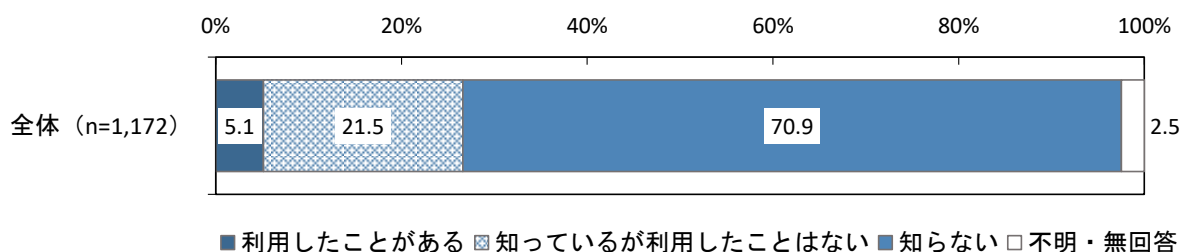


図 2-1-87 認知度と利用度 ⑦子育てガイドブック「伊賀流未来応援の術」



②利用意向

事業等の利用意向について、「今後、利用してみたい」では、「新生児訪問・赤ちゃん訪問」が44.0%で最も高く、次いで「妊婦健康診査」が42.6%、「乳幼児相談」が41.7%と続いています。

前回調査と比較すると、①～⑤の事業で「今後、利用してみたい」が前回調査よりも割合が減少し、「利用する必要はない」が増加しています。

図 2-1-88 利用意向 ①妊婦健康診査

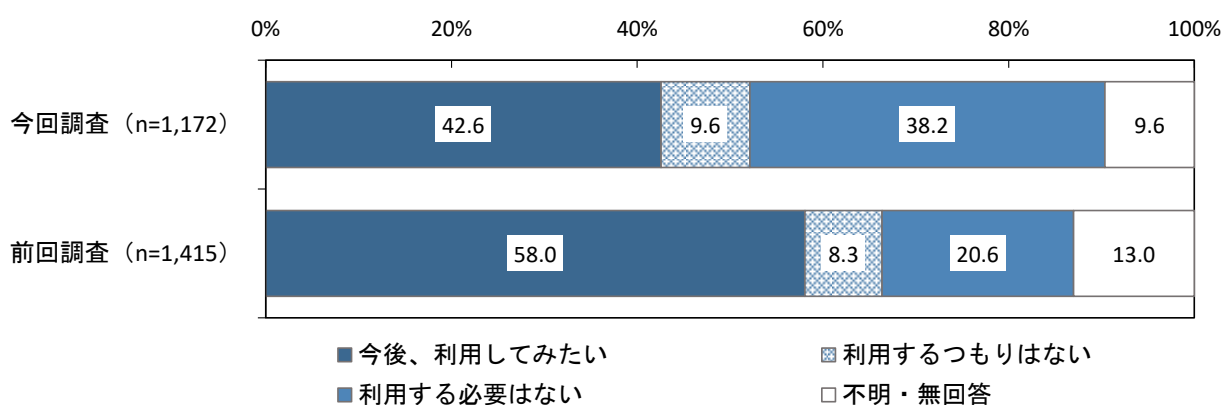


図 2-1-89 利用意向 ②新生児訪問・赤ちゃん訪問

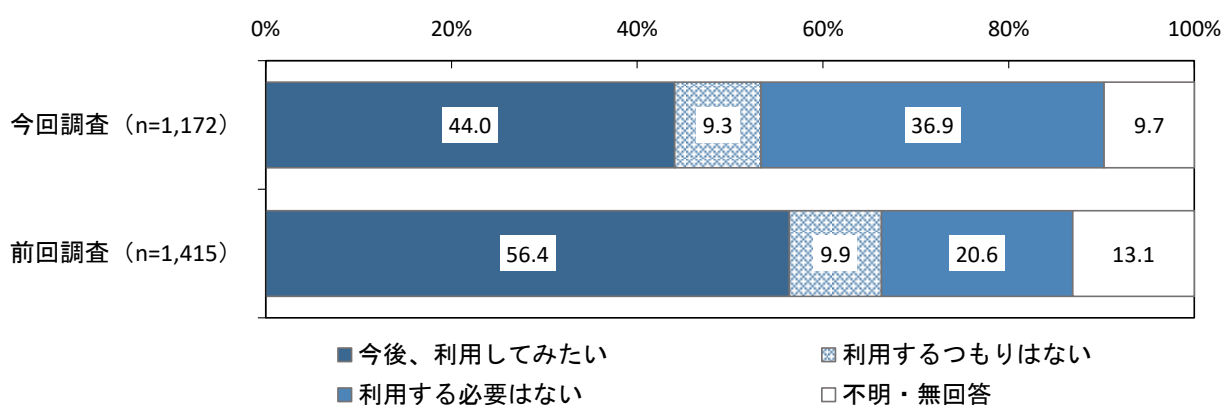


図 2-1-90 利用意向 ③乳幼児相談

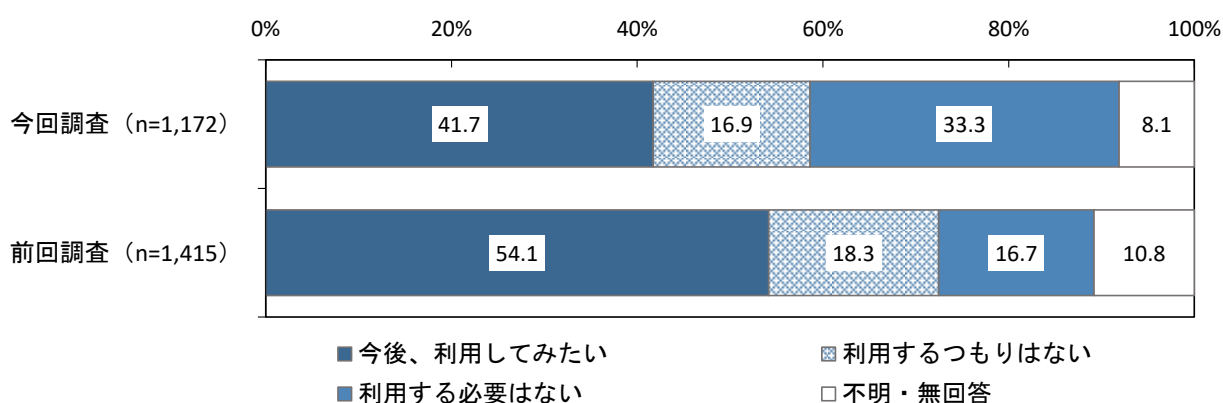


図 2-1-91 利用意向 ④離乳食教室

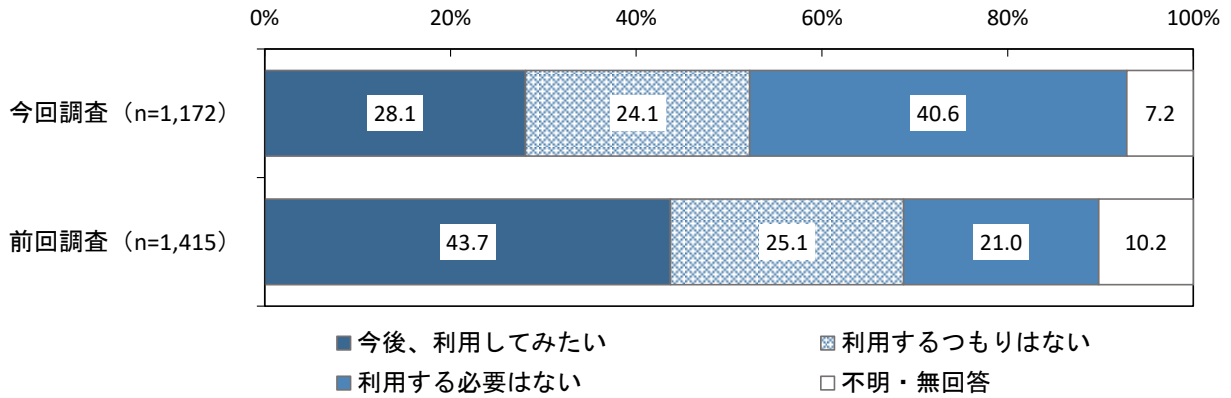


図 2-1-92 利用意向 ⑤食育教室

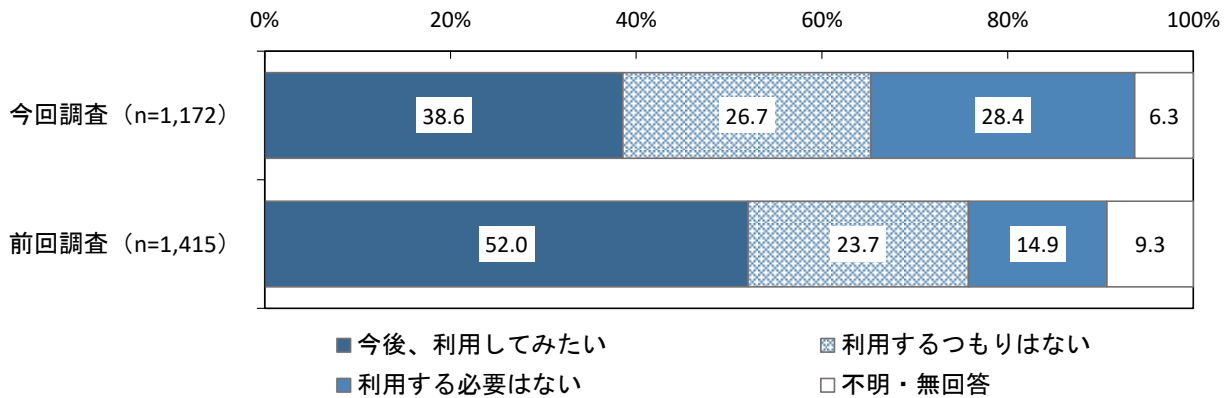


図 2-1-93 利用意向 ⑥子育て支援サイト「伊賀流未来応援の術」

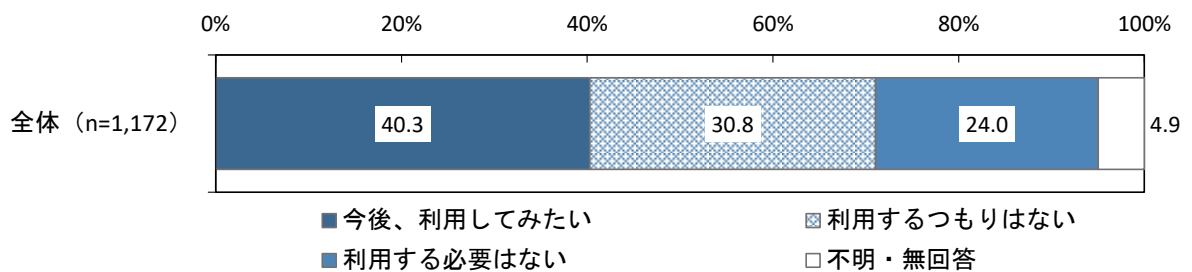
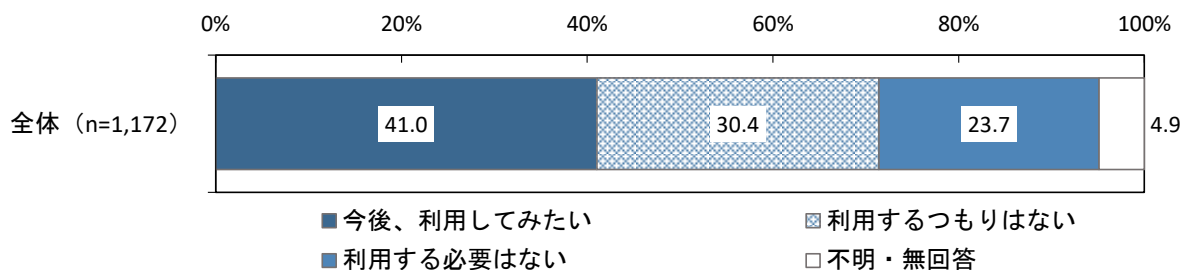


図 2-1-94 利用意向 ⑦子育てガイドブック「伊賀流未来応援の術」



（７）病気の際の対応について

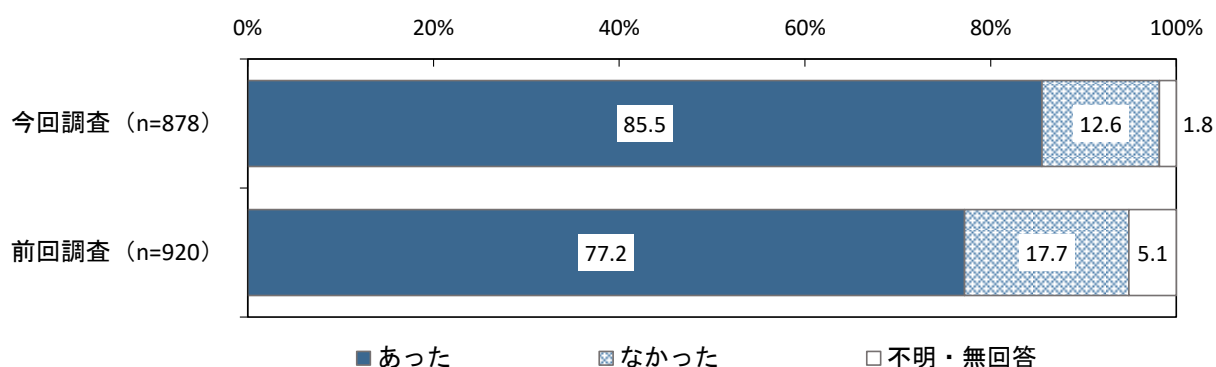
【平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 18 で「利用している」に○をつけた方）】

問 29	この１年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（○はひとつ）
------	---

この１年間にお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことがあったかについては、「あった」が 85.5%、「なかった」が 12.6%となっています。

前回調査と比較すると、「あった」では、前回調査（77.2%）よりも 8.3 ポイント増加しています。

図 2-1-95 この１年間にお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことがあったか



問 29ー①	宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)
--------	--

普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が84.3%で最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が39.8%、「父親が仕事を休んだ」が19.2%と続いています。

対処法別の平均日数については、「母親が仕事を休んだ」が6.7日で最も多く、次いで、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が5.6日、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が4.8日となっています。

前回調査と比較すると、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が前回調査(43.9%)より大きく割合が減少し、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」では16.0ポイント、「母親が仕事を休んだ」では15.8ポイント、「父親が仕事を休んだ」では4.0ポイントそれぞれ前回調査よりも増加しています。

図 2-1-96 普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に行った対処方法

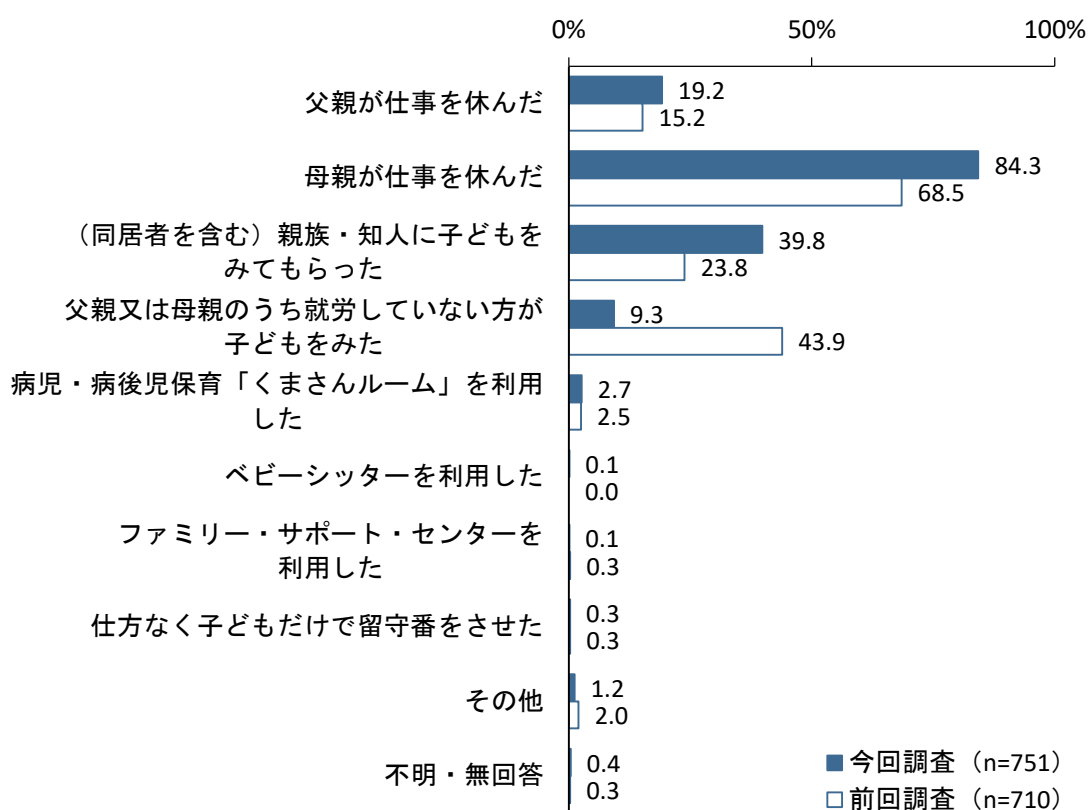


表 2-1-15 普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に行った対処方法

【対処法別平均日数】

	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
父親が仕事を休んだ	132	363	2.8	3.2
母親が仕事を休んだ	545	3,678	6.7	6.5
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	266	1,288	4.8	5.7
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	61	344	5.6	8.2
病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用した	16	41	2.6	4.4
ベビーシッターを利用した	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	1.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	6	3.0	1.0
その他	8	37	4.6	12.4

問 29-②	【問 29-①で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」いずれかに○をつけた方】 その際、病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したかったですか。 (どちらかに○)
--------	--

父親、母親が仕事を休んだ際に、病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したかったについては、「利用したいとは思わなかった」が 87.5%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が 11.7%となっています。

また、病児・病後児保育施設等を利用したい平均日数（1年間あたり）は 5.6 日となっています。

前回調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」では、前回調査（13.7%）より 2.0 ポイント減少しています。

図 2-1-97 病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したかったかどうか

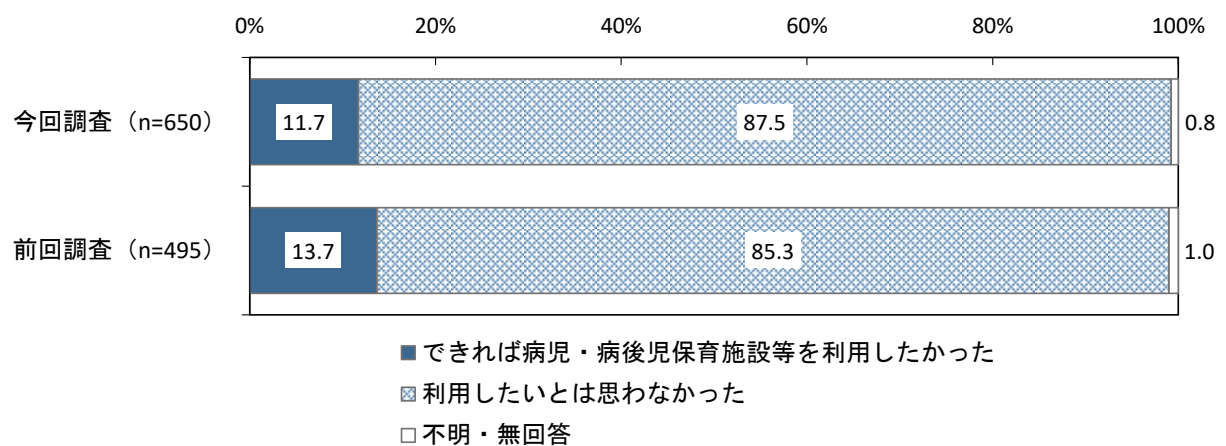


表 2-1-16 病児・病後児保育施設等を利用したい平均日数

	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった	67	377	5.6	5.0

問 29－③	【問 29－②で「利用したいとは思わなかった」に○をつけた方】 そう思われる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
--------	---

病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したいとは思わなかった理由については、「親が仕事を休んで対応する」が 59.2%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 43.4%、「利用料がかかる・高い」が 22.1%と続いています。

また、「事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」の、利用したい時間帯については、希望利用開始時間は「8:00～8:30 以前」が 44.0%で最も高く、希望利用終了時間は「18:00～18:30 以前」が 44.0%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」、「その他」以外の項目で前回調査よりも割合が増加しています。

図 2-1-98 病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したいとは思わなかった理由

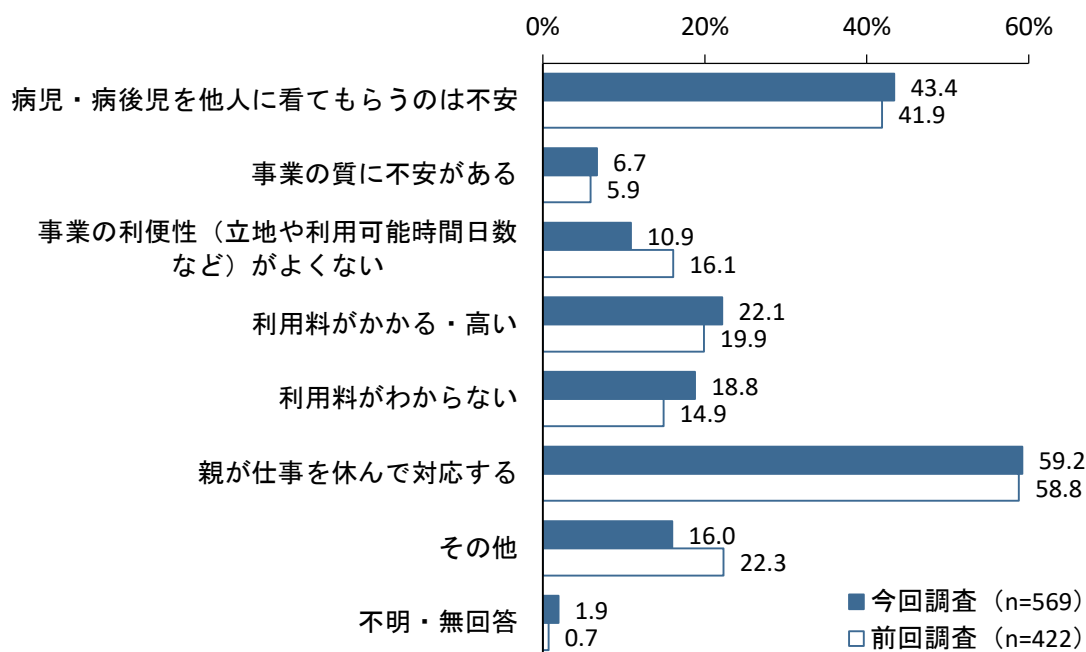


図 2-1-99 利用したい時間帯 利用開始時間

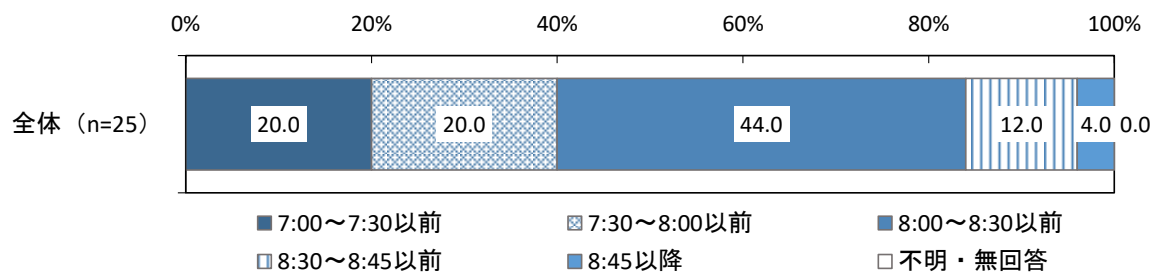
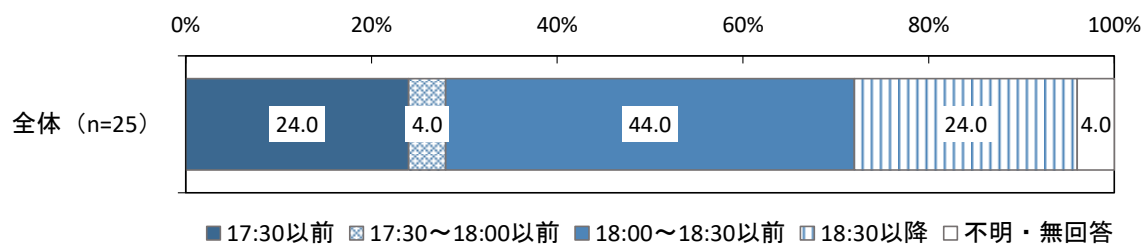


図 2-1-100 利用したい時間帯 利用終了時間



（８）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 30	宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）
------	--

日中の定期的な保育や病気のため以外に、不定期に利用している事業については、「利用していない」が 91.1%で最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 3.6%、「一時預かり」が 2.2%と続いています。

また、利用している事業の平均日数については、「幼稚園の預かり保育」が 33.1 日で最も多く、次いで、「一時預かり」が 15.0 日となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」では、前回調査（86.3%）より 4.8 ポイント増加しています。

図 2-1-101 不定期に利用している事業

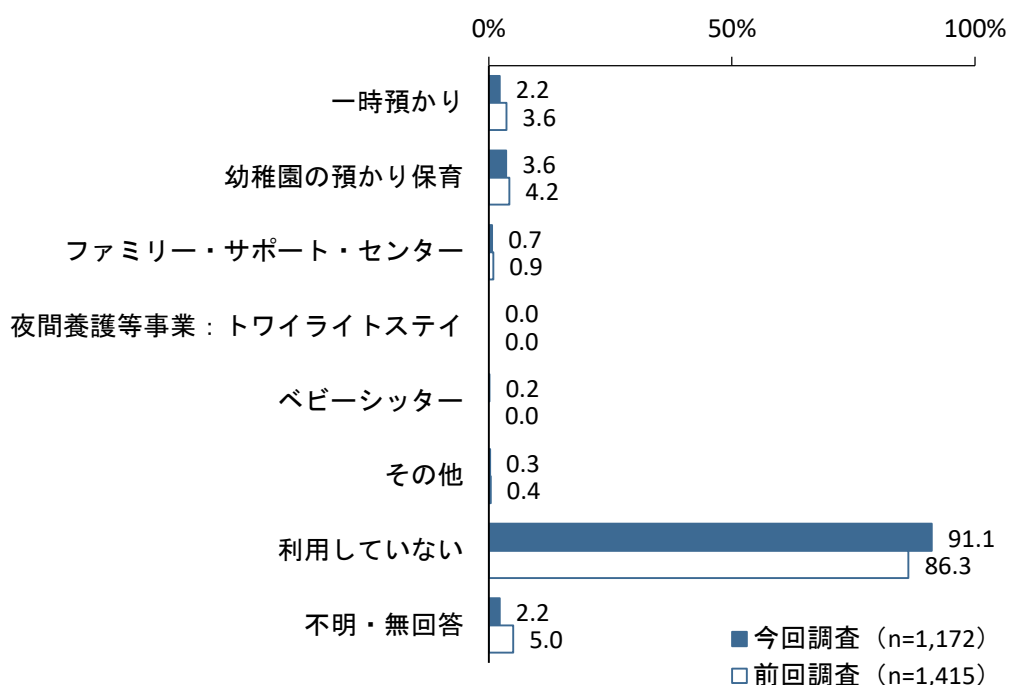


表 2-1-17 不定期に利用している事業の 1 年間の利用平均日数

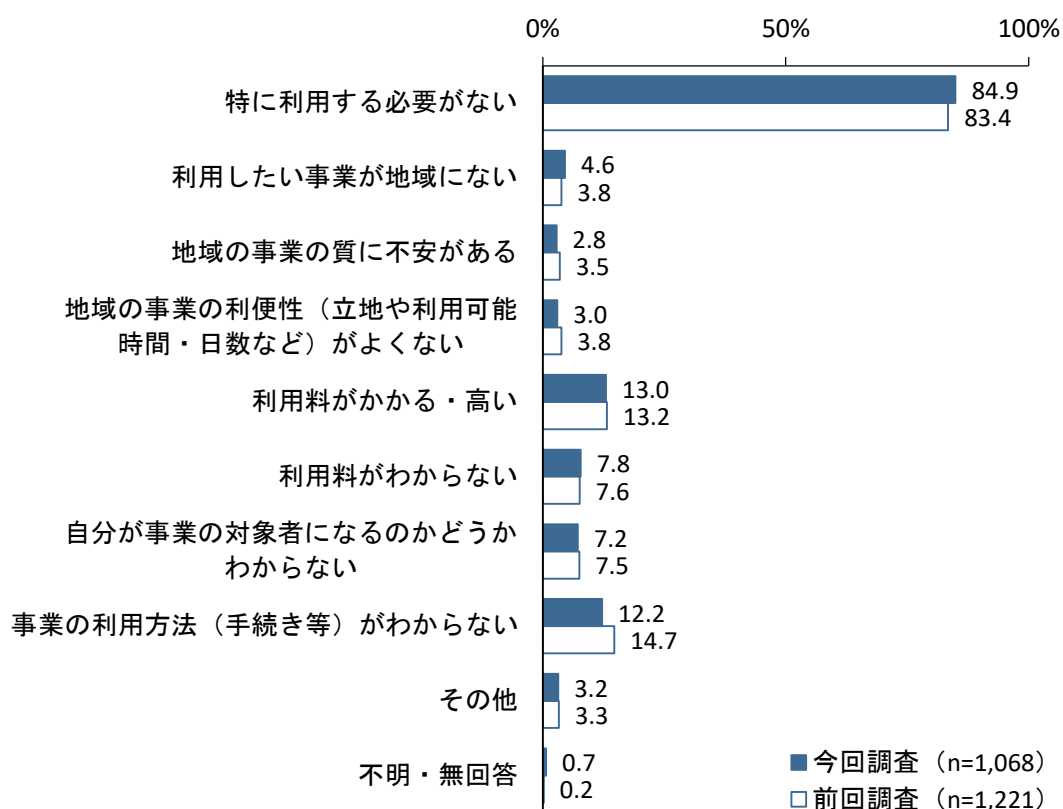
	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
一時預かり	21	315	15.0	23.6
幼稚園の預かり保育	36	1,191	33.1	16.6
ファミリー・サポート・センター	6	17	2.8	10.4
夜間養護等事業：トワイライトステイ	-	-	-	-
ベビーシッター	2	6	3.0	-
その他	2	13	6.5	33.0

問 30—①	【問 30 で「利用していない」に○をつけた方】 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
--------	---

不定期で教育・保育事業を利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が 84.9%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 13.0%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 12.2%と続いています。

前回調査と比較すると、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」では、前回調査（14.7%）より 2.5 ポイント減少し、「特に利用する必要がない」では、前回調査（84.9%）より 1.5 ポイント増加しています。

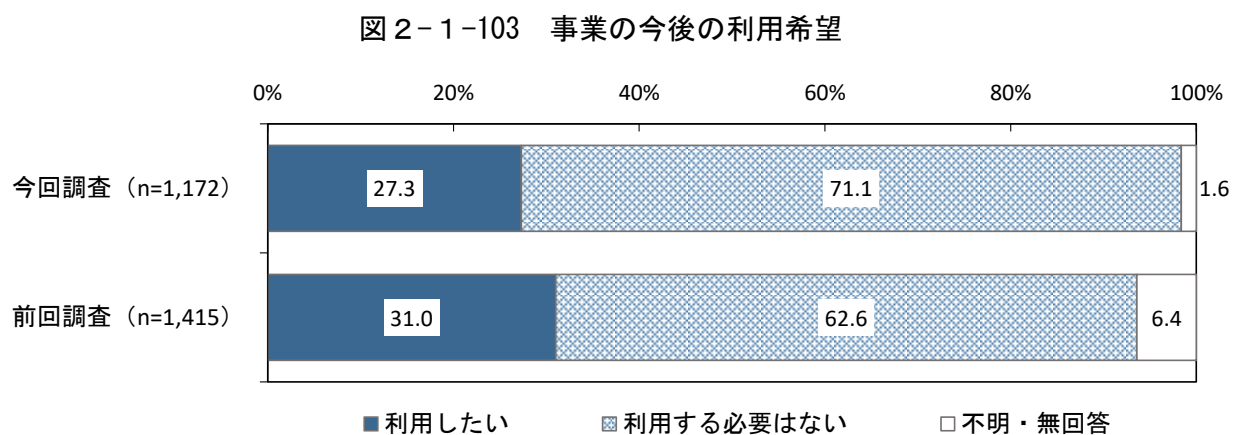
図 2-1-102 事業を利用していない理由



問 31	宛名のお子さんについて、問 30 のような事業を利用したいと思いますか。 (どちらかに○)
------	--

事業の今後の利用希望については、「利用する必要はない」が 71.1%、「利用したい」が 27.3% となっています。

前回調査と比較すると、「利用したい」では、前回調査（31.0%）より 3.7 ポイント減少しています。



問 31-①	【問 31 で「利用したい」に○をつけた方】 事業を利用する場合、それぞれ年間何日くらい利用する必要があると思いますか。（あてはまるものすべてに○をし、目的別に（ ）内に日数を記入してください。）
--------	--

不定期で事業を利用する目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 65.9%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 52.5%、「不特定の就労」が 29.7%と続いています。

また、事業利用の目的別平均日数については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 15.6 日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 7.3 日、「不特定の就労」が 20.4 日となっています。

前回調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」は前回調査より割合が増加し、「不特定の就労」は前回調査より割合が減少しています。

図 2-1-104 事業を利用する目的

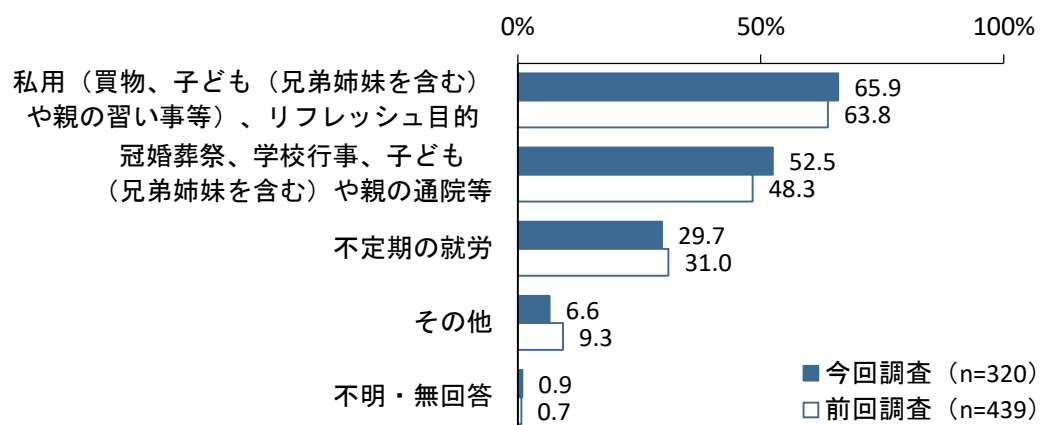


表 2-1-18 目的別利用希望平均日数

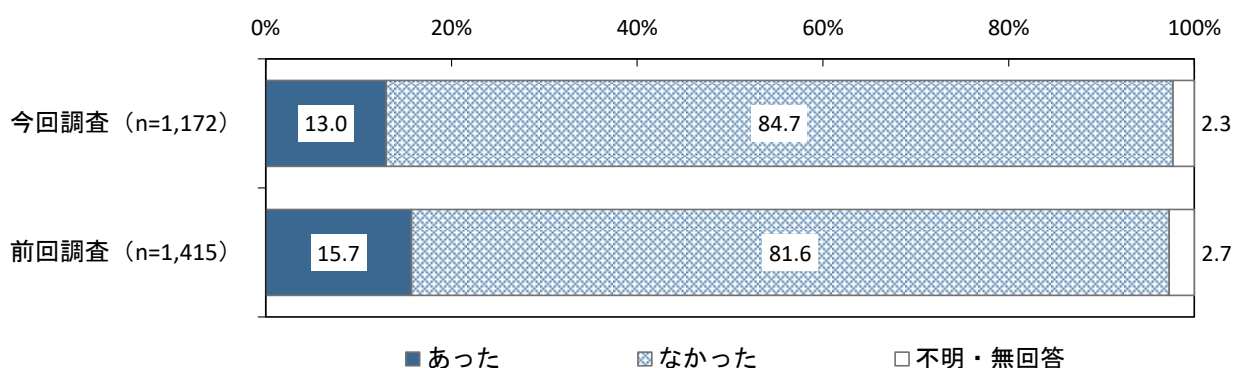
	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
私用、リフレッシュ目的	187	2,921	15.6	13.6
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	143	1,050	7.3	7.3
不特定の就労	82	1,672	20.4	32.6
その他	17	455	26.8	40.1

問 32	この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（どちらかに○）
------	---

この1年間に、保護者の用事でお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについては、「なかった」が 84.7%、「あった」が 13.0%となっています。

前回調査と比較すると、「あった」では、前回調査（15.7%）より 2.7 ポイント減少しています。

図 2-1-105 この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかどうか



問 32-①	【問 32 で「あった」に○をつけた方】 この１年間に行った対処方法は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
--------	---

この１年間に、保護者の用事でお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった際の対処方法については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が 86.8%で最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 19.7%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」、「その他」がいずれも 1.3%と続いています。

また、対処方法別の平均日数については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」では 4.2 日、「仕方なく子どもを同行させた」では 1.7 日となっています。

前回調査と比較すると、「仕方なく子どもを同行させた」では、前回調査（14.0%）より 5.7 ポイント増加しています。

図 2-1-106 この１年間に行った対処方法

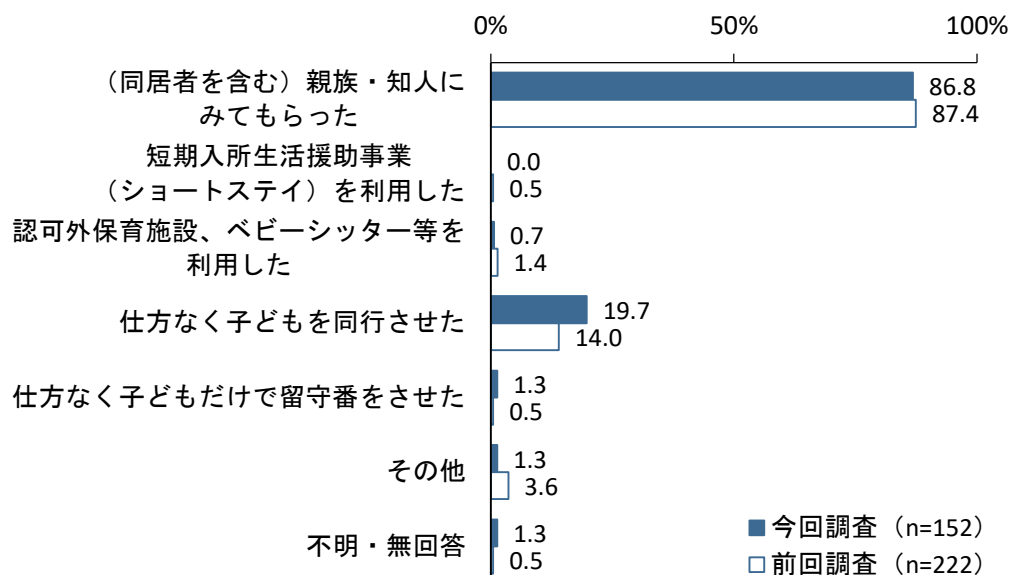


表 2-1-19 対処法別平均日数

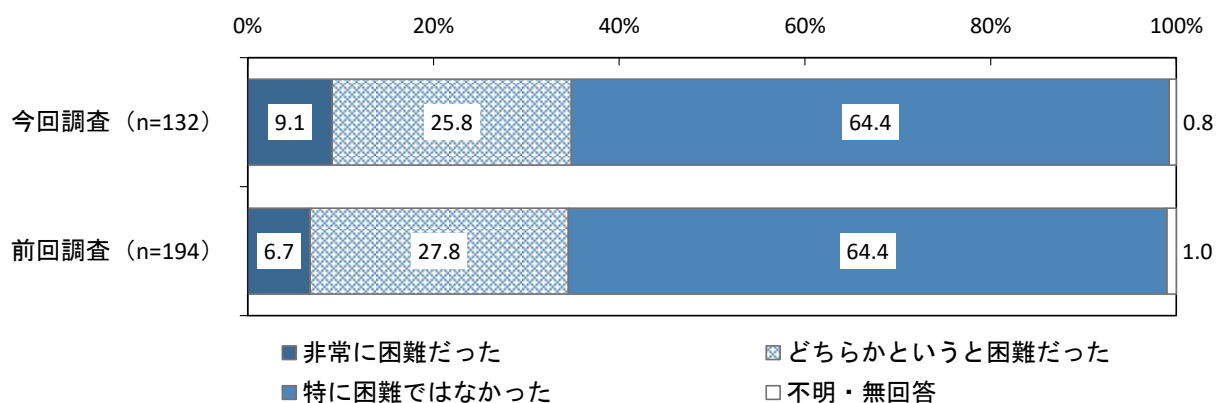
	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	105	441	4.2	6.8
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	-	-	-	-
認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	1	3	3.0	1.0
仕方なく子どもを同行させた	24	41	1.7	2.2
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	2	2.0	-
その他	2	5	2.5	3.3

問 32-②	【問 32-①で「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方】 その場合の困難度はどの程度でしたか。(○はひとつ)
--------	--

この1年間に、保護者の用事でお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった際、(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった場合の困難度については、「特に困難ではなかった」が64.4%で最も高く、次いで「どちらかというと困難だった」が25.8%、「非常に困難だった」が9.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「非常に困難だった」では、前回調査(6.7%)より2.4ポイント増加しています。

図 2-1-107 親族・知人にみてもらった場合の困難度



（９）育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

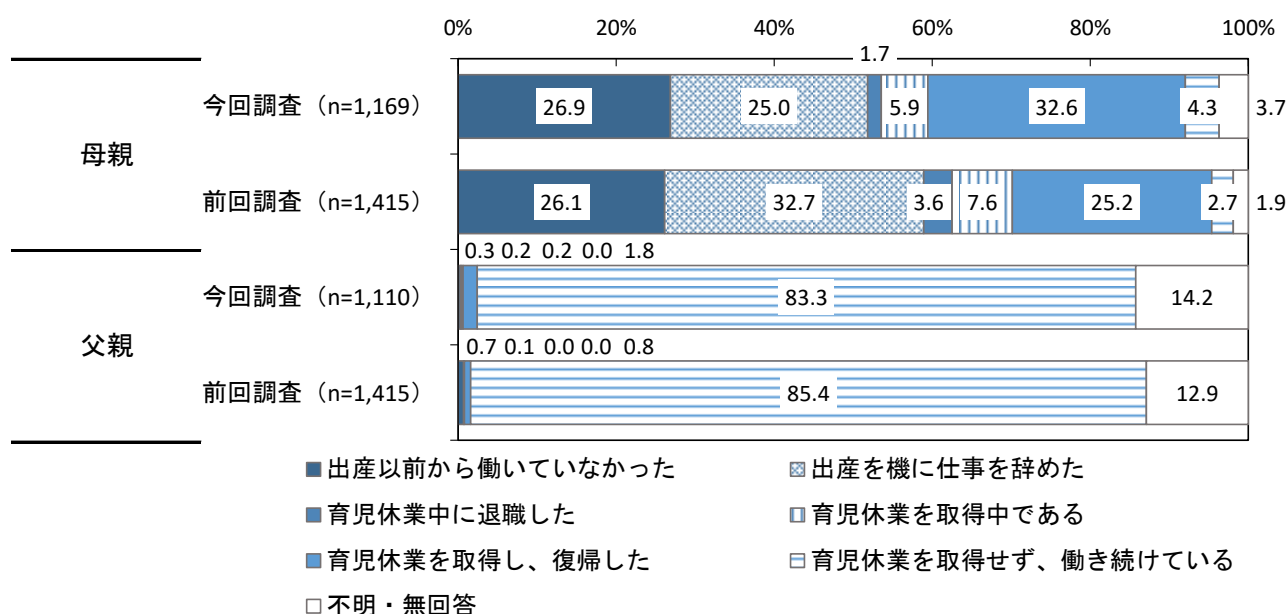
問 33	宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。①母親、②父親、それぞれについてお答えください。 (〇はひとつずつ)
------	--

育児休業を取得したかどうかについて、母親では、「育児休業を取得し、復帰した」が 32.6% で最も高く、次いで「出産以前から働いていなかった」が 26.9%、「出産を機に仕事を辞めた」が 25.0%と続いており、育児休業取得経験のある人（「育児休業を取得中である」と「育児休業を取得し、復帰した」の合計）は 38.5%となっています。

一方、父親では、「育児休業を取得せず、働き続けている」が 83.3%で最も高く、次いで「育児休業を取得し、復帰した」が 1.8%、「出産以前から働いていなかった」が 0.3%と続いており、育児休業取得経験のある人は 1.8%となっています。

前回調査と比較すると、母親では、「出産を機に仕事を辞めた」が前回調査（32.7%）より 7.7 ポイント減少し、「育児休業を取得し、復帰した」が前回調査（25.2%）より 7.4 ポイント増加しており、育児休業取得経験のある人は前回調査（32.8%）より 5.7 ポイント増加しています。

図 2-1-108 育児休業の取得状況



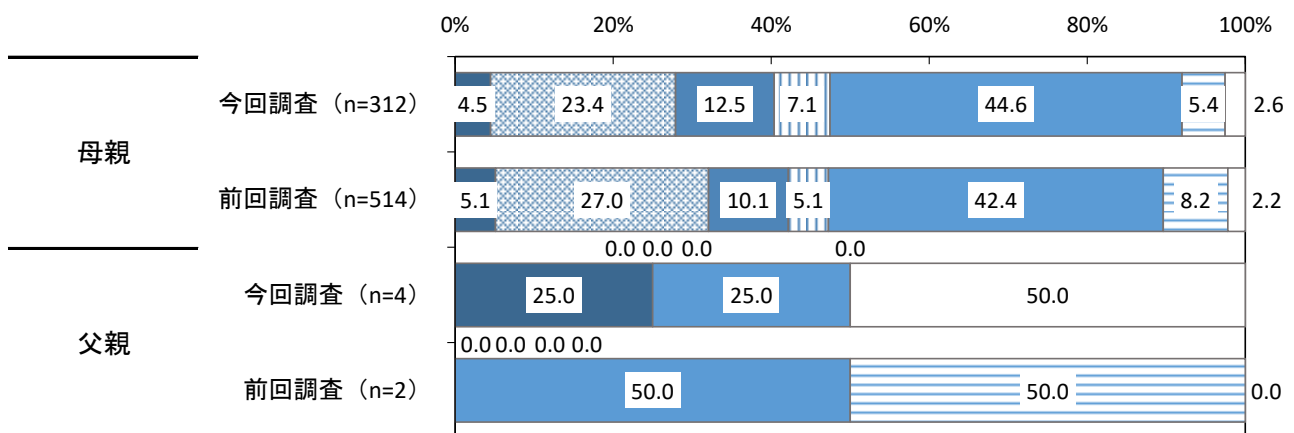
問 34	【問 33 で「出産を機に仕事を辞めた」「育児休業中に退職した」に○をつけた方】 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。（もっとも近いものひとつに○）
------	---

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続したかどうかについて、母親では、「いずれにしてもやめていた」が 44.6%で最も高く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が 23.4%、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」が 12.5%と続いています。

一方、父親では、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」、「いずれにしてもやめていた」がいずれも 25.0%となっています。

前回調査と比較すると、母親では、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が前回調査より最も割合が減少しており 3.6 ポイント減で、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」が前回調査より最も割合が増加しており 2.4 ポイント増となっています。

図 2-1-109 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続したかどうか



■ 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた

■ 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた

■ 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた

□ 家族の考え方(親族の理解が得られない)等、就労する環境が整っていないので離職した

■ いずれにしてもやめていた

□ その他

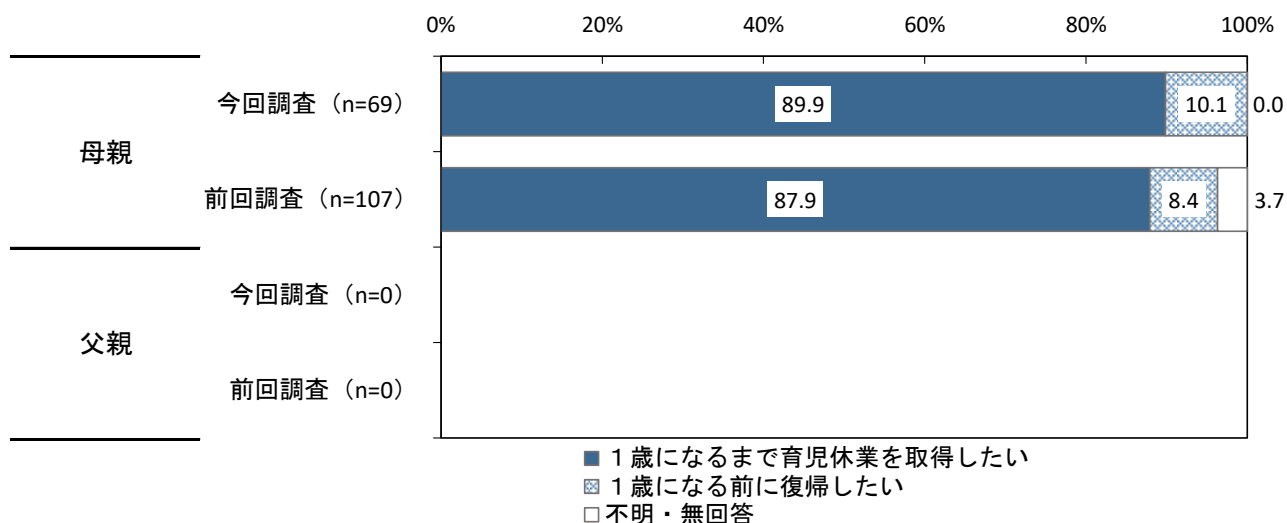
□ 不明・無回答

問 35	【問 33 で「育児休業を取得中である」に○をつけた方】 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（どちらかに○）
------	---

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについて、母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が89.9%、「1歳になる前に復帰したい」が10.1%となっています。

前回調査と比較すると、母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」では、前回調査（87.9%）より2.0ポイント増加しています。

図 2-1-110 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかどうか

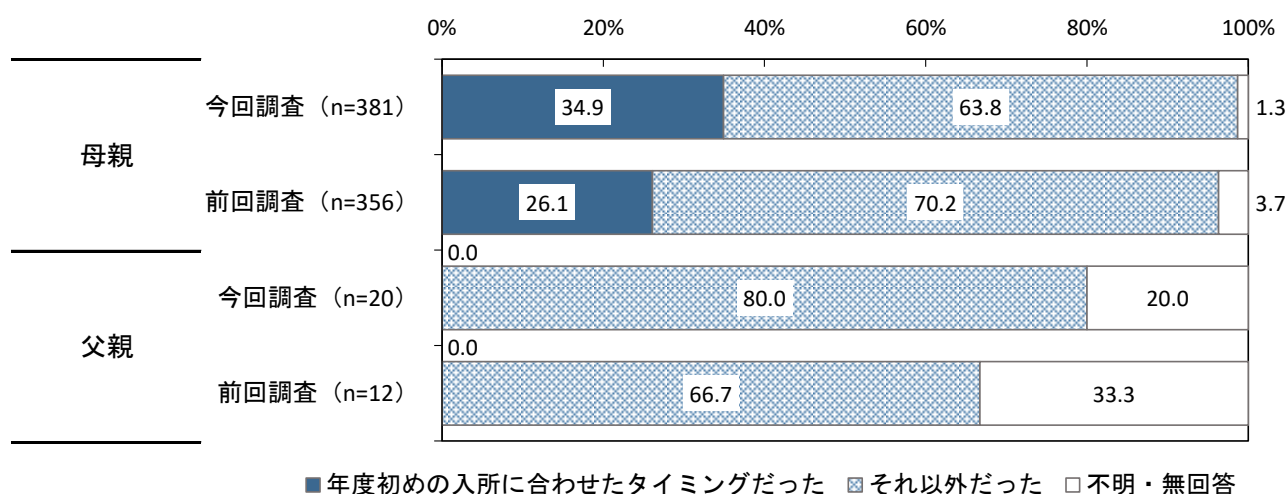


問 36ー①	【問 33 で「育児休業を取得し復帰した」に○をつけた方】 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（どちらかに○）
--------	--

育児休業から職場に復帰したタイミングは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングだったかどうかについて、母親では、「それ以外だった」が 63.8%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 34.9%で、一方、父親では、「それ以外だった」が 80.0%となっています。

前回調査と比較すると、母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が前回調査（26.1%）より 8.8 ポイント増加しています。

図 2-1-111 育児休業から職場に復帰したタイミングは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングだったかどうか



問 36-②	育児休業からは、(ア)「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、(イ)「希望」としては、何歳何か月のときまで取りたかったですか。
--------	---

実際に育児休業から職場に復帰した際のお子さんの年齢について、母親では、「1歳～1歳6か月未満」が47.5%で最も高く、父親では、「6か月未満」が65.0%で最も高くなっています。

また、希望した職場復帰時期について、母親では、「3歳以上」が26.0%で最も高く、父親では、「6か月未満」が45.0%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、実際の職場復帰時期について、母親では、「6か月～1歳未満」が前回調査（55.3%）より29.3ポイント減少し、「1歳～1歳6か月未満」が前回調査（15.4%）より32.1ポイント増加しています。

図2-1-112 実際の職場復帰時期（子どもの年齢）

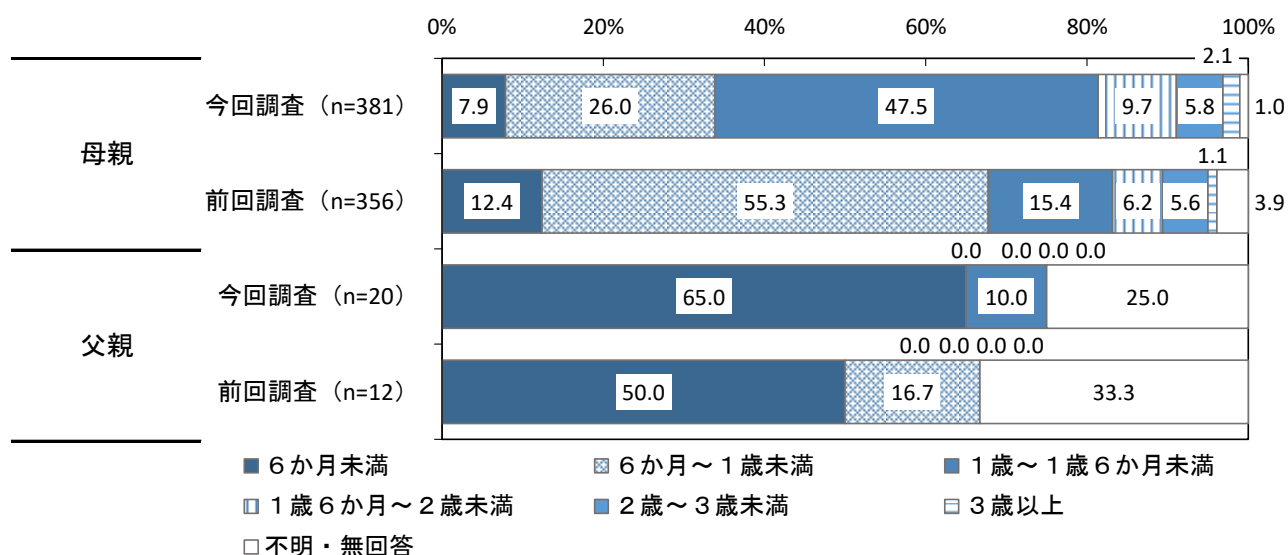
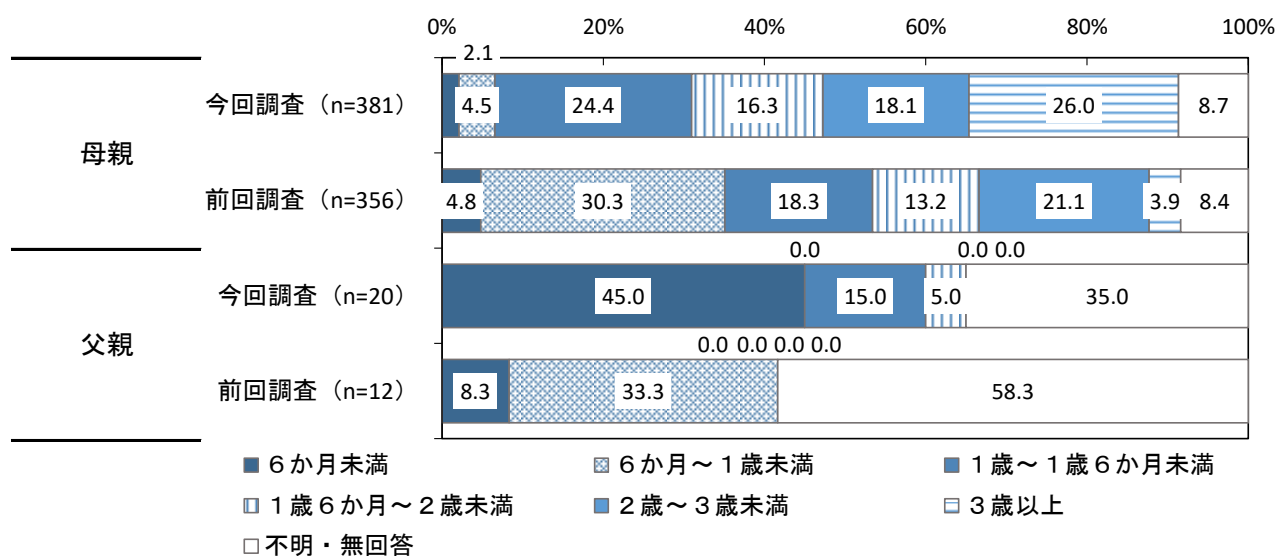


図2-1-113 希望した職場復帰時期（子どもの年齢）



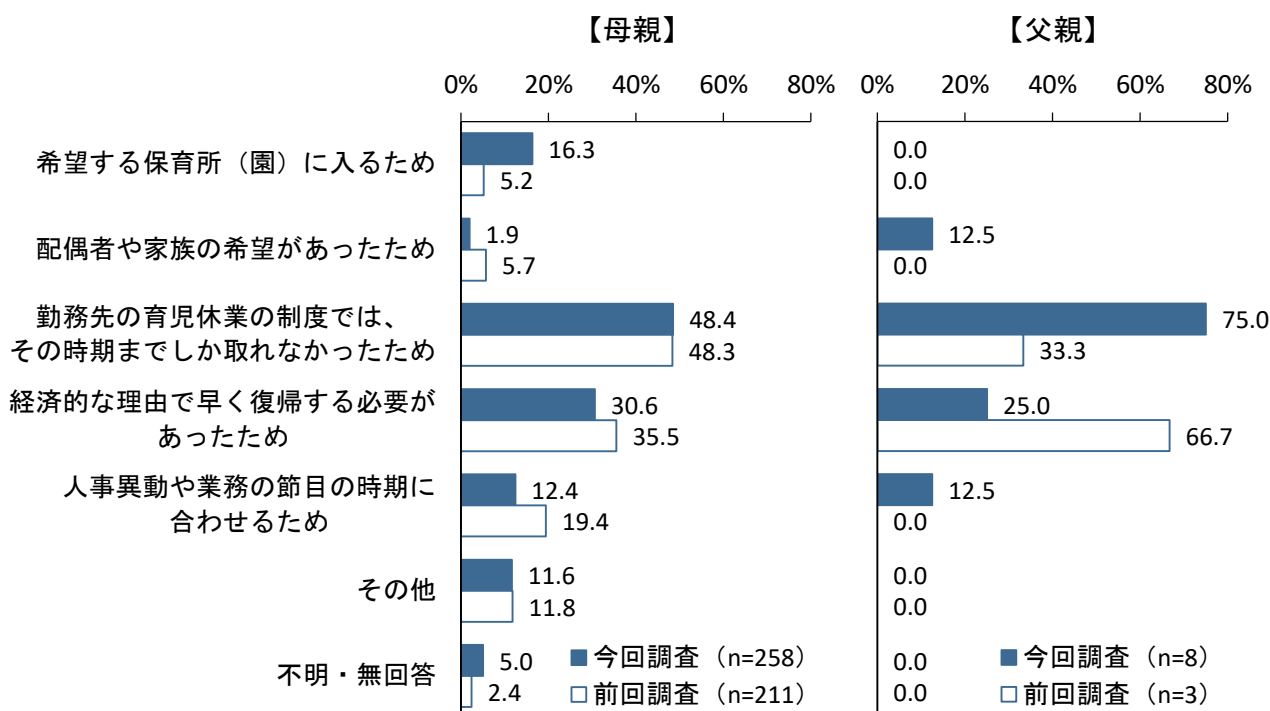
問 36－③	【問 36－②で実際の復帰と希望が異なる方】 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)
--------	--

(A)「希望」より早く復帰した方

希望の時期より早く復帰した理由について、母親では、「勤務先の育児休業の制度では、その時期までしか取れなかったため」が 48.4%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 30.6%、「希望する保育所（園）に入るため」が 16.3%と続いており、一方、父親では、「勤務先の育児休業の制度では、その時期までしか取れなかったため」が 75.0%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 25.0%と続いています。

前回調査と比較すると、母親では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が前回調査（19.4%）より最も割合が減少しており 7.0 ポイント減で、「希望する保育所（園）に入るため」が前回調査（5.2%）より最も割合が増加しており 11.1 ポイント増となっています。

図 2-1-114 育児休業から希望より早く職場復帰した理由

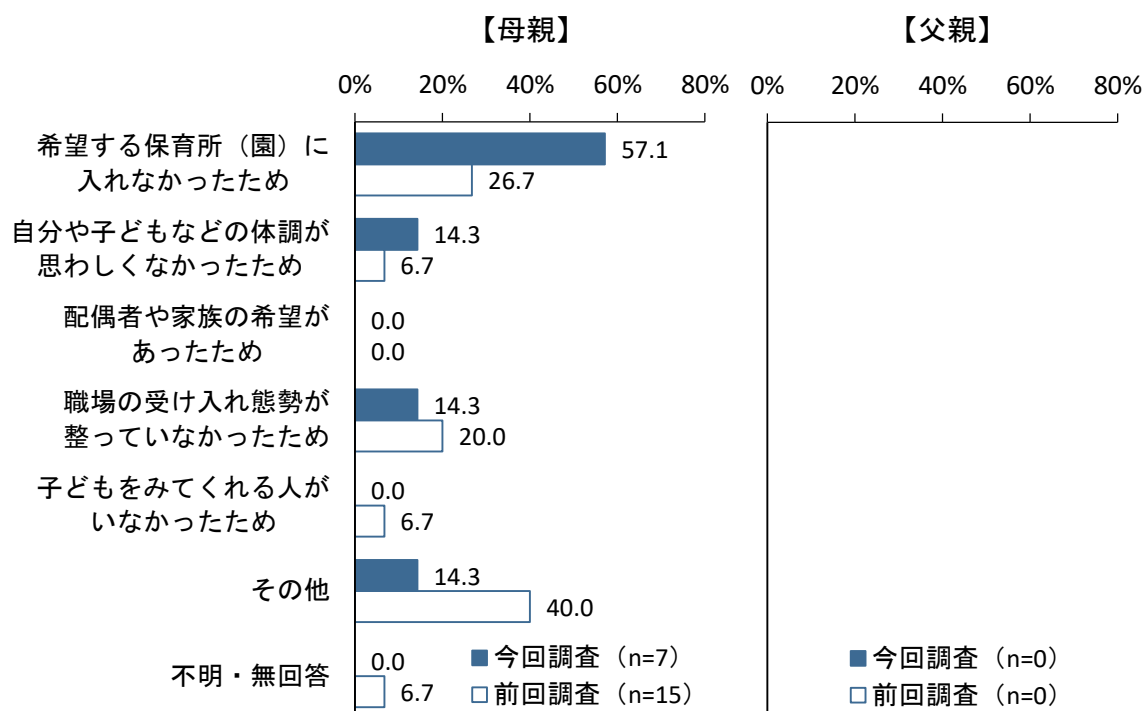


(B)「希望」より遅く復帰した方

希望の時期より遅く復帰した理由について、母親では、「希望する保育所（園）に入れなかったため」が57.1%で最も高く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」、「その他」がいずれも14.3%となっています。

前回調査と比較すると、母親では、「希望する保育所（園）に入れなかったため」が前回調査（26.7%）より最も割合が増加しており30.4ポイント増となっています。

図 2-1-115 育児休業から希望より遅く職場復帰した理由

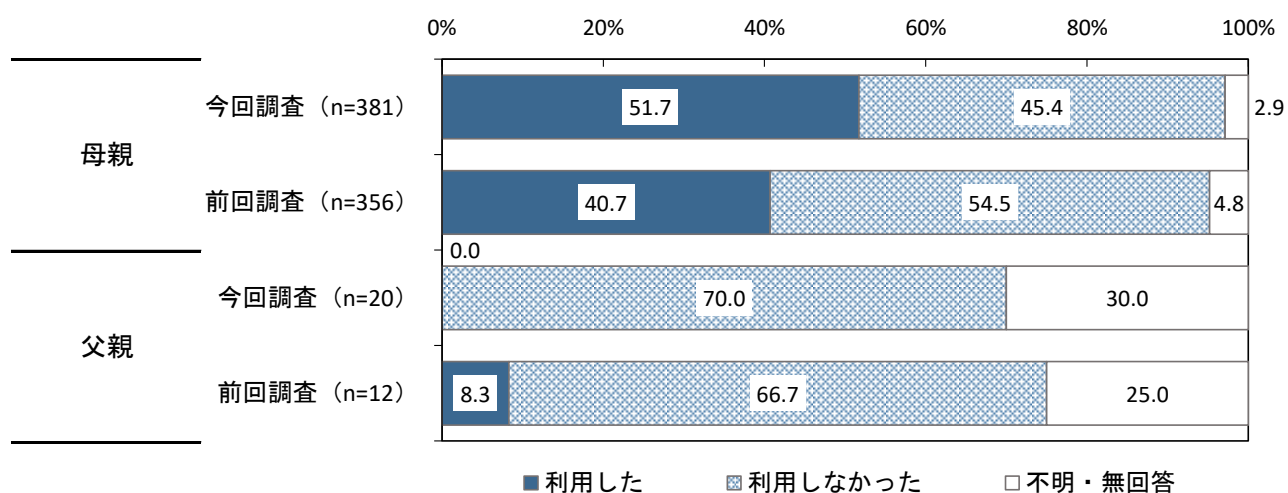


問 36―④	育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。 (どちらかに○)
--------	---

育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかどうかについて、母親では、「利用した」が51.7%、「利用しなかった」が45.4%で、一方、父親では、「利用しなかった」が70.0%となっています。

前回調査と比較すると、母親では、「利用した」が前回調査（40.7%）より11.0ポイント増加しています。

図 2-1-116 育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかどうか



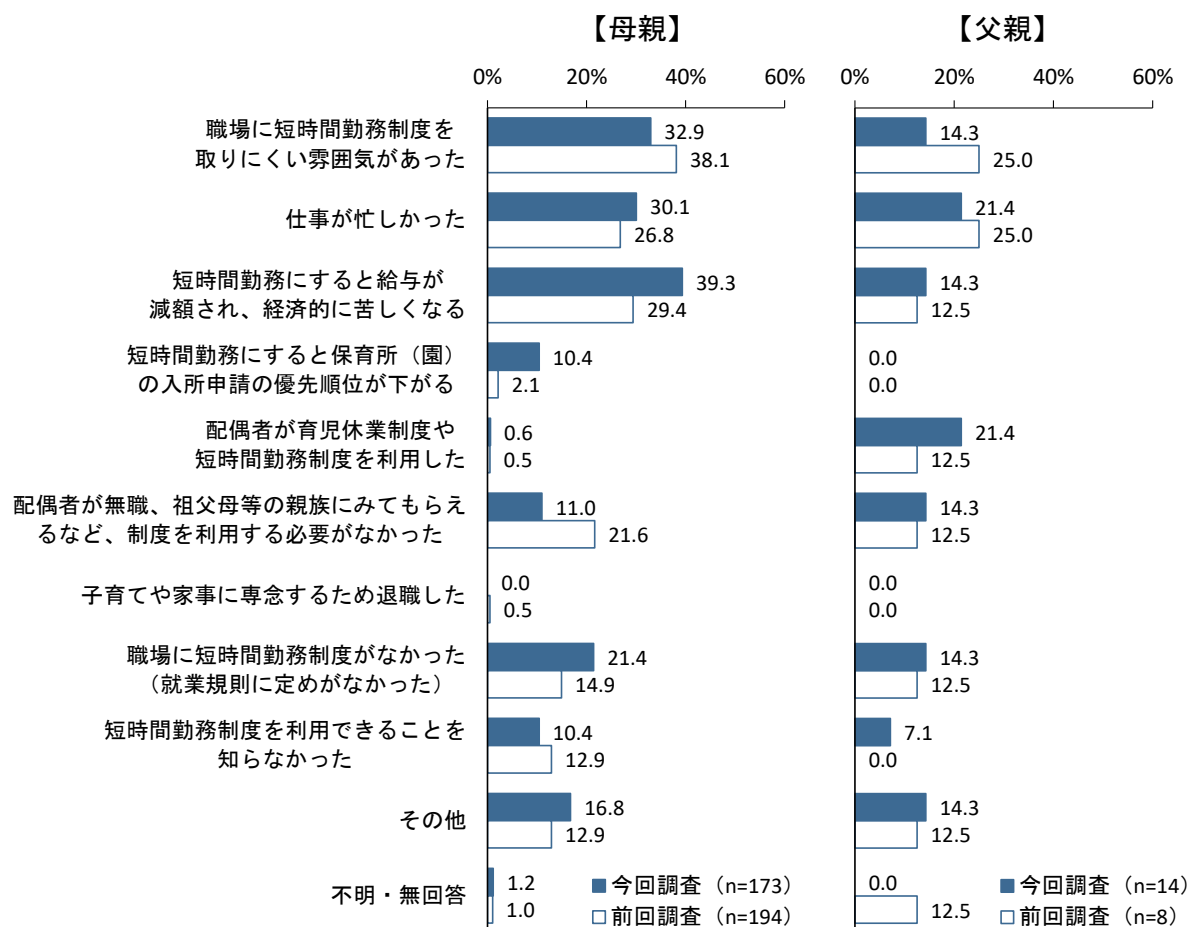
問 36-⑤	【問 36-④で「利用しなかった」に○をつけた方】 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)
--------	--

育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由について、母親では、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 39.3%で最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 32.9%、「仕事が忙しかった」が 30.1%と続いており、一方、父親では、「仕事が忙しかった」、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」がいずれも 21.4%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、母親では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が前回調査（21.6%）より最も割合が減少しており 10.6 ポイント減で、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が前回調査（29.4%）より最も割合が増加しており 9.9 ポイント増となっています。

一方、父親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が前回調査（25.0%）より最も割合が減少しており 10.7 ポイント減で、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が前回調査（12.5%）より最も割合が増加しており 8.9 ポイント増となっています。

図 2-1-117 育児休業からの復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由



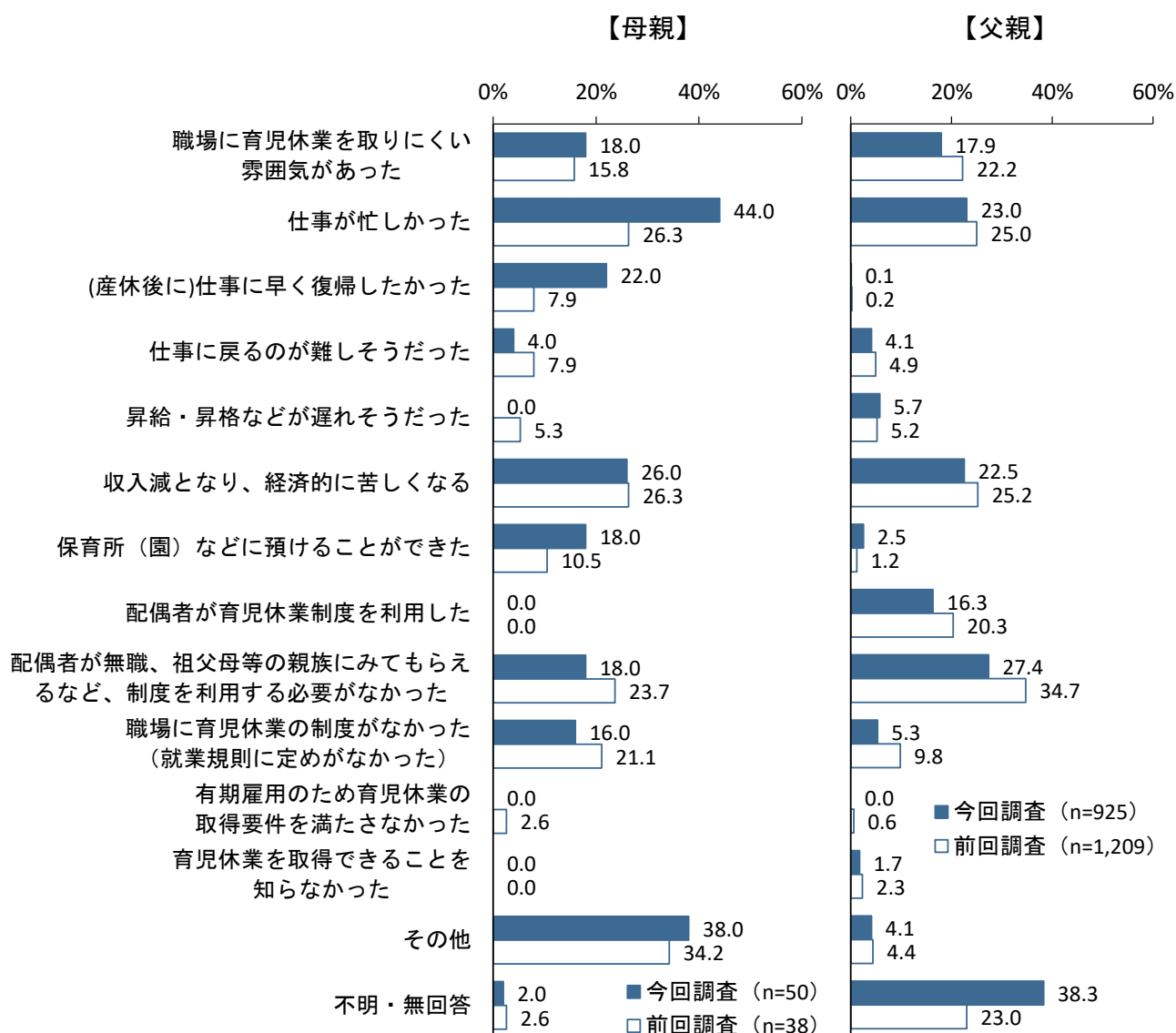
問 37	【問 33 で「育児休業を取得せず、働き続けている」に○をつけた方】 取得せず、働き続けている理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
------	--

育児休業を取得せず働き続けている理由について、母親では、「仕事が忙しかった」が 44.0% で最も高く、次いで「その他」が 38.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 26.0%と続いており、一方、父親では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 27.4%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 23.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 22.5%と続いています。

前回調査と比較すると、母親では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が前回調査（23.7%）より最も割合が減少しており 5.7 ポイント減で、「仕事が忙しかった」が前回調査（26.3%）より最も割合が増加しており 17.7 ポイント増となっています。

一方、父親では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が前回調査（34.7%）より最も割合が減少しており 7.3 ポイント減となっています。

図 2-1-118 育児休業を取得せずに働き続けている理由



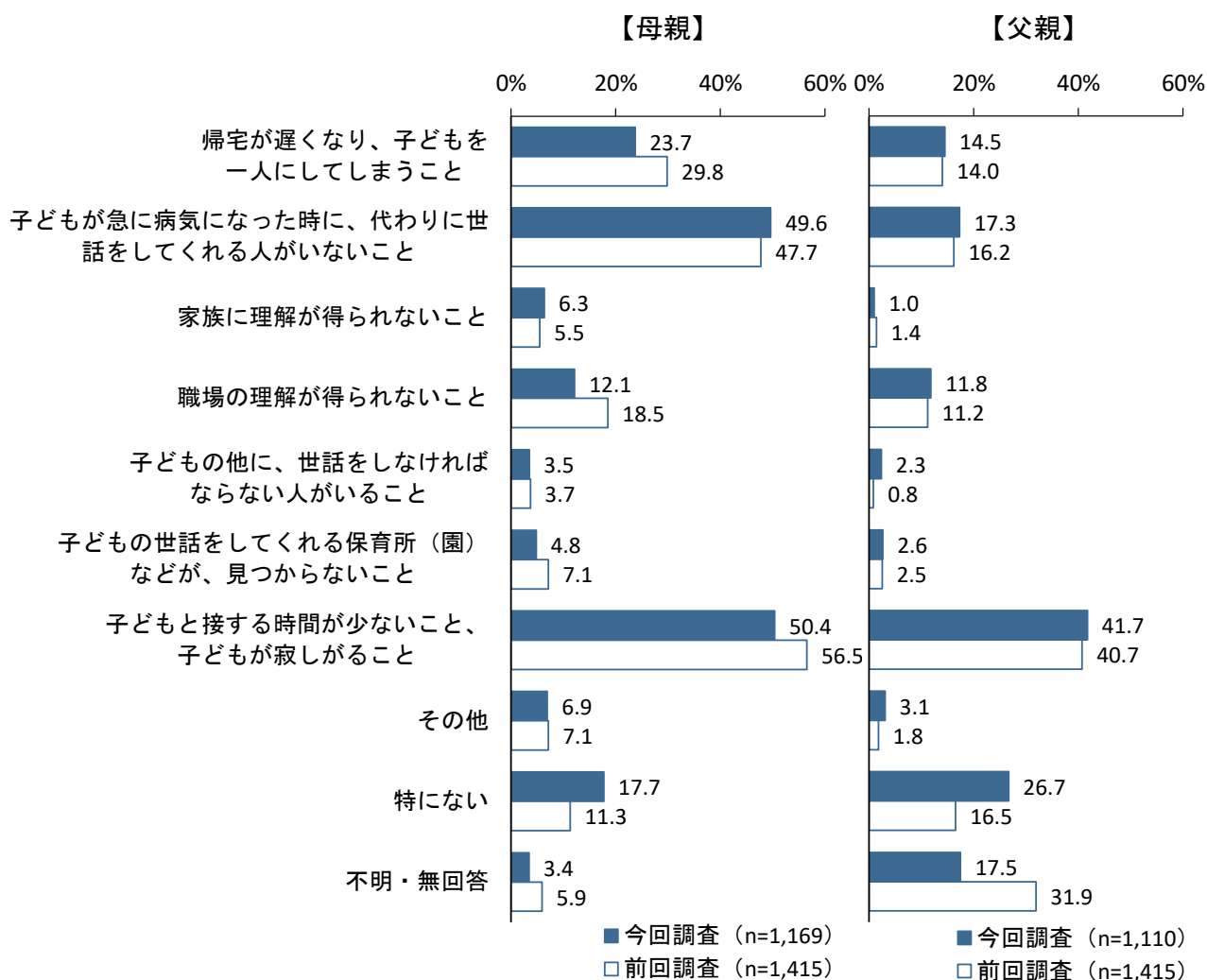
問 38	仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。(1) 母親、(2) 父親、それぞれについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)
------	--

仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについて、母親では、「子どもと接する時間が少ないこと、子どもが寂しがること」が 50.4%で最も高く、次いで「子どもが急に病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」が 49.6%、「帰宅が遅くなり、子どもを一人にしてしまうこと」が 23.7%と続いており、一方、父親では、「子どもと接する時間が少ないこと、子どもが寂しがること」が 41.7%で最も高く、次いで「特にない」が 26.7%、「子どもが急に病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」が 17.3%と続いています。

前回調査と比較すると、母親では、「職場の理解が得られないこと」が前回調査（18.5%）より最も割合が減少しており 6.4 ポイント減で、「特にない」が前回調査（11.3%）より最も割合が増加しており 6.4 ポイント増となっています。

一方、父親では、「特にない」が前回調査（16.5%）より最も割合が増加しており 10.2 ポイント増となっています。

図 2-1-119 子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じること

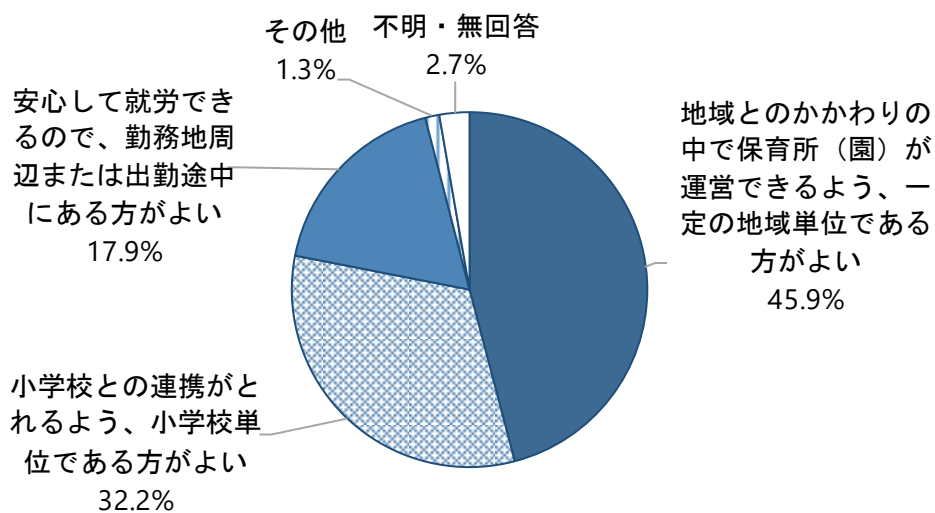


(10) 望ましい保育所（園）のすがたについて

問 39	望ましい保育所（園）の場所について、次の中で最も考えに近いものをお選びください。（○はひとつ）
------	---

望ましい保育所（園）の場所については、「地域とのかかわりの中で保育所（園）が運営できるよう、一定の地域単位である方がよい」が 45.9%で最も高く、次いで「小学校との連携がとれるよう、小学校単位である方がよい」が 32.2%、「安心して就労できるので、勤務地周辺または出勤途中にある方がよい」が 17.9%と続いています。

図 2-1-120 望ましい保育所（園）の場所

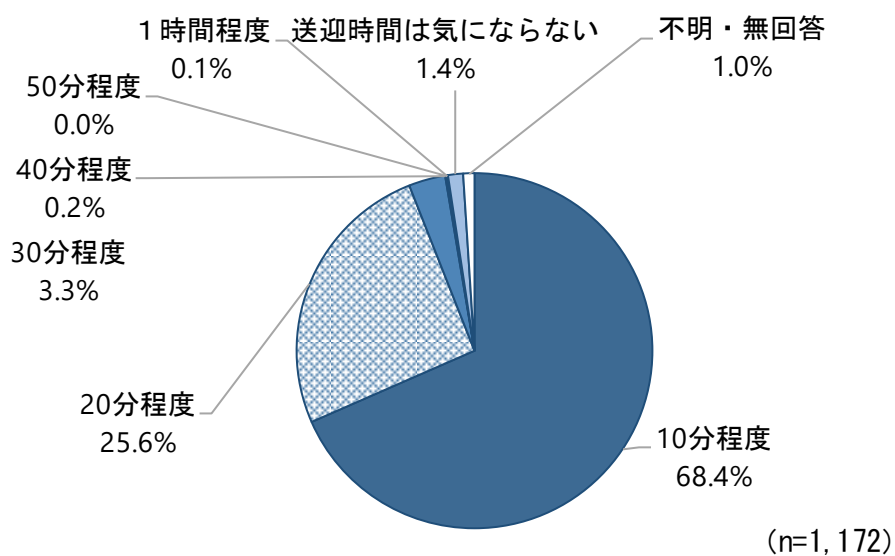


(n=1,172)

問 40	自宅から保育所（園）または幼稚園までの送迎時間(片道)について、どれぐらいの時間までなら送迎が可能ですか。（〇はひとつ）
------	--

自宅から保育所（園）または幼稚園までの送迎可能時間については、「10 分程度」が 68.4%で最も高く、次いで「20 分程度」が 25.6%、「30 分程度」が 3.3%と続いています。

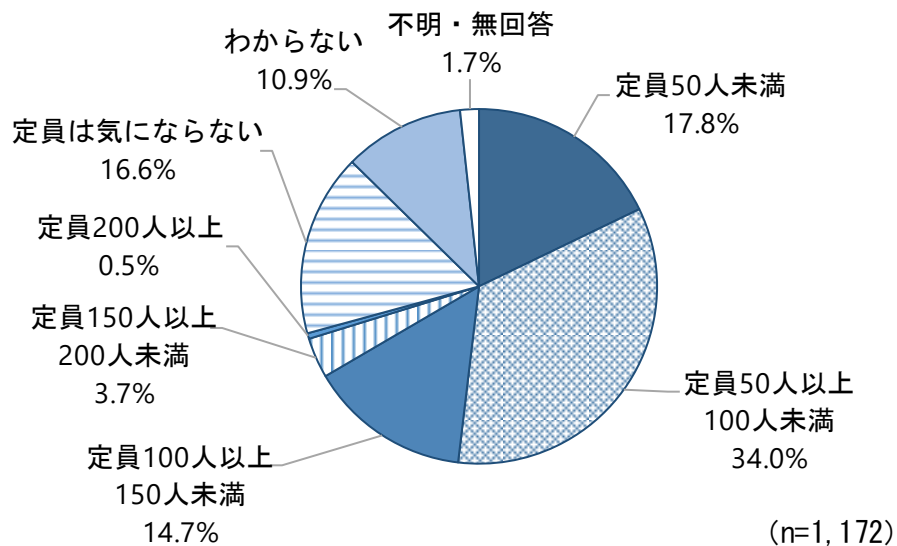
図 2-1-121 送迎可能時間



問 41	お子さんが充実した保育を受けるために望ましい保育所（園）の適正な定員（規模）について、最も考えに近いものをお選びください。（○はひとつ）
------	--

充実した保育を受けるために望ましい保育所（園）の適正な定員（規模）については、「定員 50 人以上 100 人未満」が 34.0%で最も高く、次いで「定員 50 人未満」が 17.8%、「定員は気にならない」が 16.6%と続いています。

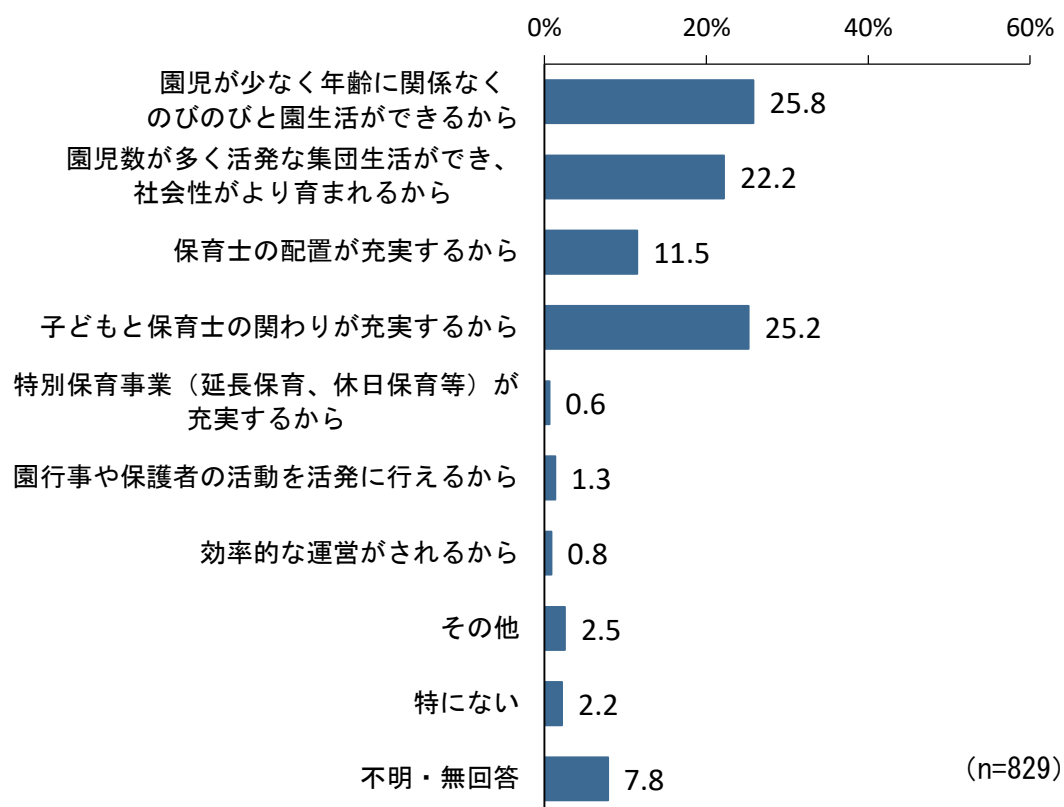
図 2-1-122 充実した保育を受けるために望ましい保育所（園）の適正な定員（規模）



問 41-①	【問 41 で「定員 50 人未満」から「定員 200 人以上」に○をつけた方】 適正な定員と考える一番の理由は何ですか。次の中で最も考えに近いものをお 選びください。（○はひとつ）
--------	---

適正な定員と考える一番の理由については、「園児が少なく年齢に関係なくのびのびと園生活ができるから」が 25.8%で最も高く、次いで「子どもと保育士の関わりが充実するから」が 25.2%、「園児数が多く活発な集団生活ができ、社会性がより育まれるから」が 22.2%と続いています。

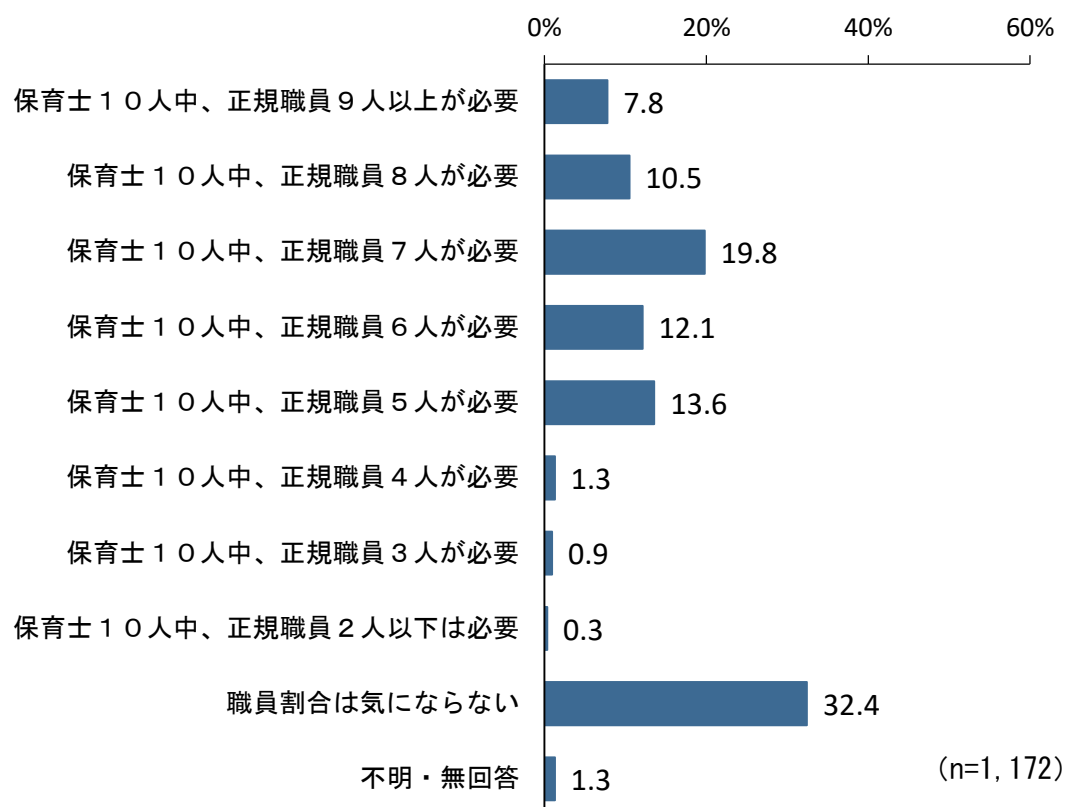
図 2-1-123 適正な定員と考える一番の理由



問 42	保育所（園）の保育士は、正規職員も臨時職員も同じく保育を実施していますが、保育の実施に最低限必要な職員割合について、次の中で最も考えに近いものをお選びください。（○はひとつ）
------	---

保育の実施に最低限必要な職員割合については、「職員割合は気にならない」が 32.4%で最も高く、次いで「保育士 10 人中、正規職員 7 人が必要」が 19.8%、「保育士 10 人中、正規職員 5 人が必要」が 13.6%と続いています。

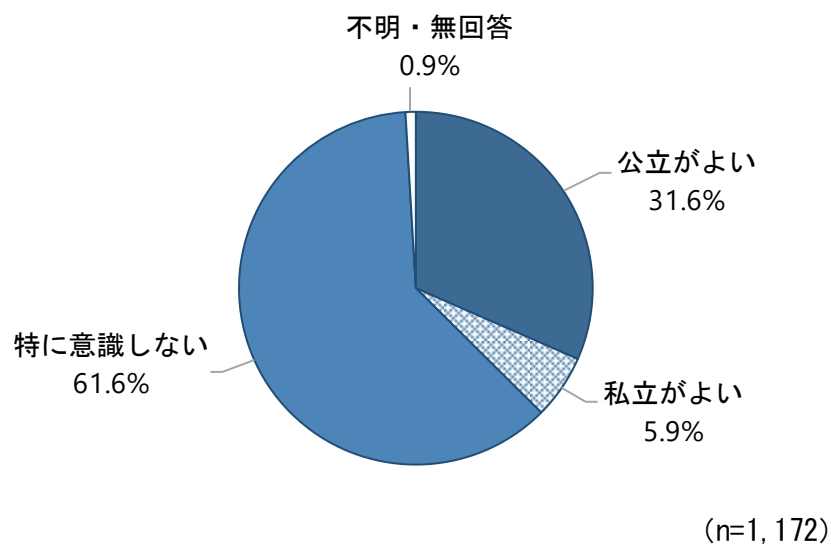
図 2-1-124 保育の実施に最低限必要な職員割合



問 43	保育所（園）を選ぶとしたら、公立と私立とを意識しますか。（○はひとつ）
------	-------------------------------------

保育所（園）を選ぶ際の公立と私立の意識については、「特に意識しない」が 61.6%で最も高く、次いで「公立がよい」が 31.6%、「私立がよい」が 5.9%となっています。

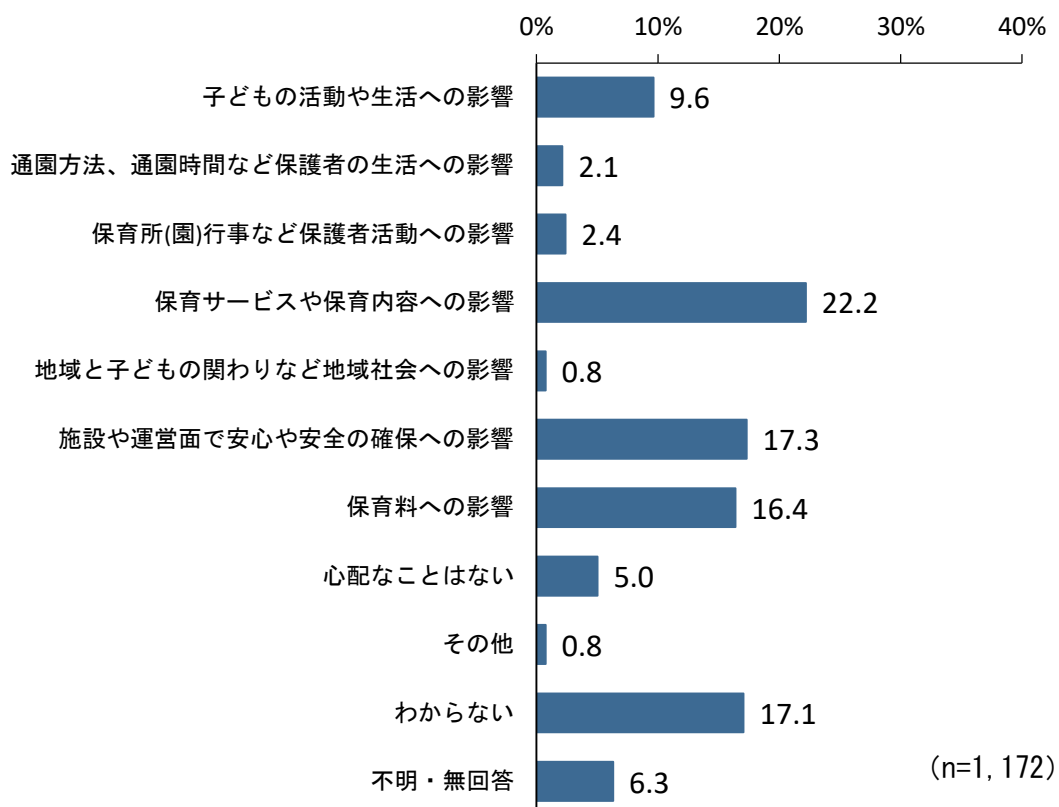
図 2-1-125 保育所（園）を選ぶ際の公立と私立の意識



問 44	公立保育所（園）を民営化した場合に、一番心配なことは何ですか。次の中で最も考えに近いものをお選びください。（○はひとつ）
------	--

公立保育所（園）を民営化した場合に一番心配なことについては、「保育サービスや保育内容への影響」が 22.2%で最も高く、次いで「施設や運営面で安心や安全の確保への影響」が 17.3%、「わからない」が 17.1%と続いています。

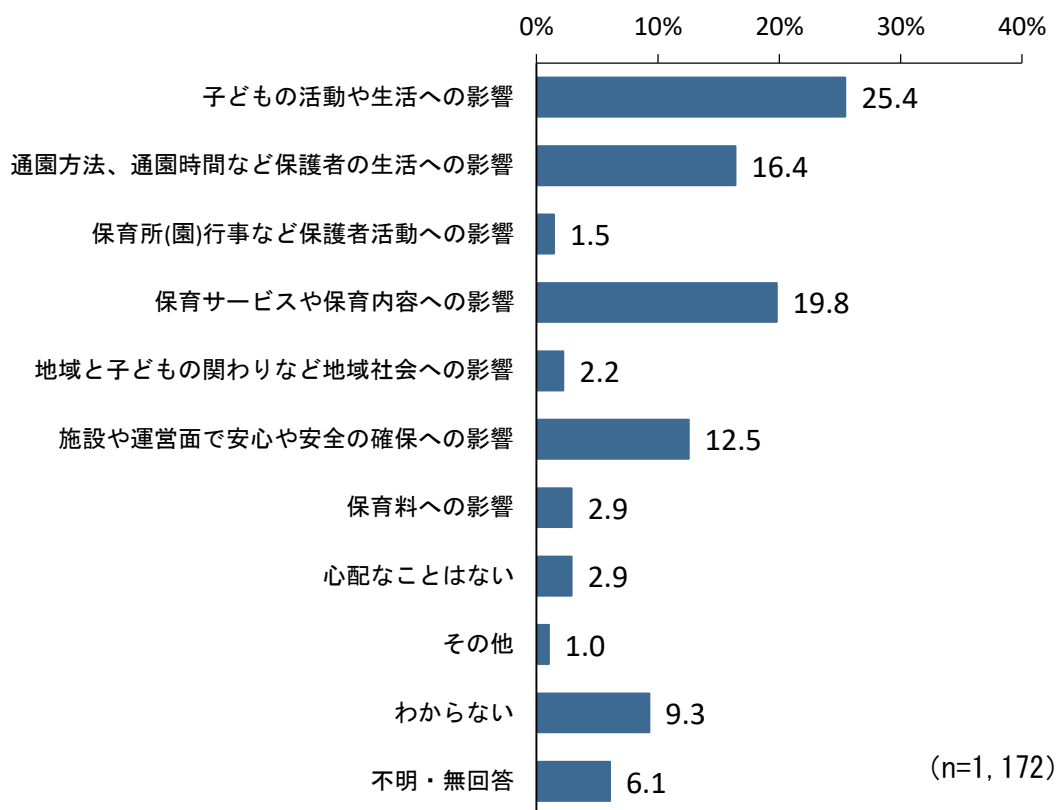
図 2-1-126 公立保育所（園）を民営化した場合に一番心配なこと



問 45	保育所（園）を大規模な保育所（園）に統廃合した場合に、一番心配なことは何ですか。次の中で最も考えに近いものをお選びください。（○はひとつ）
------	---

保育所（園）を大規模な保育所（園）に統廃合した場合に一番心配なことについては、「子どもの活動や生活への影響」が 25.4%で最も高く、次いで「保育サービスや保育内容への影響」が 19.8%、「通園方法、通園時間など保護者の生活への影響」が 16.4%と続いています。

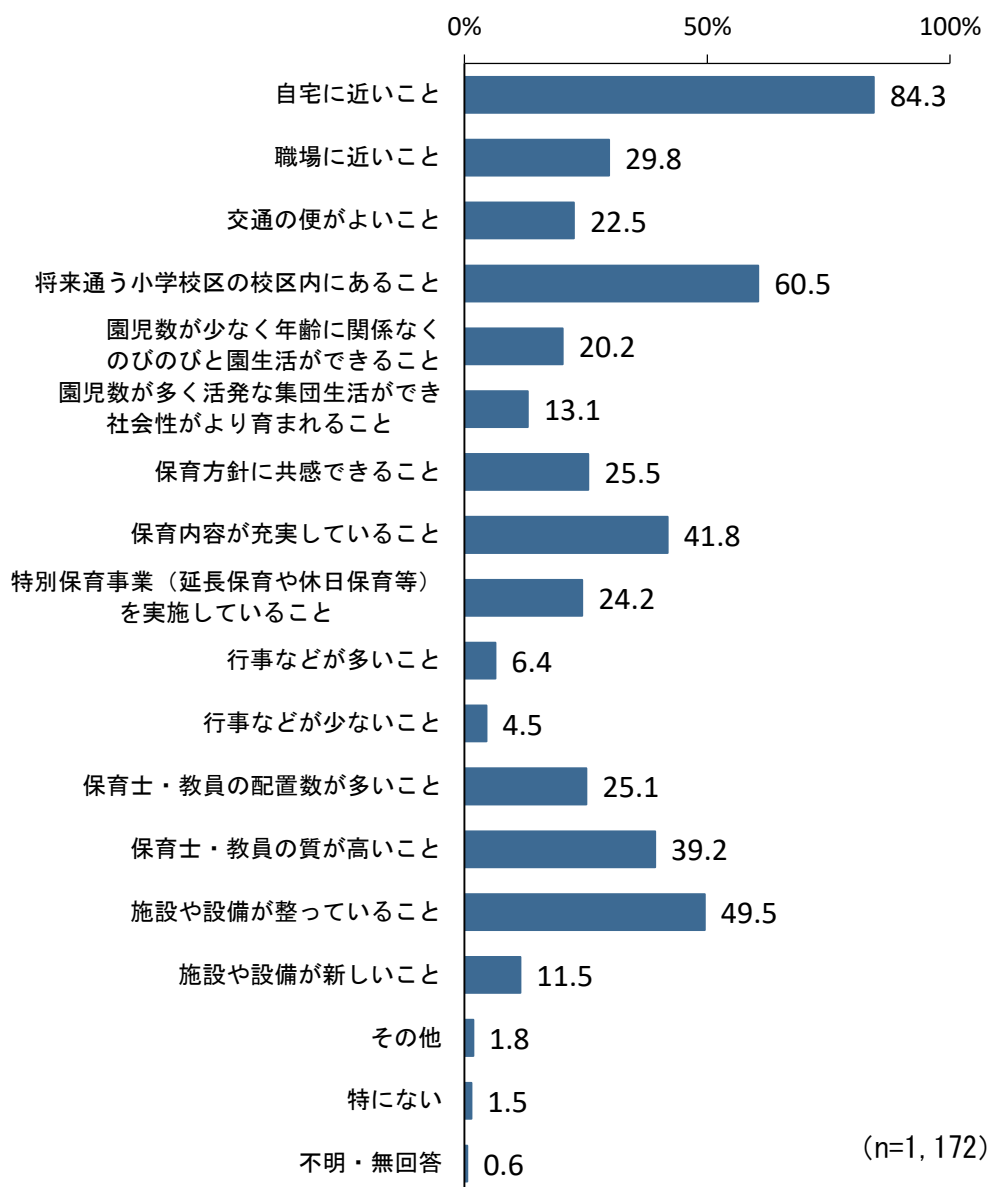
図 2-1-127 保育所（園）を大規模な保育所（園）に統廃合した場合に一番心配なこと



問 46	保育所（園）または幼稚園を選ぶ際に、重視することは何ですか。 （あてはまるものすべてに○）
------	--

保育所（園）または幼稚園を選ぶ際に重視することについては、「自宅に近いこと」が 84.3%で最も高く、次いで「将来通う小学校区の校区内にあること」が 60.5%、「施設や設備が整っていること」が 49.5%と続いています。

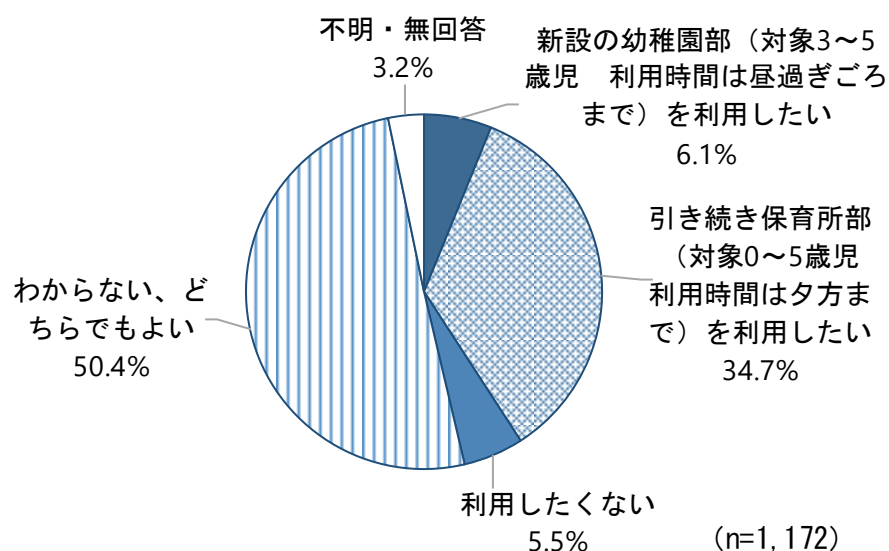
図 2-1-128 保育所（園）または幼稚園を選ぶ際に重視すること



問 47	在籍している保育所（園）もしくは近くに保育所機能と幼稚園機能を併せ持つ 幼保一体化施設（認定こども園）ができれば、利用したいですか。（○はひとつ）
------	--

幼保一体化施設（認定こども園）の利用意向については、「わからない、どちらでもよい」が 50.4%で最も高く、次いで「引き続き保育所部（対象 0～5 歳児 利用時間は夕方まで）を利用したい」が 34.7%、「新設の幼稚園部（対象 3～5 歳児 利用時間は昼過ぎごろまで）を利用したい」が 6.1%と続いています。

図 2-1-129 幼保一体化施設（認定こども園）の利用意向

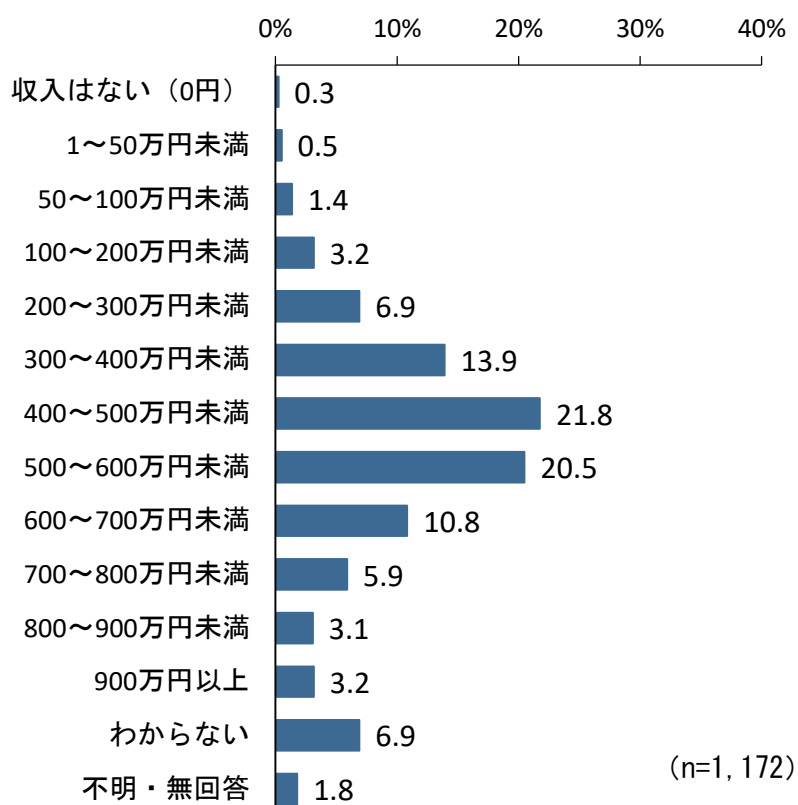


(11) 家庭での生活について

問 48	宛名のお子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間の収入はいくらですか。税金や保険料などを差し引いた後の手取り収入の額でお答えください。複数の収入源がある場合はおおよその合計額を教えてください。 (〇はひとつ)
------	---

世帯年収については、「400～500万円未満」が21.8%で最も高く、次いで「500～600万円未満」が20.5%、「300～400万円未満」が13.9%と続いています。

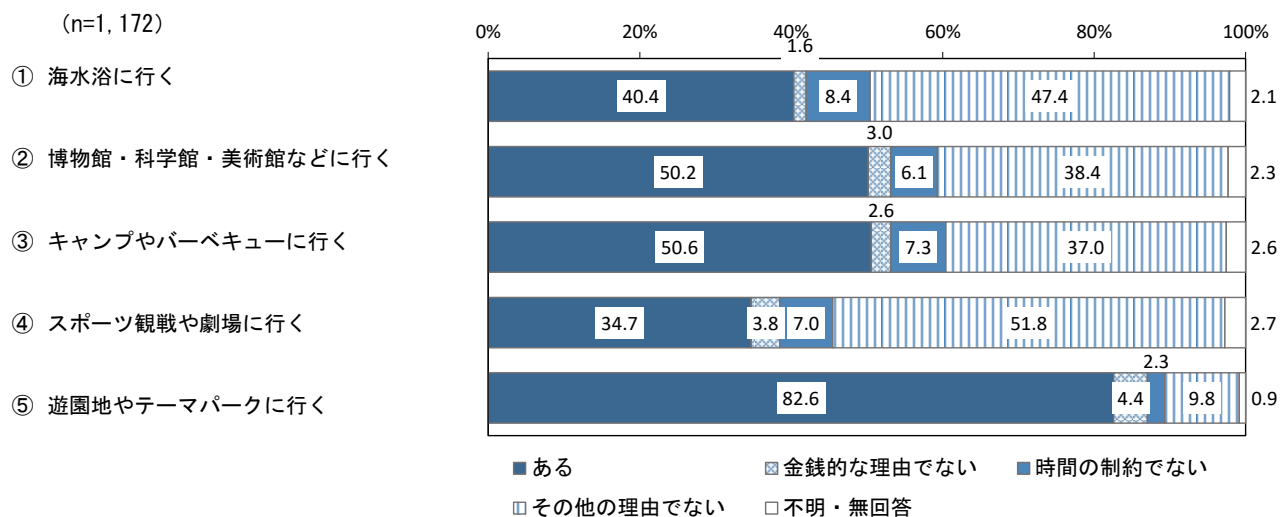
図 2-1-130 世帯年収



問 49	過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。以下の①～⑤について、あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。（○はひとつずつ）
------	---

子どもの体験の有無について、「ある」では、「遊園地やテーマパークに行く」が82.6%で最も高く、「金銭的な理由でない」では、「遊園地やテーマパークに行く」が4.4%で最も高く、「時間の制約でない」では、「海水浴に行く」が8.4%で最も高くなっています。

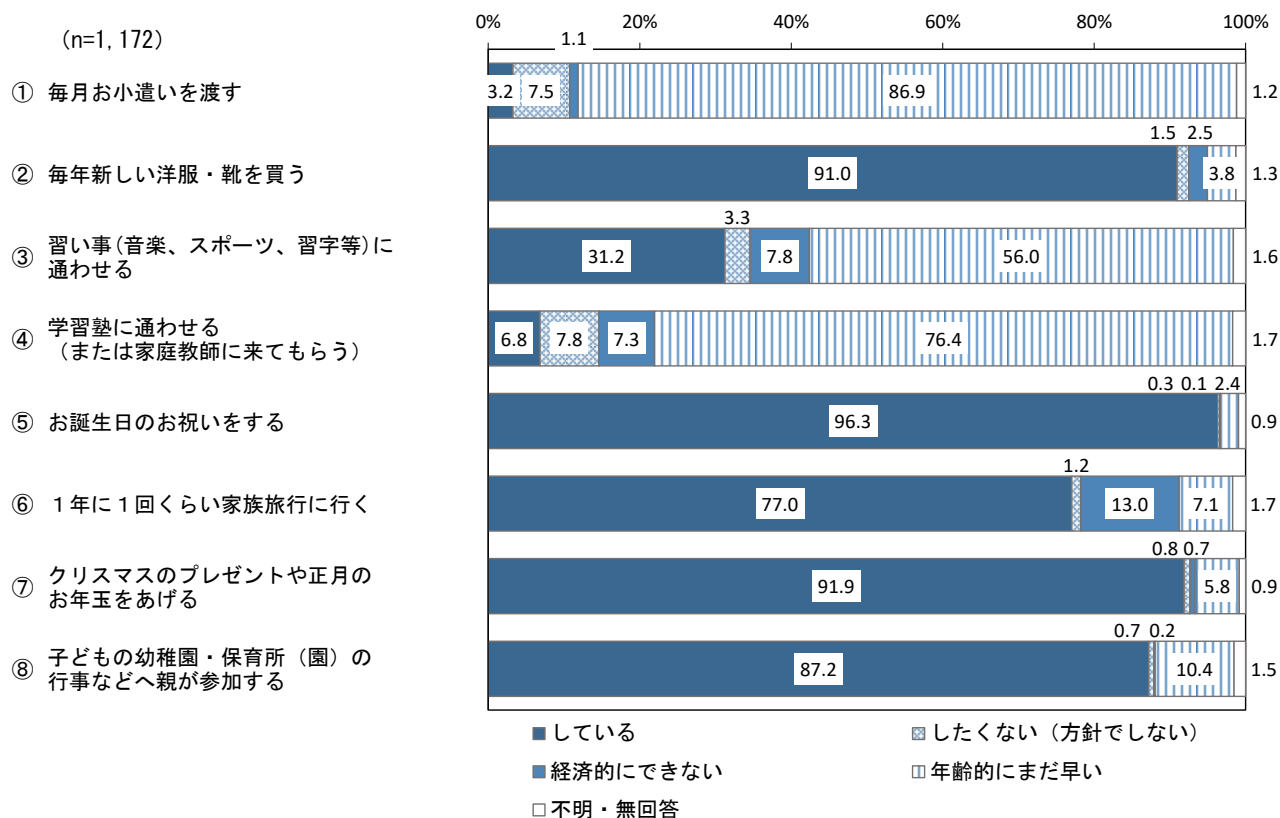
図2-1-131 子どもの体験の有無



問 50	あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。下の①～⑧について、あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。（○はひとつずつ）
------	--

子どもの体験の有無について、「している」では、「お誕生日のお祝いをする」が 96.3%で最も高く、「したくない（方針でしない）」では、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」が 7.8%で最も高く、「経済的にできない」では、「1年に1回くらい家族旅行に行く」が 13.0%で最も高くなっています。

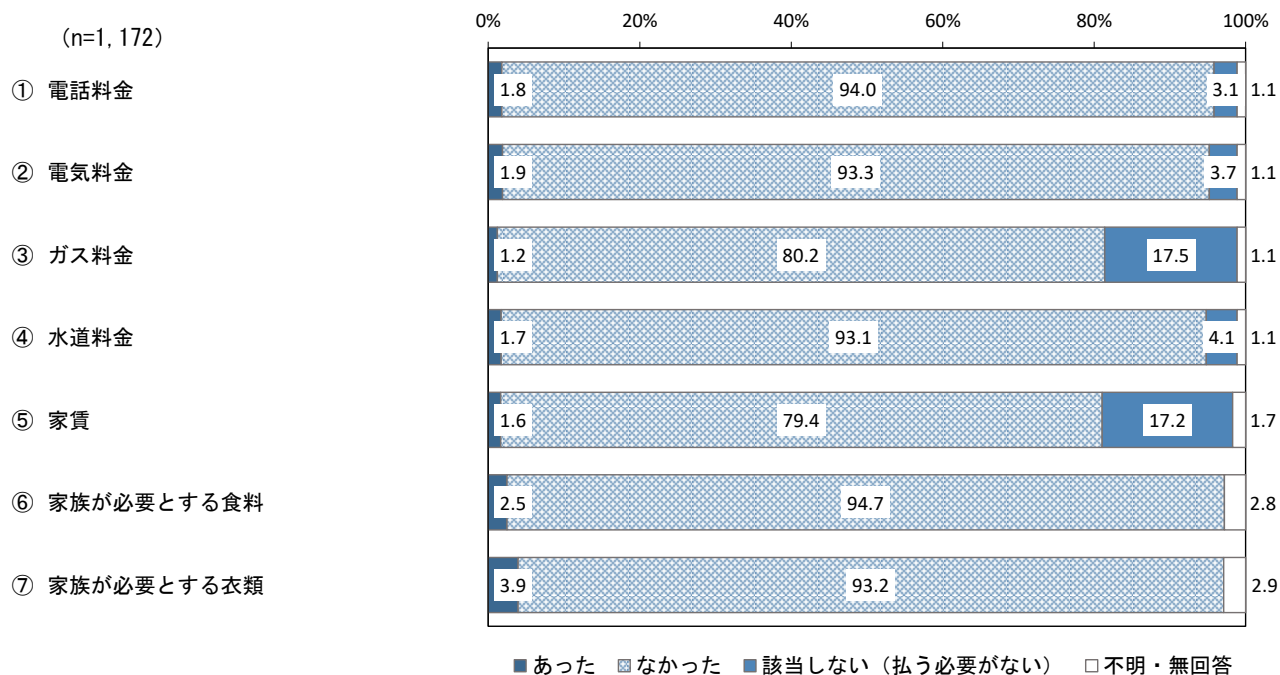
図 2-1-132 子どもの体験の有無



問 51	過去1年の間に、経済的な理由で、以下の①～⑦のサービス・料金について、支払えないことや買えなかったことがありましたか。あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。（○はひとつずつ）
------	--

過去1年の間に、経済的な理由で、支払えないことや買えなかったことがあったかについて、「あった」では、「家族が必要とする衣類」が3.9%で最も高く、次いで「家族が必要とする食料」が2.5%、「電気料金」が1.9%と続いています。

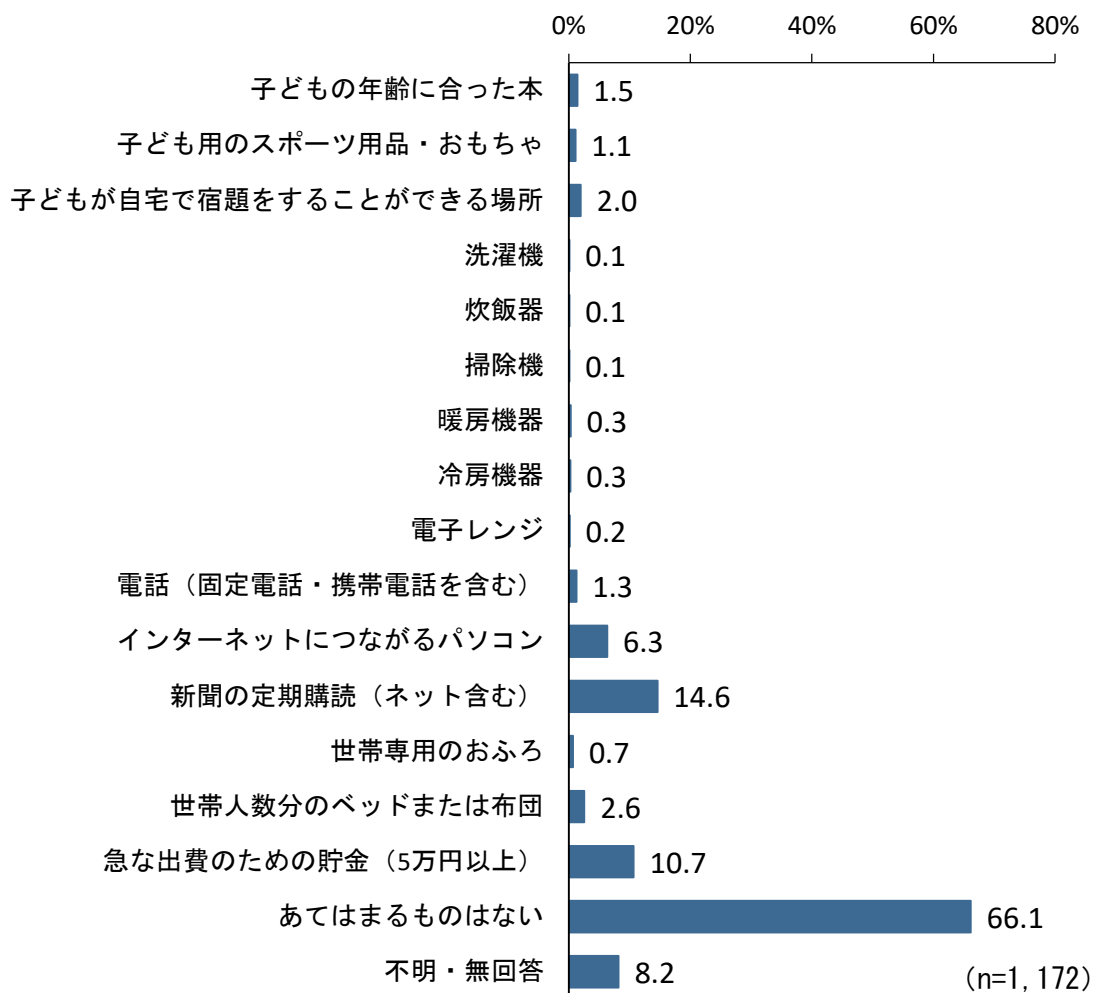
図 2-1-133 家計の状況



問 52	次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。 (あてはまるものすべてに○)
------	---

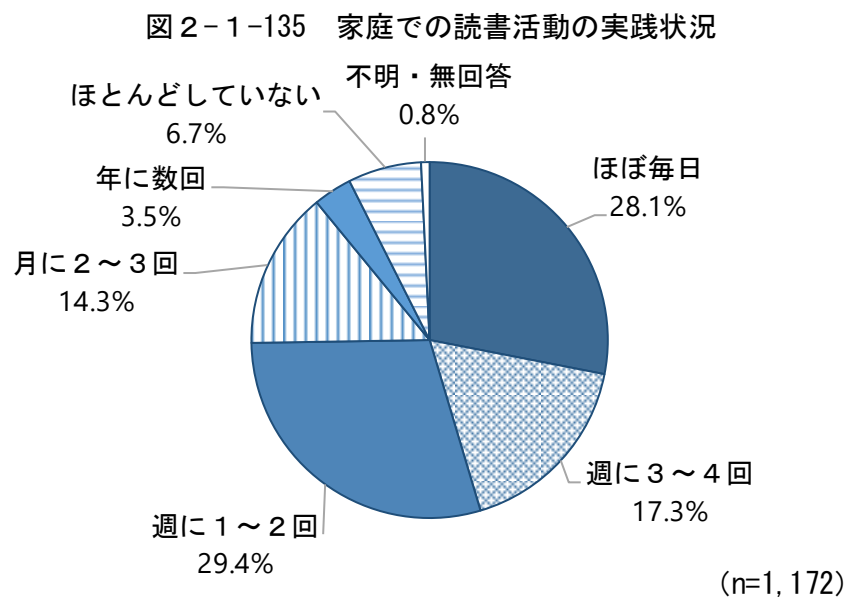
経済的理由のために世帯にないものについては、「あてはまるものはない」が 66.1%で最も高く、次いで「新聞の定期購読（ネット含む）」が 14.6%、「急な出費のための貯金（5 万円以上）」が 10.7%と続いています。

図 2-1-134 経済的理由のために世帯にないもの



問 53	あなたのご家庭では、お子さんと一緒に本を読んだり、選んだり、読み聞かせをしたりしていますか。（〇はひとつ）
------	---

家庭での読書活動の実践状況については、「週に1～2回」が29.4%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」が28.1%、「週に3～4回」が17.3%と続いています。



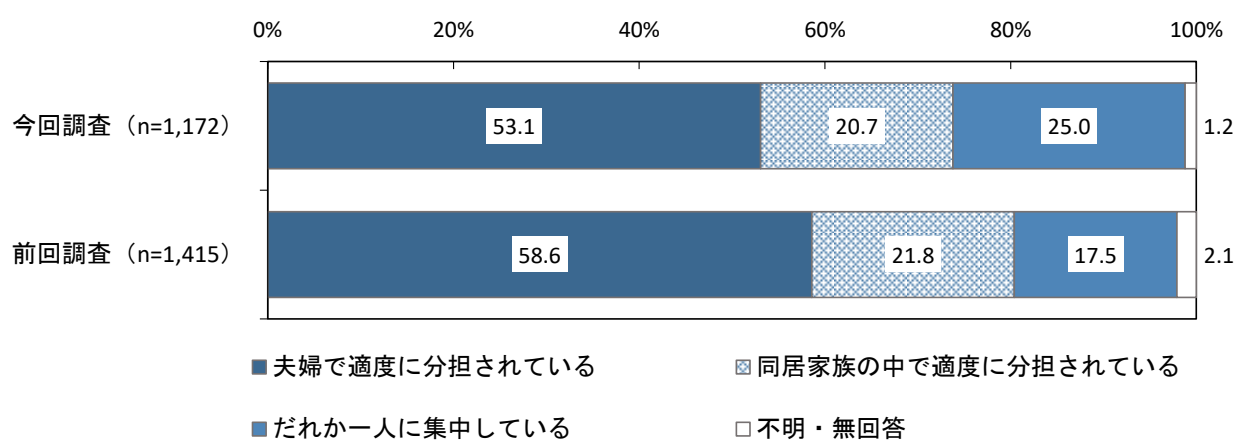
(12) 子育て全般について

問 54	お子さんの世話やしつけは、分担されていますか。(〇はひとつ)
------	--------------------------------

お子さんの世話やしつけの分担状況については、「夫婦で適度に分担されている」が 53.1%で最も高く、次いで「だれか一人に集中している」が 25.0%、「同居家族の中で適度に分担されている」が 20.7%と続いています。

前回調査と比較すると、「夫婦で適度に分担されている」は、前回調査（58.6%）より 5.5 ポイント減少し、一方、「だれか一人に集中している」は、前回調査（17.5%）より 7.5 ポイント増加しています。

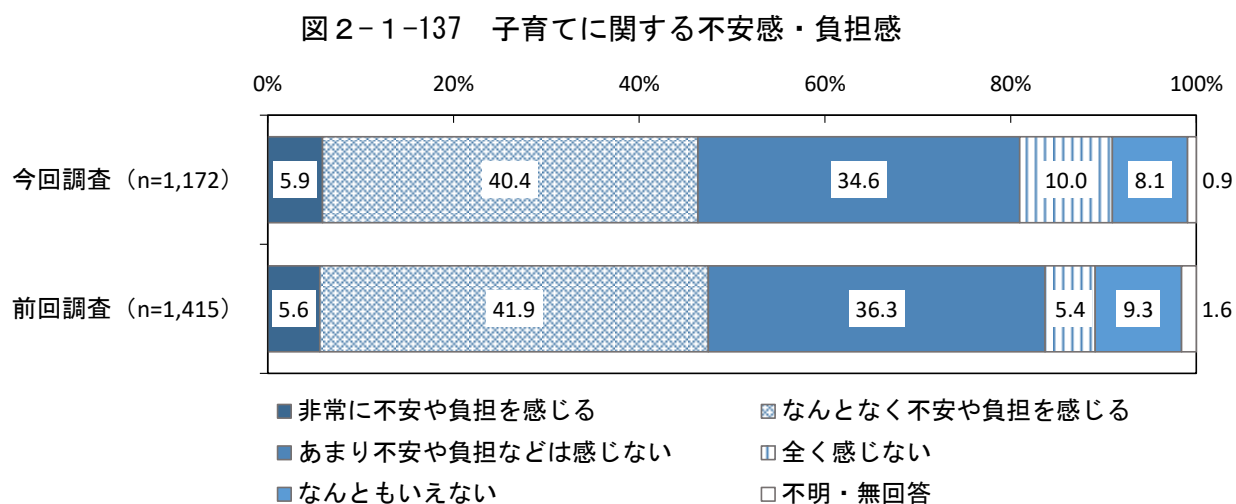
図 2-1-136 お子さんの世話やしつけの分担状況



問 55	子育てに関して、不安感や負担感などを感じることはありますか。(〇はひとつ)
------	---------------------------------------

子育てに関する不安感・負担感については、「なんとなく不安や負担を感じる」が 40.4%で最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が 34.6%、「全く感じない」が 10.0%と続いています。

前回調査と比較すると、「全く感じない」は、前回調査（5.4%）より 4.6 ポイント増加しています。

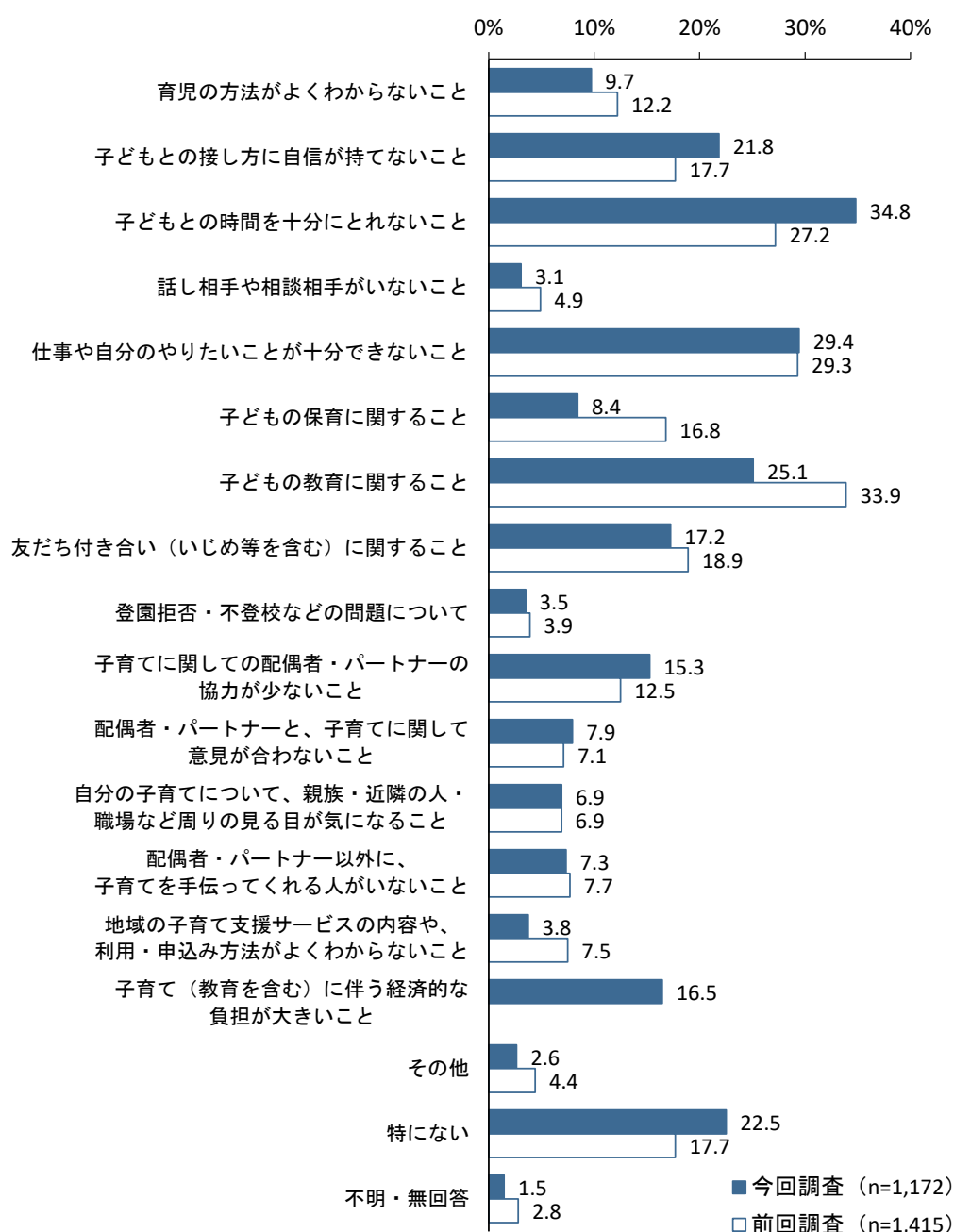


問 56	子育てに関して、日常悩んでいること、不安に思うこと、また気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）
------	--

子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になることについては、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が 34.8%で最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が 29.4%、「子どもの教育に関すること」が 25.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「子どもの教育に関すること」が前回調査（33.9%）より最も割合が減少しており 8.8 ポイント減で、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が前回調査（27.2%）より最も割合が増加しており 7.6 ポイント増となっています。

図 2-1-138 子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になること³



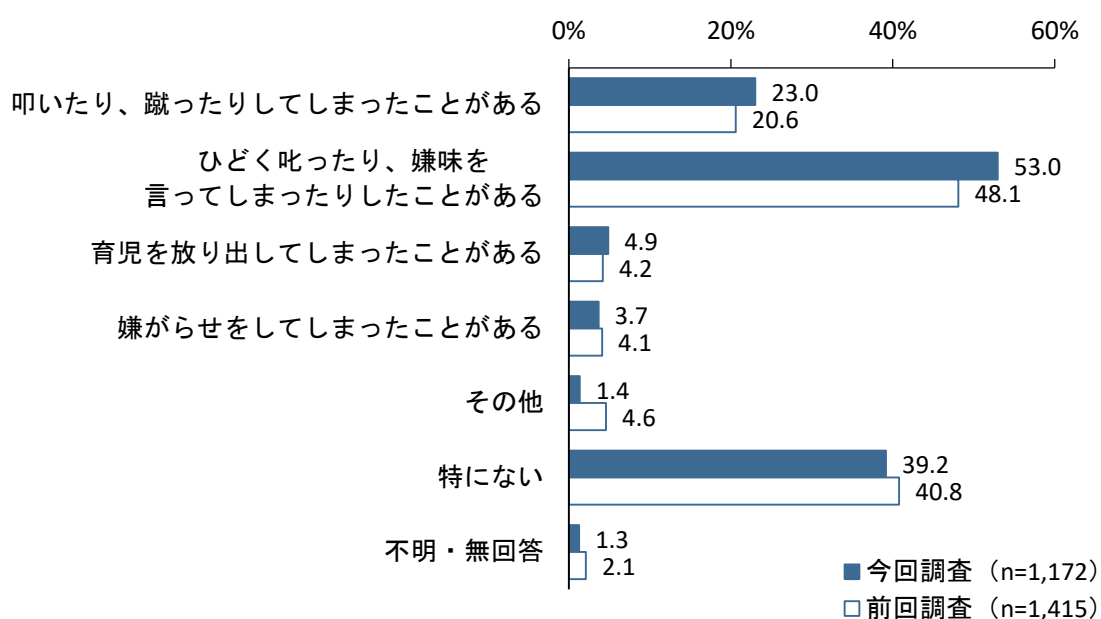
³ 今回調査より「子育て（教育を含む）に伴う経済的な負担が大きいこと」を追加しています。

問 57	子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまった経験はありますか。(あてはまるものすべてに○)
------	---

子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまった経験については、「ひどく叱ったり、嫌味を言ってしまったりしたことがある」が 53.0%で最も高く、次いで「特にない」が 39.2%、「叩いたり、蹴ったりしてしまったりしたことがある」が 23.0%と続いています。

前回調査と比較すると、「特にない」は、前回調査（40.8%）より 1.6 ポイント減少し、「ひどく叱ったり、嫌味を言ってしまったりしたことがある」が 4.9 ポイント、「叩いたり、蹴ったりしてしまったりしたことがある」が 2.4 ポイント、「育児を放り出してしまったりしたことがある」が 0.7 ポイントそれぞれ前回調査よりも割合が増加しています。

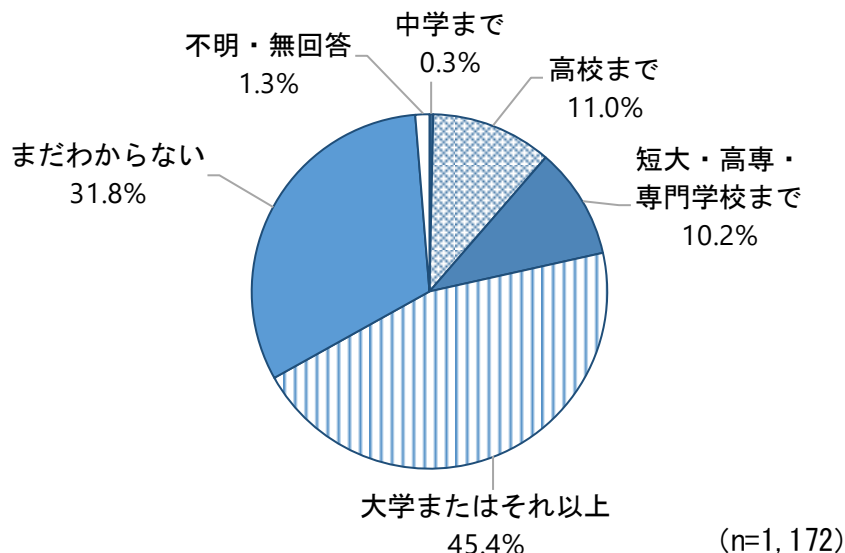
図 2-1-139 子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまったりした経験



問 58	宛名のお子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。 (〇はひとつ)
------	--

お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えているかについては、「大学またはそれ以上」が 45.4%で最も高く、次いで「まだわからない」が 31.8%、「短大・高専・専門学校まで」が 10.2%と続いています。

図 2-1-140 子どもに対する進学意向

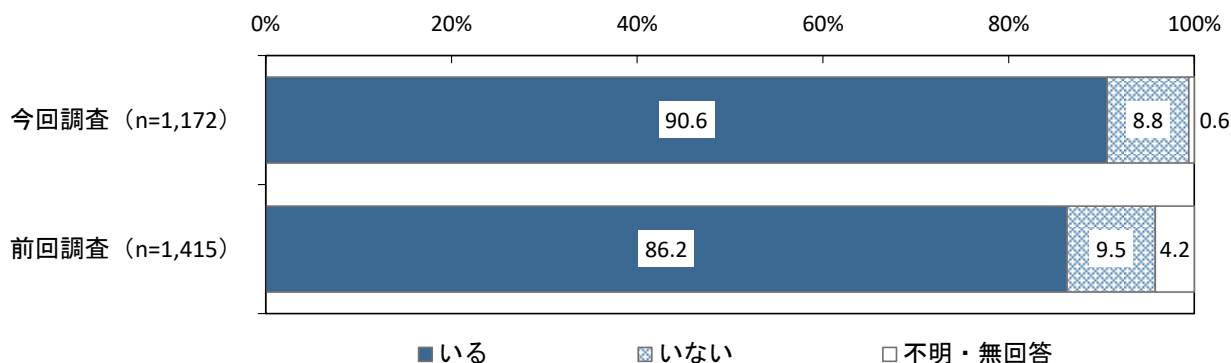


問 59	子育ての情報などを共有できる仲間はいますか。(〇はひとつ)
------	-------------------------------

子育ての情報を共有できる仲間の有無については、「いる」が 90.6%、「いない」が 8.8%となっています。

前回調査と比較すると、「いる」では、前回調査 (86.2%) より 4.4 ポイント増加しています。

図 2-1-141 子育ての情報を共有できる仲間の有無

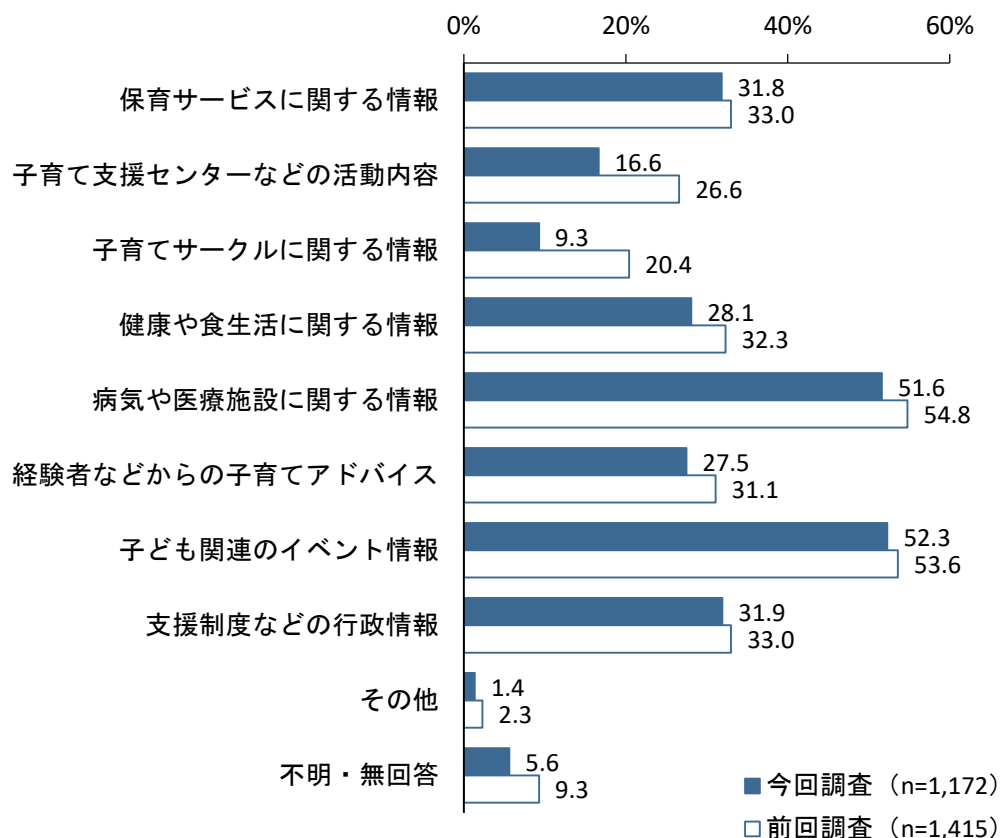


問 60	子育てに関する情報で、どのようなことを知りたいですか。 (あてはまるものすべてに○)
------	---

子育てに関する知りたい情報については、「子ども関連のイベント情報」が52.3%で最も高く、次いで「病気や医療施設に関する情報」が51.6%、「支援制度などの行政情報」が31.9%と続いています。

前回調査と比較すると、全ての項目で前回調査よりも割合が減少しています。

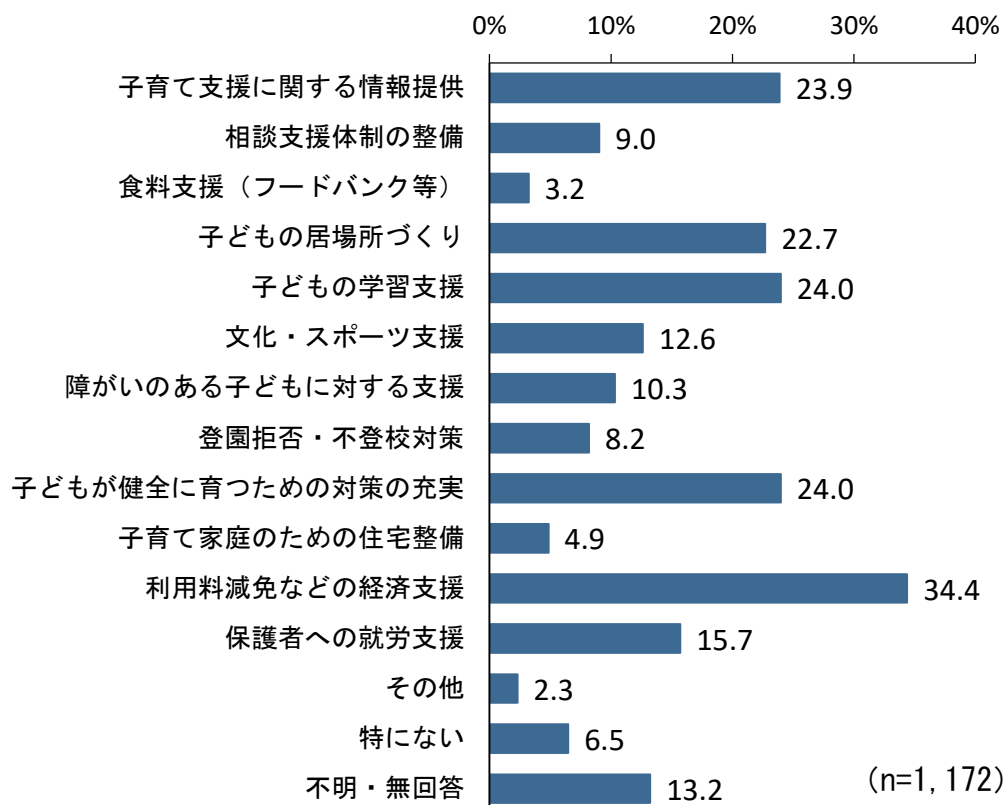
図 2-1-142 子育てに関する知りたい情報



問 61	今後、子育ての支援策として、必要だと思う施策はどのようなことですか。 (〇は3つまで)
------	--

必要だと思う子育ての支援策については、「利用料減免などの経済支援」が34.4%で最も高く、次いで「子どもの学習支援」、「子どもが健全に育つための対策の充実」がいずれも24.0%、「子育て支援に関する情報提供」が23.9%と続いています。

図 2-1-143 必要だと思う子育ての支援策

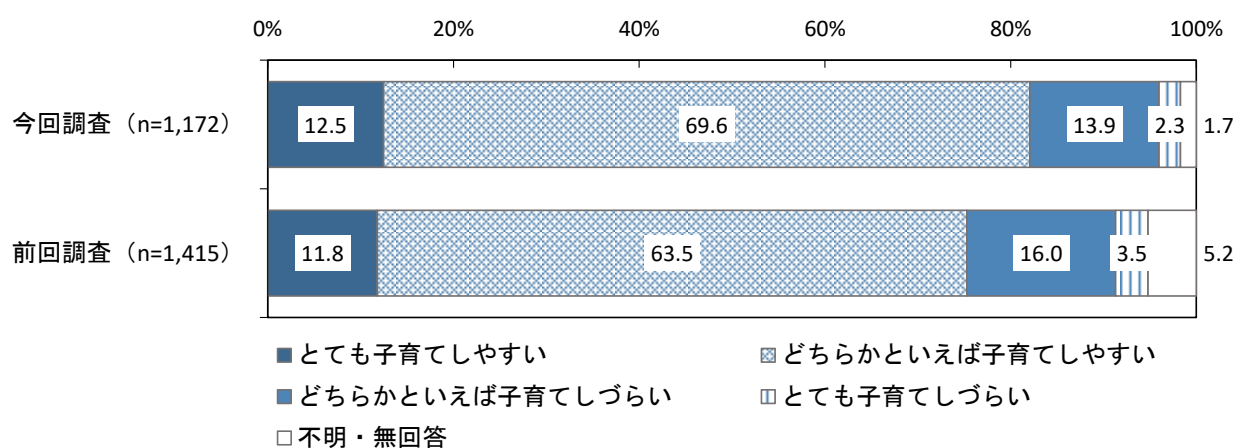


問 62	お住まいの地域は、子育てがしやすいと思いますか。（○はひとつ）
------	---------------------------------

地域の子育てのしやすさについては、「どちらかといえば子育てしやすい」が 69.6%で最も高く、次いで「どちらかといえば子育てしづらい」が 13.9%、「とても子育てしやすい」が 12.5%と続いており、『子育てしやすい』（「とても子育てしやすい」と「どちらかといえば子育てしやすい」の合計）は 82.1%となっています。

前回調査と比較すると、『子育てしやすい』では、前回調査（75.3%）より 6.8 ポイント増加しています。

図 2-1-144 地域の子育てのしやすさ

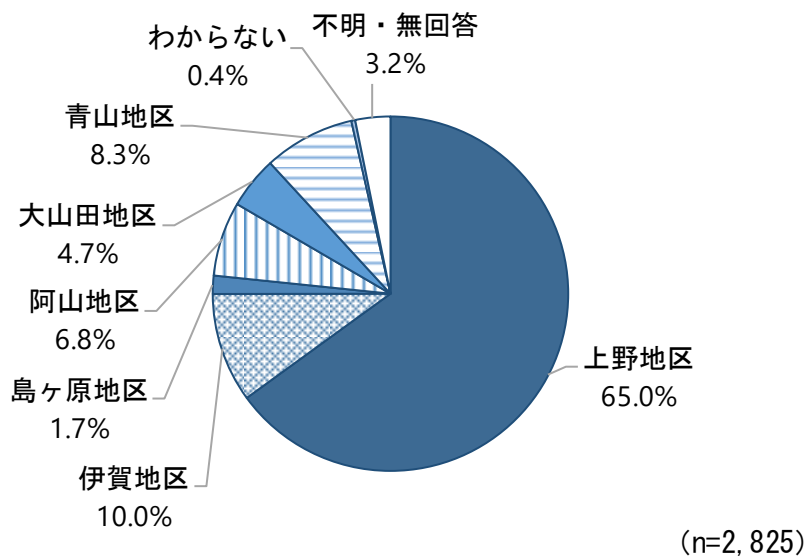


2. 小学生

(1) 回答者の属性

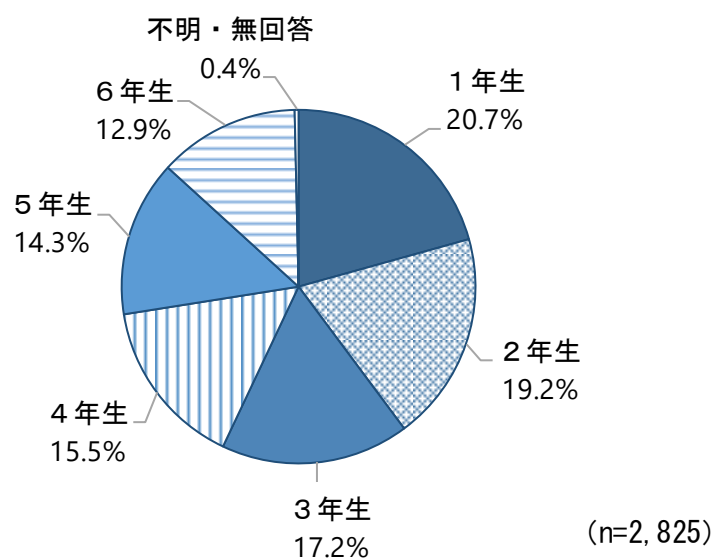
問1	お子さんは現在どちらの地区にお住まいですか。(〇はひとつ)
----	-------------------------------

図 2-2-1 居住地区

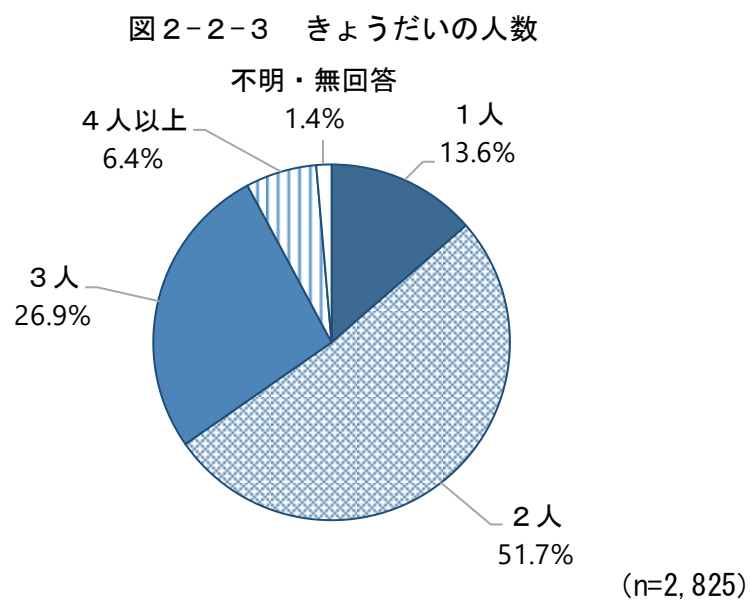


問2	お子さんの生年月と現在の学年をご記入ください。
----	-------------------------

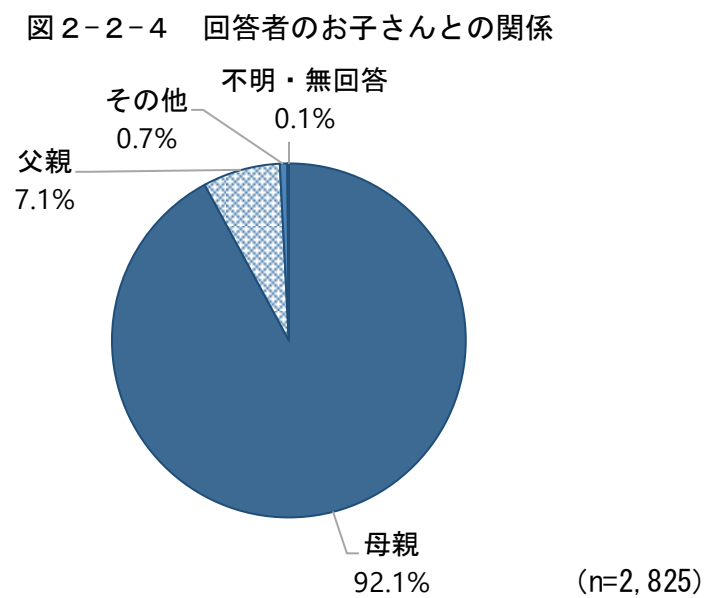
図 2-2-2 お子さんの学年



問3	お子さんは何人きょうだいですか。
----	------------------

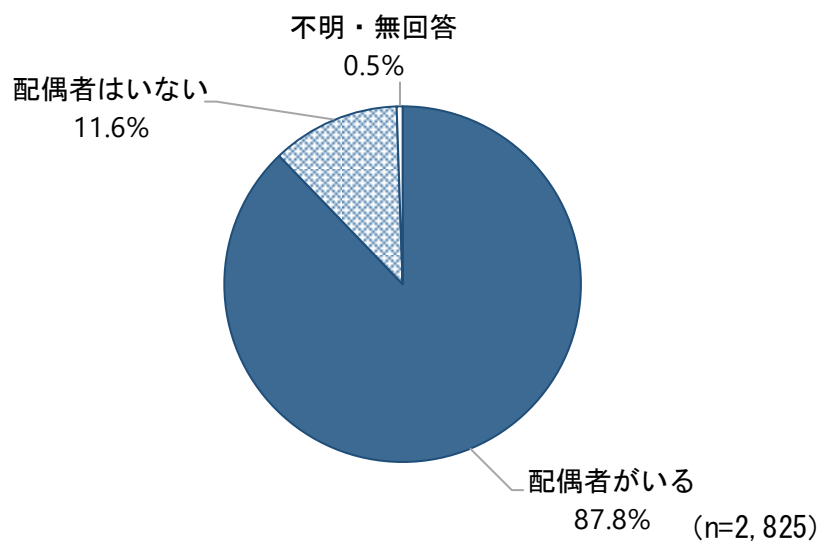


問4	この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(〇はひとつ)
----	--



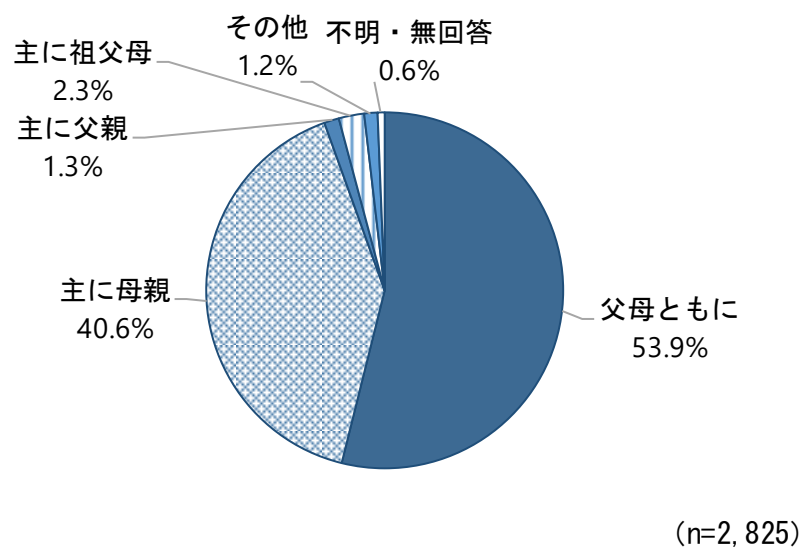
問5	この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。 (どちらかに○)
----	--

図 2-2-5 回答者の配偶関係



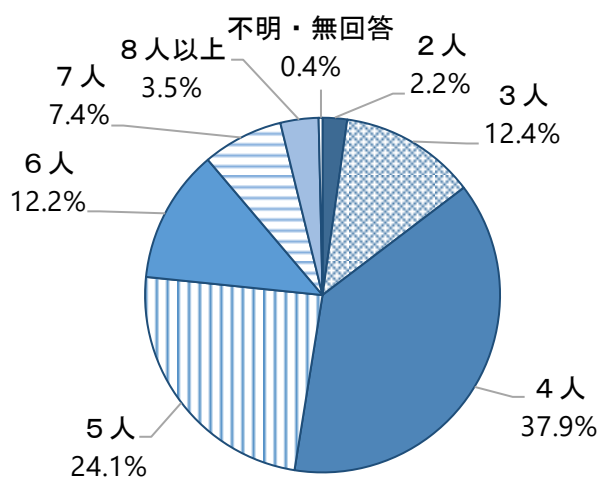
問6	お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○はひとつ)
----	---

図 2-2-6 子育てを主に行っている方



問7	お子さんと同居しているご家族の人数は何人ですか（あなたとお子さんも含む）。単身赴任しているご家族も含めてください。
----	---

図2-2-7 同居家族の人数



(n=2,825)

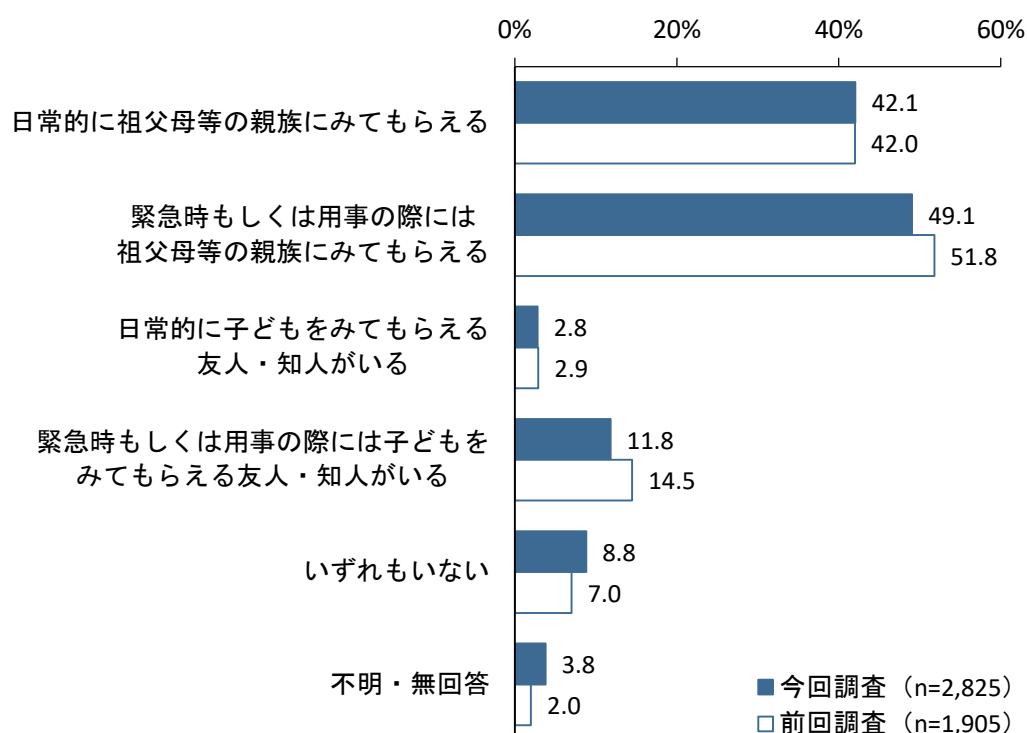
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問 8	日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。 (あてはまるものすべてに○)
-----	---

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が49.1%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が42.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が11.8%と続いています。

前回調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の緊急時については、それぞれ前回調査よりも割合が減少し、「いずれもない」の割合が増加しています。

図 2-2-8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかどうか

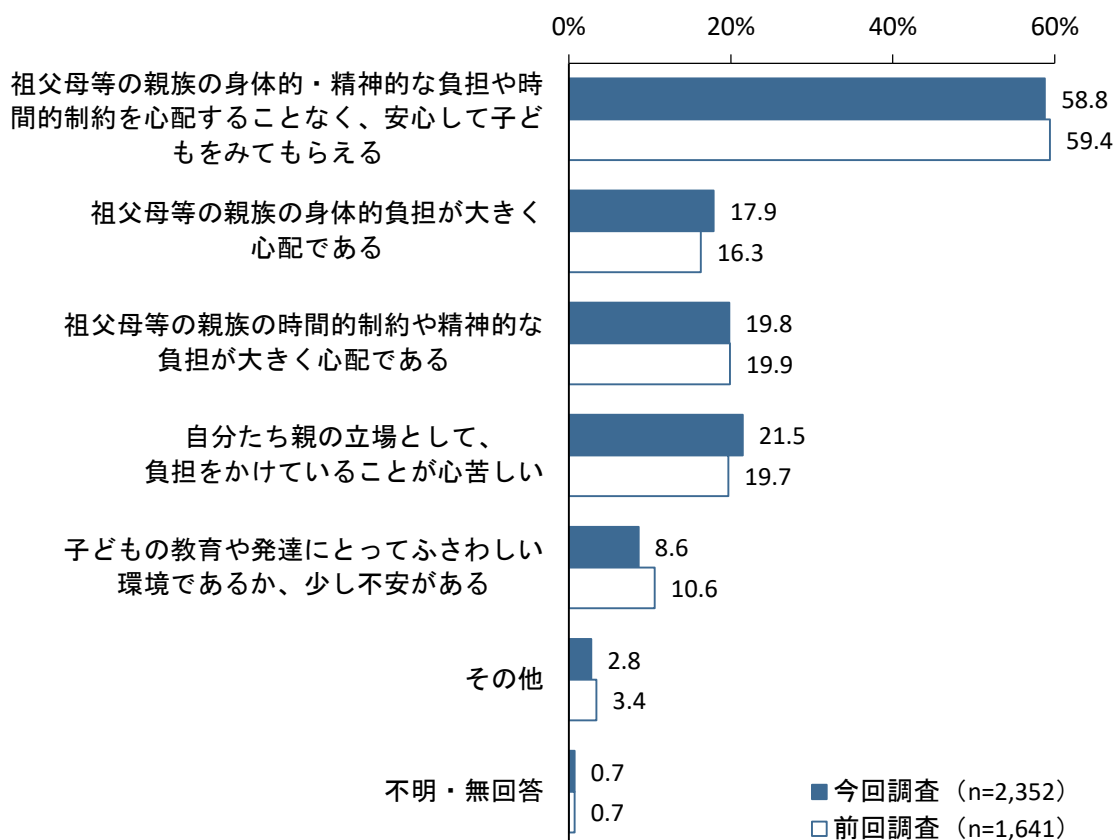


問 8—①	【問 8 で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方】 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。 (あてはまるものすべてに○)
-------	---

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 58.8%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 21.5%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 19.8%と続いています。

前回調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の負担を感じている割合がそれぞれ前回調査より増加しています。

図 2-2-9 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

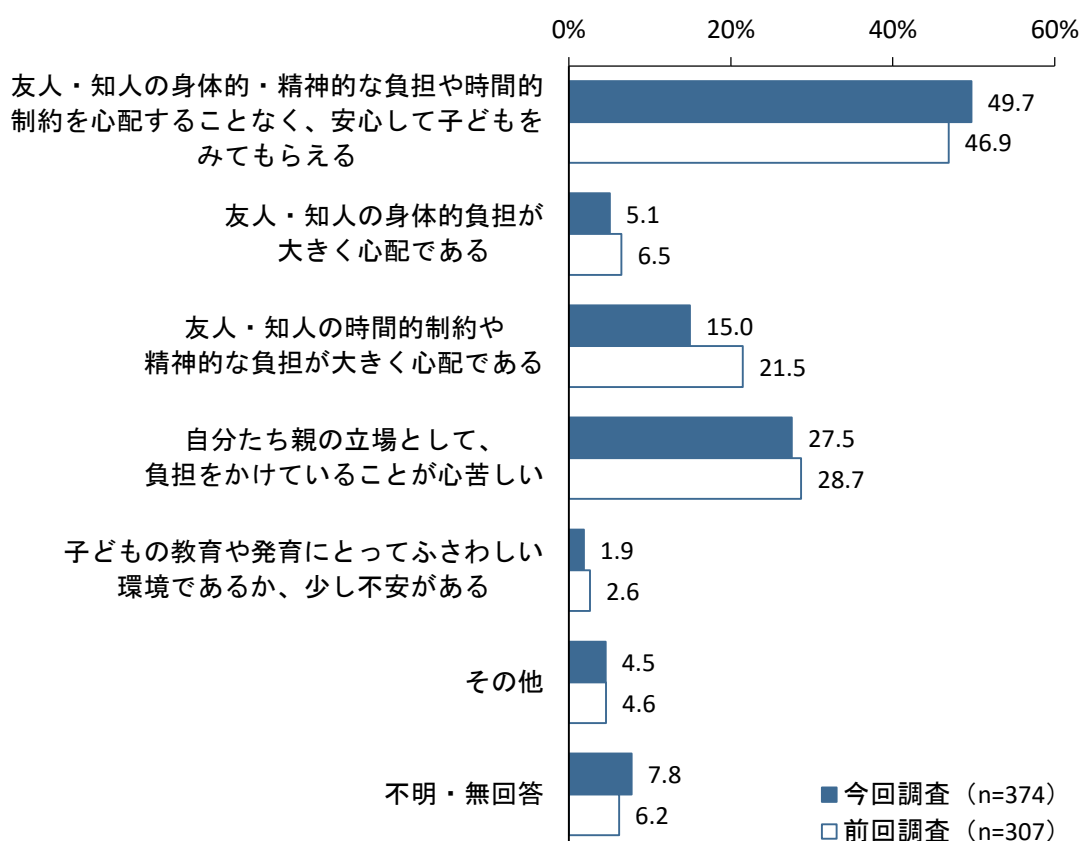


問 8ー②	【問8で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方】 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。 (あてはまるものすべてに○)
-------	---

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 49.7%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 27.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 15.0%と続いています。

前回調査と比較すると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が前回調査（46.9%）より割合が増加し、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の負担を感じている割合がそれぞれ前回調査より減少しています。

図 2-2-10 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

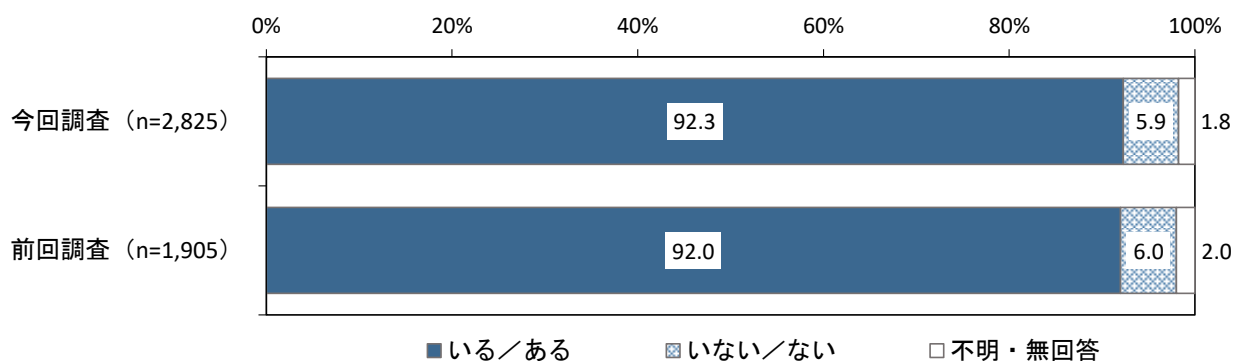


問 9	お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。（どちらかに○）
-----	---

子育てについて気軽に相談できる人や場所があるかどうかについては、「いる／ある」が92.3%、「いない／ない」が5.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図 2-2-11 子育てについて気軽に相談できる人や場所があるかどうか

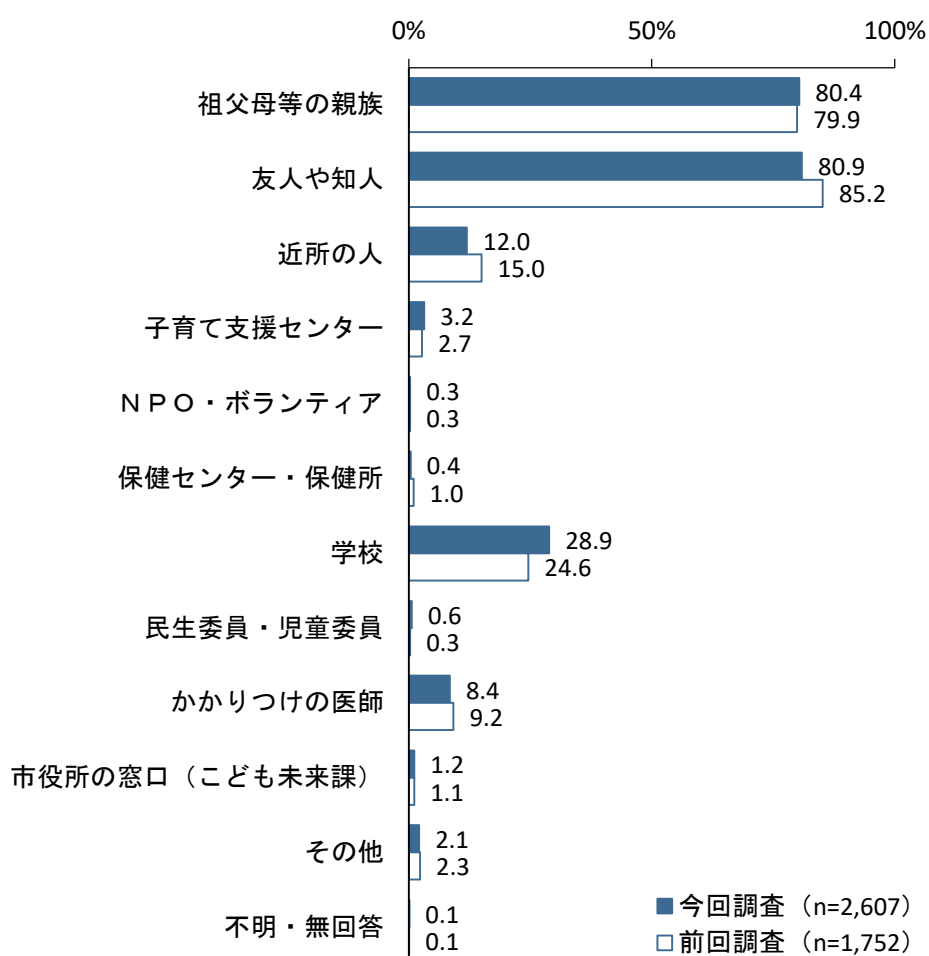


問 9ー①	【問 9 で「いる／ある」に○をつけた方】 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。 （あてはまるものすべてに○）
-------	---

子育てに関して気軽に相談できる先については、「友人や知人」が 80.9%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が 80.4%、「学校」が 28.9%と続いています。

前回調査と比較すると、「友人や知人」が前回調査（85.2%）より最も割合が減少しており 4.3 ポイント減で、「学校」が前回調査（24.6%）より最も割合が増加しており 4.3 ポイント増となっています。

図 2-2-12 子育てに関して気軽に相談できる先



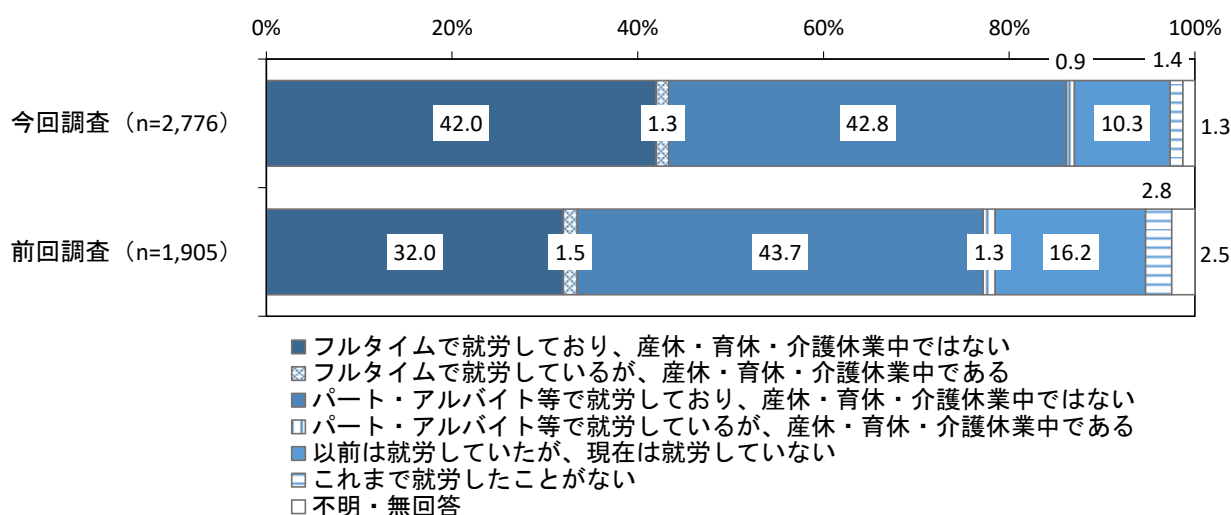
(3) 母親の就労状況について

問 10	お子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（○はひとつ）
------	--

母親の就労状況については、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 42.8%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 42.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 10.3%と続いています。

前回調査と比較すると、就労していない人（「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」の合計）（11.7%）が前回調査（19.0%）より 7.3 ポイント減少し、フルタイムで就労している人（「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の合計）（43.3%）が前回調査（33.5%）より 9.8 ポイント増加しています。

図 2-2-13 母親の就労状況



【問 11－①、②は問 10 で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方】

問 11－①	週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
--------	---

母親の週当たりの就労日数については、「5 日」が 64.8%で最も高く、次いで「4 日」が 13.1%、「6 日」が 10.6%と続いており、1 日当たりの就労時間については、「8～10 時間未満」が 34.7%で最も高く、次いで「6～8 時間未満」が 29.3%、「4～6 時間未満」が 23.0%と続いています。

前回調査と比較すると、就労日数については、「6 日」が前回調査（8.8%）より 1.8 ポイント増加し、就労時間については、「6～8 時間未満」が前回調査（25.1%）より 4.2 ポイント増加しています。

図 2-2-14 母親の就労日数

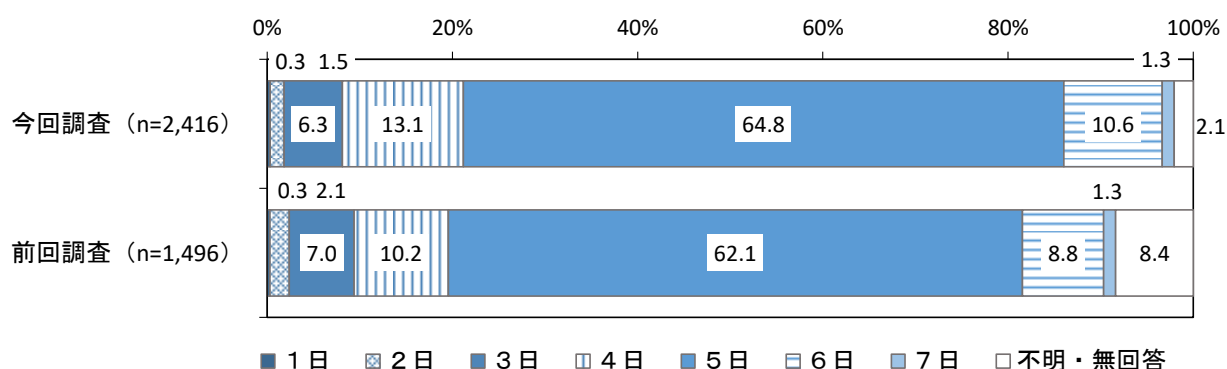
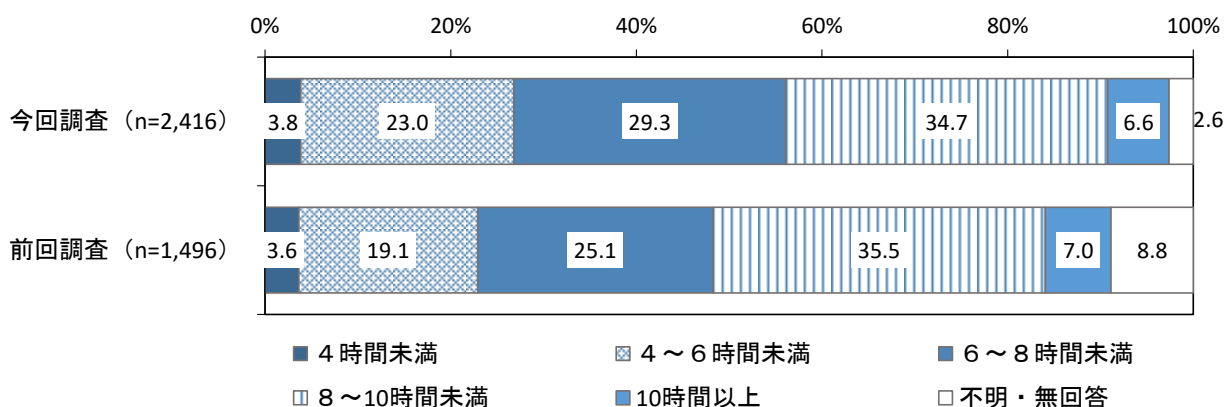


図 2-2-15 母親の就労時間

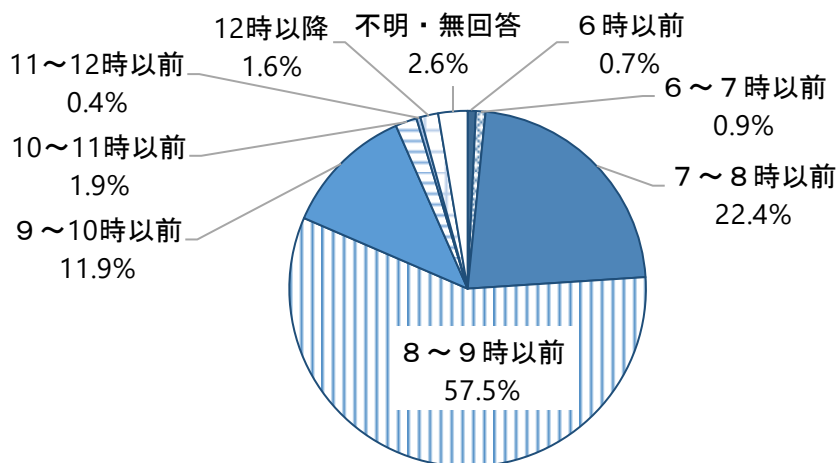


問 11-② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

母親の家を出る時間については、「8～9時以前」が57.5%で最も高く、次いで「7～8時以前」が22.4%、「9～10時以前」が11.9%と続いています。

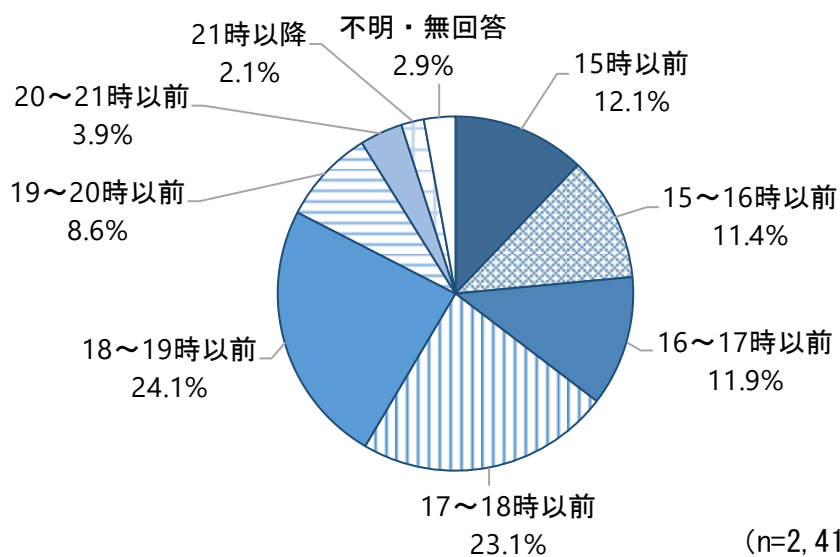
また、母親が帰宅する時間については、「18～19時以前」が24.1%で最も高く、次いで「17～18時以前」が23.1%、「15時以前」が12.1%と続いています。

図 2-2-16 母親が家を出る時間



(n=2,416)

図 2-2-17 母親が帰宅する時間



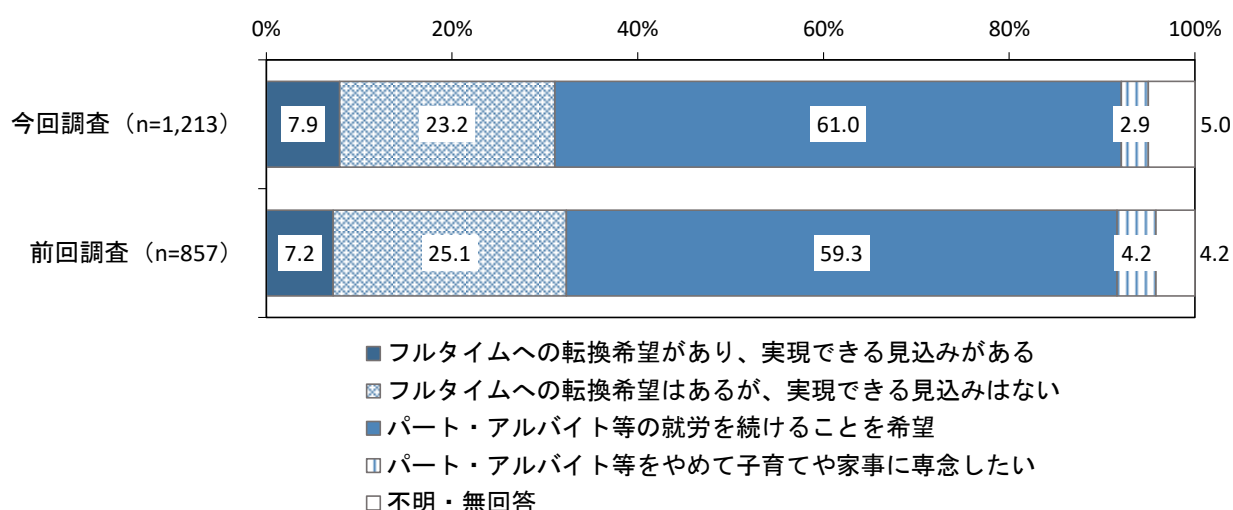
(n=2,416)

問 12	【問 10 で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方】 フルタイムへの転換希望はありますか。（○はひとつ）
------	--

パート・アルバイト就労の方のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 61.0%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 23.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 7.9%と続いており、フルタイムへの転換希望がある人（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の合計）は 31.1%となっています。

前回調査と比較すると、フルタイムへの転換希望がある人は、前回調査（32.3%）より 1.2 ポイント減少しています。

図 2-2-18 パート・アルバイト就労の方のフルタイムへの転換希望



問 13-①	【問 10 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」に○をつけた方】 就労したいという希望はありますか。(○はひとつ)
--------	---

現在就労していない方の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 34.6%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 29.9%、「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」が 28.1%となっており、就労希望のある人（「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の合計）は 58.0%となっています。

また、一番下の子どもが何歳になったら就労したいかについては、「12歳以上」が 17.6%で最も高く、次いで「3歳」、「4歳」がいずれも 12.1%と続いています。

前回調査と比較すると、就労希望のある人は、前回調査（65.1%）より 7.1 ポイント減少しています。

図 2-2-19 現在就労していない方の就労希望

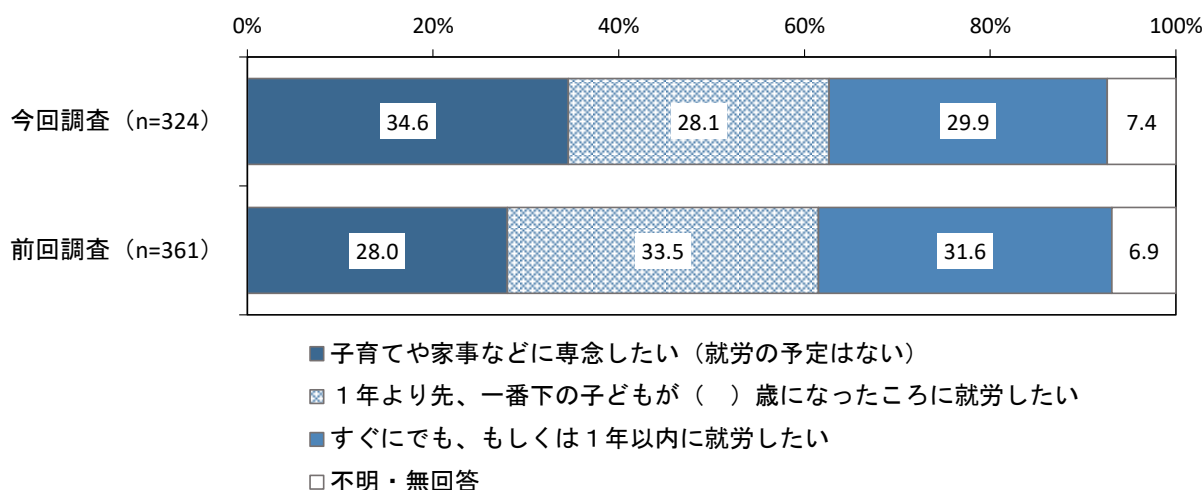
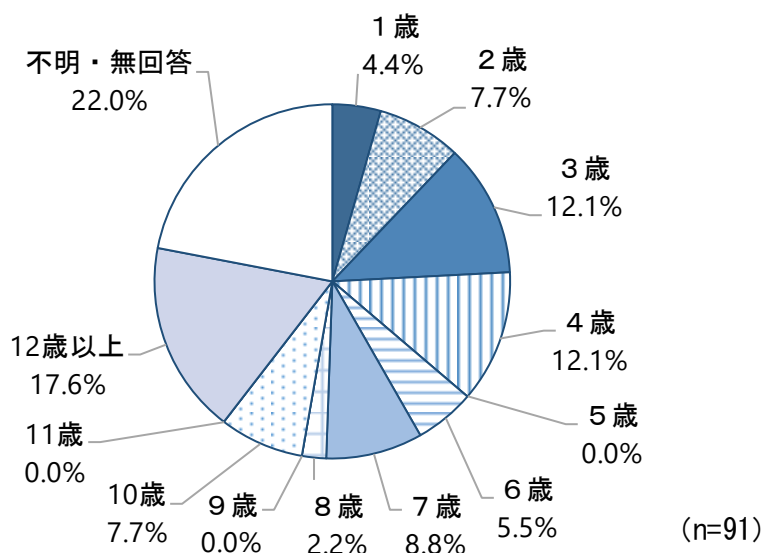


図 2-2-20 一番下の子どもが何歳になったら就労したいか



すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等」が84.5%、「フルタイム」が15.5%となっており、パートタイム、アルバイト等で就労する場合の1週当たりの希望就労日数については、「5日」が32.9%で最も高く、1日当たりの時間希望就労時間については「4～6時間未満」が61.0%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方の希望する就労形態については、大きな差はみられません。

また、パートタイム、アルバイト等で就労する場合の1日当たりの希望就労時間については、『6時間以上』（25.7%）は前回調査（22.1%）より3.6ポイント増加しています。

図2-2-21 就労したい方の希望する就労形態

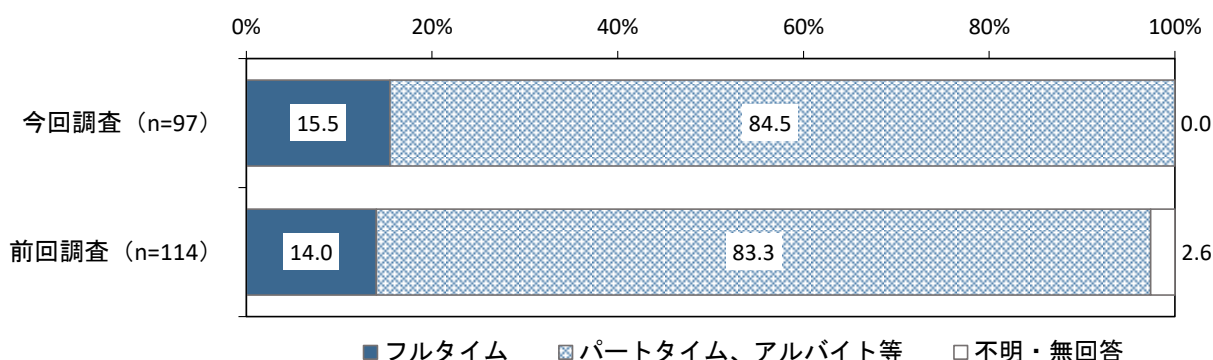


図2-2-22 1週当たりの希望就労日数（母親）

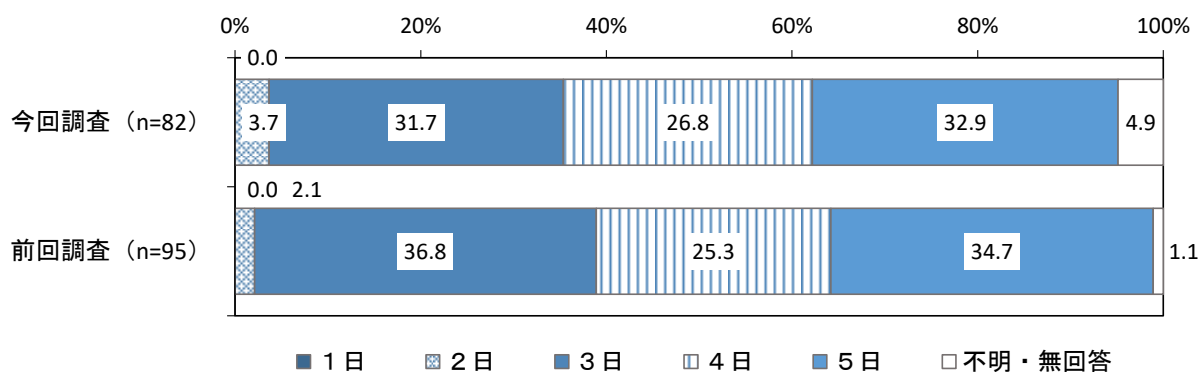
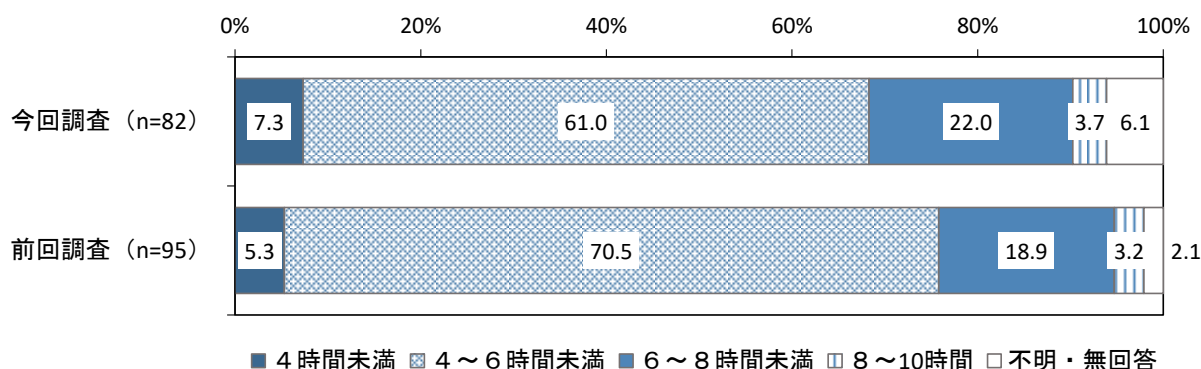


図2-2-23 1日当たりの希望就労時間（母親）

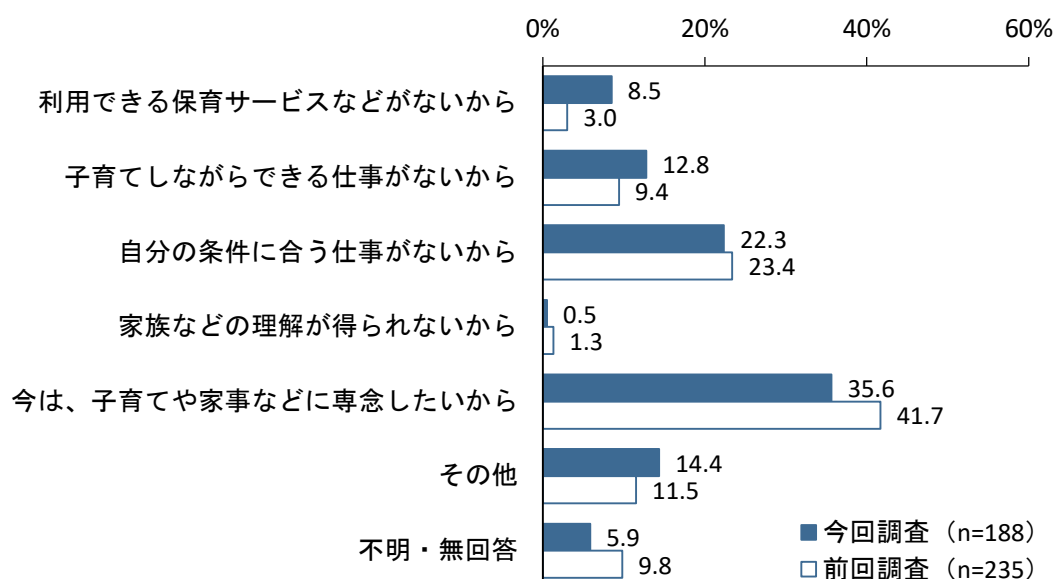


問 13-②	【問 13-①で「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方】 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。 （もっとも近いもの1つに○）
--------	--

就労希望がありながら現在働いていない理由については、「今は、子育てや家事などに専念したいから」が35.6%で最も高く、次いで「自分の条件に合う仕事がないから」が22.3%と続いています。

前回調査と比較すると、「今は、子育てや家事などに専念したいから」では前回調査（41.7%）より6.1ポイント減少し、「利用できる保育サービスなどがないから」が前回調査（3.0%）より5.5ポイント、「子育てしながらできる仕事がないから」が前回調査（9.4%）より3.4ポイントそれぞれ増加しています。

図2-2-24 就労希望がありながら現在働いていない理由

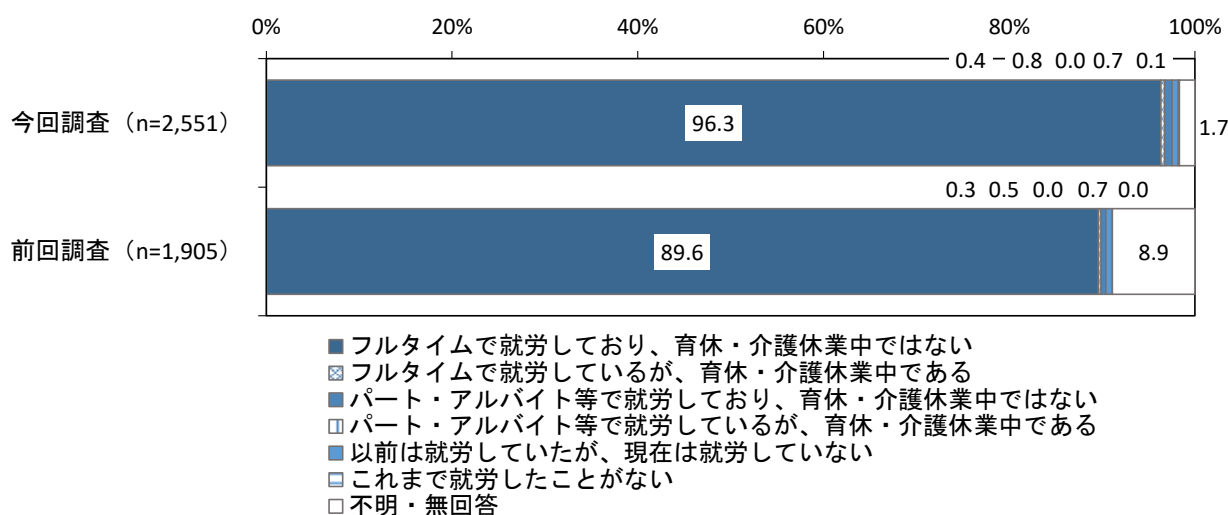


(4) 父親の就労状況について

問 14	お子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（○はひとつ）
------	--

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が96.3%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.7%と続いています。

図 2-2-25 父親の就労状況



【問 15－①、②は問 14 で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方】

問 15－①	週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
--------	---

父親の就労日数については、「5 日」が 59.9%で最も高く、次いで「6 日」が 32.4%、「7 日」が 3.5%と続いており、1 日当たりの就労時間については、「10 時間以上」が 51.6%で最も高く、次いで「8～10 時間未満」が 42.9%、「6～8 時間未満」が 2.3%と続いています。

前回調査と比較すると、就労日数については、「5 日」が前回調査（54.9%）より 5.0 ポイント増加しています。

図 2-2-26 父親の就労日数

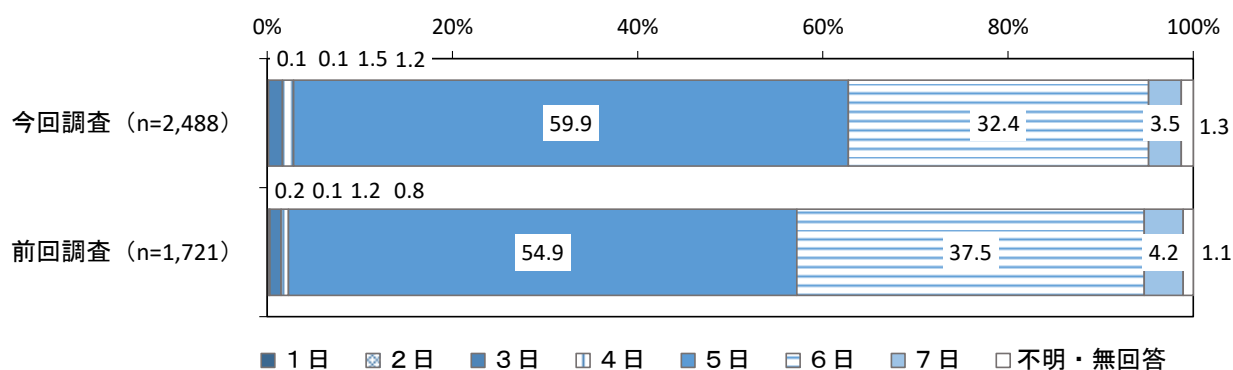
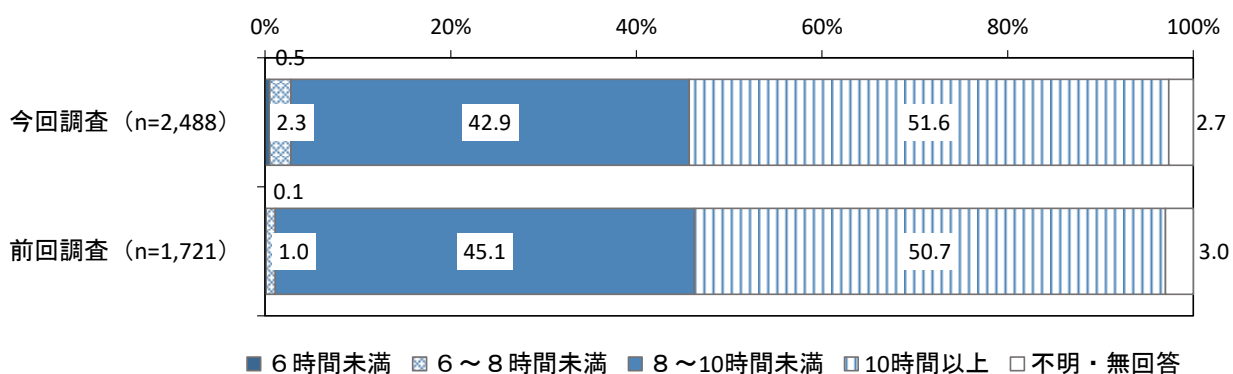


図 2-2-27 父親の就労時間



問 15-② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

父親の家を出る時間については、「7～8時以前」が52.6%で最も高く、次いで「8～9時以前」が20.9%、「6～7時以前」が14.3%と続いています。

また、父親が帰宅する時間については、「21時以降」が23.1%で最も高く、次いで「19～20時以前」が20.9%、「20～21時以前」が19.2%と続いています。

図 2-2-28 父親が家を出る時間

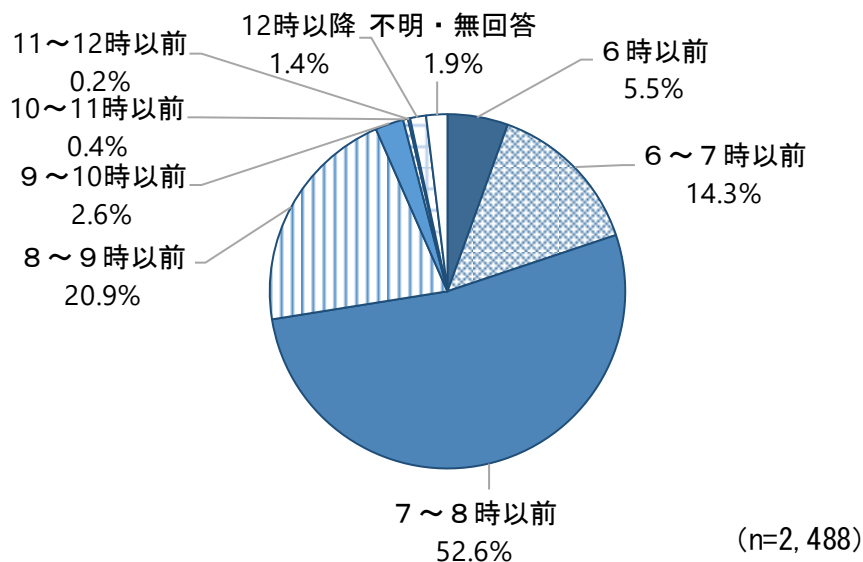
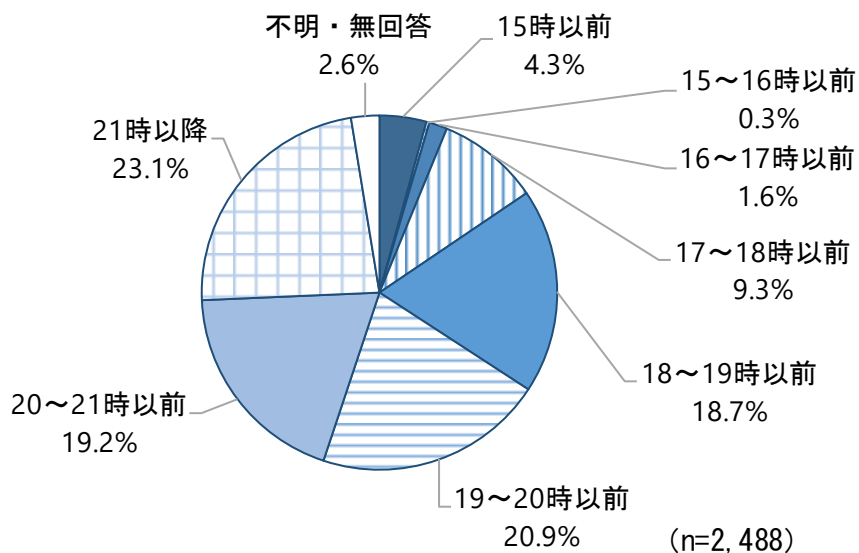


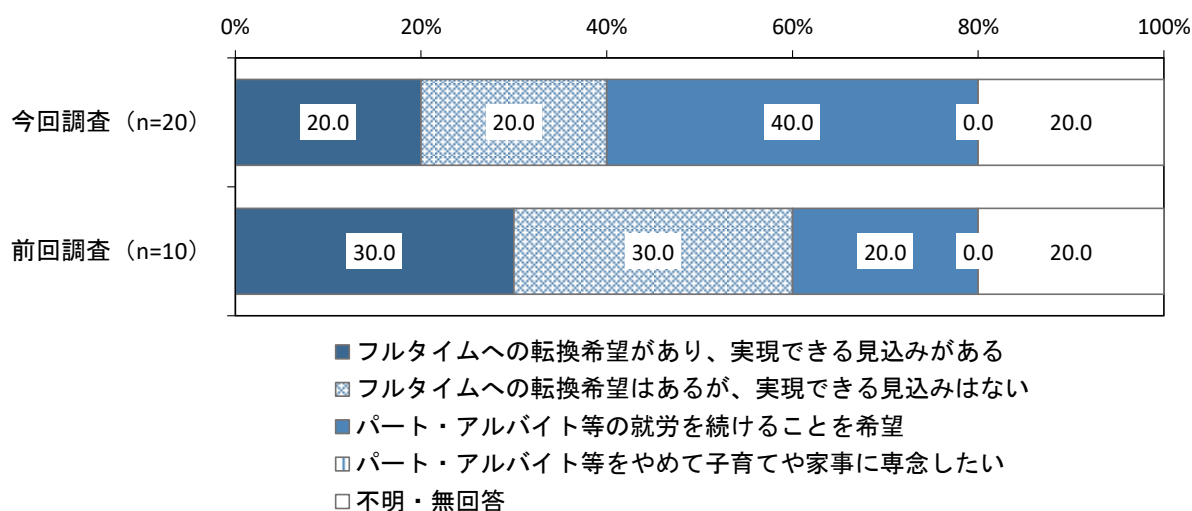
図 2-2-29 父親の帰宅時間



問 16	【問 14 で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方】 フルタイムへの転換希望はありますか。（○はひとつ）
------	--

パート・アルバイト就労の方のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 40.0%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がいずれも 20.0%となっており、フルタイムへの転換希望がある人は 40.0%となっています。

図 2-2-30 パート・アルバイト就労の方のフルタイムへの転換希望



問 17-①	【問 14 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」に○をつけた方】 就労したいという希望はありますか。(○はひとつ)
--------	---

現在就労していない方の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が45.0%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が20.0%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が10.0%となっています。

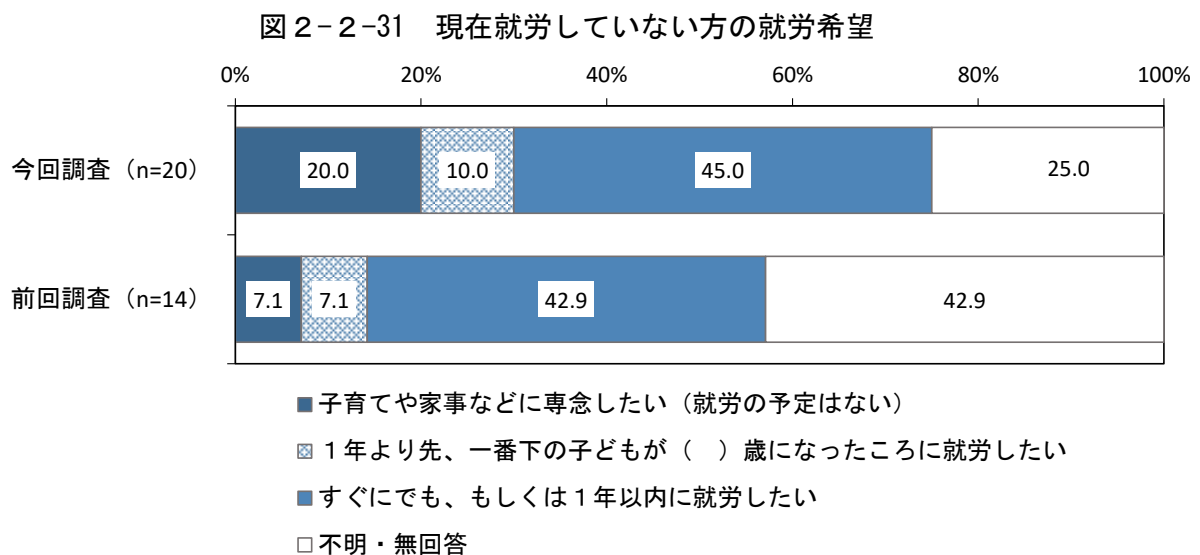
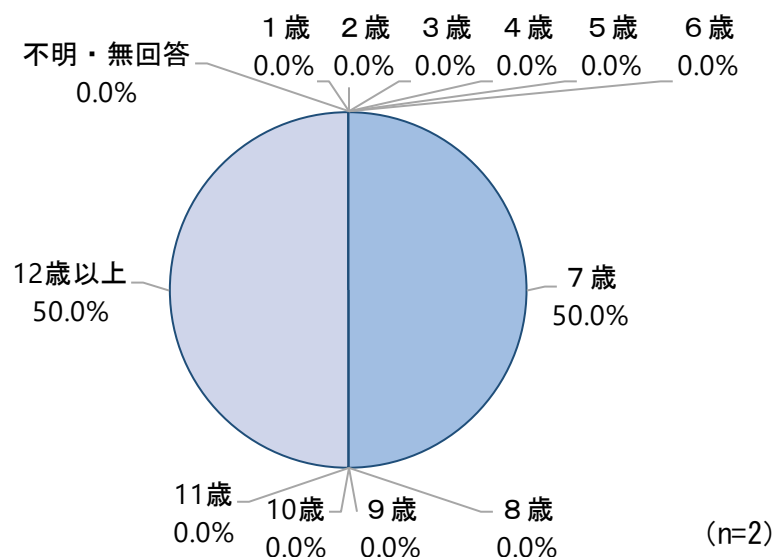


図 2-2-32 一番下の子どもが何歳になったら就労したいか



すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい方の希望する就労形態については、「フルタイム」が66.7%、「パートタイム、アルバイト等」が33.3%となっています。

図2-2-33 就労したい方の希望する就労形態

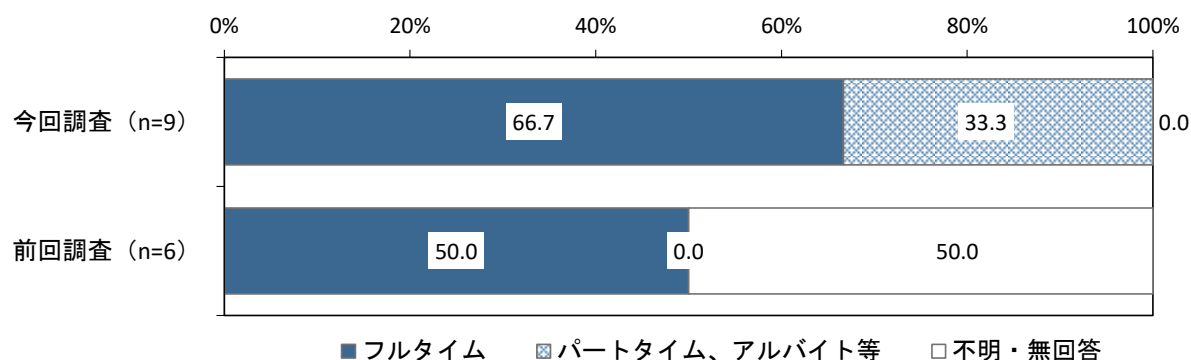


図2-2-34 1週当たりの希望就労日数（父親）

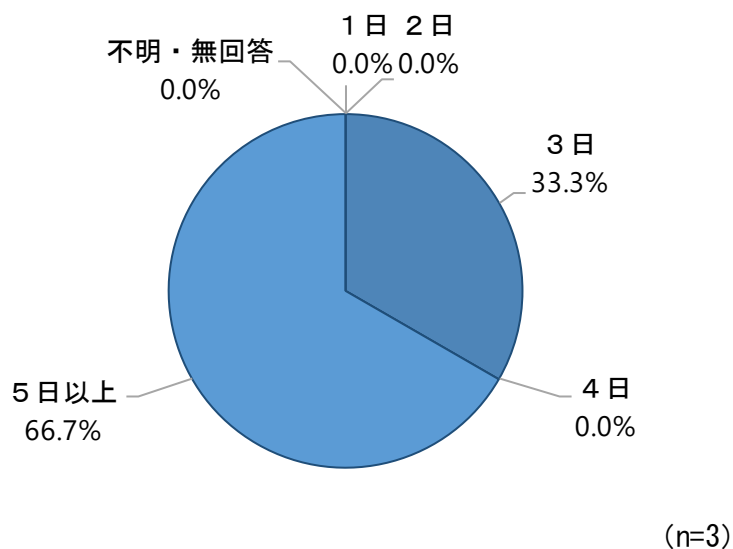
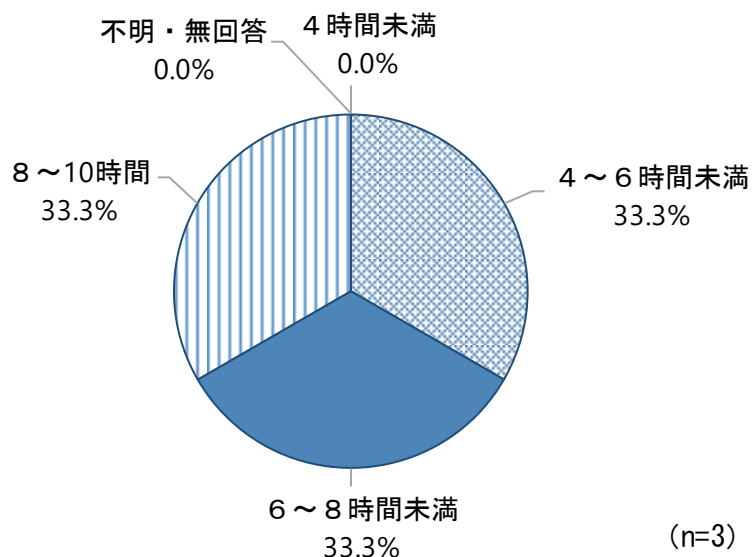


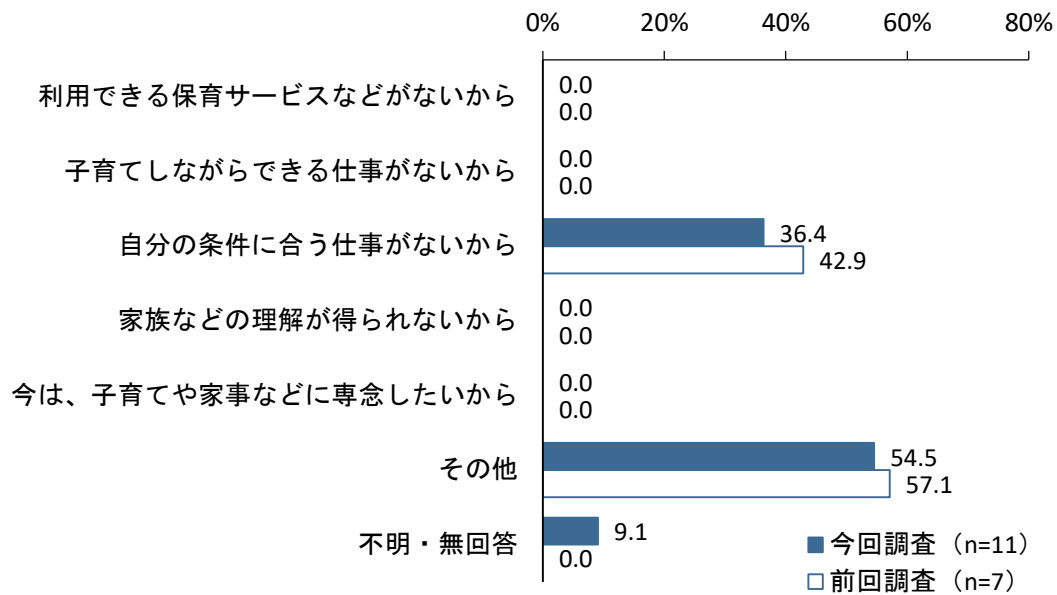
図2-2-35 1日当たりの希望就労時間（父親）



問 17-②	【問 17-①で「1 年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」または「すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい」に○をつけた方】 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。 （もっとも近いもの1 つに○）
--------	---

就労希望がありながら現在働いていない理由については、「その他」が 54.5%で最も高く、次いで「自分の条件に合う仕事がないから」が 36.4%となっています。

図 2-2-36 就労希望がありながら現在働いていない理由

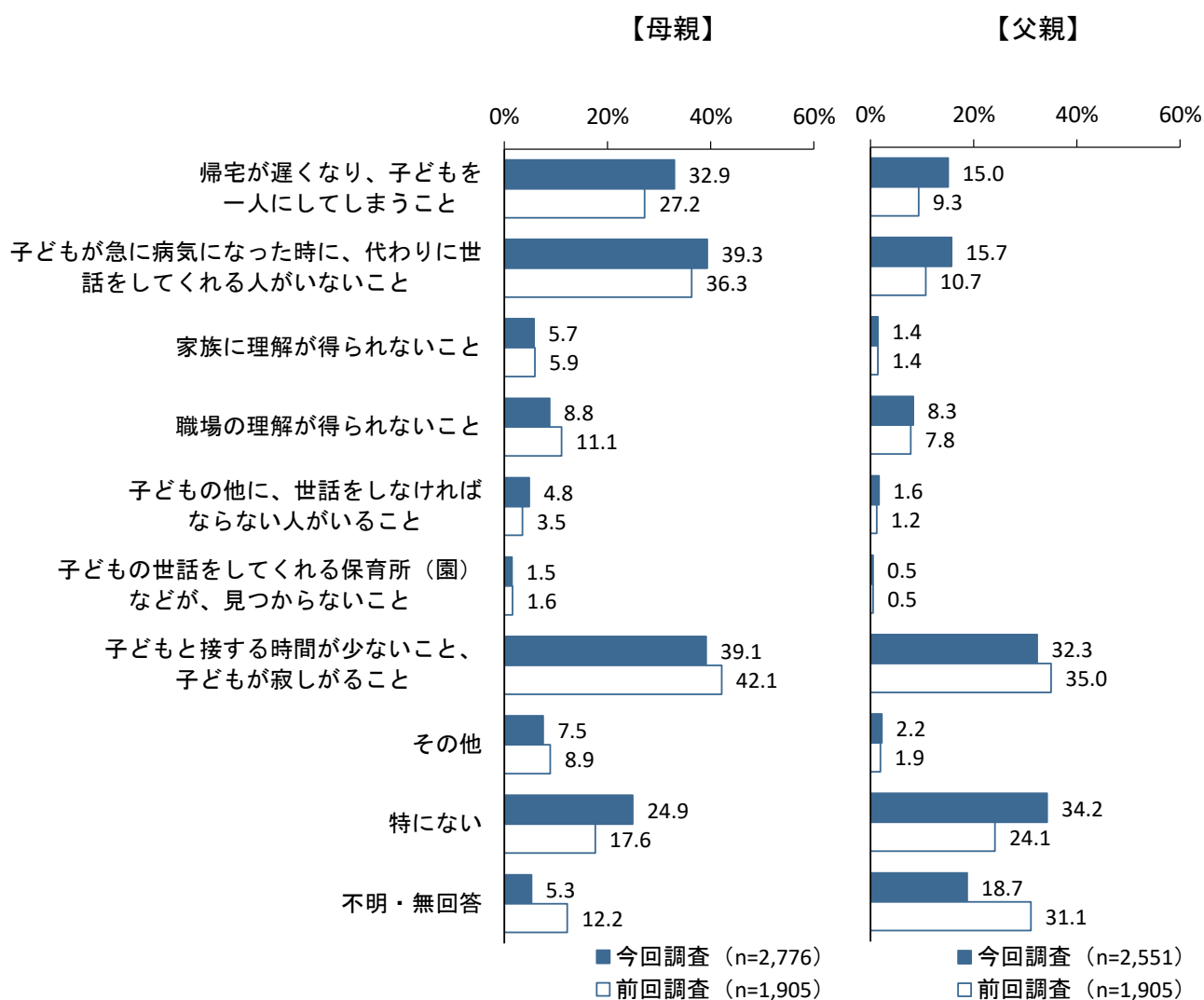


問 18	仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。(1) 母親、(2) 父親、それぞれについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)
------	--

仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについて、母親では、「子どもが急に病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」が 39.3%で最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと、子どもが寂しがること」が 39.1%、「帰宅が遅くなり、子どもを一人にしてしまうこと」が 32.9%と続いており、一方、父親では、「特にない」が 34.2%で最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと、子どもが寂しがること」が 32.3%、「子どもが急に病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」が 15.7%と続いています。

前回調査と比較すると、「特にない」、「帰宅が遅くなり、子どもを一人にしてしまうこと」、「子どもが急に病気になった時に、代わりに世話をしてくれる人がいないこと」、「子どもの他に、世話をしなければならない人がいること」では、母親・父親いずれも前回調査より割合が増加しています。

図 2-2-37 子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じること



(5) 放課後の過ごし方について

問 19	お子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）
------	---

現在のお子さんの放課後の過ごし方については、「自宅」が78.9%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が42.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が20.8%と続いています。

また、放課後の過ごし方別の1週あたりの平均日数については、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が4.2日、「自宅」が4.1日、「児童館」が3.1日となっています。

前回調査と比較すると、「自宅」は前回調査（76.5%）より2.4ポイント増加し、「祖父母宅や友人・知人宅」は前回調査（23.2%）より2.4ポイント減少しています。また、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」については、前回調査（49.5%）より最も割合が減少し6.7ポイント減となっています。

図 2-2-38 放課後の過ごし方

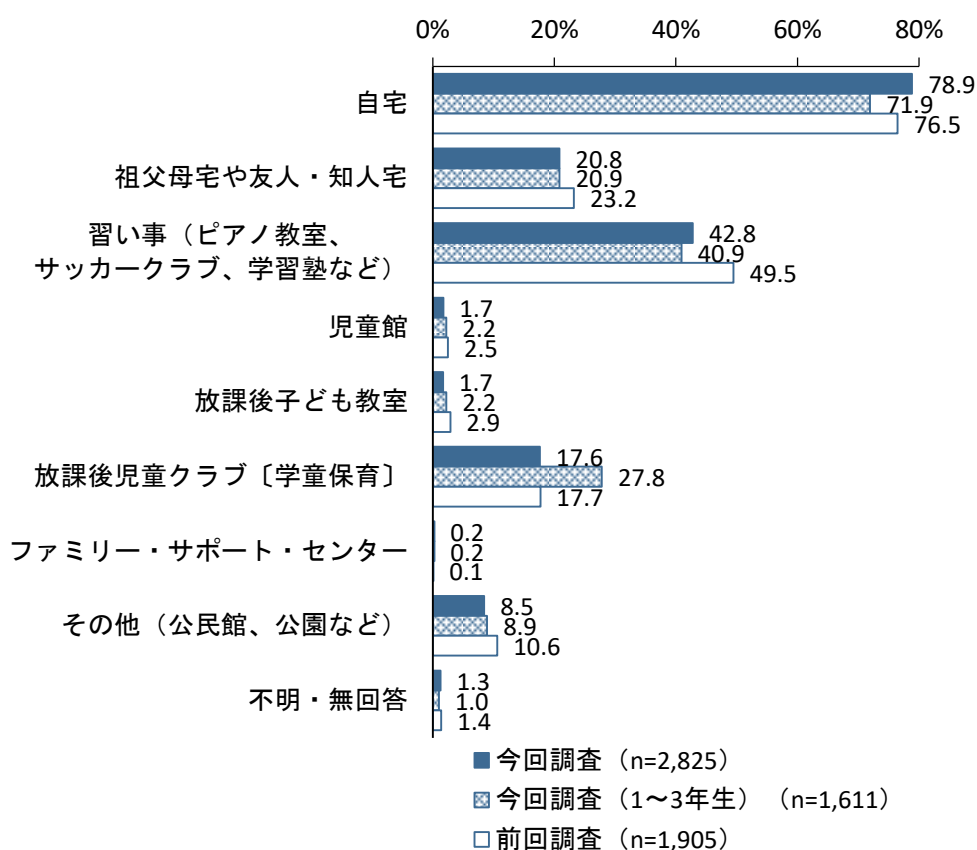


表 2-2-1 放課後の過ごし方別平均日数

	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
自宅	2,109	8,677	4.1	3.9
祖父母宅や友人・知人宅	563	1,420	2.5	2.6
習い事	1,185	2,934	2.5	2.2
児童館	47	144	3.1	3.1
放課後子ども教室	45	76	1.7	2.2
放課後児童クラブ〔学童保育〕	465	1,955	4.2	4.4
ファミリー・サポート・センター	6	17	2.8	1.0
その他	227	524	2.3	2.5

現在のお子さんの放課後の過ごし方について学年別でみると、「自宅」では、学年が上がるにつれて割合が増加しており、6年生が92.5%で最も高く、1年生が67.4%で最も低くなっています。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では、いずれの学年も3～4割台となっており、5年生が47.6%で最も高く、1年生が35.6%で最も低くなっています。

「放課後児童クラブ〔学童保育〕」では、学年が上がるにつれて割合が減少しており、1年生が34.9%で最も高く、6年生が1.1%で最も低くなっています。

前回調査と比較すると（1～3年生）、いずれの学年においても「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が前回調査より割合が減少し、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が増加しています。

表 2-2-2 放課後の過ごし方【学年別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど)	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館、公園 など)
1 年生	今回調査	579 100.0	390 67.4	109 18.8	206 35.6	19 3.3	10 1.7	202 34.9	1 0.2	40 6.9
	前回調査	636 100.0	466 73.3	147 23.1	270 42.5	21 3.3	23 3.6	145 22.8	1 0.2	70 11.0
2 年生	今回調査	536 100.0	386 72.0	113 21.1	236 44.0	11 2.1	13 2.4	153 28.5	3 0.6	53 9.9
	前回調査	650 100.0	491 75.5	152 23.4	340 52.3	21 3.2	21 3.2	131 20.2	-	78 12.0
3 年生	今回調査	480 100.0	383 79.8	114 23.8	217 45.2	6 1.3	13 2.7	93 19.4	-	51 10.6
	前回調査	578 100.0	487 84.3	139 24.0	325 56.2	6 1.0	11 1.9	60 10.4	-	52 9.0
4 年生	今回調査	431 100.0	378 87.7	107 24.8	202 46.9	4 0.9	6 1.4	32 7.4	2 0.5	39 9.0
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 年生	今回調査	395 100.0	353 89.4	92 23.3	188 47.6	6 1.5	6 1.5	11 2.8	1 0.3	40 10.1
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 年生	今回調査	361 100.0	334 92.5	51 14.1	157 43.5	2 0.6	-	4 1.1	-	15 4.2
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※網掛け■は最も割合が高いもの

現在のお子さんの放課後の過ごし方について地区別でみると、「自宅」では、いずれの地区も7～8割台となっており、大山田地区が87.1%で最も高く、島ヶ原地区が73.9%で最も低くなっています。

「放課後児童クラブ〔学童保育〕」では、島ヶ原地区が32.6%で最も高く、大山田地区が5.3%で最も低くなっており、その他の地区では1割台となっています。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では、いずれの地区も3～4割台となっており、上野地区が45.3%で最も高く、青山地区が36.8%で最も低くなっています。

表2-2-3 放課後の過ごし方【地区別集計】

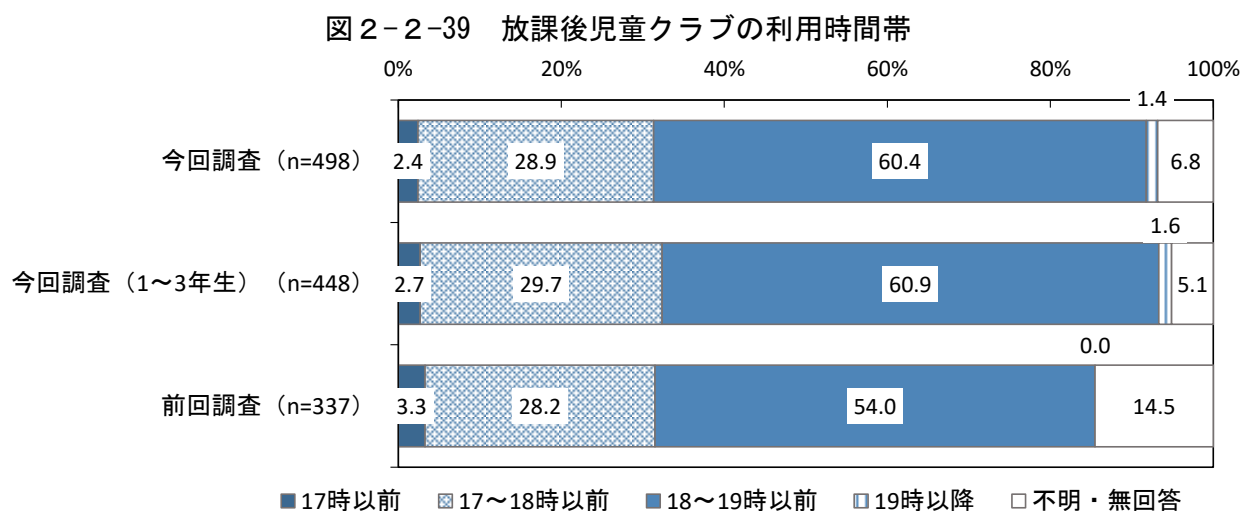
上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 （ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど）	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 （公民 館、公園 など）
上野	今回調査	1,818 100.0	1451 79.8	377 20.7	823 45.3	37 2.0	26 1.4	340 18.7	5 0.3	162 8.9
	前回調査	1,188 100.0	912 76.8	291 24.5	612 51.5	35 2.9	26 2.2	221 18.6	-	137 11.5
伊賀	今回調査	278 100.0	219 78.8	58 20.9	116 41.7	8 2.9	16 5.8	52 18.7	2 0.7	14 5.0
	前回調査	159 100.0	130 81.8	40 25.2	83 52.2	4 2.5	21 13.2	21 13.2	1 0.6	6 3.8
島ヶ原	今回調査	46 100.0	34 73.9	7 15.2	20 43.5	-	-	15 32.6	-	1 2.2
	前回調査	38 100.0	28 73.7	6 15.8	15 39.5	1 2.6	-	10 26.3	-	1 2.6
阿山	今回調査	190 100.0	150 78.9	30 15.8	79 41.6	-	-	37 19.5	-	6 3.2
	前回調査	124 100.0	112 90.3	23 18.5	66 53.2	-	-	10 8.1	-	4 3.2
大山田	今回調査	132 100.0	115 87.1	24 18.2	52 39.4	-	2 1.5	7 5.3	-	13 9.8
	前回調査	85 100.0	67 78.8	22 25.9	39 45.9	-	2 2.4	13 15.3	-	9 10.6
青山	今回調査	231 100.0	191 82.7	66 28.6	85 36.8	1 0.4	2 0.9	29 12.6	-	33 14.3
	前回調査	156 100.0	118 75.6	43 27.6	71 45.5	1 0.6	6 3.8	28 17.9	-	31 19.9

※網掛け■は最も割合が高いもの

放課後児童クラブの利用時間帯については、「18～19 時以前」が 60.4%で最も高く、次いで「17～18 時以前」が 28.9%、「17 時以前」が 2.4%と続いています。

前回調査と比較すると、「18～19 時以前」は、前回調査（54.0%）より 6.4 ポイント増加しています。

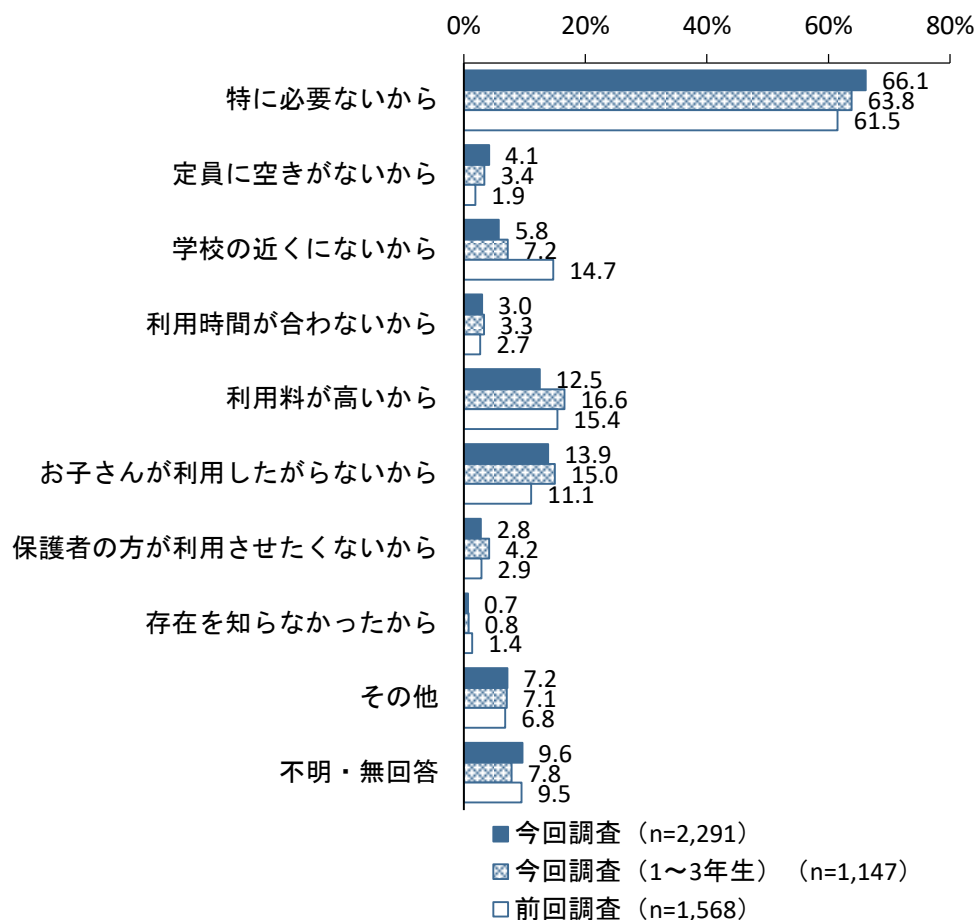


問 19ー①	【問 19 で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○を付けなかった方】 利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
--------	---

放課後児童クラブ(学童保育)を利用していない理由については、「特に必要ないから」が66.1%で最も高く、次いで「お子さんが利用したがないから」が13.9%、「利用料が高いから」が12.5%と続いています。

前回調査と比較すると、「学校の近くにないから」が前回調査（14.7%）より最も割合が減少しており 8.9 ポイント減で、「特に必要ないから」が前回調査（61.5%）より最も割合が増加しており 4.6 ポイント増となっています。

図 2-2-40 放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない理由



問 20	お子さんについて、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）
------	---

希望する今後の放課後の過ごし方については、「自宅」が 75.0%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 41.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 19.8%と続いています。

また、放課後の過ごし方別の 1 週あたりの平均日数については、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 3.9 日、「自宅」が 3.9 日、「ファミリー・サポート・センター」が 2.8 日となっています。

前回調査と比較すると、「自宅」は前回調査（70.9%）より 4.1 ポイント増加し、「祖父母宅や友人・知人宅」は前回調査（21.3%）より 1.5 ポイント減少しています。また、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」については、前回調査（49.8%）より最も割合が減少し 8.6 ポイント減となっています。

図 2-2-41 希望する今後の放課後の過ごし方

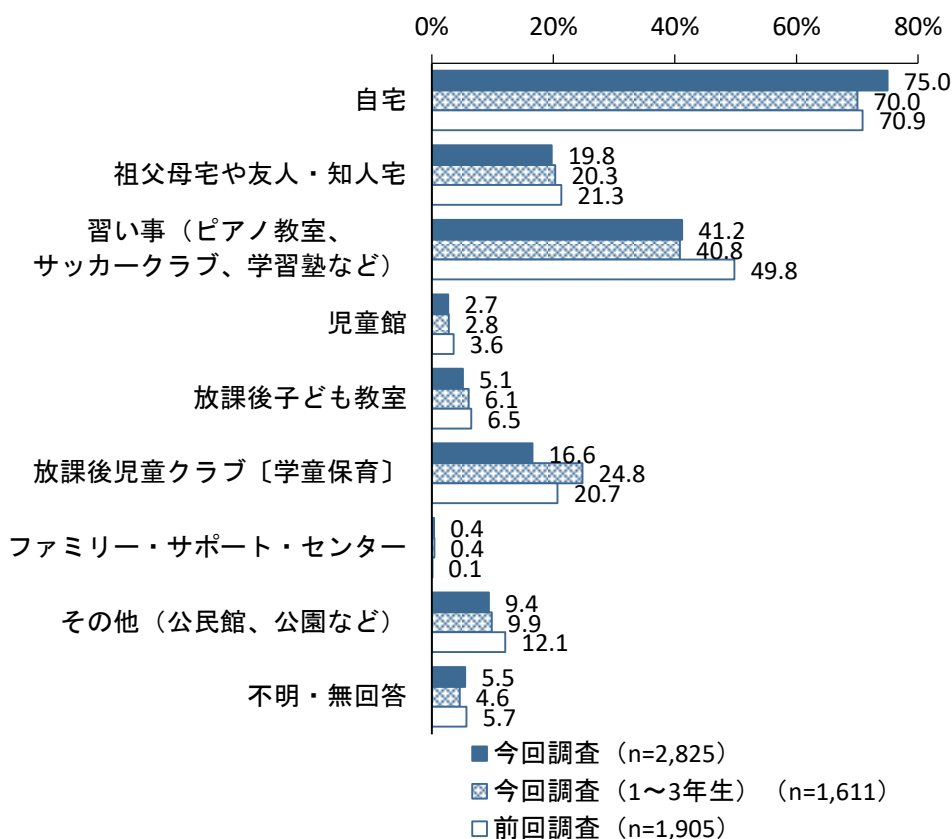


表 2-2-4 希望する放課後の過ごし方別平均日数

	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
自宅	1,834	7,241	3.9	3.7
祖父母宅や友人・知人宅	500	1,180	2.4	2.3
習い事	1,082	2,575	2.4	2.1
児童館	69	185	2.7	3.0
放課後子ども教室	131	299	2.3	2.5
放課後児童クラブ〔学童保育〕	418	1,646	3.9	4.0
ファミリー・サポート・センター	10	28	2.8	2.0
その他	237	540	2.3	2.4

希望する今後の放課後の過ごし方について学年別でみると、「自宅」では、学年が上がるにつれて割合が増加しており、6年生が90.9%で最も高く、1年生が67.8%で最も低くなっています。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では、いずれの学年も3～4割台となっており、5年生が47.8%で最も高く、1年生が39.1%で最も低くなっています。

「放課後児童クラブ〔学童保育〕」では、学年が上がるにつれて割合が減少しており、1年生が33.6%で最も高く、6年生が2.6%で最も低くなっています。

前回調査と比較すると（1～3年生）、いずれの学年においても「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が前回調査より割合が減少し、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が増加しています。

表 2-2-5 希望する放課後の過ごし方【学年別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 （ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど）	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 （公民 館、公園 など）
1 年生	今回調査	562 100.0	381 67.8	113 20.1	220 39.1	22 3.9	42 7.5	199 33.6	2 0.4	49 8.7
	前回調査	615 100.0	418 68.0	126 20.5	280 45.5	24 3.9	47 7.6	180 29.3	1 0.2	80 13.0
2 年生	今回調査	514 100.0	362 70.4	103 20.0	234 45.5	18 3.5	34 6.6	138 26.8	4 0.8	52 10.1
	前回調査	621 100.0	475 76.5	147 23.7	358 57.6	30 4.8	45 7.2	134 21.6	1 0.2	89 14.3
3 年生	今回調査	461 100.0	385 83.5	111 24.1	204 44.3	5 1.1	22 4.8	72 15.6	1 0.2	58 12.6
	前回調査	550 100.0	451 82.0	128 23.3	305 55.5	14 2.5	32 5.8	79 14.4	-	60 10.9
4 年生	今回調査	415 100.0	355 85.5	91 21.9	187 45.1	12 2.9	18 4.3	35 8.4	-	42 10.1
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 年生	今回調査	372 100.0	323 86.8	83 22.3	178 47.8	13 3.5	18 4.8	21 5.6	2 0.5	44 11.8
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 年生	今回調査	341 100.0	310 90.9	55 16.1	138 40.5	6 1.8	8 2.3	9 2.6	2 0.6	19 5.6
	前回調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※網掛け■は最も割合が高いもの

希望する今後の放課後の過ごし方について地区別でみると、「自宅」では、いずれの地区も7～8割台となっており、大山田地区が88.2%で最も高く、島ヶ原地区が75.0%で最も低くなっています。

「放課後児童クラブ〔学童保育〕」では、島ヶ原地区が27.3%で最も高く、大山田地区が9.4%で最も低くなっています。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では、いずれの地区も3～4割台となっており、上野地区が45.1%で最も高く、阿山地区が39.9%で最も低くなっています。

表2-2-6 希望する放課後の過ごし方【地区別集計】

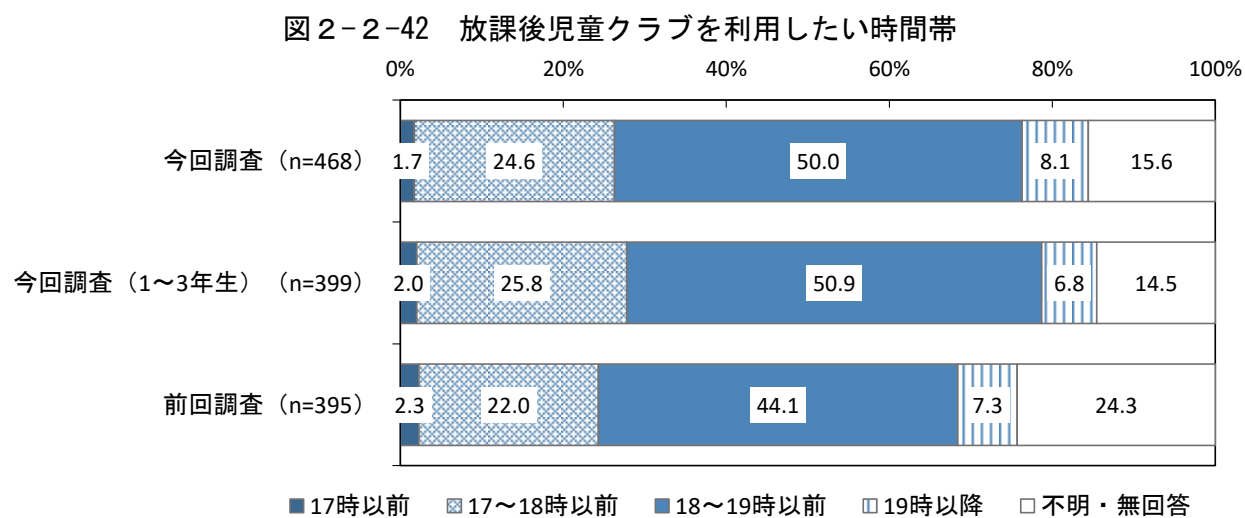
上段：実数（人）、下段：構成比（％）

		全体	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 （ピアノ 教室、 サッカークラブ、 学習塾など）	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 （公民 館、公園 など）
上野	今回調査	1,742 100.0	1373 78.8	355 20.4	785 45.1	51 2.9	88 5.1	309 17.7	7 0.4	176 10.1
	前回調査	1,148 100.0	848 73.9	274 23.9	611 53.2	55 4.8	81 7.1	264 23.0	-	153 13.3
伊賀	今回調査	268 100.0	216 80.6	60 22.4	110 41.0	13 4.9	23 8.6	47 17.5	4 1.5	19 7.1
	前回調査	150 100.0	115 76.7	34 22.7	79 52.7	2 1.3	21 14.0	32 21.3	1 0.7	9 6.0
島ヶ原	今回調査	44 100.0	33 75.0	8 18.2	19 43.2	1 2.3	1 2.3	12 27.3	-	3 6.8
	前回調査	37 100.0	29 78.4	7 18.9	16 43.2	1 2.7	-	9 24.3	-	2 5.4
阿山	今回調査	183 100.0	138 75.4	32 17.5	73 39.9	2 1.1	10 5.5	45 24.6	-	8 4.4
	前回調査	118 100.0	104 88.1	18 15.3	70 59.3	-	4 3.4	16 13.6	-	8 6.8
大山田	今回調査	127 100.0	112 88.2	25 19.7	57 44.9	1 0.8	3 2.4	12 9.4	-	15 11.8
	前回調査	81 100.0	63 77.8	17 21.0	41 50.6	1 1.2	6 7.4	14 17.3	-	8 9.9
青山	今回調査	219 100.0	187 85.4	56 25.6	90 41.1	3 1.4	12 5.5	19 8.7	-	33 15.1
	前回調査	148 100.0	114 77.0	37 25.0	78 52.7	2 1.4	8 5.4	27 18.2	-	32 21.6

※網掛け■は最も割合が高いもの

放課後児童クラブを利用したい時間帯については、「18～19 時以前」が 50.0%で最も高く、次いで「17～18 時以前」が 24.6%、「19 時以降」が 8.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「18～19 時以前」は、前回調査（44.1%）より 5.9 ポイント増加しています。



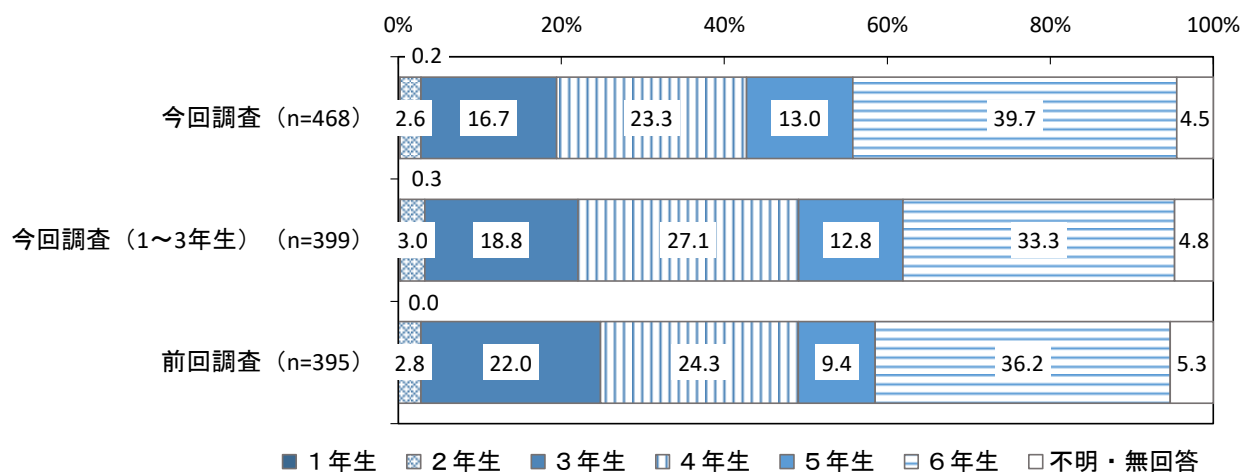
【問 21－①～③は問 20 で「放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方】

問 21－①	お子さんについて、何年生になるまで放課後児童クラブを利用したいですか。
--------	-------------------------------------

放課後児童クラブを何年生まで利用したいかについては、「6年生」が 39.7%で最も高く、次いで「4年生」が 23.3%、「3年生」が 16.7%と続いています。

前回調査と比較すると、『5年生以上』（52.7%）では、前回調査（45.6%）より 7.1 ポイント増加しています。

図 2-2-43 放課後児童クラブを何年生まで利用したいか



問 21-②	お子さんについて、(1) 土曜日と(2) 日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(それぞれに○はひとつずつ)
--------	---

土曜と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望について、土曜日は、「利用する必要はない」が70.9%、「利用したい」が25.6%となっており、日曜日は、「利用する必要はない」が82.5%、「利用したい」が11.8%となっています。

また、利用したい時間帯について、開始時間では、土曜日、日曜日・祝日いずれも「8～9時以前」の割合が最も高く、終了時間では、土曜日、日曜日・祝日いずれも「18～19時以前」の割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「利用したい」では、土曜日、日曜日・祝日いずれも前回調査よりも割合が増加しています。

図 2-2-44 土曜と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

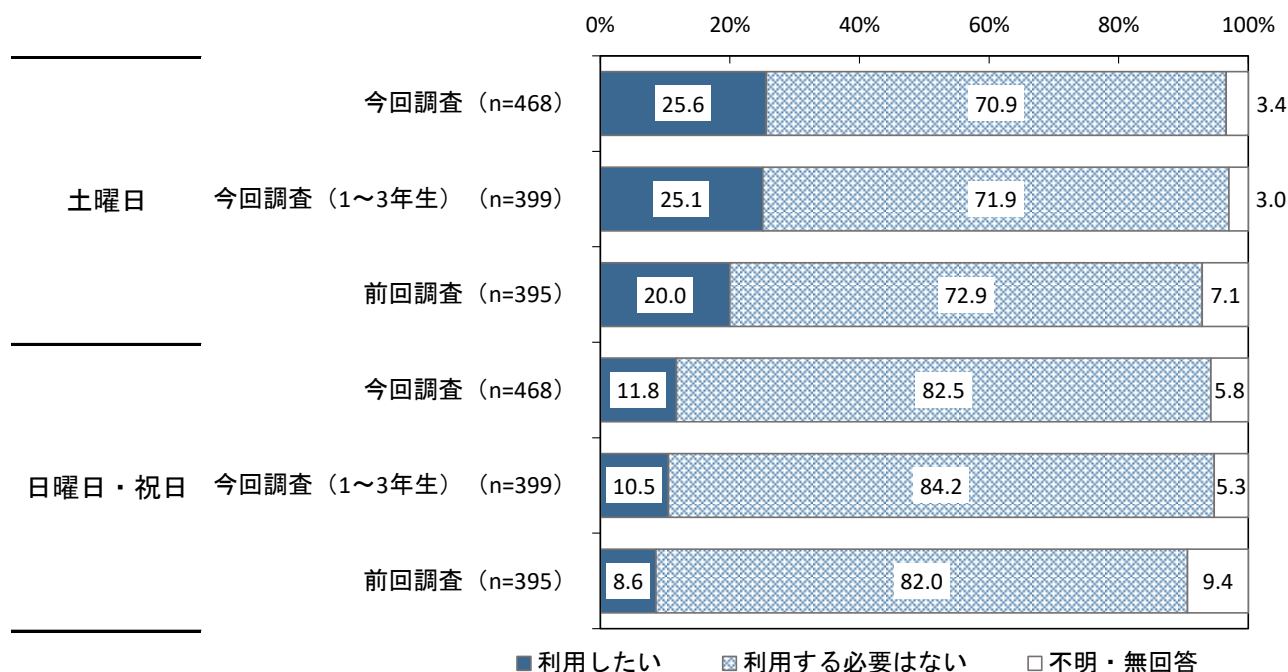


図 2-2-45 放課後児童クラブを利用したい時間帯 開始時間

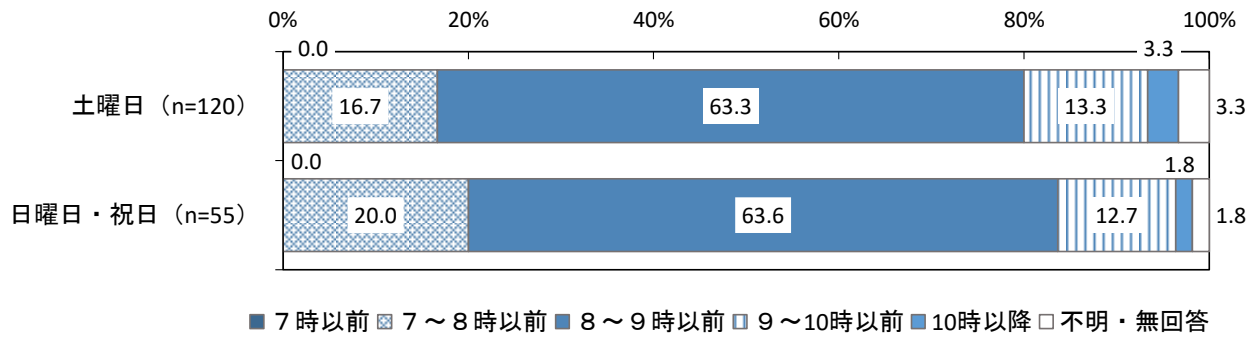
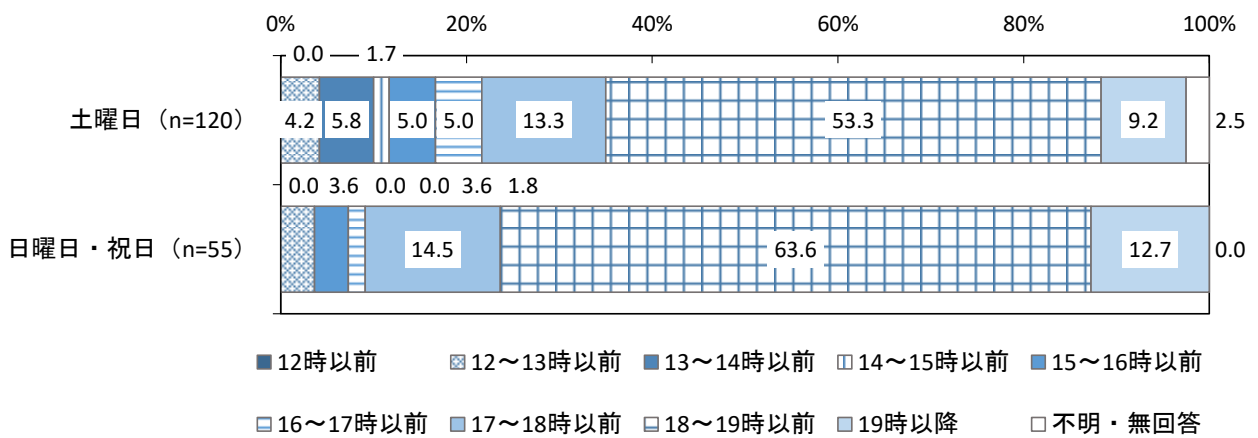


図 2-2-46 放課後児童クラブを利用したい時間帯 終了時間



問 21－③	お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（〇はひとつ）
--------	--

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望については、「利用したい」が 87.8%、「利用する必要はない」が 9.8%となっています。

また、利用したい時間帯について、開始時間では、「8～9時以前」が 66.2%で最も高く、終了時間では、「18～19時以前」が 56.0%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「利用したい」では、前回調査（89.9%）より 2.1 ポイント減少しています。

図 2-2-47 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

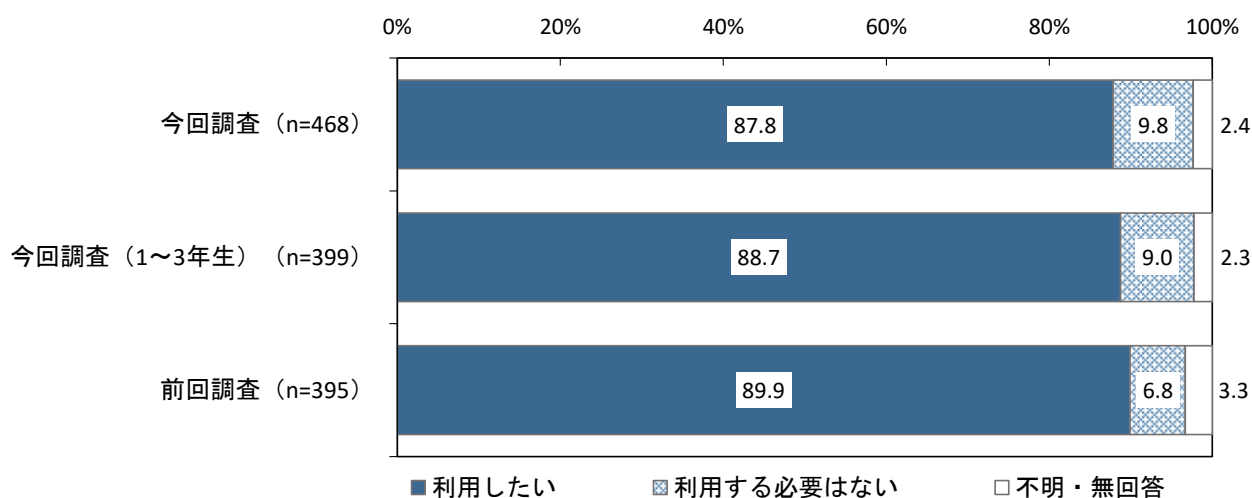


図 2-2-48 長期休暇中の放課後児童クラブの利用したい時間帯 開始時間

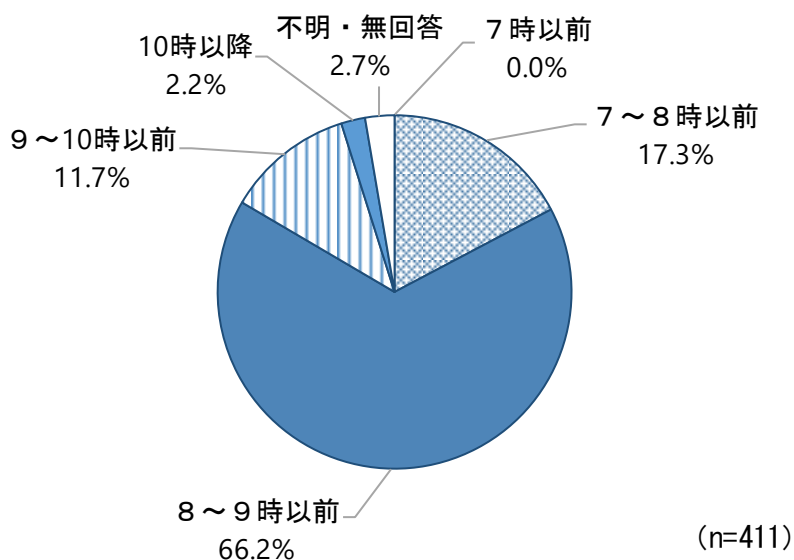
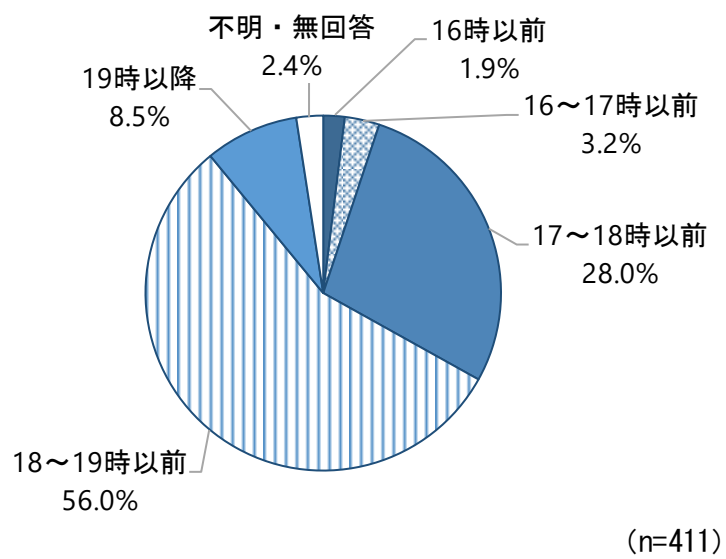


図 2-2-49 長期休暇中の放課後児童クラブの利用したい時間帯 終了時間



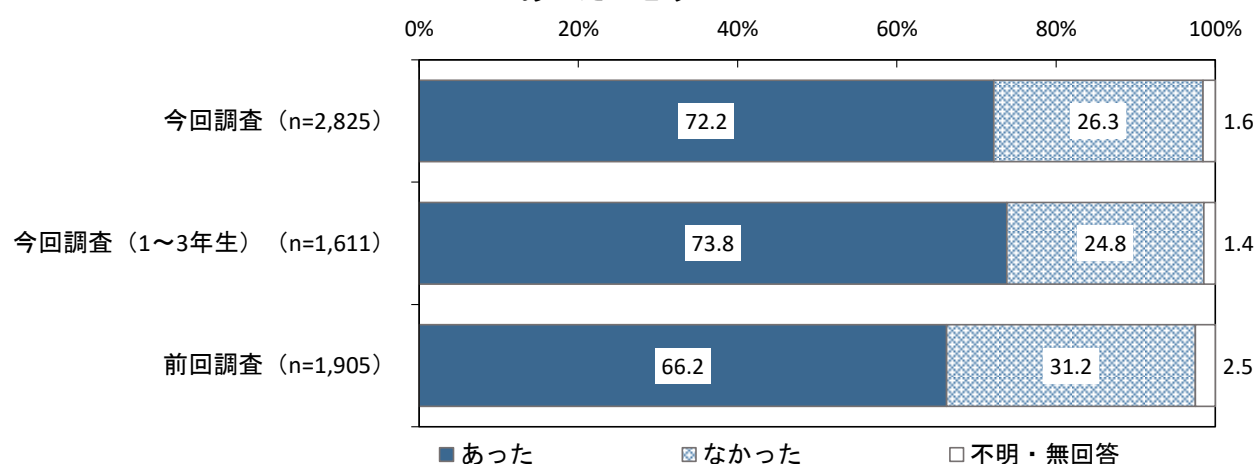
（６）病気の際の対応について

問 22	この１年間に、お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはありますか。（〇はひとつ）
------	--

この１年間にお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことがあったかどうかについては、「あった」が 72.2%、「なかった」が 26.3%となっています。

前回調査と比較すると、「あった」では、前回調査（66.2%）より 6.0 ポイント増加しています。

図 2-2-50 この１年間にお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことがあったかどうか



問 22-①	【問 22 で「あった」に○をつけた方】 お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に 行った対処方法は何かですか。（あてはまるものすべてに○）
--------	---

小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間にに行った対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が68.3%で最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が33.5%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が13.6%と続いています。

対処法別の平均日数については、「母親が仕事を休んだ」が3.4日、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が2.8日、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が4.4日となっています。

前回調査と比較すると、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が前回調査(19.7%)より最も割合が減少しており6.1ポイント減で、「母親が仕事を休んだ」が前回調査(62.2%)より最も割合が増加しており6.1ポイント増となっています。

図 2-2-51 小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間にに行った対処方法

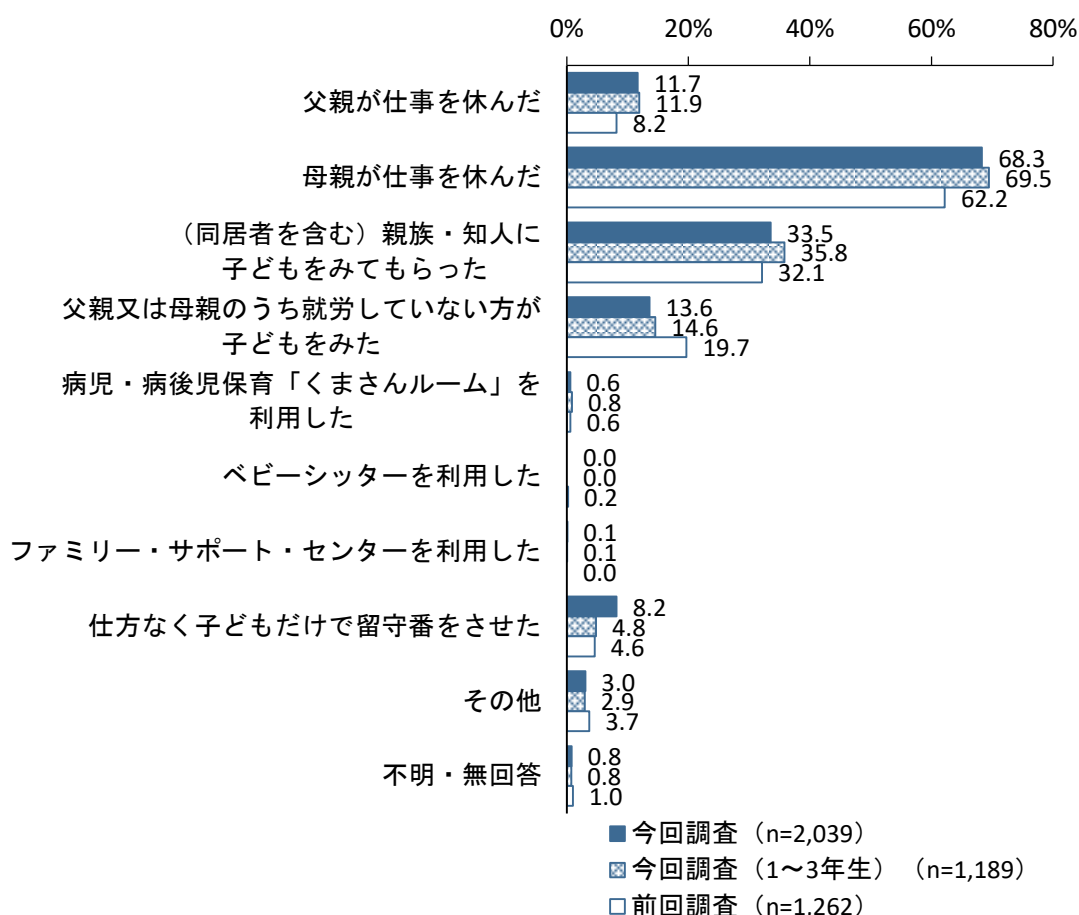


表 2-2-7 対処法別平均日数

	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
父親が仕事を休んだ	206	423	2.1	2.1
母親が仕事を休んだ	1,124	3,814	3.4	3.4
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	572	1,593	2.8	2.4
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	236	1,027	4.4	3.2
病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用した	9	26	2.9	3.7
ベビーシッターを利用した	-	-	-	1.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	2	3	1.5	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	139	260	1.9	2.1
その他	36	93	2.6	3.0

問 22-②	【問 22-①で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」いずれかに○をつけた方】 その際、病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したかったですか。 (どちらかに○)
--------	--

父親、母親が仕事を休んだ際に、病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したかったについては、「利用したいとは思わなかった」が 91.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が 5.3%となっています。

また、病児・病後児保育施設等を利用したい平均日数（1年間あたり）は 3.4 日となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図 2-2-52 病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したかったかどうか

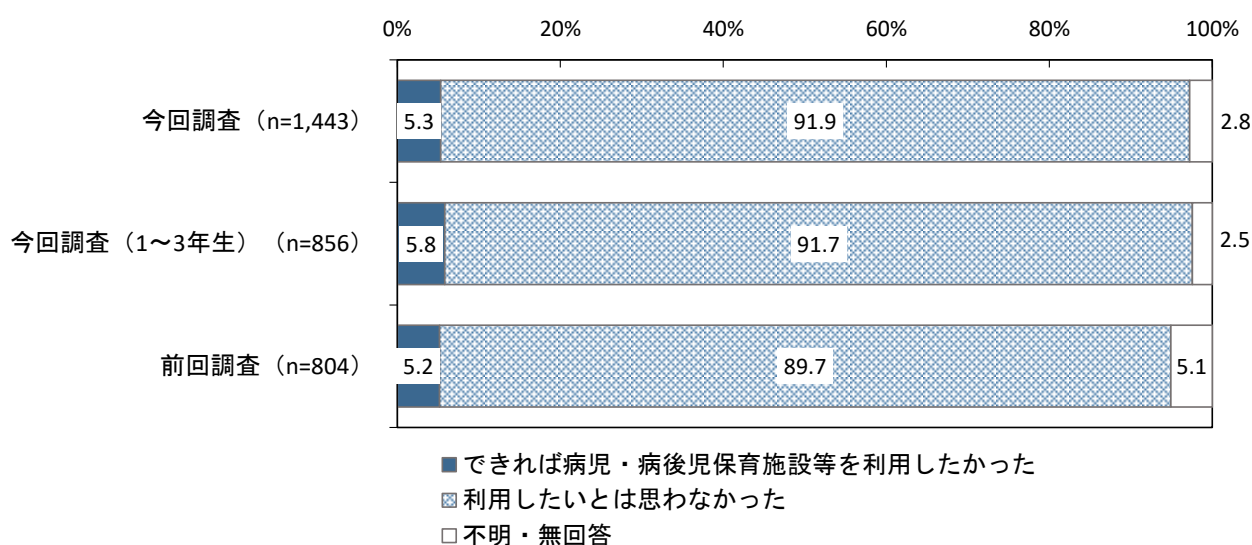


表 2-2-8 病児・病後児保育施設等を利用したい平均日数

	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった	53	182	3.4	4.0

問 22-③	【問 22-②で「利用したいとは思わなかった」に○をつけた方】 そう思われる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
--------	---

病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したいとは思わなかった理由については、「親が仕事を休んで対応する」が 65.2%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 33.9%、「その他」が 16.3%と続いています。

また、「事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」の、利用したい時間帯については、希望利用開始時間は「8:00～8:30 以前」が 38.9%で最も高く、希望利用終了時間は「18:00～18:30 以前」が 51.9%で最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」が前回調査（13.9%）より最も割合が減少しており 5.5 ポイント減で、「親が仕事を休んで対応する」が前回調査（62.0%）より最も割合が増加しており 3.2 ポイント増となっています。

図 2-2-53 病児・病後児保育「くまさんルーム」を利用したいとは思わなかった理由

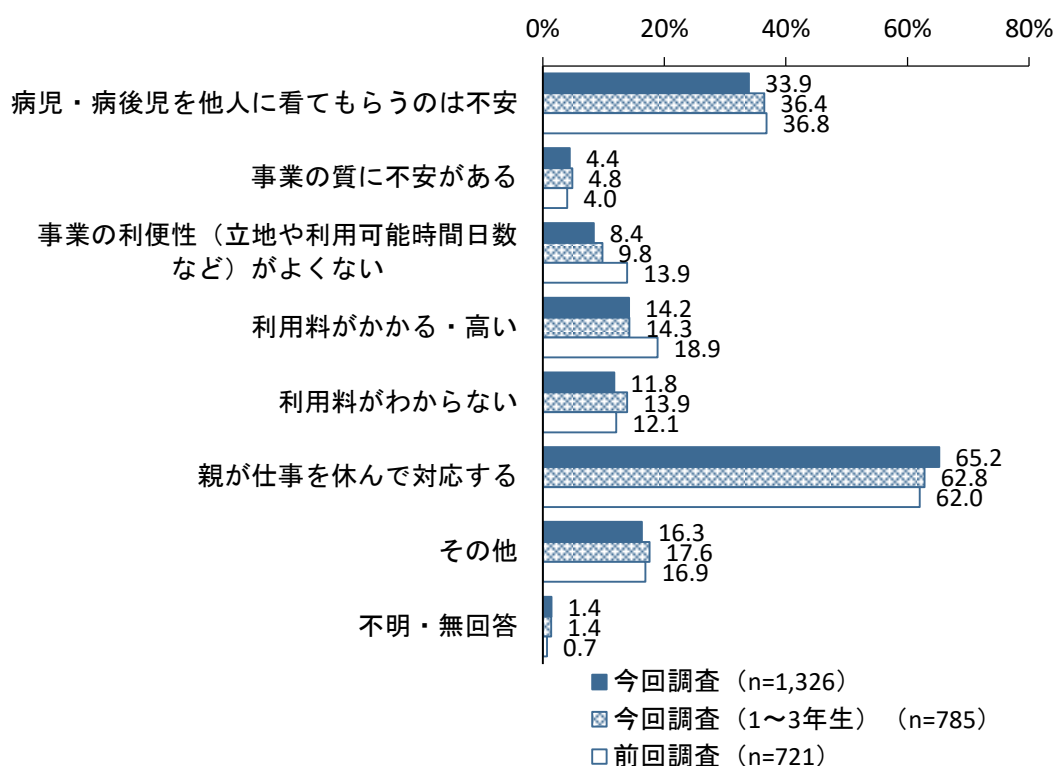


図 2-1-54 利用したい時間帯 利用開始時間

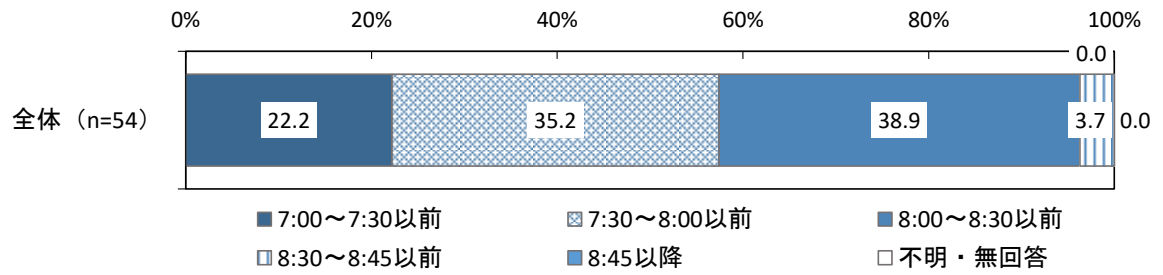
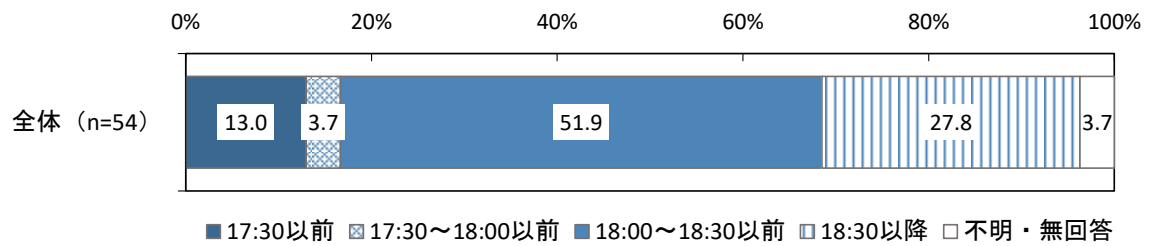


図 2-1-55 利用したい時間帯 利用終了時間



（７）宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23	お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）
------	---

日中の定期的な保育や病気のため以外に、不定期に利用している事業については、「利用していない」が 97.3%で最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」、「その他」がいずれも 0.4%と続いています。

また、利用している事業の平均日数については、「その他」が 38.6 日で最も多く、次いで、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」が 12.0 日となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図 2-2-56 不定期に利用している事業

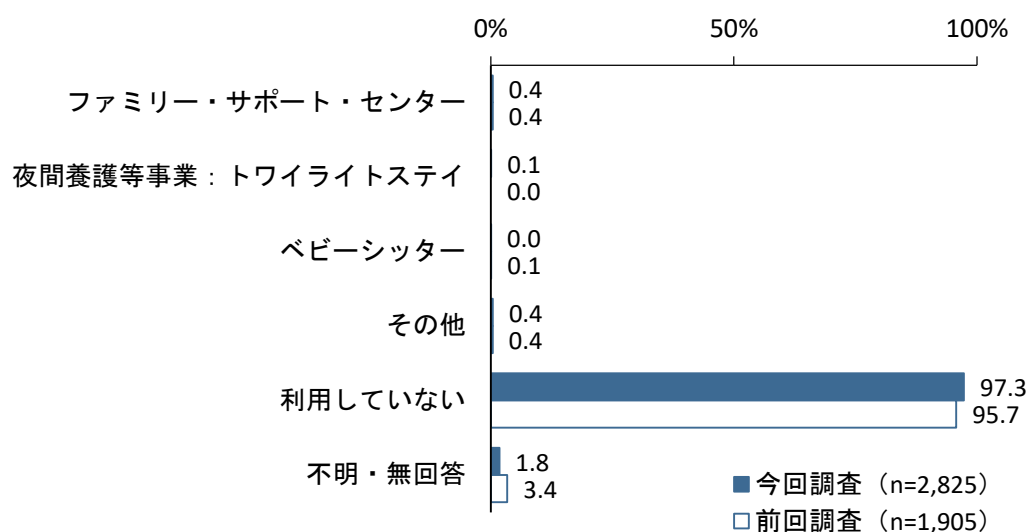


表 2-2-9 不定期に利用している事業の利用平均日数

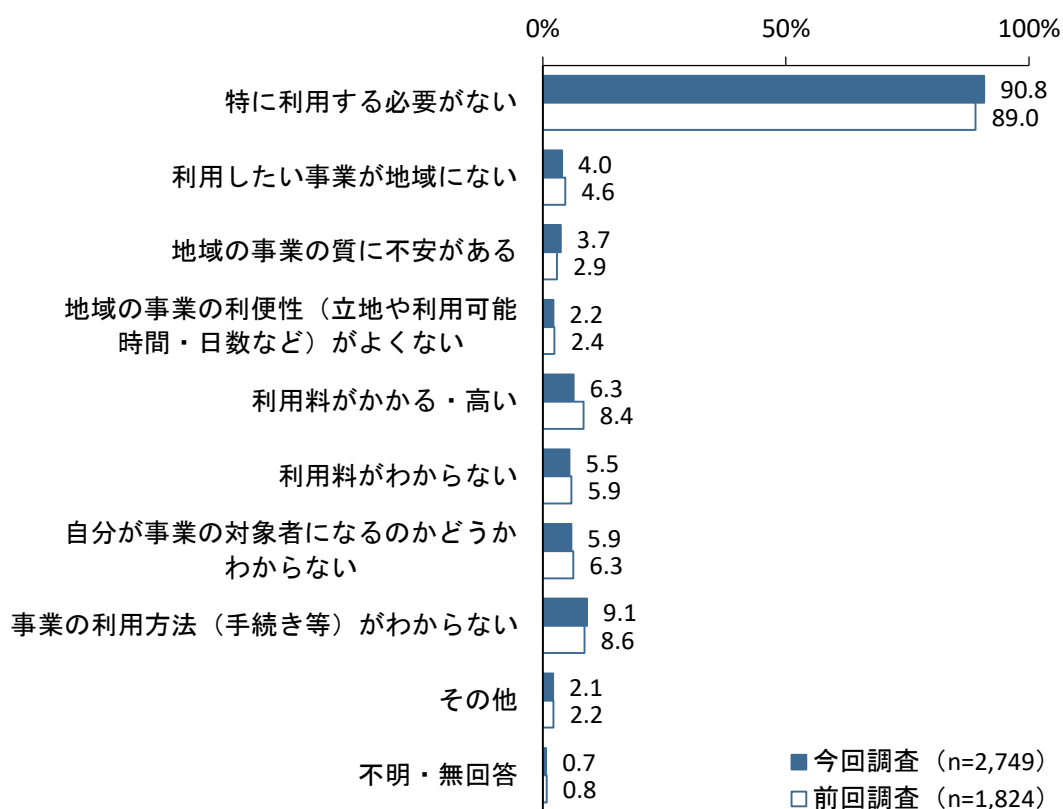
	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
ファミリー・サポート・センター	6	44	7.3	20.7
夜間養護等事業：トワイライトステイ	1	12	12.0	—
ベビーシッター	1	1	1.0	48.0
その他	7	270	38.6	50.0

問 23-①	【問 23 で「利用していない」に○をつけた方】 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
--------	---

事業を利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が 90.8%で最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 9.1%、「利用料がかかる・高い」が 6.3%と続いています。

前回調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」は、前回調査（8.4%）より 2.1 ポイント減少しています。

図 2-2-57 事業を利用していない理由

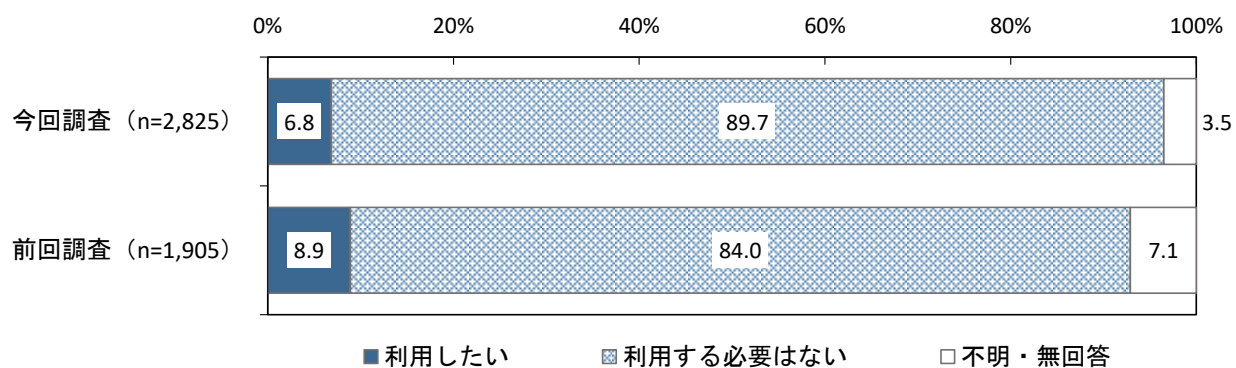


問 24	お子さんについて、問 23 のような事業を利用したいと思いますか。 (どちらかに○)
------	---

事業の今後の利用希望については、「利用する必要はない」が 89.7%、「利用したい」が 6.8% となっています。

前回調査と比較すると、「利用したい」では、前回調査（8.9%）より 2.1 ポイント減少しています。

図 2-2-58 事業の今後の利用希望



問 24-①	【問 24 で「利用したい」に○をつけた方】 事業を利用する場合、それぞれ年間何日くらい利用する必要があると思いますか。（あてはまるものすべてに○をし、目的別に（ ）内に日数を記入してください。）
--------	--

不定期で事業を利用する目的については、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 45.6%で最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 45.1%、「不定期の就労」が 28.0%と続いています。

また、事業利用の目的別平均日数については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 8.9 日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 4.8 日、「不定期の就労」が 9.2 日となっています。

前回調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」、「不定期の就労」は前回調査より割合が減少しています。

図 2-2-59 事業を利用する理由

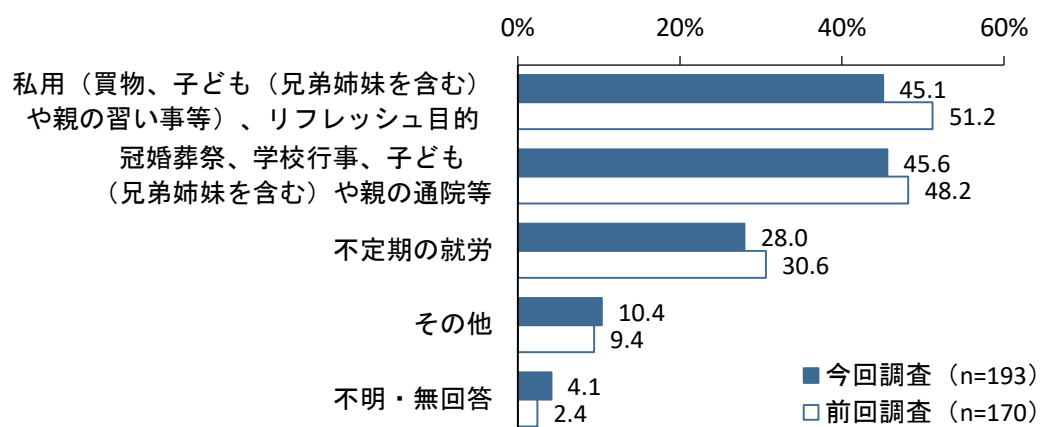


表 2-2-10 目的別利用希望平均日数

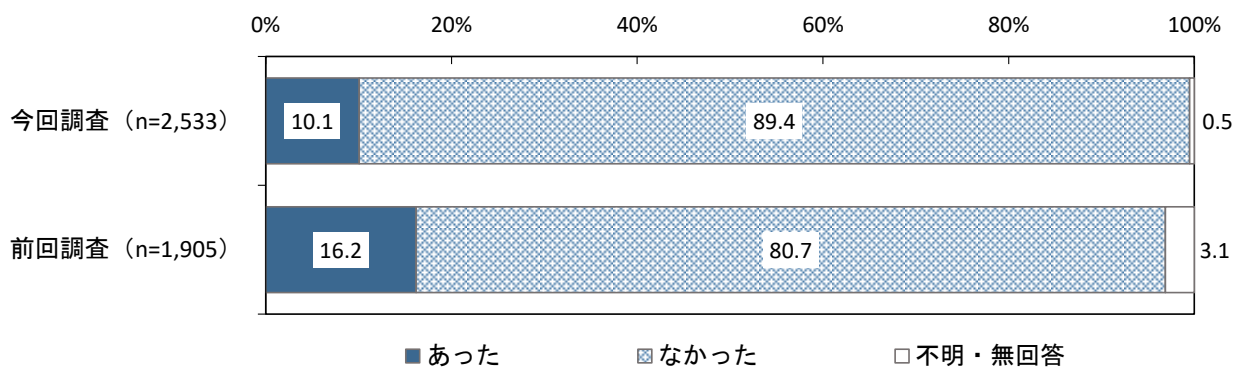
	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
私用、リフレッシュ目的	79	702	8.9	8.4
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	65	309	4.8	5.4
不定期の就労	38	351	9.2	12.7
その他	12	96	8.0	22.0

問 25	【問 24 で「利用する必要はない」に○をつけた方】 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（どちらかに○）
------	---

この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかどうかについては、「なかった」が89.4%、「あった」が10.1%となっています。

前回調査と比較すると、「あった」では、前回調査（16.2%）より6.1ポイント減少しています。

図 2-2-60 この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかどうか



問 25－①	【問 25 で「あった」に○をつけた方】 この１年間に行った対処方法は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
--------	---

この１年間に、保護者の用事でお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった際の対処方法については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が 85.9%で最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 11.8%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 7.5%と続いています。

また、対処方法別の平均日数については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」では 2.4 日、「仕方なく子どもを同行させた」では 1.8 日となっています。

前回調査と比較すると、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」では、前回調査（89.0%）より 3.1 ポイント減少しています。

図 2-2-61 この１年間に行った対処方法

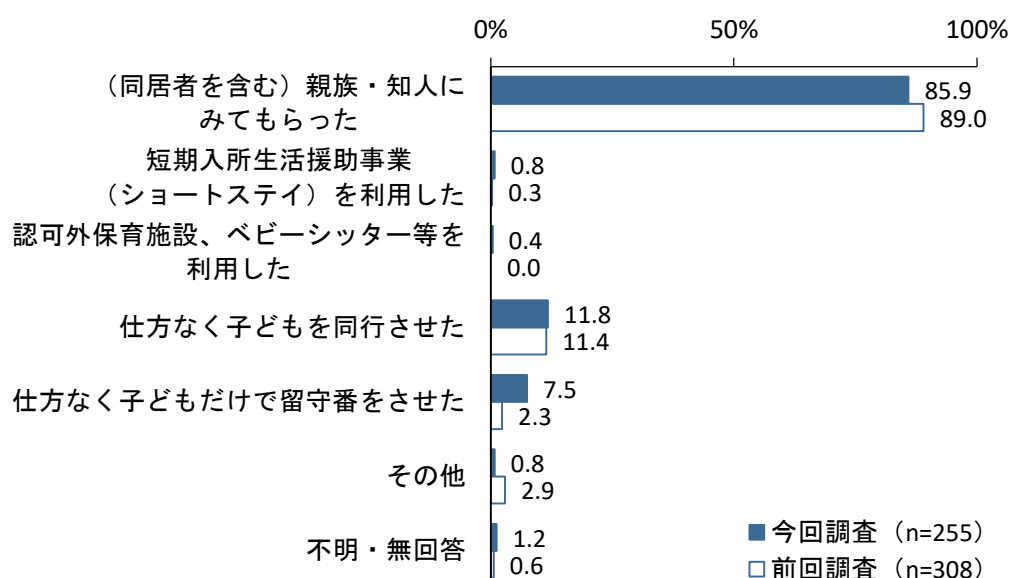


表 2-2-11 対処法別平均日数

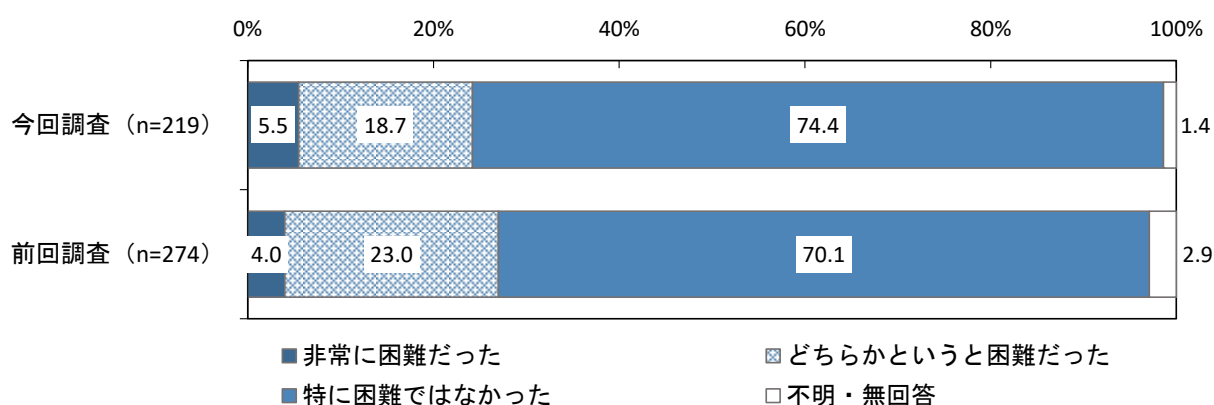
	数値 回答者数 (人)	合計日数 (日)	平均日数 (日)	前回調査 平均日数 (日)
（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	153	372	2.4	3.1
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	2	5	2.5	－
認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	1	1	1.0	－
仕方なく子どもを同行させた	14	25	1.8	2.6
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4	5	1.3	1.9
その他	1	1	1.0	1.8

問 25－②	【問 25－①で「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方】 その場合の困難度はどの程度でしたか。(○はひとつ)
--------	--

この1年間に、保護者の用事でお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった際、(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった場合の困難度については、「特に困難ではなかった」が74.4%で最も高く、次いで「どちらかというと困難だった」が18.7%、「非常に困難だった」が5.5%と続いています。

前回調査と比較すると、『困難だった』(「非常に困難だった」と「どちらかというと困難だった」の合計) では、前回調査(27.0%)より2.8ポイント減少しています。

図 2-2-62 親族・知人にみてもらった場合の困難度

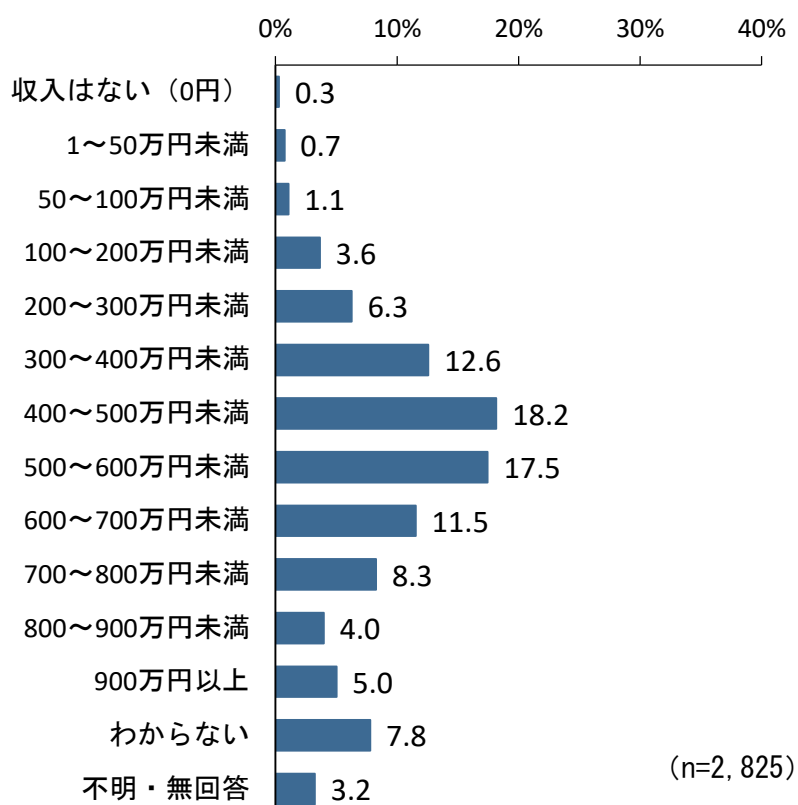


（８）家庭での生活について

問 26	お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間の収入はいくらですか。税金や保険料などを差し引いた後の手取り収入の額でお答えください。複数の収入源がある場合はおおよその合計額を教えてください。 (〇はひとつ)
------	--

世帯年収については、「400～500万円未満」が18.2%で最も高く、次いで「500～600万円未満」が17.5%、「300～400万円未満」が12.6%と続いています。

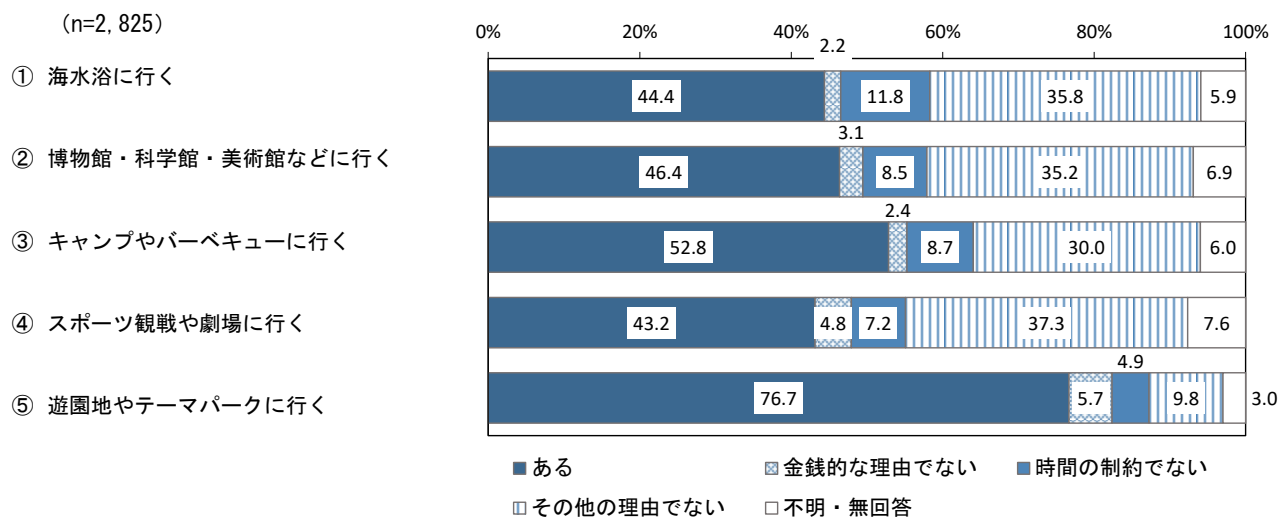
図 2-2-63 世帯年収



問 27	過去 1 年間に於いて、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。以下の①～⑤について、あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。(○はひとつずつ)
------	---

子どもの体験の有無について、「ある」では、「遊園地やテーマパークに行く」が 76.7%で最も高く、「金銭的な理由でない」では、「遊園地やテーマパークに行く」が 5.7%で最も高く、「時間の制約でない」では、「海水浴に行く」が 11.8%で最も高くなっています。

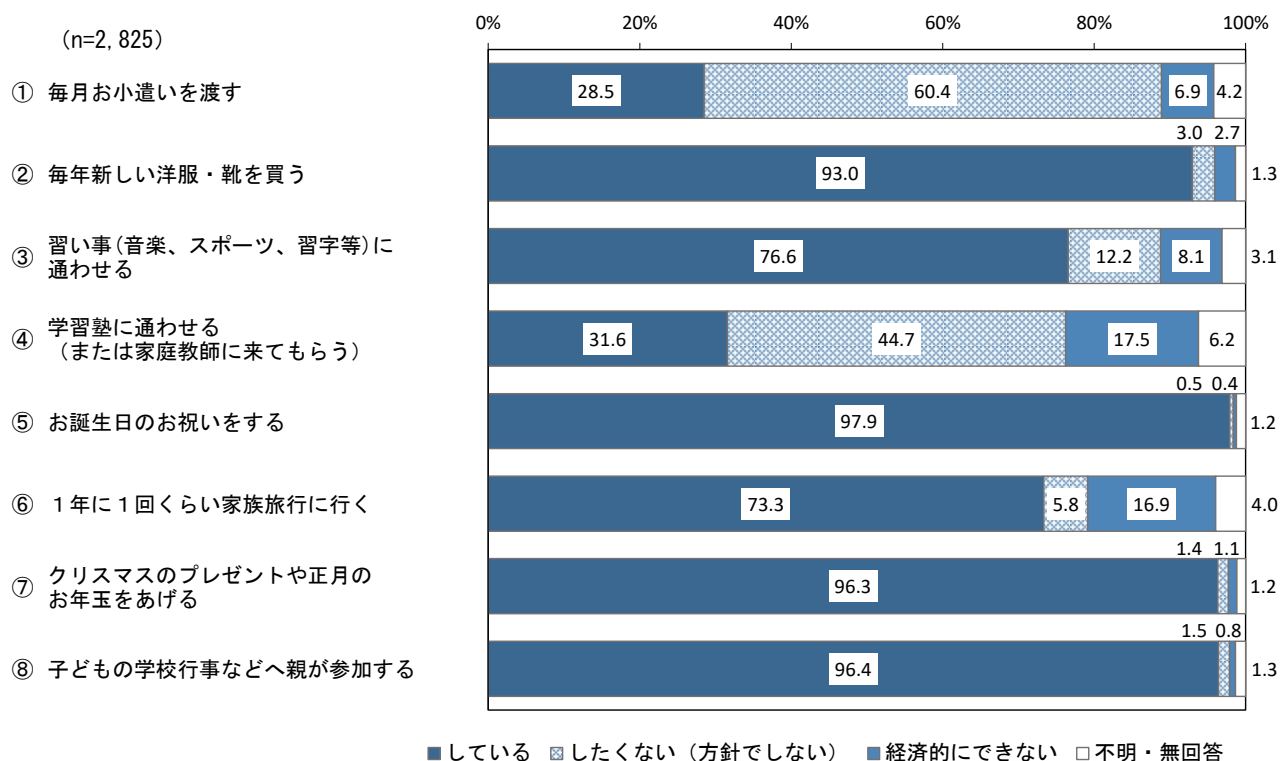
図 2-2-64 子どもの体験の有無



問 28	あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。下の①～⑧について、あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。（○はひとつずつ）
------	--

子どもの体験の有無について、「している」では、「お誕生日のお祝いをする」が 97.9%で最も高く、「したくない（方針でしない）」では、「毎月お小遣いを渡す」が 60.4%で最も高く、「経済的にできない」では、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」が 17.5%で最も高くなっています。

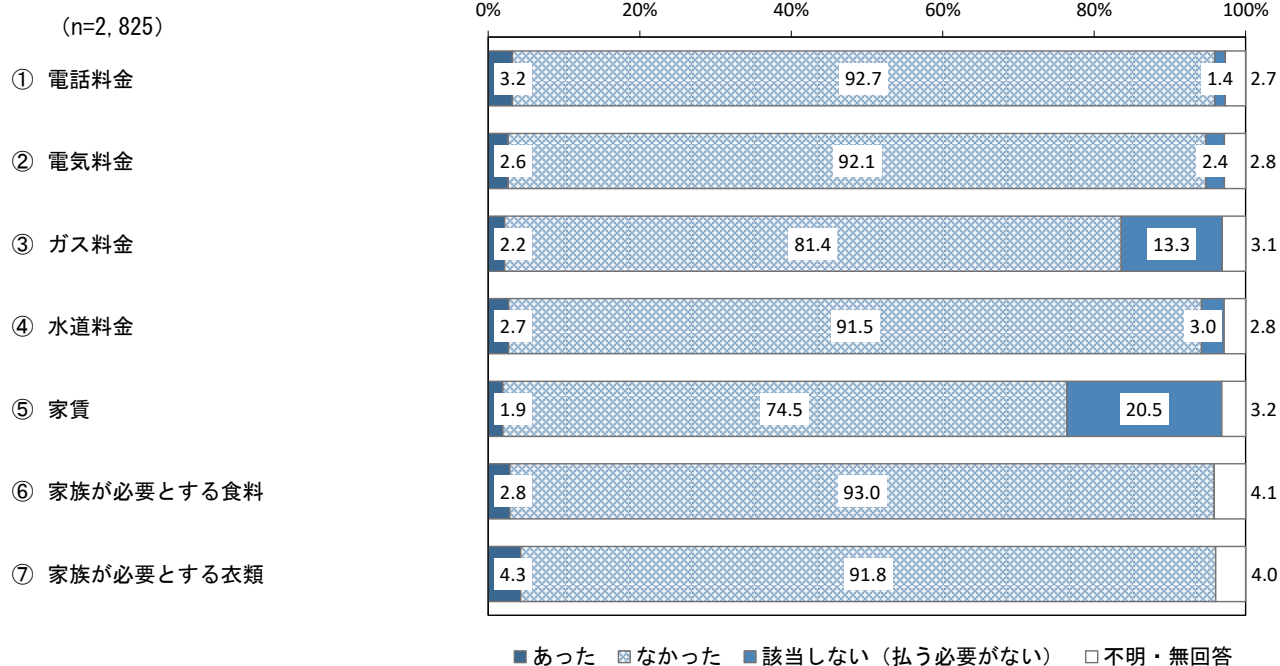
図 2-2-65 子どもの体験の有無



問 29	過去1年の間に、経済的な理由で、以下の①～⑦のサービス・料金について、支払えないことや買えなかったことがありましたか。あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。(○はひとつずつ)
------	--

過去1年の間に、経済的な理由で、支払えないことや買えなかったことがあったかについて、「あった」では、「家族が必要とする衣類」が4.3%で最も高く、次いで「電話料金」が3.2%、「家族が必要とする食料」が2.8%と続いています。

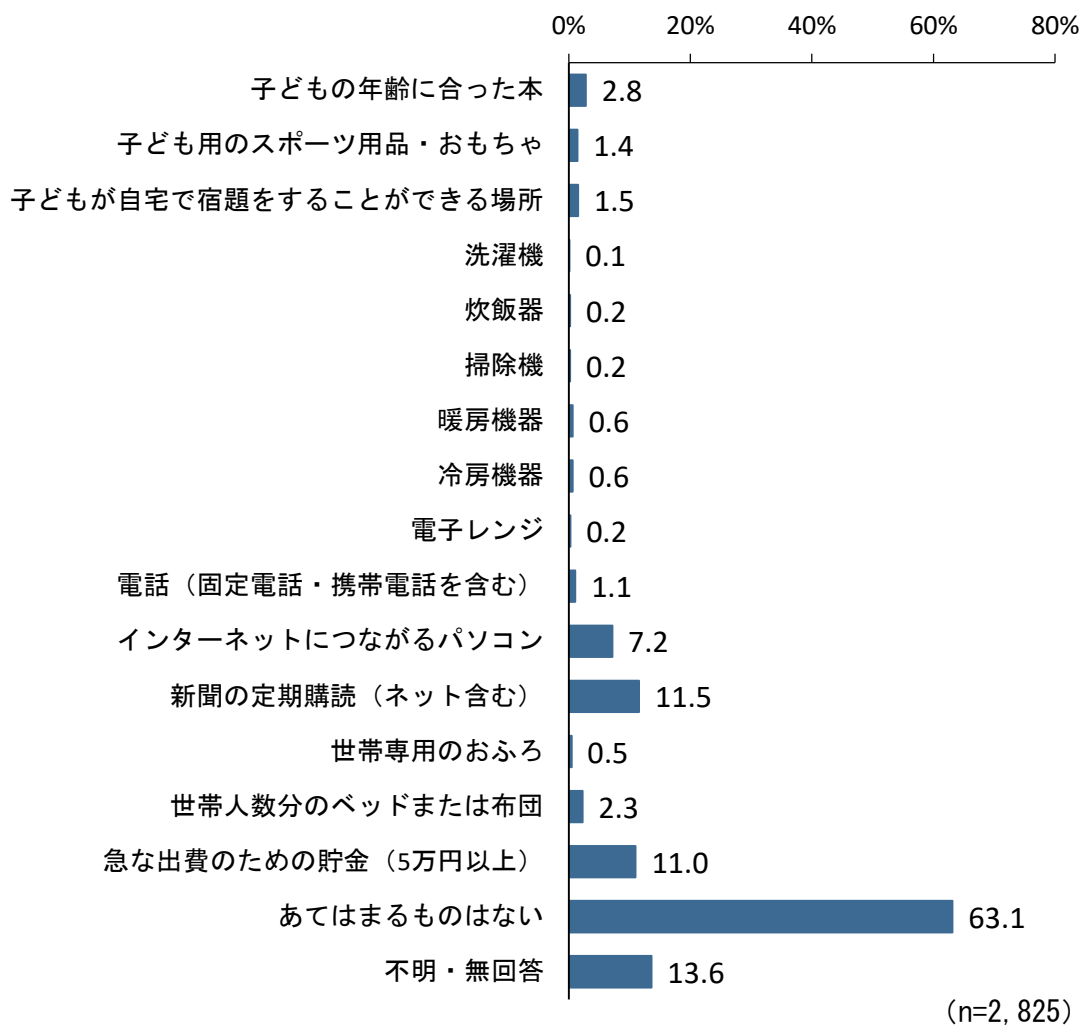
図2-2-66 家計の状況



問 30	次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。 (あてはまるものすべてに○)
------	---

経済的理由のために世帯にないものについては、「あてはまるものはない」が 63.1%で最も高く、次いで「新聞の定期購読（ネット含む）」が 11.5%、「急な出費のための貯金（5 万円以上）」が 11.0%と続いています。

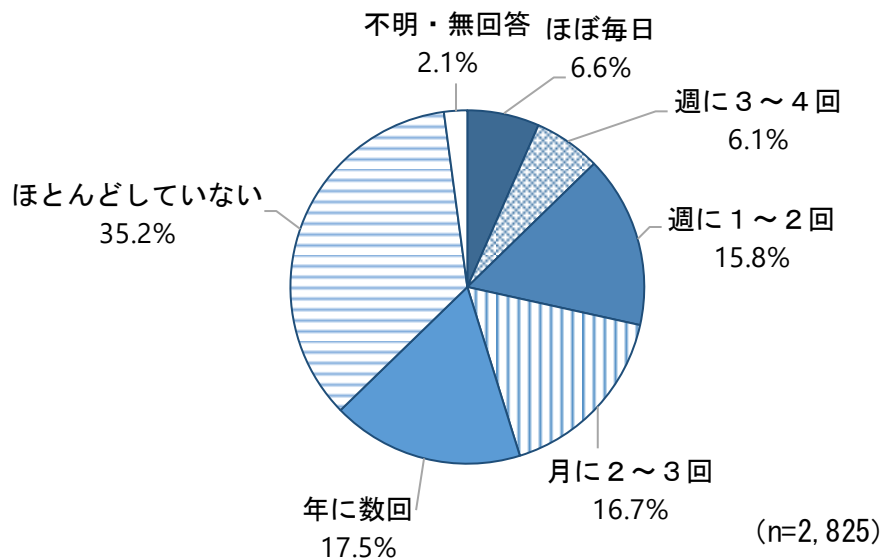
図 2-2-67 経済的理由のために世帯にないもの



問31	あなたのご家庭では、お子さんと一緒に本を読んだり、選んだり、読み聞かせをしたりしていますか。（〇はひとつ）
-----	---

家庭での読書活動の実践状況については、「ほとんどしていない」が35.2%で最も高く、次いで「年に数回」が17.5%、「月に2～3回」が16.7%と続いています。

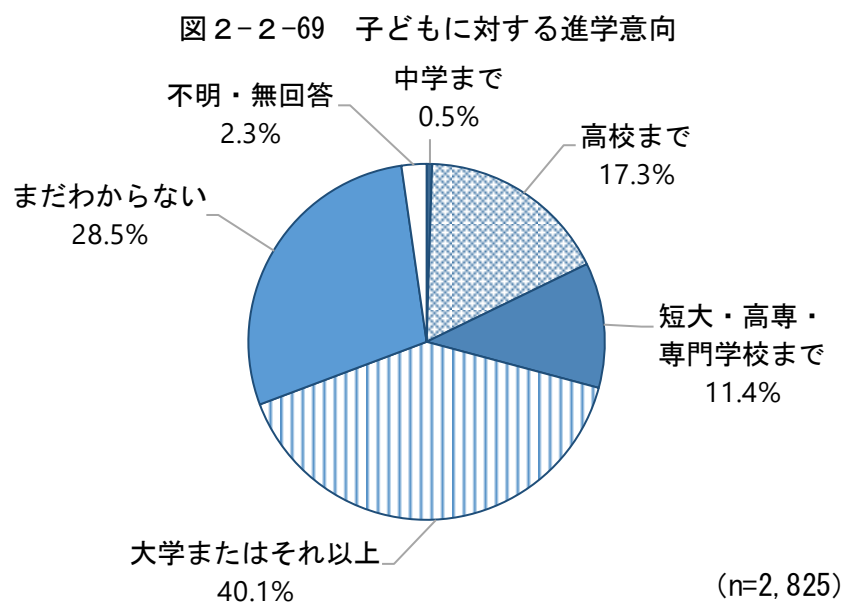
図2-2-68 家庭での読書活動の実践状況



(9) 将来について

問 32	お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。 (〇はひとつ)
------	---

お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えているかについては、「大学またはそれ以上」が40.1%で最も高く、次いで「まだわからない」が28.5%、「高校まで」が17.3%と続いています。

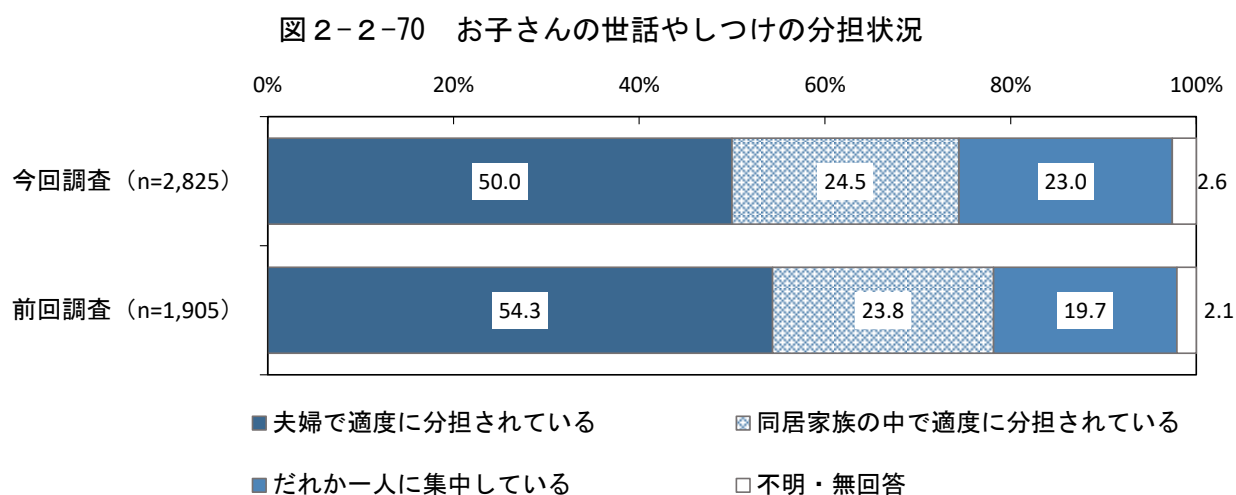


(10) 子育て全般について

問 33	お子さんの世話やしつけは、分担されていますか。(○はひとつ)
------	--------------------------------

お子さんの世話やしつけの分担状況については、「夫婦で適度に分担されている」が 50.0%で最も高く、次いで「同居家族の中で適度に分担されている」が 24.5%、「だれか一人に集中している」が 23.0%と続いています。

前回調査と比較すると、「だれか一人に集中している」は、前回調査（19.7%）より 3.3 ポイント増加しています。

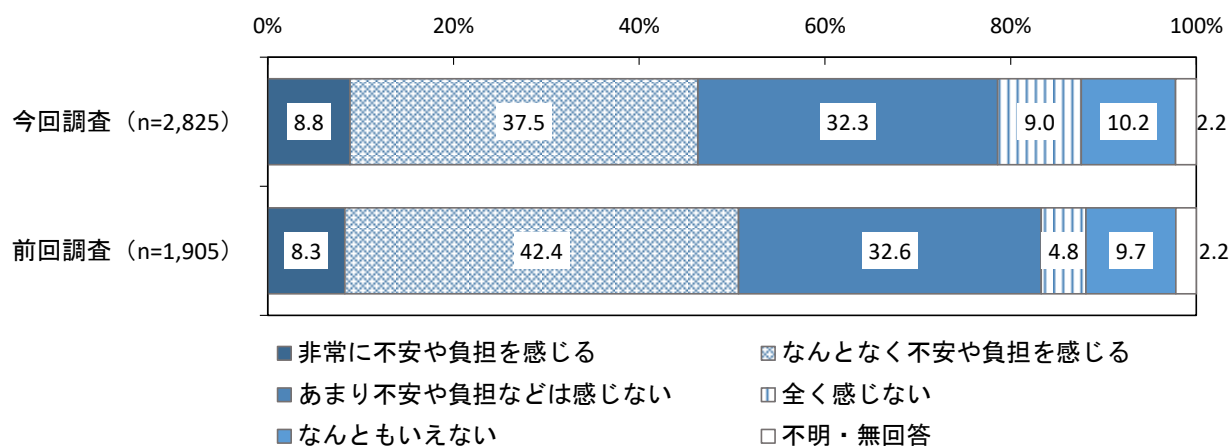


問 34	子育てに関して、不安感や負担感などを感じることはありますか。(〇はひとつ)
------	---------------------------------------

子育てに関する不安感・負担感については、「なんとなく不安や負担を感じる」が 37.5%で最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が 32.3%、「なんともいえない」が 10.2%と続いています。

前回調査と比較すると、「なんとなく不安や負担を感じる」は、前回調査（42.4%）より 4.9 ポイント減少し、「全く感じない」は、前回調査（4.8%）より 4.2 ポイント増加しています。

図 2-2-71 子育てに関する不安感・負担感

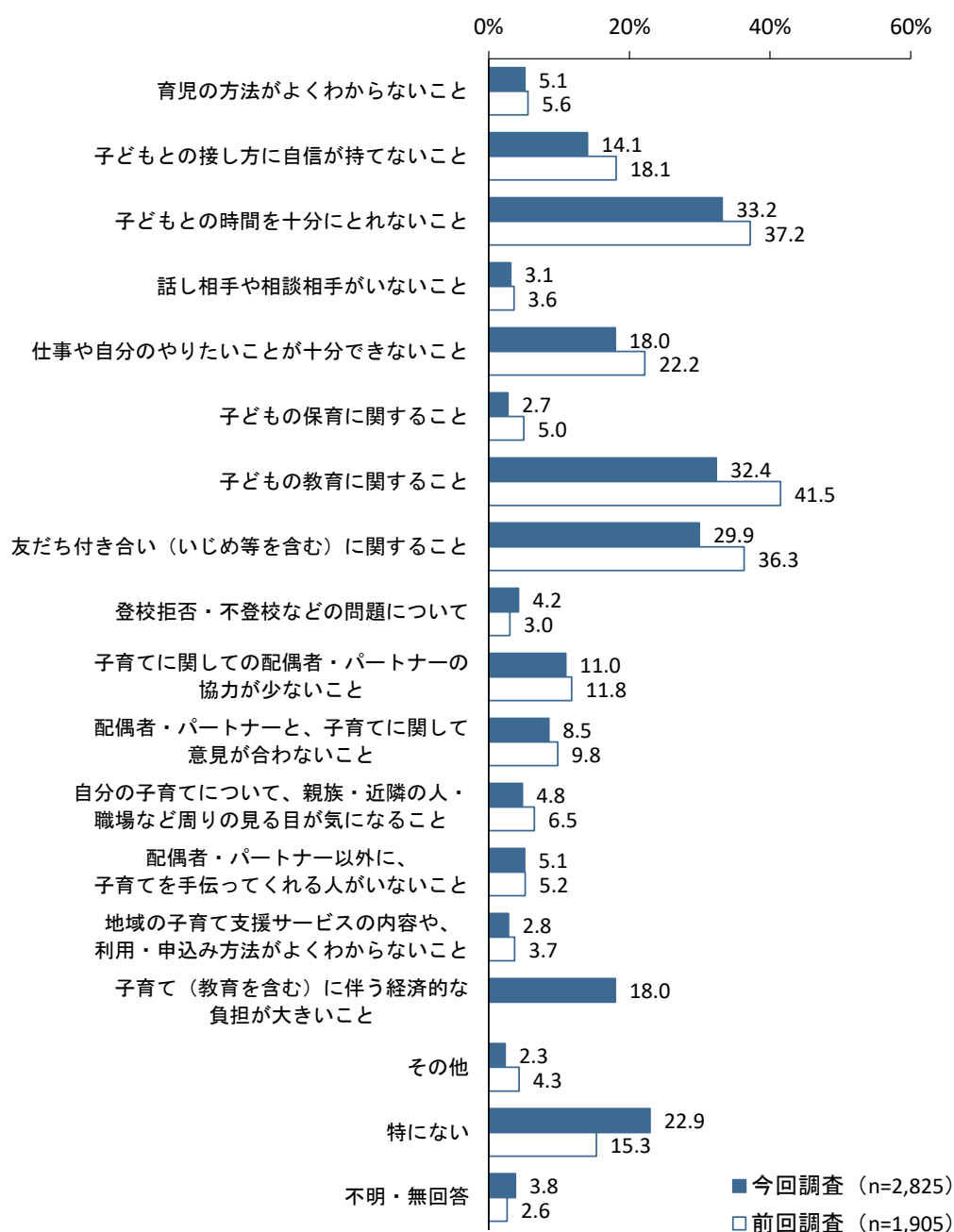


問 35	子育てに関して、日常悩んでいること、不安に思うこと、また気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）
------	--

子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になることについては、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が33.2%で最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」が32.4%、「友だち付き合い（いじめ等を含む）に関すること」が29.9%と続いています。

前回調査と比較すると、「子どもの教育に関すること」が前回調査（41.5%）より最も割合が減少しており9.1ポイント減で、「特にない」が前回調査（15.3%）より最も割合が増加しており7.6ポイント増となっています。

図2-2-72 子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になること⁴



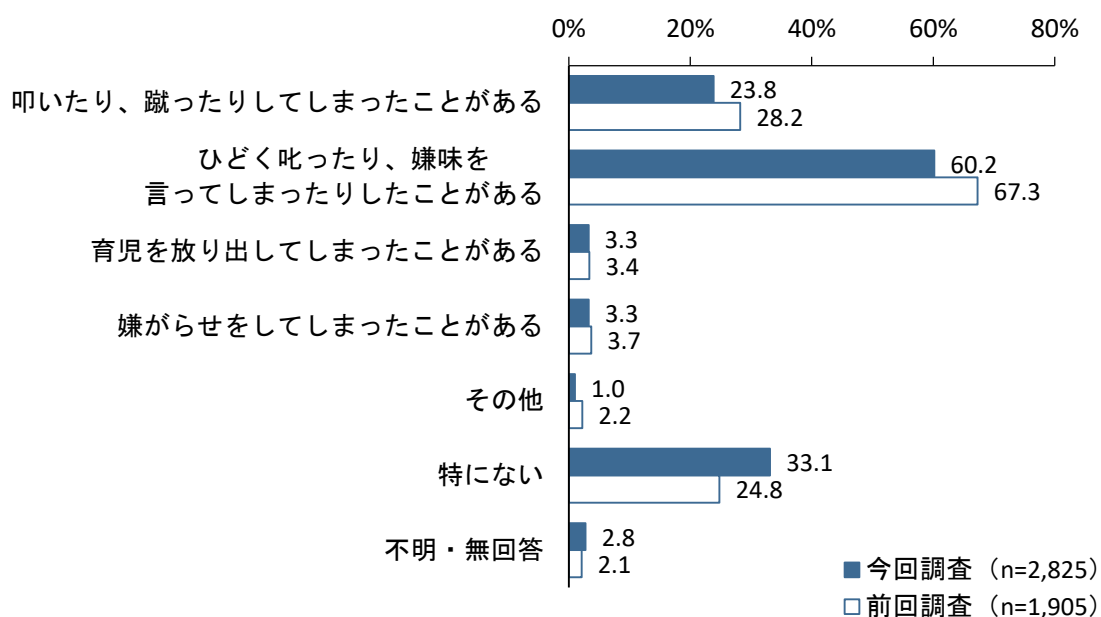
⁴ 今回調査より「子育て（教育を含む）に伴う経済的な負担が大きいこと」を追加しています。

問 36	子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまっ経験はありますか。(あてはまるものすべてに○)
------	--

子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまっ経験については、「ひどく叱ったり、嫌味を言ってしまったりしたことがある」が 60.2%で最も高く、次いで「特にない」が 33.1%、「叩いたり、蹴ったりしてしまっことがある」が 23.8%と続いています。

前回調査と比較すると、「特にない」は、前回調査（24.8%）より 8.3 ポイント増加し、「ひどく叱ったり、嫌味を言ってしまったりしたことがある」が 7.1 ポイント、「叩いたり、蹴ったりしてしまっことがある」が 4.4 ポイント、それぞれ前回調査よりも割合が減少しています。

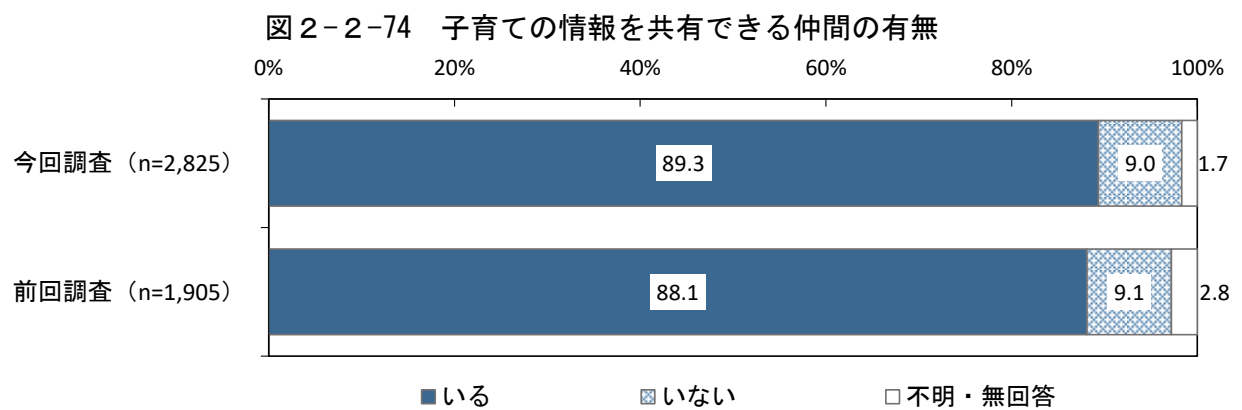
図 2-2-73 子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまっ経験



問 37	子育ての情報などを共有できる仲間はいですか。(〇はひとつ)
------	-------------------------------

子育ての情報を共有できる仲間の有無については、「いる」が 89.3%、「いない」が 9.0%となっています。

前回調査と比較すると、「いる」では、前回調査（88.1%）より 1.2 ポイント増加しています。

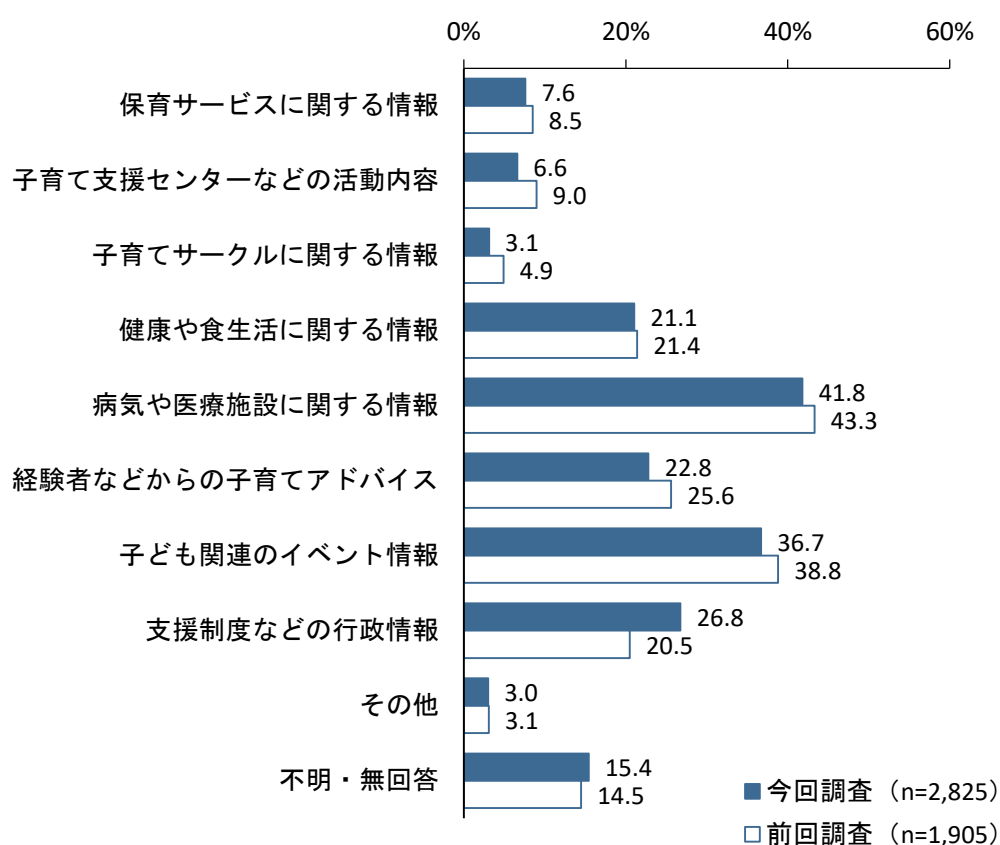


問 38	子育てに関する情報で、どのようなことを知りたいですか。 (あてはまるものすべてに○)
------	---

子育てに関する知りたい情報については、「病気や医療施設に関する情報」が 41.8%で最も高く、次いで「子ども関連のイベント情報」が 36.7%、「支援制度などの行政情報」が 26.8%と続いています。

前回調査と比較すると、「支援制度などの行政情報」以外の全ての項目で前回調査よりも割合が減少しています。

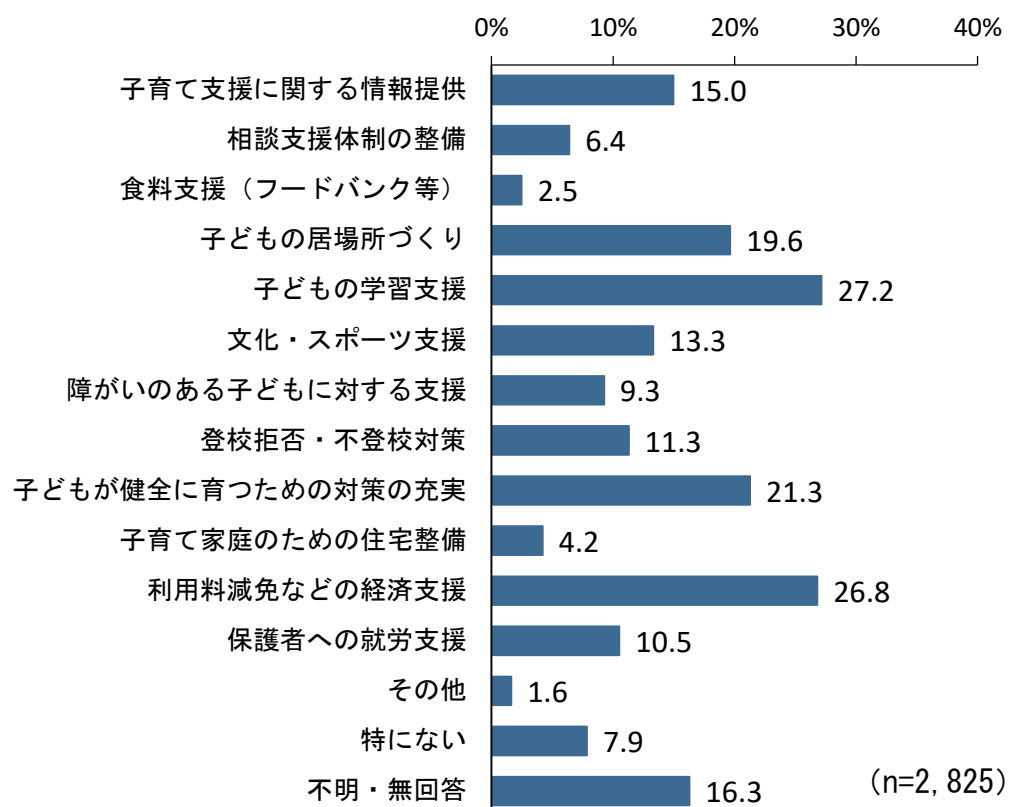
図 2-2-75 子育てに関する知りたい情報



問 39	今後、子育ての支援策として、必要だと思う施策はどのようなことですか。 (〇は3つまで)
------	--

必要だと思う子育ての支援策については、「子どもの学習支援」が 27.2%で最も高く、次いで「利用料減免などの経済支援」が 26.8%、「子どもが健全に育つための対策の充実」が 21.3%と続いています。

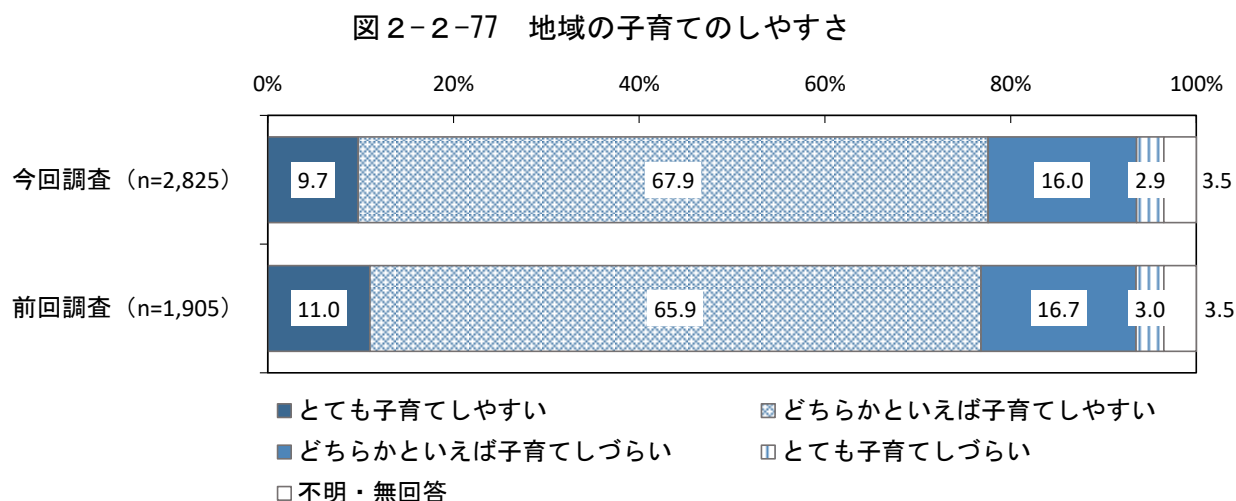
図 2-2-76 必要だと思う子育ての支援策



問 40	お住まいの地域は、子育てがしやすいと思いますか。（○はひとつ）
------	---------------------------------

地域の子育てのしやすさについては、「どちらかといえば子育てしやすい」が 67.9%で最も高く、次いで「どちらかといえば子育てしづらい」が 16.0%、「とても子育てしやすい」が 9.7%と続いており、『子育てしやすい』（「とても子育てしやすい」と「どちらかといえば子育てしやすい」の合計）は 77.6%となっています。

前回調査と比較すると、『子育てしやすい』では、前回調査（76.9%）より 0.7 ポイント増加しています。

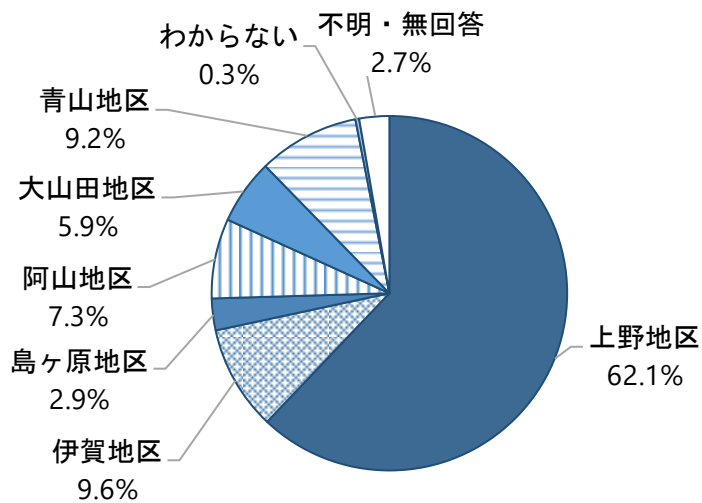


3. 中学生

(1) 回答者の属性

問 1	お子さんは現在どちらの地区にお住まいですか。(〇はひとつ)
-----	-------------------------------

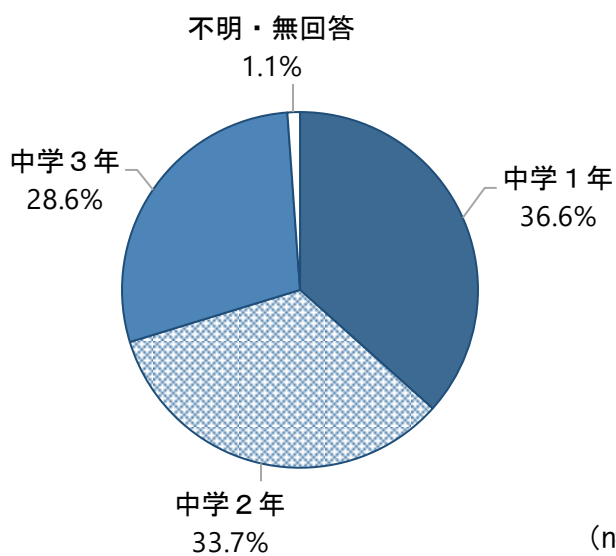
図 2-3-1 居住地区



(n=1,759)

問 2	お子さんの学年をお答えください。(〇はひとつ)
-----	-------------------------

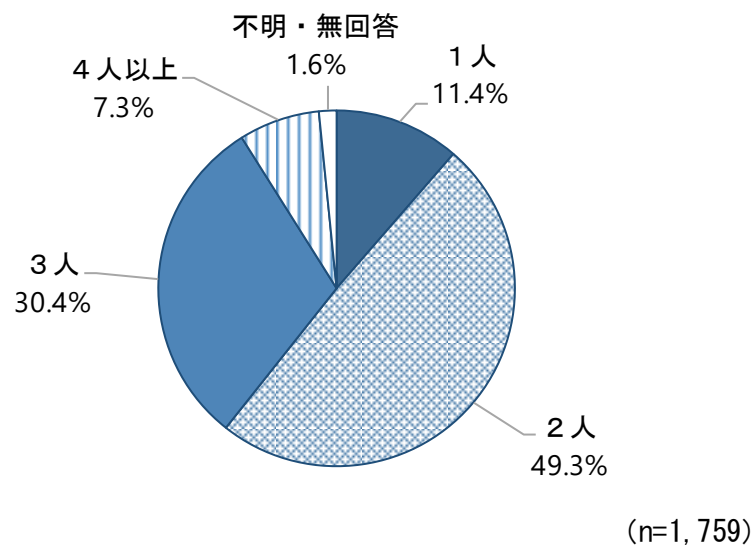
図 2-3-2 お子さんの学年



(n=1,759)

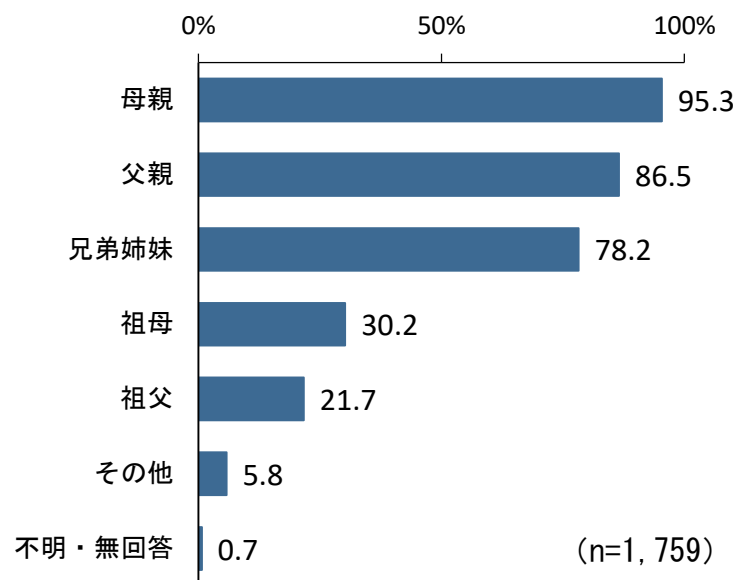
問3	お子さんは何人きょうだいの何番目ですか。
----	----------------------

図2-3-3 きょうだいの人数

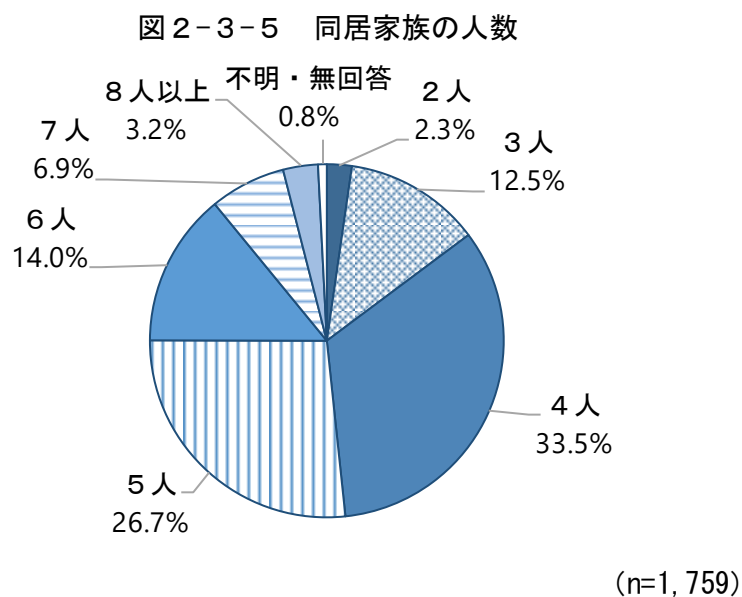


問4	お子さんと同居されている方はどなたですか。なお、続柄はお子さんからみた関係です。(あてはまるものすべてに○)
----	--

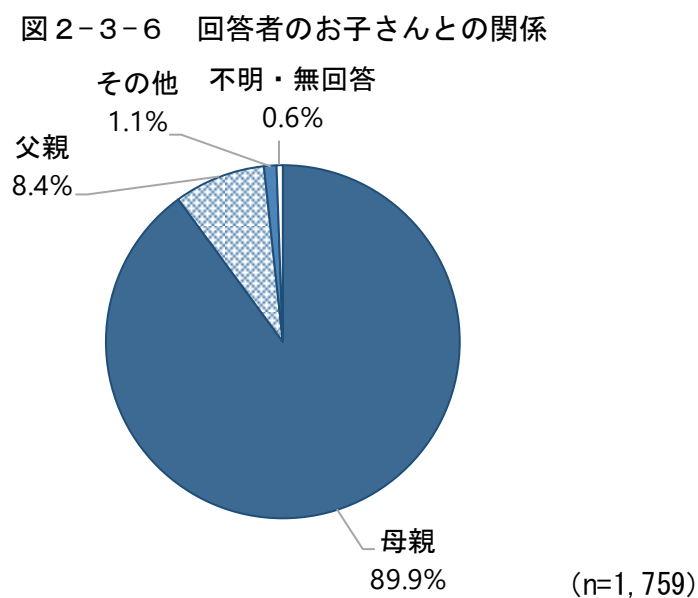
図2-3-4 同居家族



問 5	お子さんと同居しているご家族の人数は何人ですか（あなたとお子さんも含む）。単身赴任しているご家族も含めてください。
-----	---



問 6	この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（〇はひとつ）
-----	--



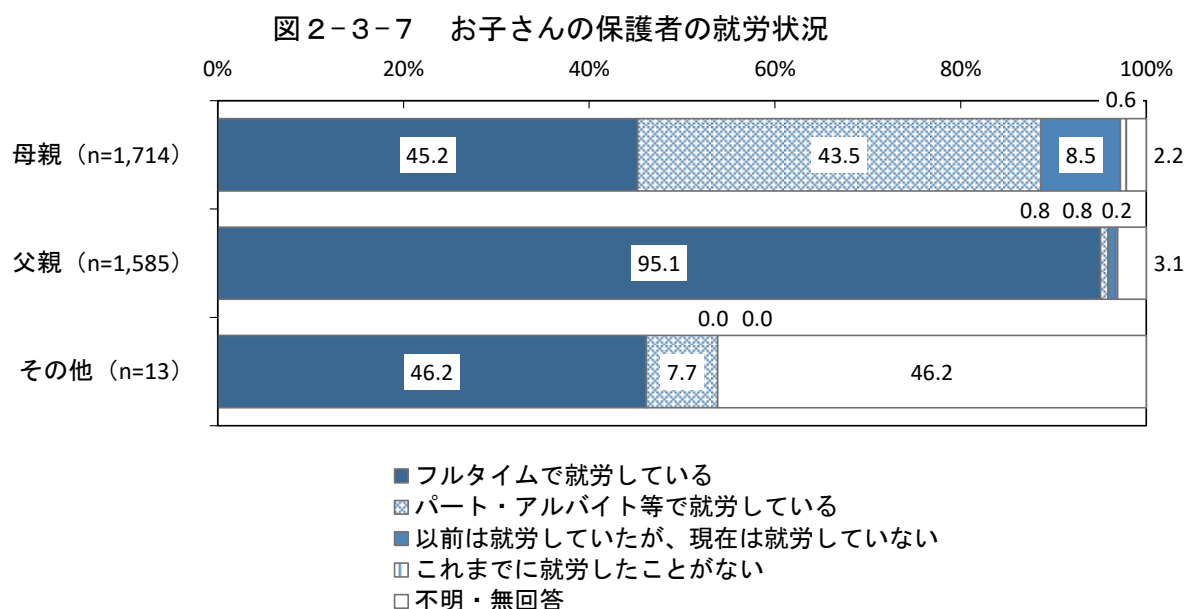
(2) 保護者の就労状況について

問 7	お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業や家族従事者を含む）についてお答えください。
-----	--

母親の就労状況については、「フルタイムで就労している」が45.2%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が43.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が8.5%と続いています。

父親の就労状況については、「フルタイムで就労している」が95.1%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」がいずれも0.8%と続いています。

その他の方の就労状況については、「フルタイムで就労している」が46.2%、「パート・アルバイト等で就労している」が7.7%となっています。

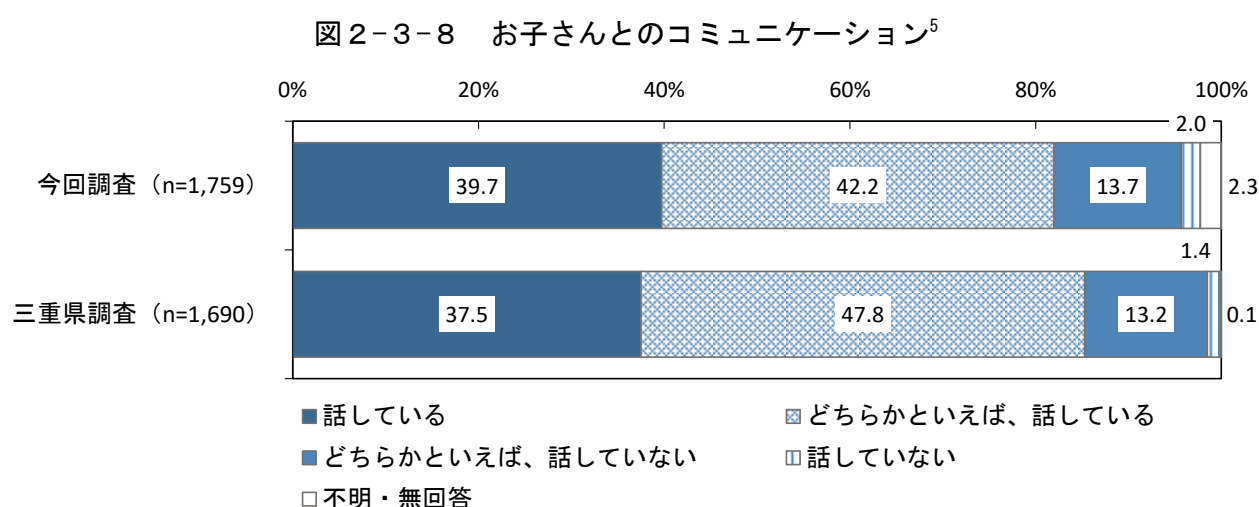


(3) 家庭でのコミュニケーションについて

問 8	お子さんは、学校などでの出来事について話をしていますか。(〇はひとつ)
-----	-------------------------------------

お子さんが学校などでの出来事について話をしているかについては、「どちらかといえば、話している」が 42.2%で最も高く、次いで「話している」が 39.7%、「どちらかといえば、話していない」が 13.7%と続いており、『話している』（「話している」と「どちらかといえば、話している」の合計）は 81.9%で、『話していない』（「どちらかといえば、話していない」と「話していない」の合計）は 15.7%となっています。

三重県の調査（三重県「みえの子ども白書 2019」平成 31 年 2 月発行）と比較すると、『話している』については、三重県調査（85.3%）より 3.4 ポイント低く、『話していない』については、三重県調査（14.6%）より 1.1 ポイント高くなっています。

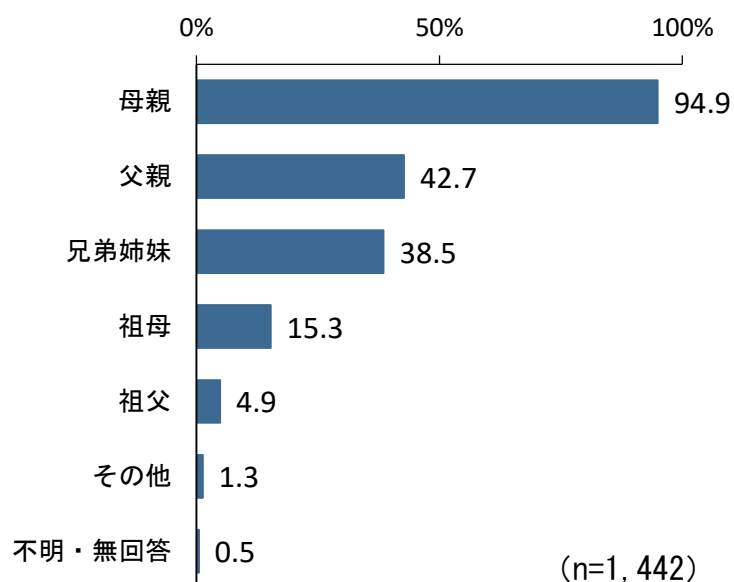


⁵ 資料：三重県「みえの子ども白書 2019」（平成 31 年 2 月発行）

問 8ー①	【問 8 で「話している」または「どちらかといえば、話している」に○をつけた方】 お子さんは、主に誰と話をしますか。（あてはまるものすべてに○）
-------	--

お子さんの主な話し相手については、「母親」が 94.9%で最も高く、次いで「父親」が 42.7%、「兄弟姉妹」が 38.5%と続いています。

図 2-3-9 お子さんの主な話し相手

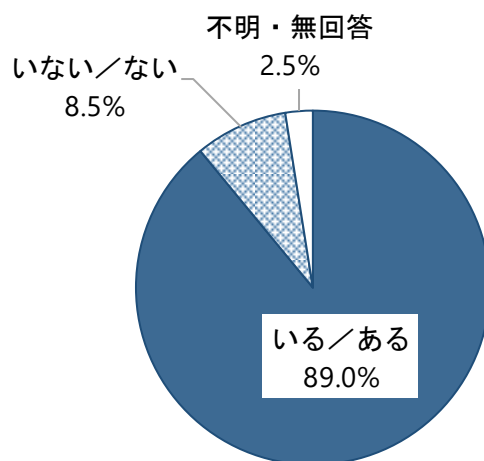


(4) 子どもの育ちをめぐる環境について

問 9	お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。(どちらかに○)
-----	---

子育てについて気軽に相談できる人や場所があるかどうかについては、「いる／ある」が89.0%、「いない／ない」が8.5%と続いています。

図 2-3-10 子育てについて気軽に相談できる人や場所があるかどうか

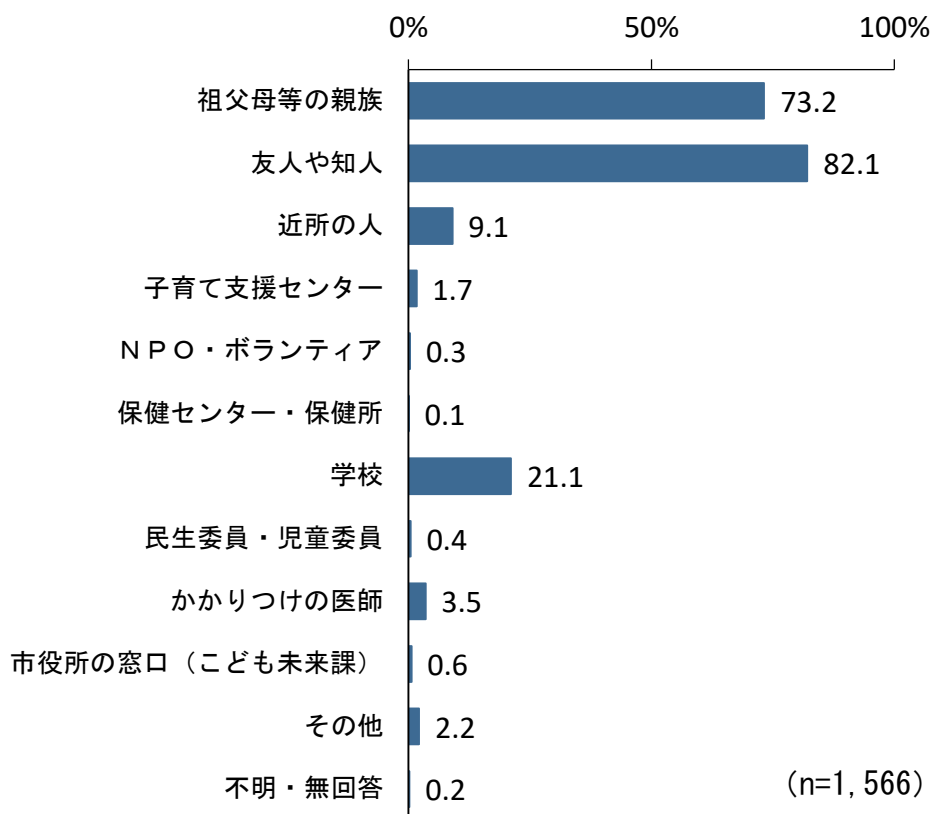


(n=1,759)

問 9ー①	【問 9 で「いる／ある」に○をつけた方】 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。 （あてはまるものすべてに○）
-------	---

子育てに関して気軽に相談できる先については、「友人や知人」が 82.1%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が 73.2%、「学校」が 21.1%と続いています。

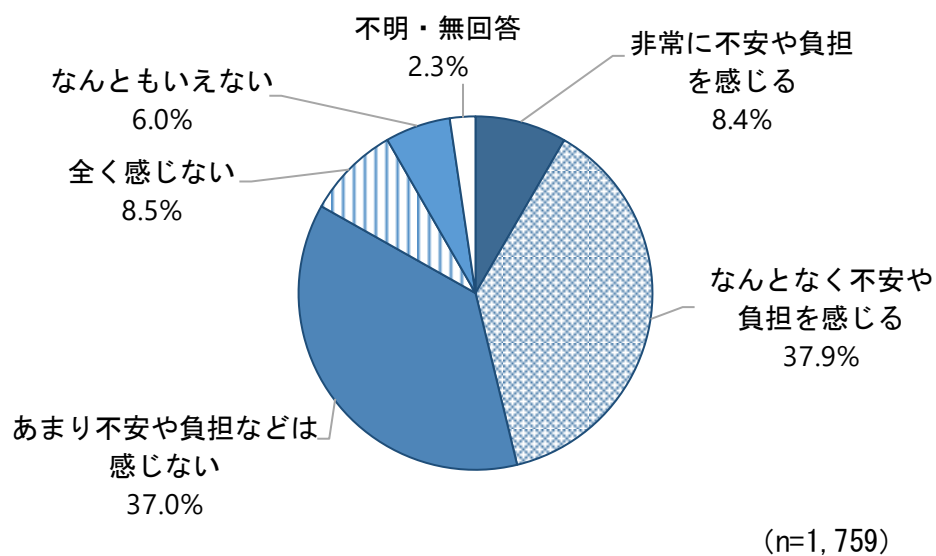
図 2-3-11 子育てに関して気軽に相談できる先



問 10	子育てに関して、不安感や負担感などを感じることはありますか。(〇はひとつ)
------	---------------------------------------

子育てに関する不安感・負担感については、「なんとなく不安や負担を感じる」が 37.9%で最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が 37.0%、「全く感じない」が 8.5%と続いています。

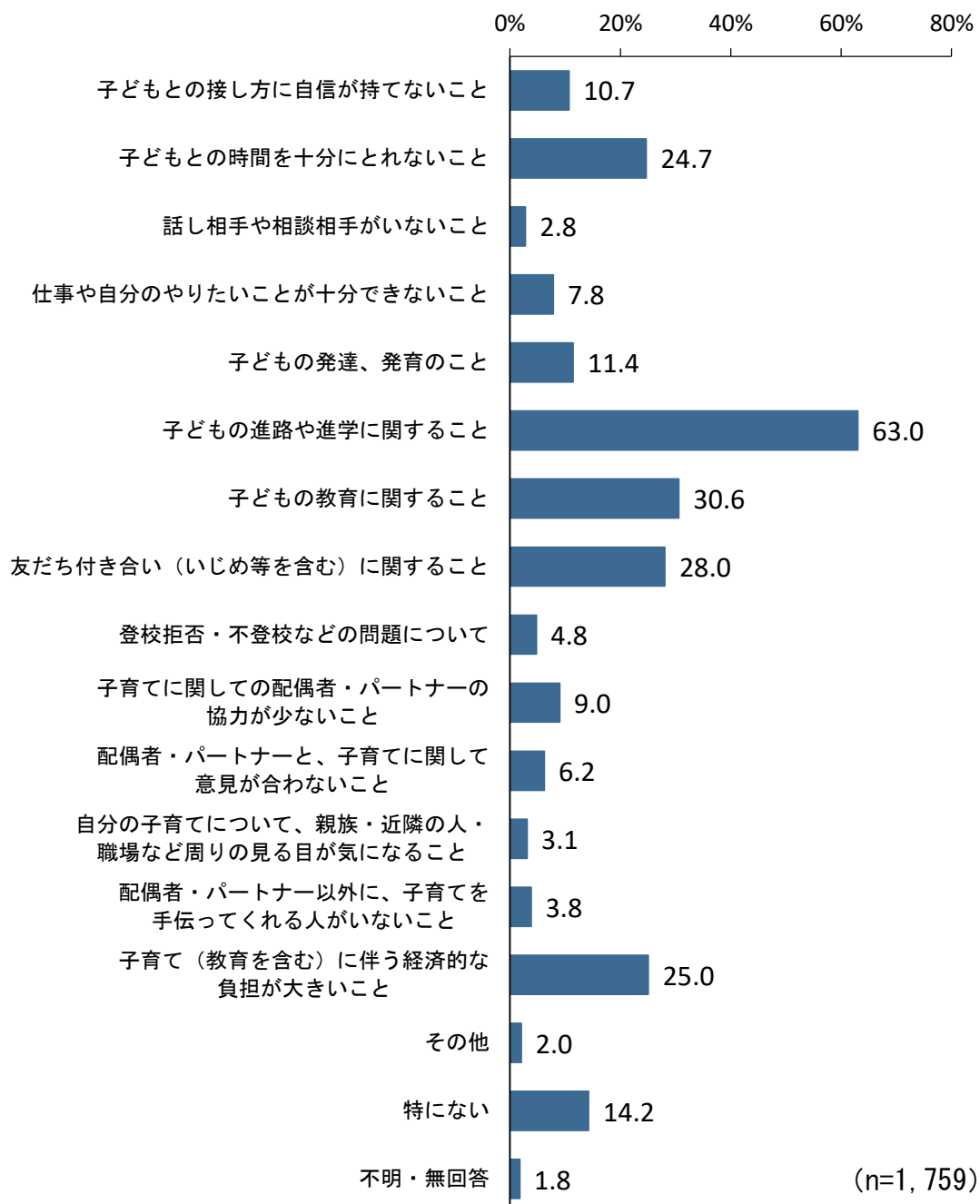
図 2-3-12 子育てに関する不安感・負担感



問 11	子育てに関して、日常悩んでいること、不安に思うこと、また気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）
------	--

子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になることについては、「子どもの進路や進学に関すること」が 63.0%で最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」が 30.6%、「友だち付き合い（いじめ等を含む）に関すること」が 28.0%と続いています。

図 2-3-13 子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になること

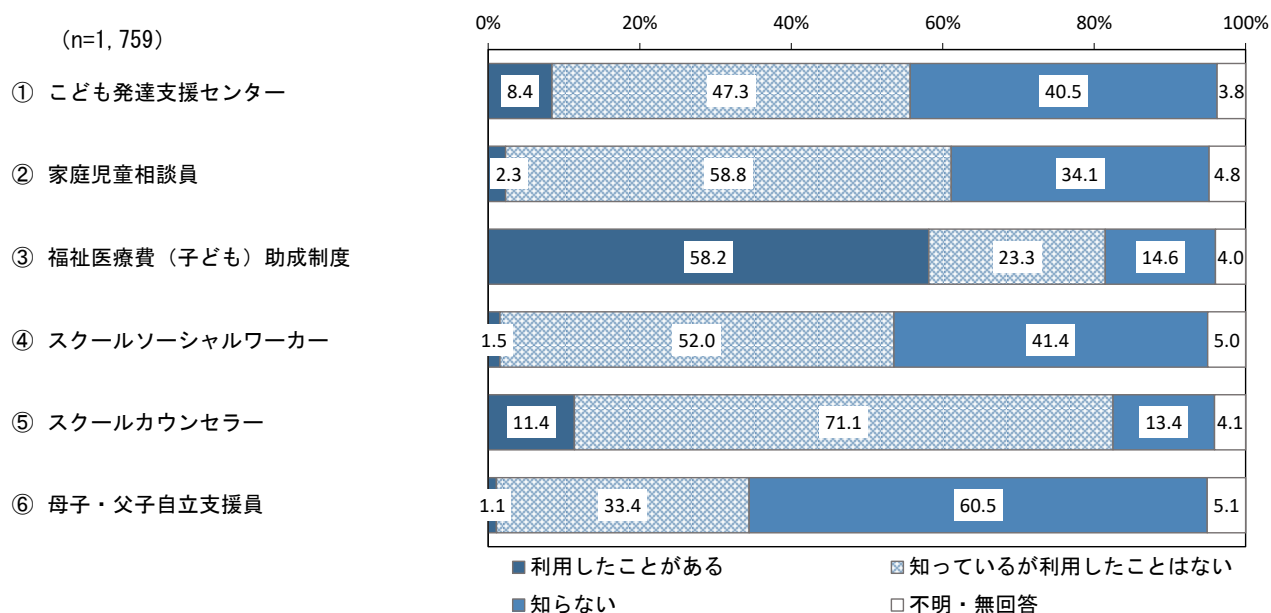


問 12	伊賀市が行っている、以下の①～⑥の子育て支援について、利用したことがありますか。あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。（○はひとつずつ）
------	---

① 認知度・利用度

事業等の認知度・利用度について、認知度（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の合計）は、「スクールカウンセラー」が 82.5%で最も高く、次いで「福祉医療費（子ども）助成制度」が 81.5%、「家庭児童相談員」が 61.1%と続いています。

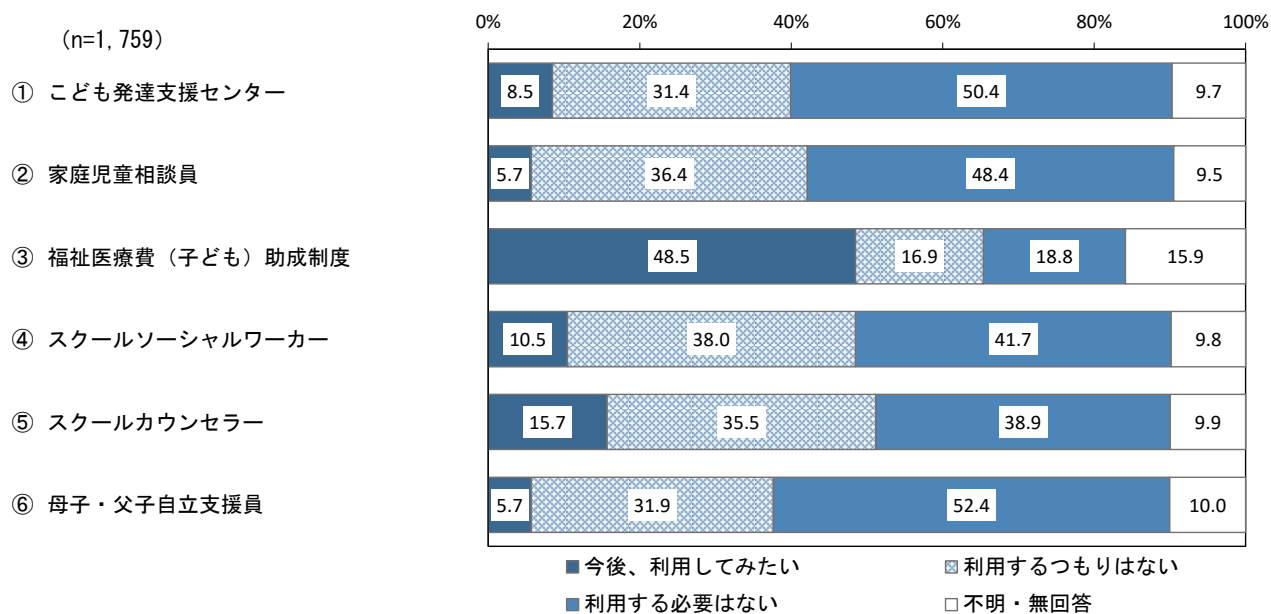
図 2-3-14 各種事業の認知度と利用度



②利用意向

事業等の利用意向について、「今後、利用してみたい」では、「福祉医療費（子ども）助成制度」が48.5%で最も高く、次いで「スクールカウンセラー」が15.7%、「スクールソーシャルワーカー」が10.5%と続いています。

図 2-3-15 各種事業の利用意向



（５）放課後の過ごし方について

問 13	お子さんは、放課後をどこで過ごすことが多いですか。（〇は3つまで）
------	-----------------------------------

放課後の過ごし方については、「自宅で兄弟姉妹や家族と過ごしている」が65.3%で最も高く、次いで「部活動に行っている」が54.6%、「学習塾や習い事に行っている」が42.2%と続いています。

学年別にみると、1年生、2年生では「部活動に行っている」が最も高く、3年生では「自宅で兄弟姉妹や家族と過ごしている」が最も高くなっています。また、「学習塾や習い事に行っている」は、学年が上がるにつれて割合が増加しており、3年生が最も高く50.0%となっています。

地区別にみると、「自宅でひとりで過ごしている」では、青山地区が36.6%で最も高く、「学習塾や習い事に行っている」では、阿山地区が最も低く35.4%となっています。

図 2-3-16 放課後の過ごし方

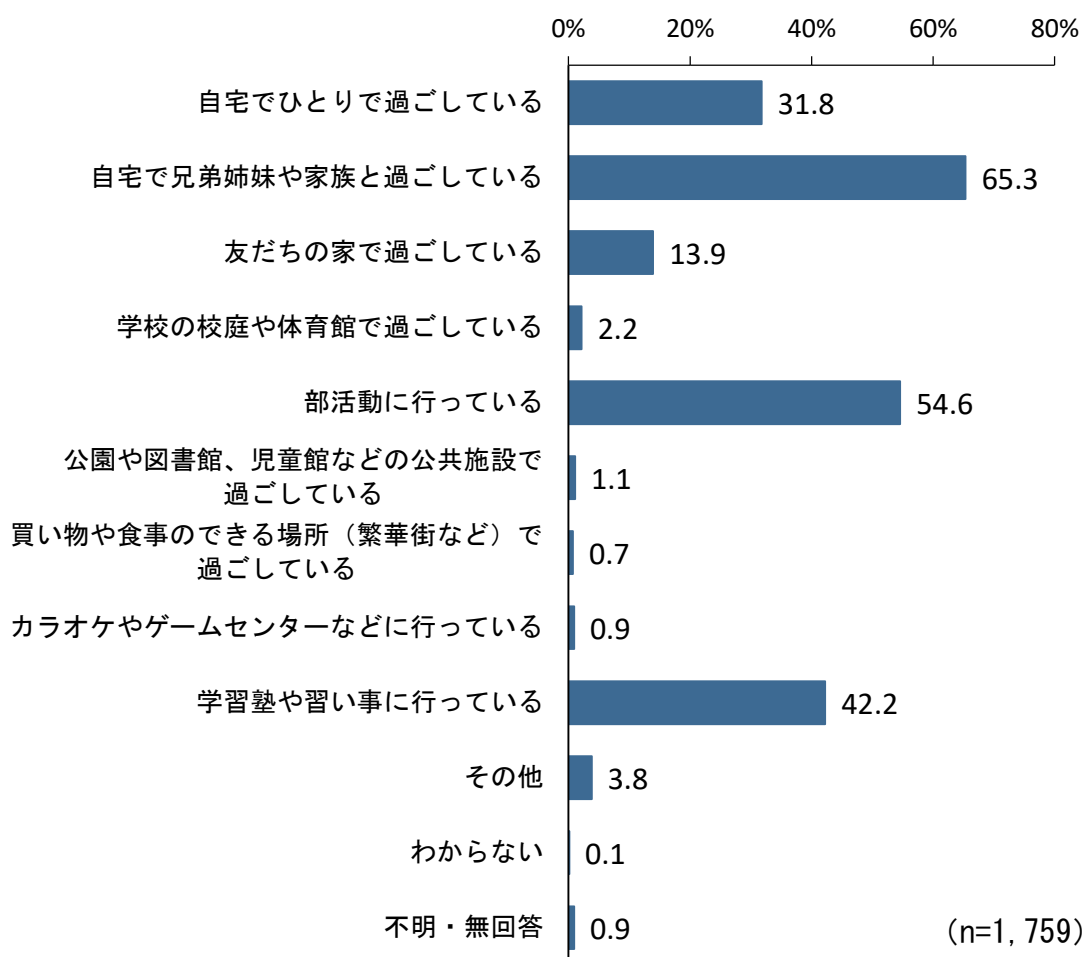


表 2-3-1 放課後の過ごし方【学年別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

	全体	自宅でひとりで過ごしている	自宅で兄弟姉妹や家族と過ごしている	友だちの家で過ごしている	学校の校庭や体育館で過ごしている	部活動に行っている	公園や図書館、児童館などの公共施設で過ごしている	買い物や食事のできる場所（繁華街など）で過ごしている	カラオケやゲームセンターなどに行っている
1 年生	637 100.0	167 26.2	424 66.6	118 18.5	17 2.7	486 76.3	6 0.9	5 0.8	7 1.1
2 年生	588 100.0	162 27.6	381 64.8	72 12.2	16 2.7	425 72.3	8 1.4	3 0.5	2 0.3
3 年生	500 100.0	225 45.0	332 66.4	53 10.6	4 0.8	40 8.0	5 1.0	5 1.0	7 1.4
	全体	学習塾や習い事に行っている	その他	わからない					
1 年生	637 100.0	250 39.2	31 4.9	0 0.0					
2 年生	588 100.0	236 40.1	16 2.7	1 0.2					
3 年生	500 100.0	250 50.0	19 3.8	1 0.2					

※網掛け■は最も割合が高いもの

表 2-3-2 放課後の過ごし方【地区別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

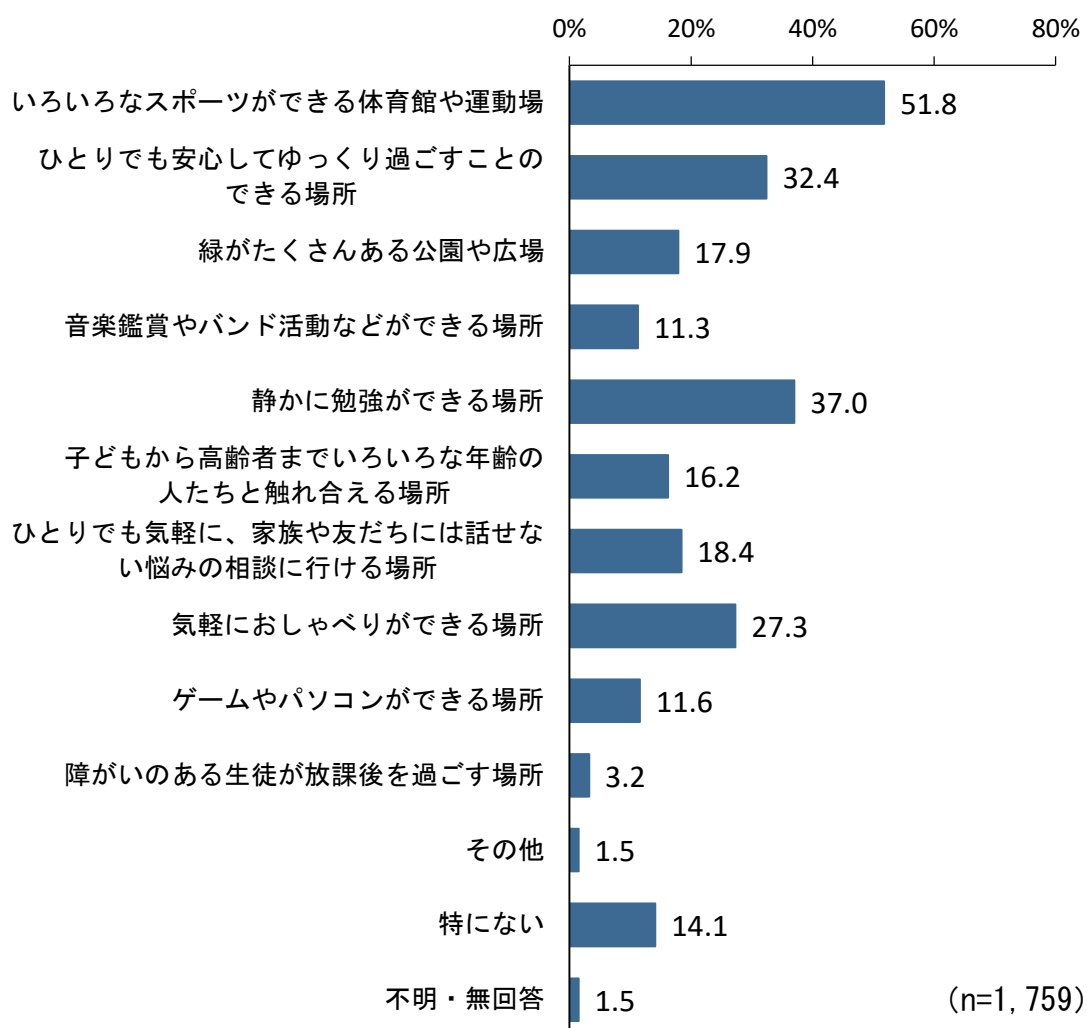
	全体	自宅でひとりで過ごしている	自宅で兄弟姉妹や家族と過ごしている	友だちの家で過ごしている	学校の校庭や体育館で過ごしている	部活動に行っている	公園や図書館、児童館などの公共施設で過ごしている	買い物や食事のできる場所（繁華街など）で過ごしている	カラオケやゲームセンターなどに行っている
上野	1,082 100.0	345 31.9	698 64.5	184 17.0	26 2.4	623 57.6	13 1.2	12 1.1	16 1.5
伊賀	166 100.0	49 29.5	116 69.9	13 7.8	2 1.2	90 54.2	1 0.6	0 0.0	0 0.0
島ヶ原	51 100.0	14 27.5	35 68.6	6 11.8	1 2.0	29 56.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
阿山	127 100.0	37 29.1	95 74.8	9 7.1	2 1.6	68 53.5	1 0.8	0 0.0	0 0.0
大山田	104 100.0	35 33.7	74 71.2	7 6.7	0 0.0	50 48.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
青山	161 100.0	59 36.6	102 63.4	16 9.9	6 3.7	74 46.0	3 1.9	0 0.0	0 0.0
	全体	学習塾や習い事に行っている	その他	わからない					
上野	1,082 100.0	462 42.7	42 3.9	1 0.1					
伊賀	166 100.0	75 45.2	5 3.0	1 0.6					
島ヶ原	51 100.0	21 41.2	1 2.0	0 0.0					
阿山	127 100.0	45 35.4	3 2.4	0 0.0					
大山田	104 100.0	49 47.1	4 3.8	0 0.0					
青山	161 100.0	71 44.1	8 5.0	0 0.0					

※網掛け■は最も割合が高いもの

問 14	お子さんについて、学校と家以外で、放課後を過ごす場所としてどのような場所があればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）
------	---

希望する放課後を過ごす場所については、「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」が51.8%で最も高く、次いで「静かに勉強ができる場所」が37.0%、「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」が32.4%と続いています。

図 2-3-17 希望する放課後を過ごす場所



学年別にみると、全ての学年で「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」が最も高くなっており、次いで「静かに勉強ができる場所」、「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」と続いています。

表 2-3-3 希望する放課後を過ごす場所【学年別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（％）

	全体	いろいろなスポーツ ができる体育館 や運動場	ひとりでも 安心してゆっ くり過ごすこ とのできる場 所	緑がたくさん ある公園や広 場	音楽鑑賞や バンド活動な どができる場 所	静かに勉強 ができる場所	子どもから 高齢者まで いろいろな年 齢の人たちと 触れ合える場 所	ひとりでも 気軽に、家族 や友だちには 話せない悩み の相談に行け る場所	気軽にのし やべりができ る場所
1 年生	637 100.0	357 56.0	211 33.1	140 22.0	73 11.5	234 36.7	120 18.8	118 18.5	181 28.4
2 年生	583 100.0	329 56.4	189 32.4	95 16.3	70 12.0	212 36.4	85 14.6	117 20.1	170 29.2
3 年生	493 100.0	217 44.0	166 33.7	77 15.6	53 10.8	202 41.0	80 16.2	87 17.6	128 26.0
	全体	ゲームや パソコンが できる場所	障がいのある 生徒が放課後 を過ごす場所	その他	特にな				
1 年生	637 100.0	84 13.2	27 4.2	9 1.4	78 12.2				
2 年生	583 100.0	73 12.5	19 3.3	1.5 14.2	83 14.2				
3 年生	493 100.0	47 9.5	11 2.2	9 1.8	82 16.6				

※網掛け■は最も割合が高いもの

地区別にみると、全ての地区で「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」の割合が最も高くなっており、青山地区が56.9%で最も高くなっています。また、伊賀地区、阿山地区では次いで「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」の割合が高く、上野地区、島ヶ原地区、大山田地区、青山地区では次いで「静かに勉強ができる場所」の割合が高くなっています。

表2-3-4 希望する放課後を過ごす場所【地区別集計】

上段：実数（人）、下段：構成比（%）

	全体	いろいろなスポーツができる体育館や運動場	ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所	緑がたくさんある公園や広場	音楽鑑賞やバンドなど活動ができる場所	静かに勉強ができる場所	子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所	ひとりでも気軽に、家族や友達には話せない悩みの相談に行ける場所	気軽におしゃべりができる場所
上野	1,079 100.0	568 52.6	344 31.9	218 20.2	125 11.6	427 39.6	178 16.5	203 18.8	299 27.7
伊賀	163 100.0	81 49.7	62 38.0	28 17.2	23 14.1	57 35.0	31 19.0	32 19.6	47 28.8
島ヶ原	50 100.0	28 56.0	14 28.0	5 10.0	4 8.0	17 34.0	7 14.0	11 22.0	10 20.0
阿山	124 100.0	65 52.4	52 41.9	17 13.7	12 9.7	44 35.5	21 16.9	22 17.7	36 29.0
大山田	103 100.0	52 50.5	22 21.4	12 11.7	10 9.7	34 33.0	14 13.6	17 16.5	22 21.4
青山	160 100.0	91 56.9	52 32.5	27 16.9	17 10.6	56 35.0	26 16.3	32 20.0	51 31.9
	全体	ゲームやパソコンができる場所	障がいのある生徒が放課後を過ごす場所	その他	特にない				
上野	1,079 100.0	126 11.7	32 3.0	19 1.8	146 13.5				
伊賀	163 100.0	22 13.5	7 4.3	3 1.8	28 17.2				
島ヶ原	50 100.0	3 6.0	4 8.0	1 2.0	7 14.0				
阿山	124 100.0	15 12.1	3 2.4	1 0.8	17 13.7				
大山田	103 100.0	8 7.8	5 4.9	1 1.0	23 22.3				
青山	160 100.0	21 13.1	3 1.9	2 1.3	22 13.8				

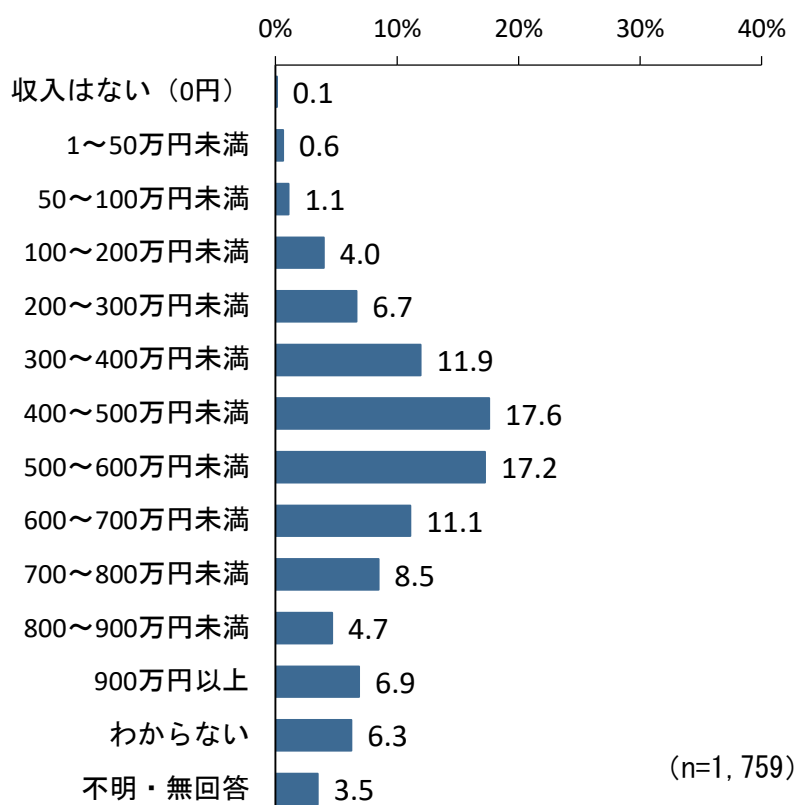
※網掛け■は最も割合が高いもの

（６）家庭での生活について

問 15	お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間の収入はいくらですか。税金や保険料などを差し引いた後の手取り収入の額でお答えください。複数の収入源がある場合はおおよその合計額を教えてください。（〇はひとつ）
------	---

世帯年収については、「400～500万円未満」が17.6%で最も高く、次いで「500～600万円未満」が17.2%、「300～400万円未満」が11.9%と続いています。

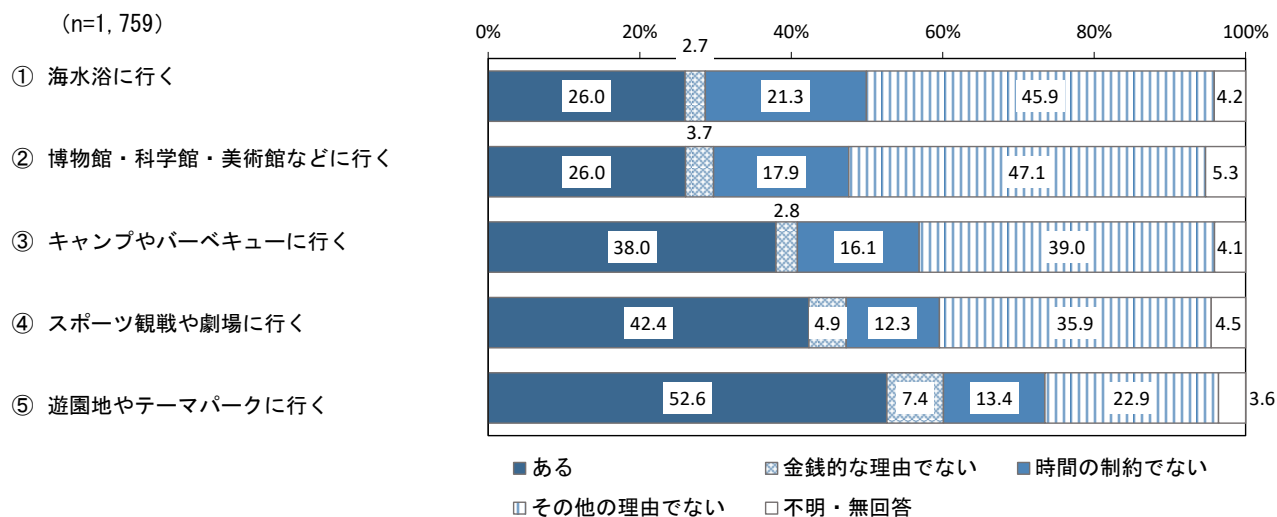
図 2-3-18 世帯年収



問 16	過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。以下の①～⑤について、あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。（○はひとつずつ）
------	---

子どもの体験の有無について、「ある」では、「遊園地やテーマパークに行く」が52.6%で最も高く、「金銭的な理由でない」では、「遊園地やテーマパークに行く」が7.4%で最も高く、「時間の制約でない」では、「海水浴に行く」が21.3%で最も高くなっています。

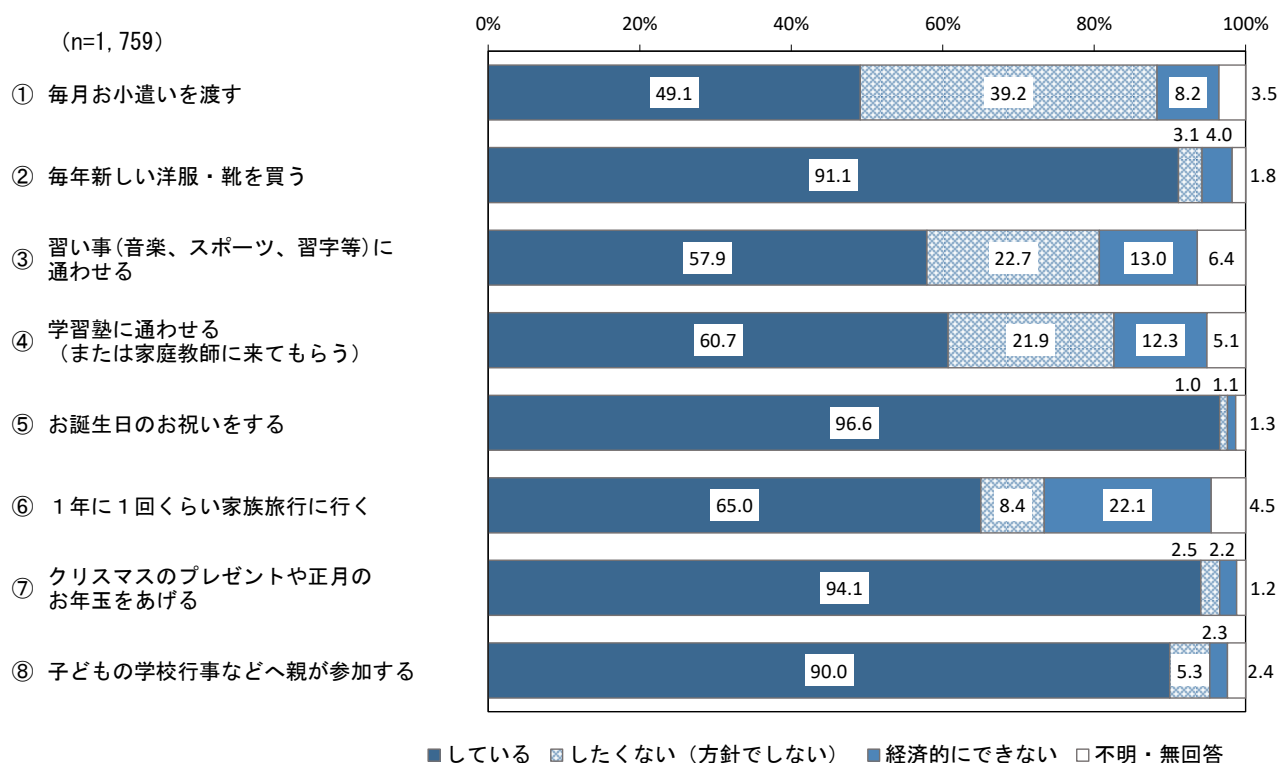
図2-3-19 子どもの体験の有無



問 17	あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。下の①～⑧について、あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。（○はひとつずつ）
------	--

子どもの体験の有無について、「している」では、「お誕生日のお祝いをする」が 96.6%で最も高く、「したくない（方針でしない）」では、「毎月お小遣いを渡す」が 39.2%で最も高く、「経済的にできない」では、「1年に1回くらい家族旅行に行く」が 22.1%で最も高くなっています。

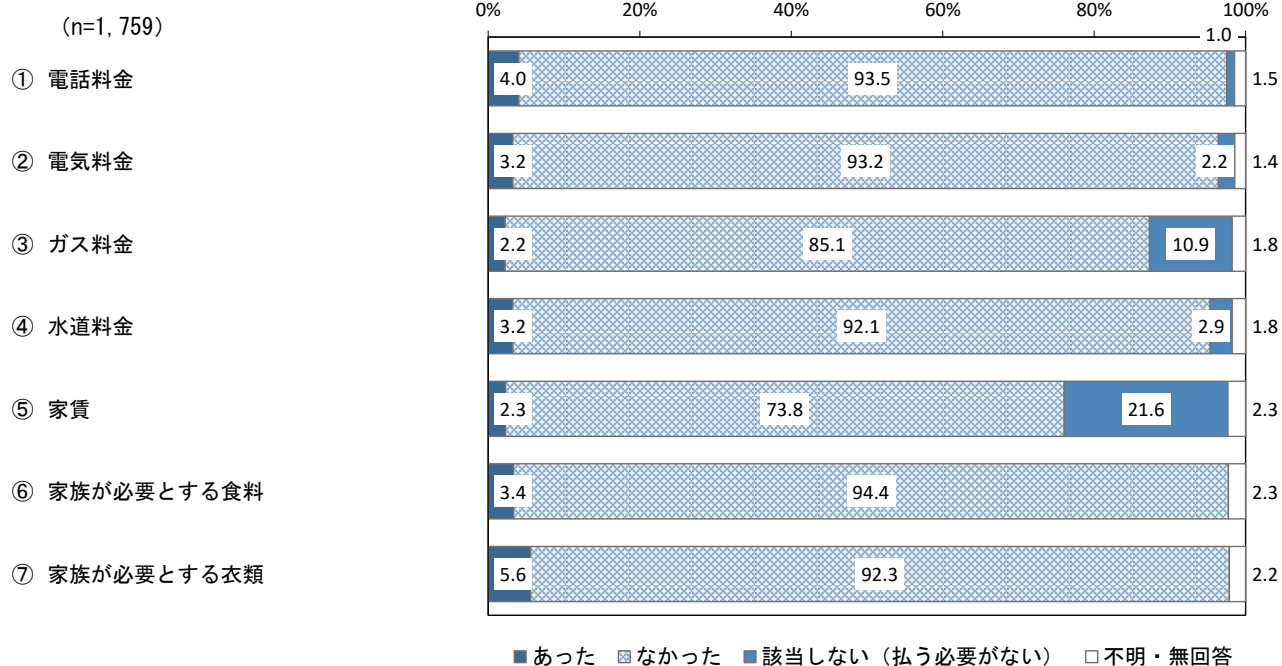
図 2-3-20 子どもの体験の有無



問 18	過去1年の間に、経済的な理由で、以下の①～⑦のサービス・料金について、支払えないことや買えなかったことがありましたか。あてはまる数字にそれぞれ○をつけてください。(○はひとつずつ)
------	--

過去1年の間に、経済的な理由で、支払えないことや買えなかったことがあったかについて、「あった」では、「家族が必要とする衣類」が5.6%で最も高く、次いで「電話料金」が4.0%、「家族が必要とする食料」が3.4%と続いています。

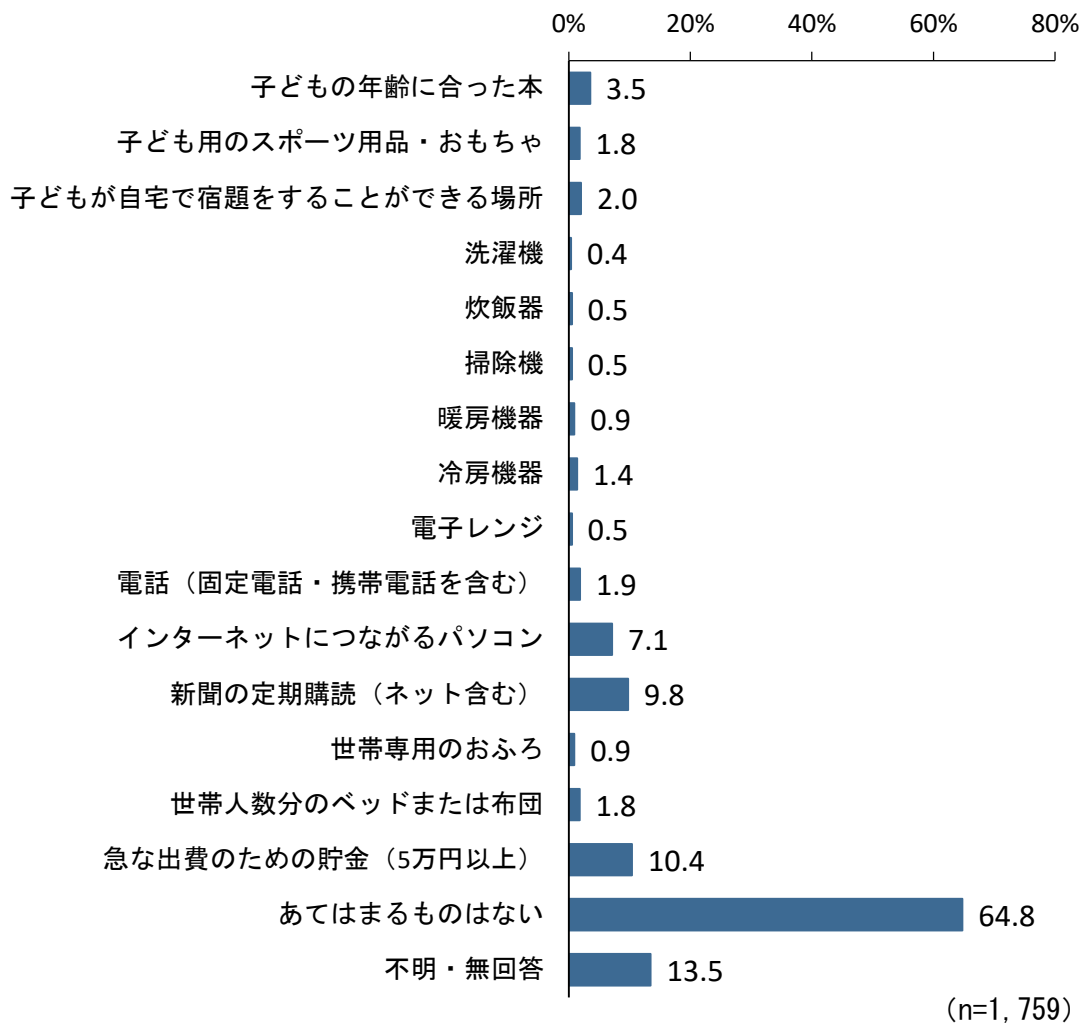
図2-3-21 家計の状況



問 19	次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。 (あてはまるものすべてに○)
------	---

経済的理由のために世帯にないものについては、「あてはまるものはない」が 64.8%で最も高く、次いで「急な出費のための貯金（5 万円以上）」が 10.4%、「新聞の定期購読（ネット含む）」が 9.8%と続いています。

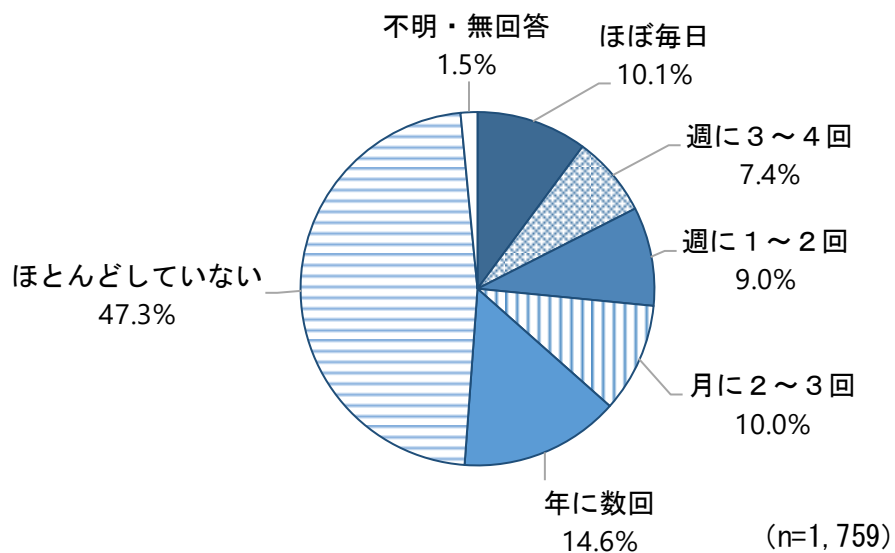
図 2-3-22 経済的理由のために世帯にないもの



問 20	あなたのご家庭では、お子さんと一緒に本を読んだり、選んだり、読み聞かせをしたりしていましたか。（〇はひとつ）
------	--

家庭での読書活動の実践状況については、「ほとんどしていない」が 47.3%で最も高く、次いで「年に数回」が 14.6%、「ほぼ毎日」が 10.1%と続いています。

図 2-3-23 家庭での読書活動の実践状況

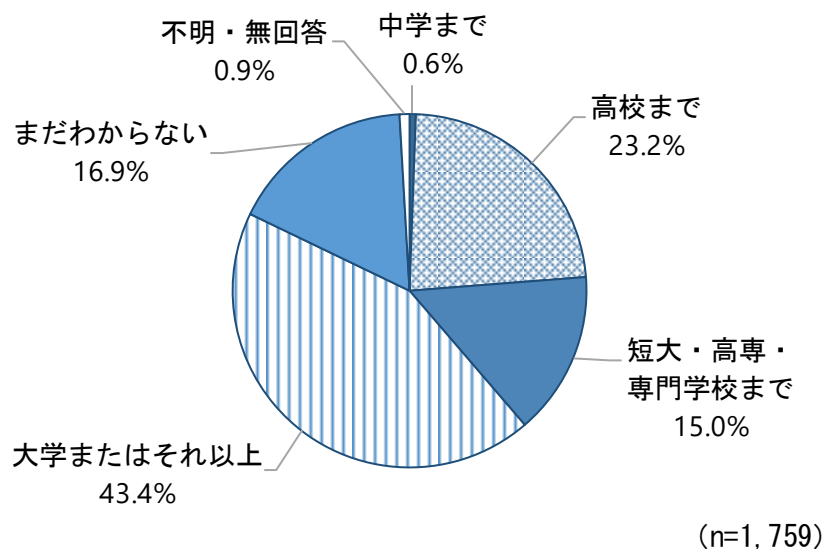


(7) 子育て全般について

問 21	お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。 (〇はひとつ)
------	---

お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えているかについては、「大学またはそれ以上」が43.4%で最も高く、次いで「高校まで」が23.2%、「まだわからない」が16.9%と続いています。

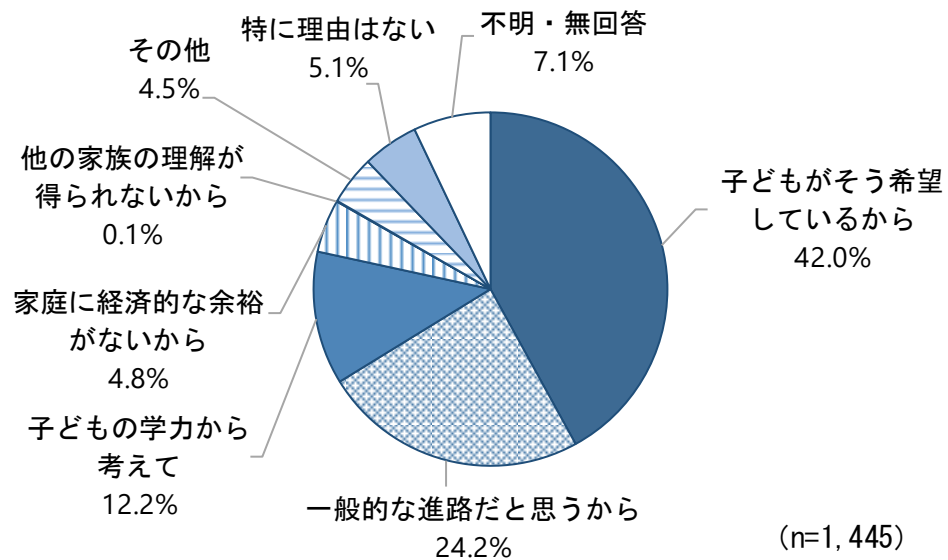
図 2-3-24 子どもに対する進学意向



問 21－①	【問 21 で「中学まで」から「大学またはそれ以上」に○をつけた方】 あなたが上記のようにお考えになる理由は何ですか。（○はひとつ）
--------	---

子どもに対する進学意向の理由については、「子どもがそう希望しているから」が 42.0%で最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が 24.2%、「子どもの学力から考えて」が 12.2%と続いています。

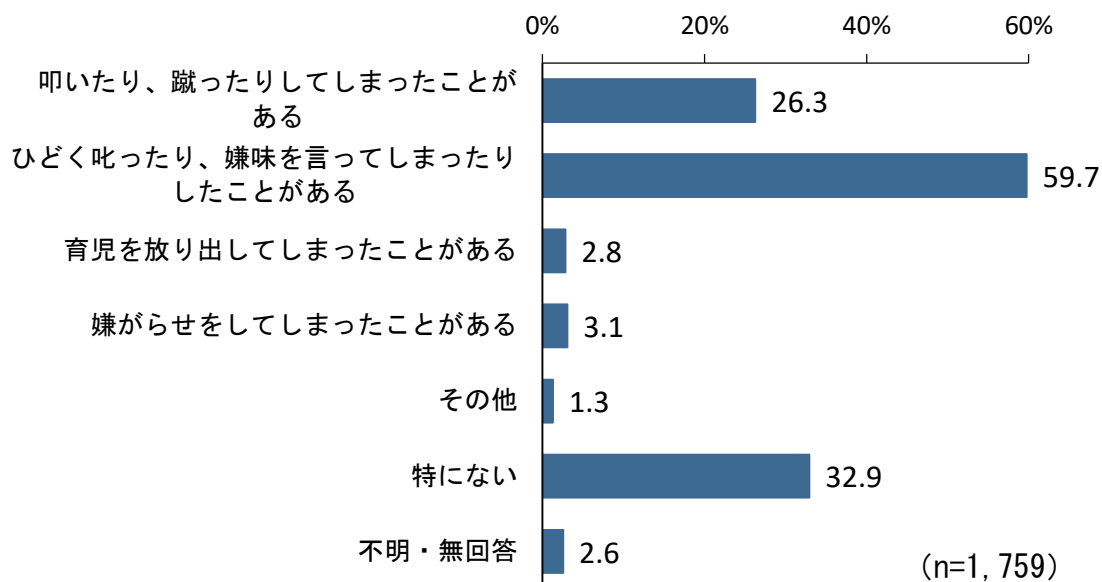
図 2-3-25 子どもに対する進学意向の理由



問 22	今までに、子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまった経験はありますか。（あてはまるものすべてに○）
------	--

子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまった経験については、「ひどく叱ったり、嫌味を言ってしまったりしたことがある」が 59.7%で最も高く、次いで「特にない」が 32.9%、「叩いたり、蹴ったりしてしまったりしたことがある」が 26.3%と続いています。

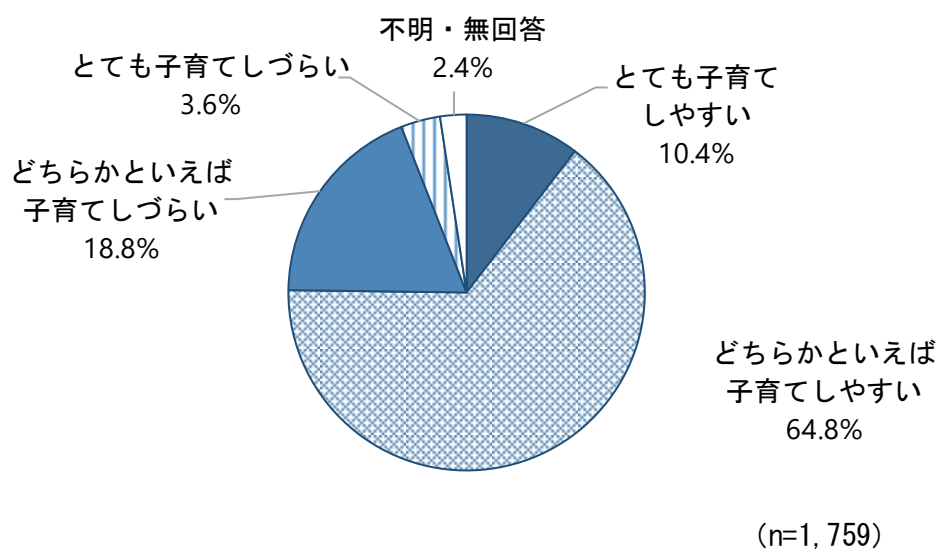
図 2-3-26 子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまった経験



問 23	お住まいの地域は、子育てがしやすいと思いますか。(〇はひとつ)
------	---------------------------------

地域の子育てのしやすさについては、「どちらかといえば子育てしやすい」が 64.8%で最も高く、次いで「どちらかといえば子育てしづらい」が 18.8%、「とても子育てしやすい」が 10.4%と続いており、『子育てしやすい』（「とても子育てしやすい」と「どちらかといえば子育てしやすい」の合計）は 75.2%となっています。

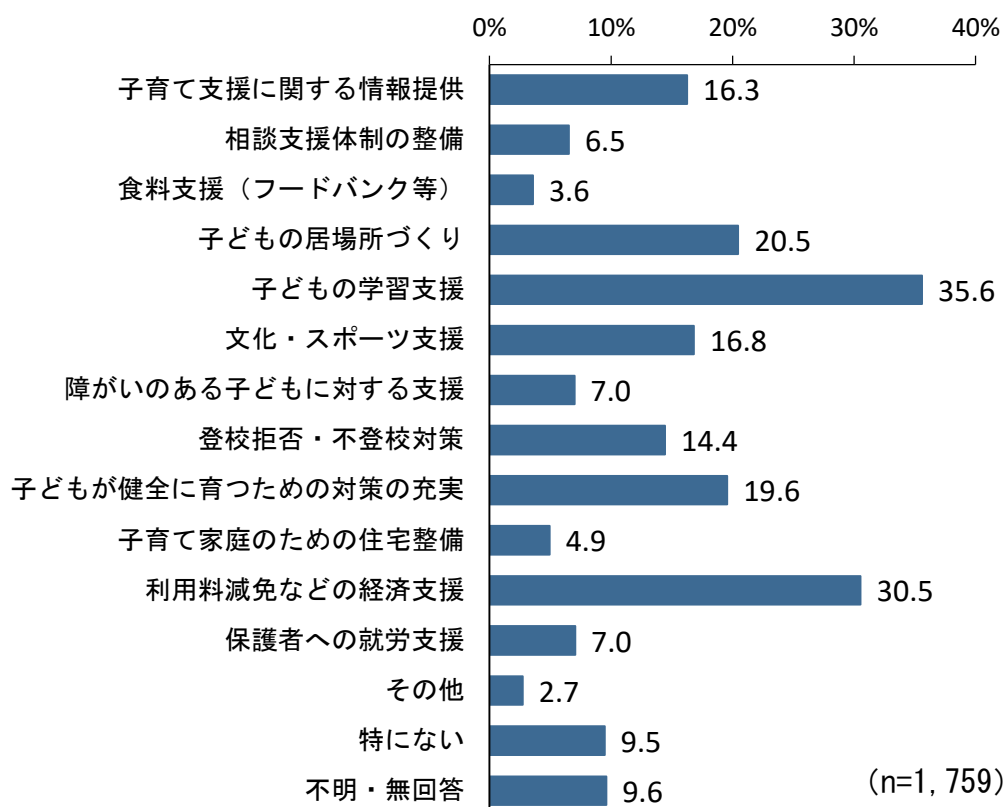
図 2-3-27 地域の子育てのしやすさ



問 24	今後、子育ての支援策として、必要だと思う施策はどのようなことですか。 (〇は3つまで)
------	--

必要だと思う子育ての支援策については、「子どもの学習支援」が 35.6%で最も高く、次いで「利用料減免などの経済支援」が 30.5%、「子どもの居場所づくり」が 20.5%と続いています。

図 2-3-28 必要だと思う子育ての支援策



第3章 生活困窮の状況

1. 本調査における「生活困難層」の推定について

貧困の指標として、所得を基準とした相対的貧困率がありますが、これには現物給付や、貯蓄や持家といった資産、負債などが反映されていないため、この指標だけでは生活水準そのものを示しているとは言えません。また、自記式の調査であるため、把握できる世帯所得の精緻度が限られています。そのため、生活に必要な物やサービスを、経済的な理由で享受することができない状態（物質的剥奪状態）にあるかどうかを測定し、その結果をもってその人の生活水準を測る指標を追加します。

本調査では、子どもの「生活困難層」の推定について、以下の3つの要素に基づいて分類しています。

（1）低所得

「低所得」は、世帯所得を、世帯人数の平方根で割った値（等価所得）が、厚生労働省「平成29年国民生活基礎調査」から算出される基準未満（140.6万円）の世帯とします。⁶

なお、国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない人の割合のことです。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいい、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づき算出されています。

（2）家計の逼迫

「家計の逼迫」は、家計の中で大きな比重を占め、これらの欠乏により、基本的な生活水準を保つことが難しいと考えられる公共料金や食料・衣類の費用が捻出できない状況と定義し、経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験、食料・衣服を買えなかった経験などの7項目のうち、1つ以上が該当する世帯を対象とします。

- 1 電話料金
- 2 電気料金
- 3 ガス料金
- 4 水道料金
- 5 家賃
- 6 家族が必要とする食料が買えなかった
- 7 家族が必要とする衣類が買えなかった

⁶ 平成29年国民生活基礎調査の世帯所得の中央値（442万円）を同年調査の平均世帯人数（2.47人）の平方根で除した値の50%（140.6万円）

（３）子どもの体験や所有物の欠如

「子どもの体験や所有物の欠如」は、大多数の子どもが一般的に享受していると考えられる経験や物品で、子どもの体験や所有物などに関する 15 項目のうち、経済的な理由で、欠如している項目が 3 つ以上該当する世帯を対象とします。

- 1 海水浴に行く
- 2 博物館・科学館・美術館などに行く
- 3 キャンプやバーベキューに行く
- 4 スポーツ観戦や劇場に行く
- 5 遊園地やテーマパークに行く
- 6 毎月お小遣いを渡す
- 7 毎年新しい洋服・靴を買う
- 8 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる
- 9 学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう）
- 10 お誕生日のお祝いをする
- 11 1年に1回くらい家族旅行に行く
- 12 クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる
- 13 子どもの年齢に合った本
- 14 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ
- 15 子どもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所

２．「生活困難層」について

生活困難層のうち、2 つ以上の要素に該当する層を「困窮層」、いずれか 1 つの要素に該当する層を「周辺層」、いずれの要素にも該当しない層を「一般層」と定義します。

表 3-2-1 生活困難層の分類

困窮層	3 つに該当	①低所得＋②家計の逼迫＋③子どもの体験や所有物の欠如
	2 つに該当	①低所得＋②家計の逼迫
		①低所得＋③子どもの体験や所有物の欠如
		②家計の逼迫＋③子どもの体験や所有物の欠如
周辺層	1 つに該当	①低所得のみ
		②家計の逼迫のみ
		③子どもの体験や所有物の欠如のみ
一般層	該当しない	いずれの要素にも該当しない

3. 生活困難層の割合⁷

(1) 生活困難層の割合

2つ以上の要素に該当する「困窮層」、いずれか1つの要素に該当する「周辺層」の割合については、全体では「困窮層」が8.7%、「周辺層」が14.7%となっており、就学前児童では「困窮層」が5.5%、「周辺層」が15.6%、小学生では「困窮層」が8.9%、「周辺層」が14.6%、中学生では「困窮層」が10.9%、「周辺層」が14.3%で、「困窮層」では、就学前児童、小学生、中学生と年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、中学生の割合は、就学前児童に比べ2倍近くとなっています。

表3-3-1 生活困難層の割合

		全体	就学前児童	小学生	中学生
生活困難層		23.5%	21.1%	23.5%	25.2%
	困窮層	8.7%	5.5%	8.9%	10.9%
	周辺層	14.7%	15.6%	14.6%	14.3%
一般層		76.5%	78.9%	76.5%	74.8%

(2) 「低所得」、「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」の割合

「低所得」の割合は、全体で12.9%で、就学前児童、小学生、中学生いずれも13%前後となっています。「家計の逼迫」の割合は、全体で7.6%で、就学前児童、小学生、中学生と年齢が上がるにつれて割合が高くなっていますが、6～8%台となっています。「子どもの体験や所有物の欠如」の割合は、全体で13.0%で、就学前児童、小学生、中学生と年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、中学生の割合は、就学前に比べ2倍以上となっています。

表3-3-2 「低所得」、「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」の割合

	全体	就学前児童	小学生	中学生
①低所得	12.9%	13.3%	13.0%	12.6%
②家計の逼迫	7.6%	6.4%	7.4%	8.8%
③子どもの体験や所有物の欠如	13.0%	7.4%	13.4%	16.4%

⁷ 該当する設問が不明なものや無回答であった場合など、分類が不可能であるものについては集計の対象外としています。

（３）世帯類型別生活困難層の割合

世帯類型別生活困難層の割合については、母子世帯では「困窮層」が 36.2%、「周辺層」が 30.1% となっており、父子世帯では「困窮層」が 15.9%、「周辺層」が 23.8%、ふたり親世帯では「困窮層」が 5.9%、「周辺層」が 13.1%となっています。

表 3-3-3 世帯類型別生活困難層の割合

		母子世帯	父子世帯	ふたり親世帯
生活困難層		66.2%	39.7%	19.0%
	困窮層	36.2%	15.9%	5.9%
	周辺層	30.1%	23.8%	13.1%
一般層		33.8%	60.3%	81.0%

なお、世帯類型については、以下の分類で算出しています。

①就学前・小学生

問 4 で「母親」、問 5 で「配偶者はいない」と回答している場合を母子世帯、問 4 で「父親」、問 5 で「配偶者はいない」と回答している場合を父子世帯、問 4 で「母親」または「父親」、問 5 で「配偶者がいる」と回答している場合をふたり親世帯として算出しています。

②中学生

問 4 で「父親」を回答せず「母親」を回答し、問 7 で「母親」のみを回答している場合を母子世帯、問 4 で「母親」を回答せず「父親」を回答し、問 7 で「父親」のみを回答している場合を父子世帯、問 4 で「母親」または「父親」を回答し、問 7 で「母親」および「父親」を回答している場合をふたり親世帯として算出しています。

（４）世帯類型別「低所得」、「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」の割合

世帯類型別にみた「低所得」の割合は、母子世帯で 54.5%、父子世帯で 19.3%、ふたり親世帯で 8.8%となっており、「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」についても母子世帯が父子世帯、ふたり親世帯に比べ割合が高くなっています。

表 3-3-4 世帯類型別「低所得」、「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」の割合

	母子世帯	父子世帯	ふたり親世帯
①低所得	54.5%	19.3%	8.8%
②家計の逼迫	20.3%	15.7%	6.2%
③子どもの体験や所有物の欠如	36.9%	20.8%	10.4%

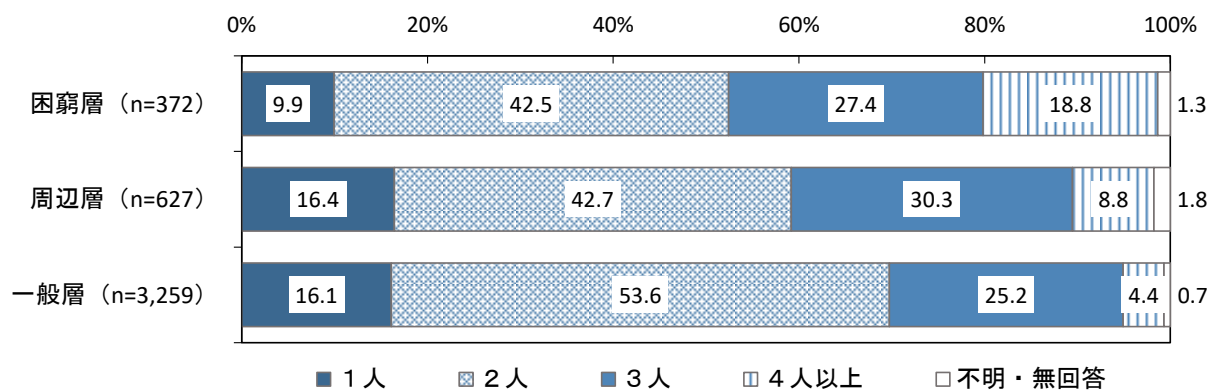
4. 生活困難層の現状

(1) 回答者の属性と家庭環境

① 子どものきょうだいの人数

子どものきょうだいの人数について、困窮層では「2人」が42.5%で最も高く、次いで「3人」が18.8%、「4人以上」が18.8%と続いており、「4人以上」では、周辺層(8.8%)、一般層(4.4%)に比べ割合が高くなっています。

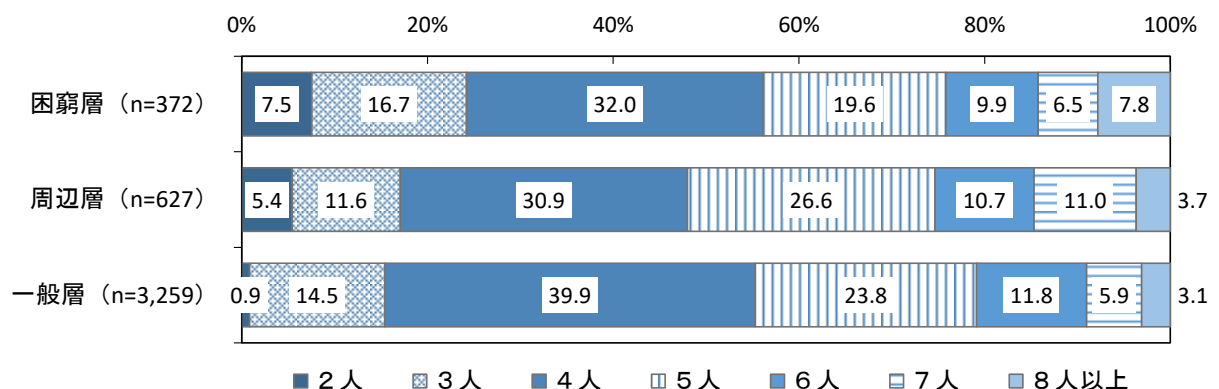
図3-4-1 子どものきょうだいの人数



② 同居している家族の人数

同居している家族の人数について、困窮層では「4人」が32.0%で最も高く、次いで「5人」が19.6%、「3人」が16.7%と続いており、『3人以下』(24.2%)では、周辺層(17.0%)、一般層(15.4%)に比べ割合が高くなっています。

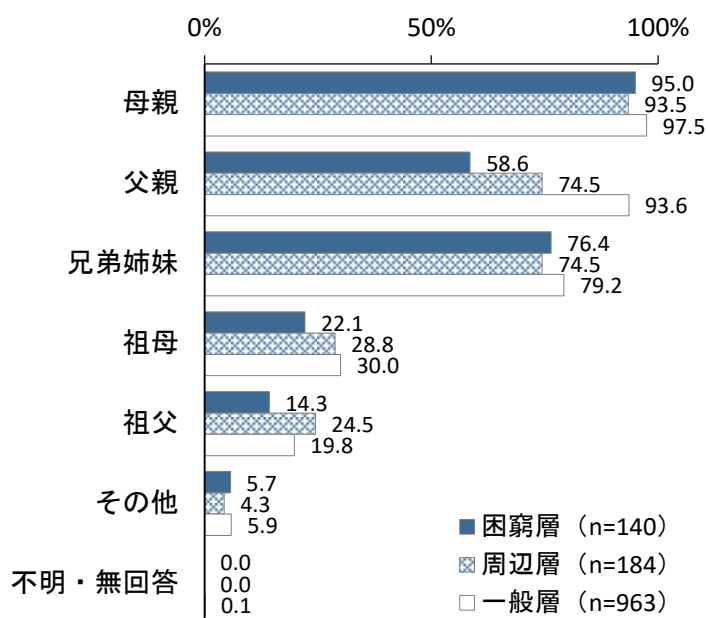
図3-4-2 同居している家族の人数



③同居家族（中学生）

同居家族について、困窮層では「母親」が95.0%で最も高く、次いで「兄弟姉妹」が76.4%、「父親」が58.6%と続いており、「父親」、「祖母」、「祖父」については周辺層、一般層に比べ割合が低くなっています。

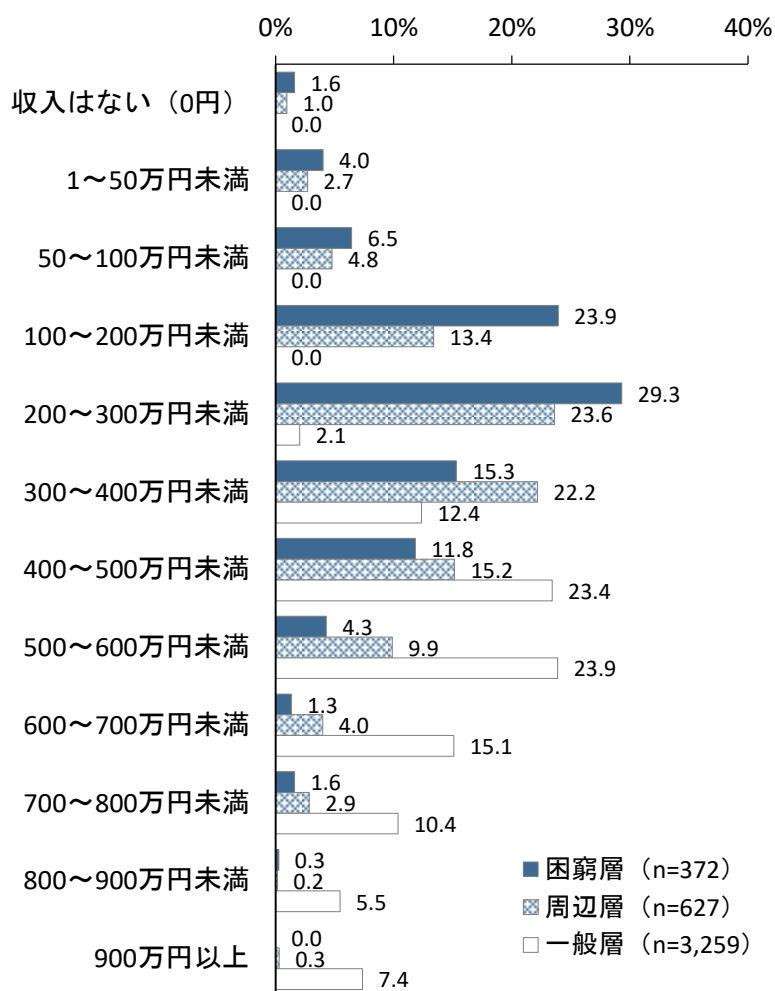
図3-4-3 同居家族（中学生）



④世帯年収

世帯年収について、困窮層では「200～300万円未満」が29.3%で最も高く、次いで「100～200万円未満」が23.9%、「300～400万円未満」が15.3%と続いています。

図3-4-4 世帯年収

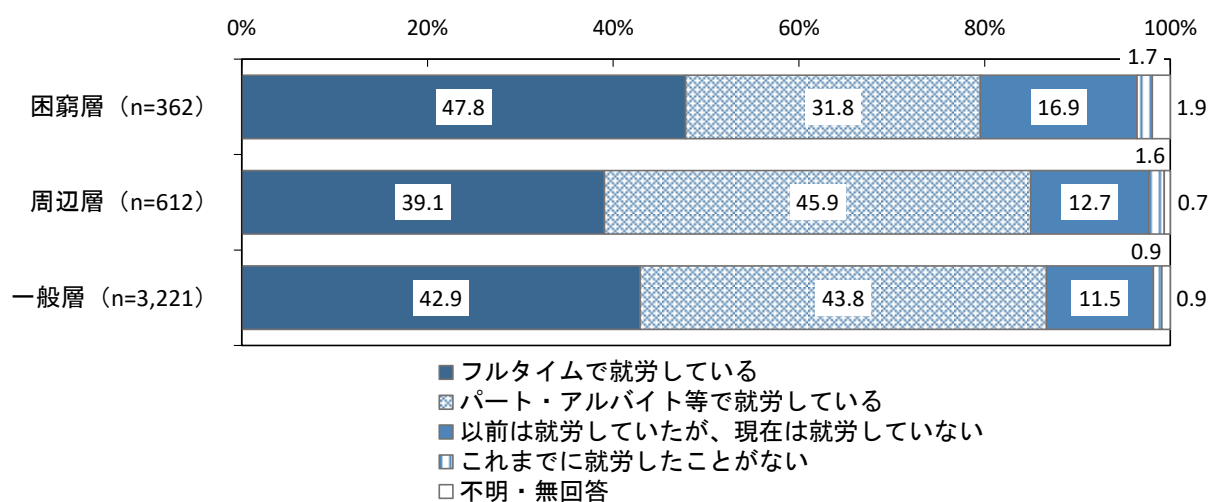


（２）保護者の就労状況について

①母親の就労状況

母親の就労状況について、困窮層では「フルタイムで就労している」が 47.8%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が 31.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 16.9%と続いており、就労していない人（「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまでに就労したことがない」の合計）が 18.6%で、周辺層（14.3%）、一般層（12.4%）に比べ割合が高くなっています。

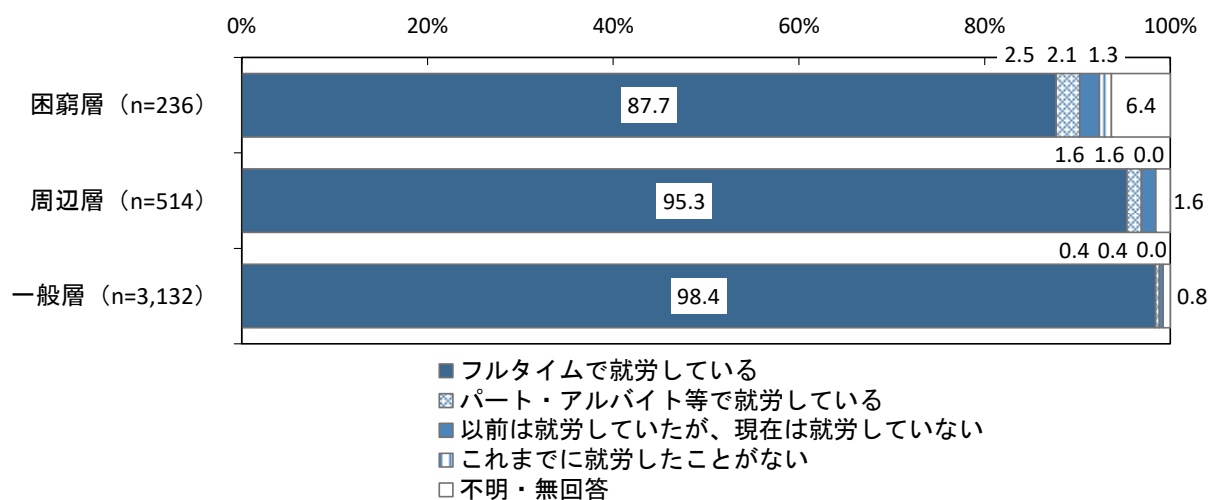
図 3-4-5 母親の就労状況



②父親の就労状況

父親の就労状況について、困窮層では「フルタイムで就労している」が 87.7%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が 2.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 2.1%と続いています。

図 3-4-6 父親の就労状況



（３）子どもの育ちをめぐる環境について

①家庭でのコミュニケーションについて（中学生）

お子さんが学校などでの出来事について話をしているかについて、困窮層では「どちらかといえば、話している」が40.0%で最も高く、次いで「話している」が37.1%、「どちらかといえば、話していない」が17.9%と続いており、『話していない』（「どちらかといえば、話していない」と「話していない」の合計）が20.0%で、周辺層（18.4%）、一般層（13.9%）に比べ割合が高くなっています。

また、お子さんの主な話し相手について、困窮層では「母親」が92.6%で最も高く、次いで「兄弟姉妹」が42.6%、「父親」が28.7%と続いており、「父親」、「祖母」、「祖父」については周辺層、一般層に比べ割合が低くなっています。

図 3-4-7 お子さんとのコミュニケーション（中学生）

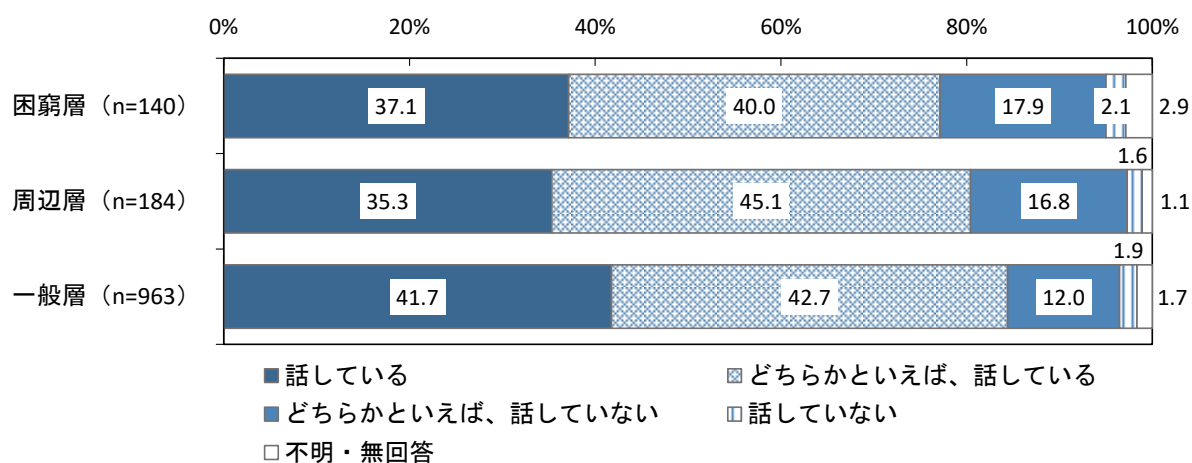
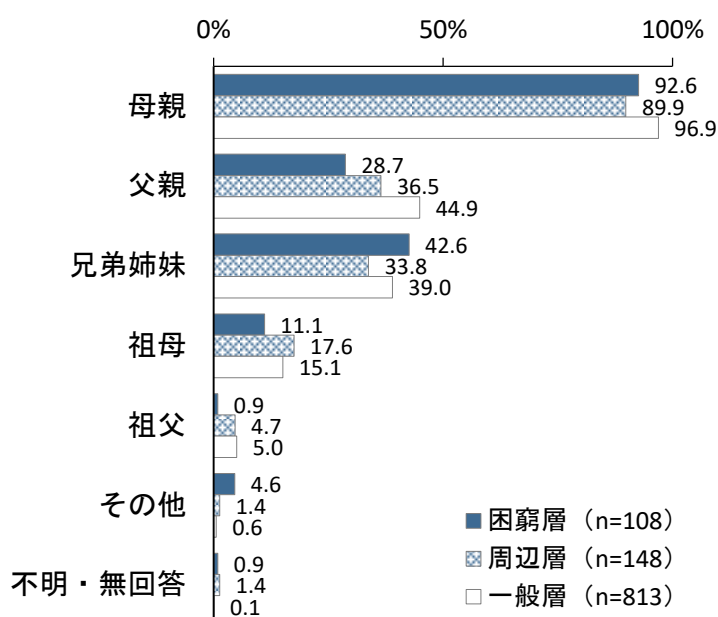


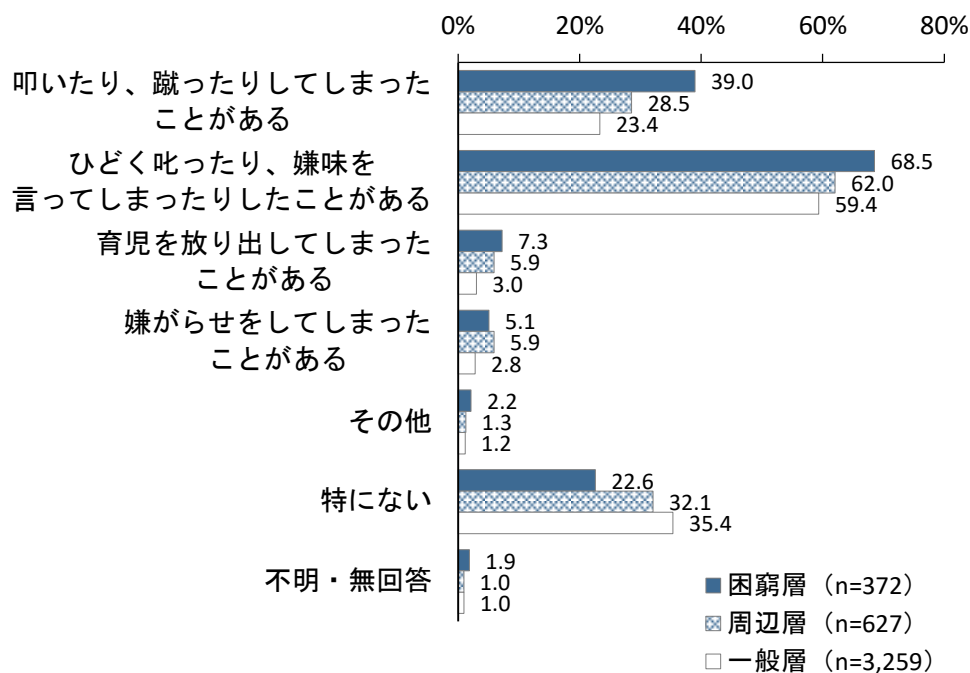
図 3-4-8 お子さんの主な話し相手（中学生）



②子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまった経験

子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまった経験について、困窮層では「ひどく叱ったり、嫌味を言ってしまったりしたことがある」が68.5%で最も高く、次いで「叩いたり、蹴ったりしてしまったりしたことがある」が39.0%、「特にない」が22.6%と続いており、「叩いたり、蹴ったりしてしまったりしたことがある」、「ひどく叱ったり、嫌味を言ってしまったりしたことがある」、「育児を放り出してしまったりしたことがある」では困窮層が最も高く、次いで周辺層、一般層の順となっています。

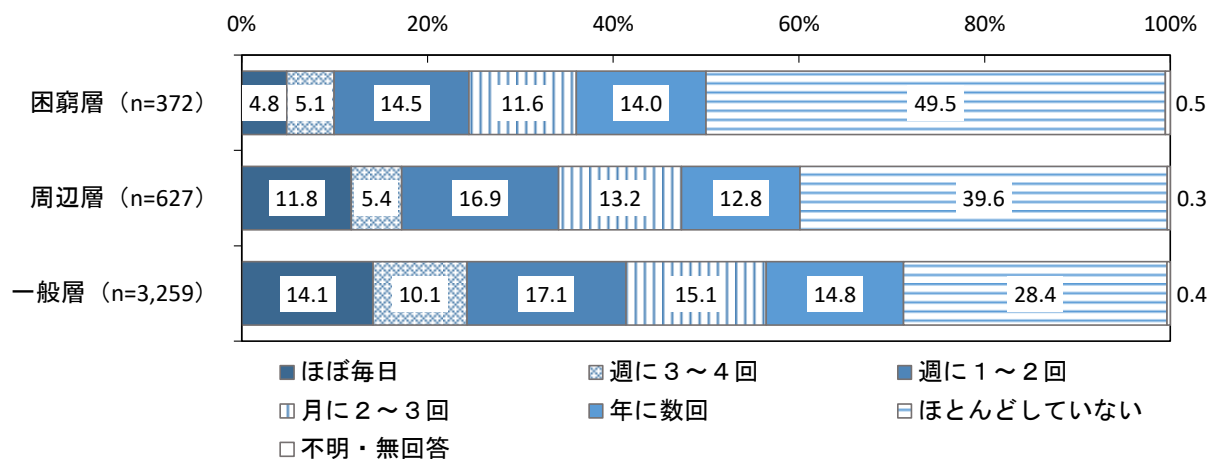
図3-4-9 子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまった経験



③家庭での読書活動の実践状況

家庭での読書活動の実践状況について、困窮層では「ほとんどしていない」が49.5%で最も高く、次いで「週に1～2回」が14.5%、「年に数回」が14.0%と続いてり、「ほとんどしていない」では、周辺層（39.6%）、一般層（28.4%）に比べ割合が高くなっています。

図3-4-10 家庭での読書活動の実践状況



④相談先

子育てについて気軽に相談できる人や場所があるかどうかについて、困窮層では「いる／ある」が 86.8%、「いない／ない」が 11.8%と続いており、「いない／ない」では、周辺層（8.9%）、一般層（4.6%）に比べ割合が高くなっています。

また、子育てに関して気軽に相談できる先について、困窮層では「友人や知人」が 76.5%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が 70.0%、「学校（保育園・幼稚園等）」が 29.1%と続いており、「近所の人」、「民生委員・児童委員」、「市役所の窓口（こども未来課）」については周辺層、一般層に比べ割合が高くなっています。

図 3-4-11 子育てについて気軽に相談できる人や場所があるかどうか

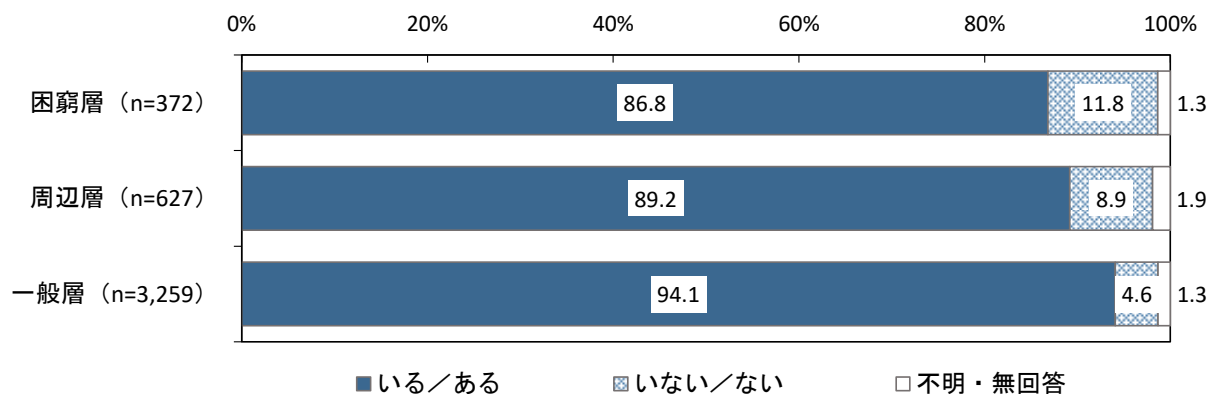
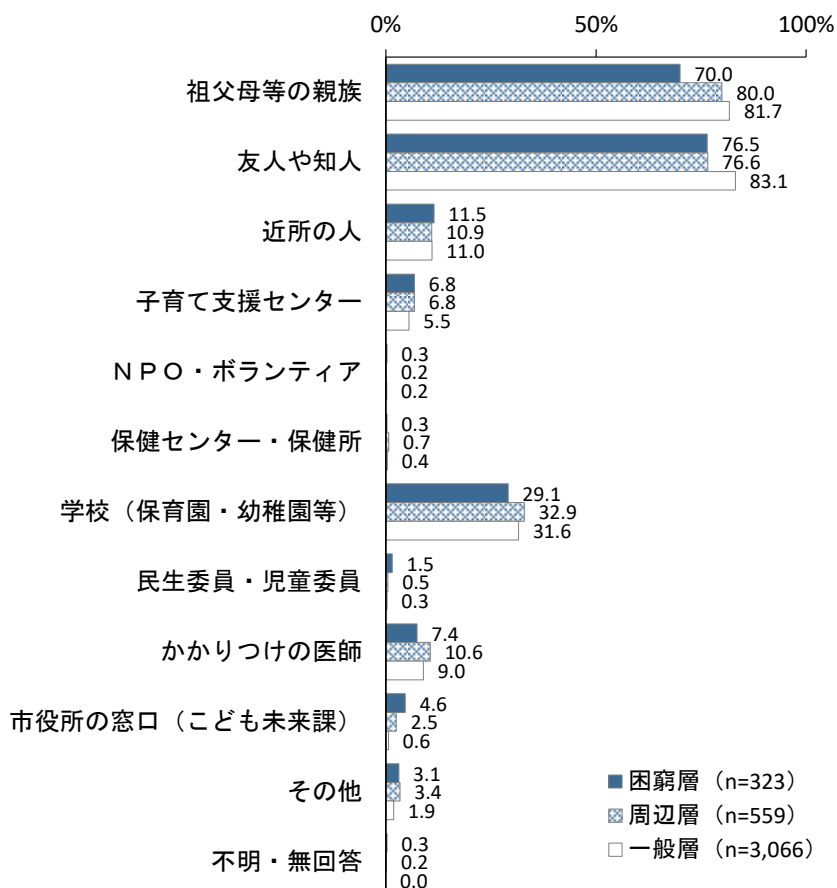


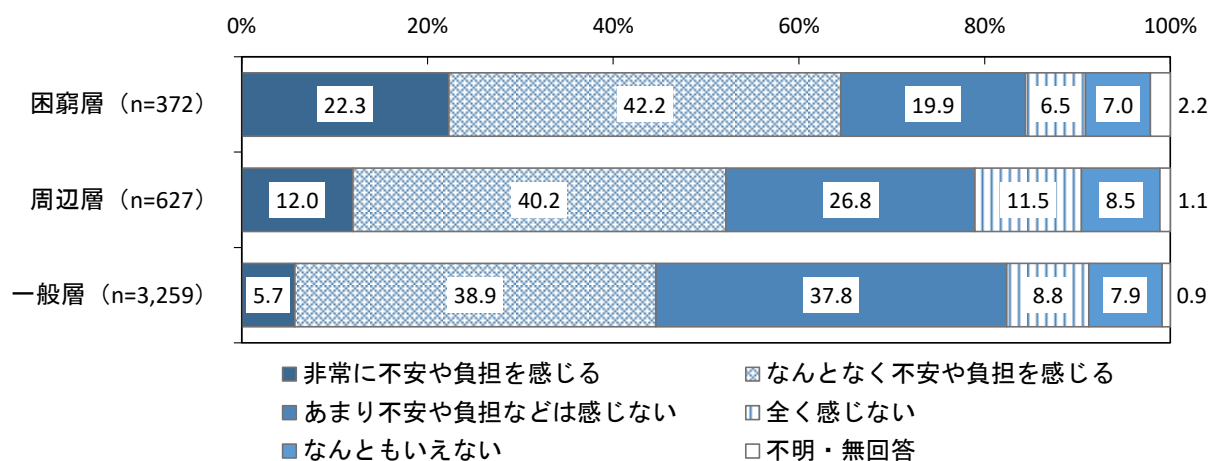
図 3-4-12 子育てに関して気軽に相談できる先



⑤子育てに関する不安感・負担感

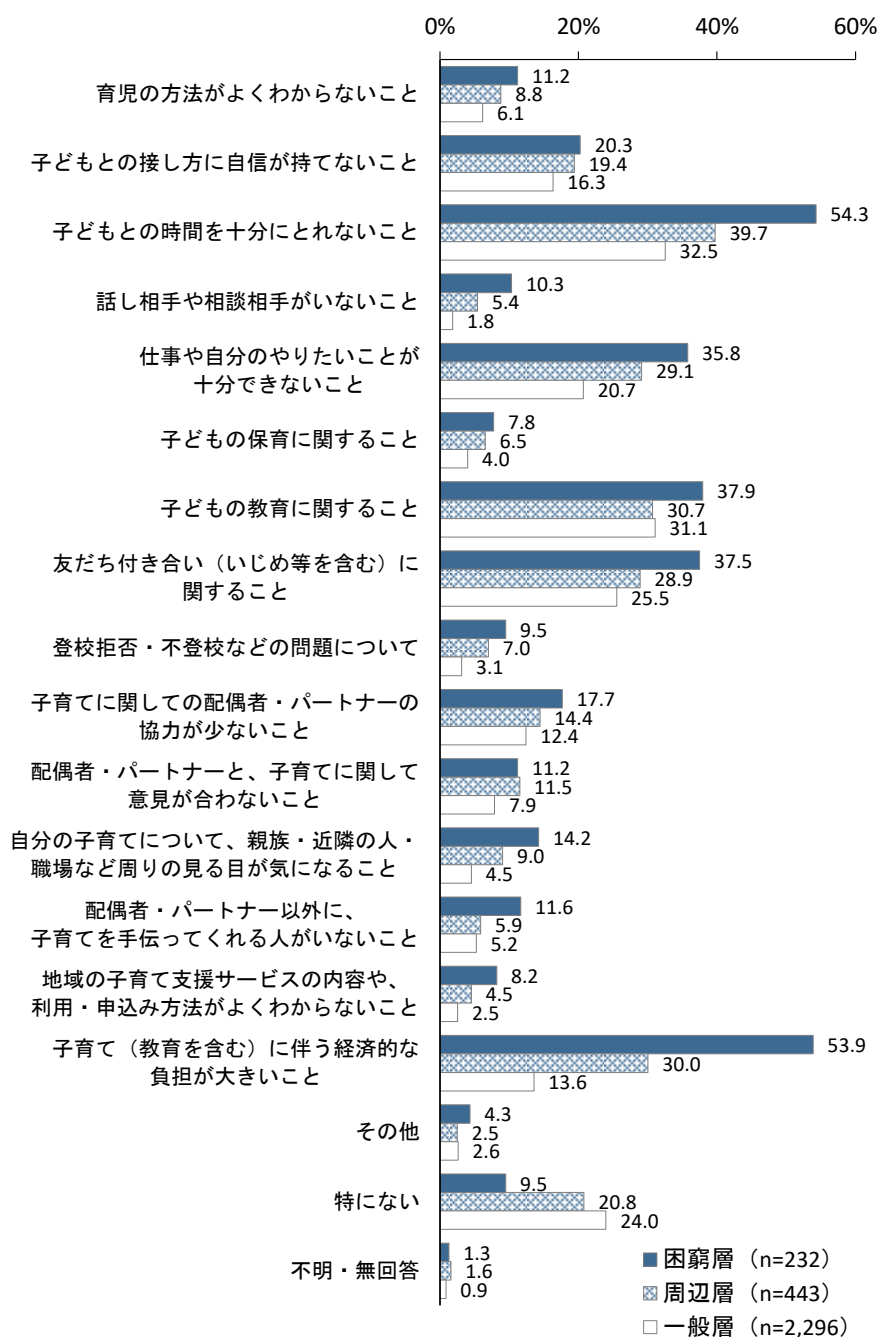
子育てに関する不安感・負担感について、困窮層では「なんとなく不安や負担を感じる」が42.2%で最も高く、次いで「非常に不安や負担を感じる」が22.3%、「あまり不安や負担などは感じない」が19.9%と続いており、『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計）は64.5%で、周辺層（52.2%）、一般層（44.6%）に比べ割合が高くなっています。

図 3-4-13 子育てに関する不安感・負担感



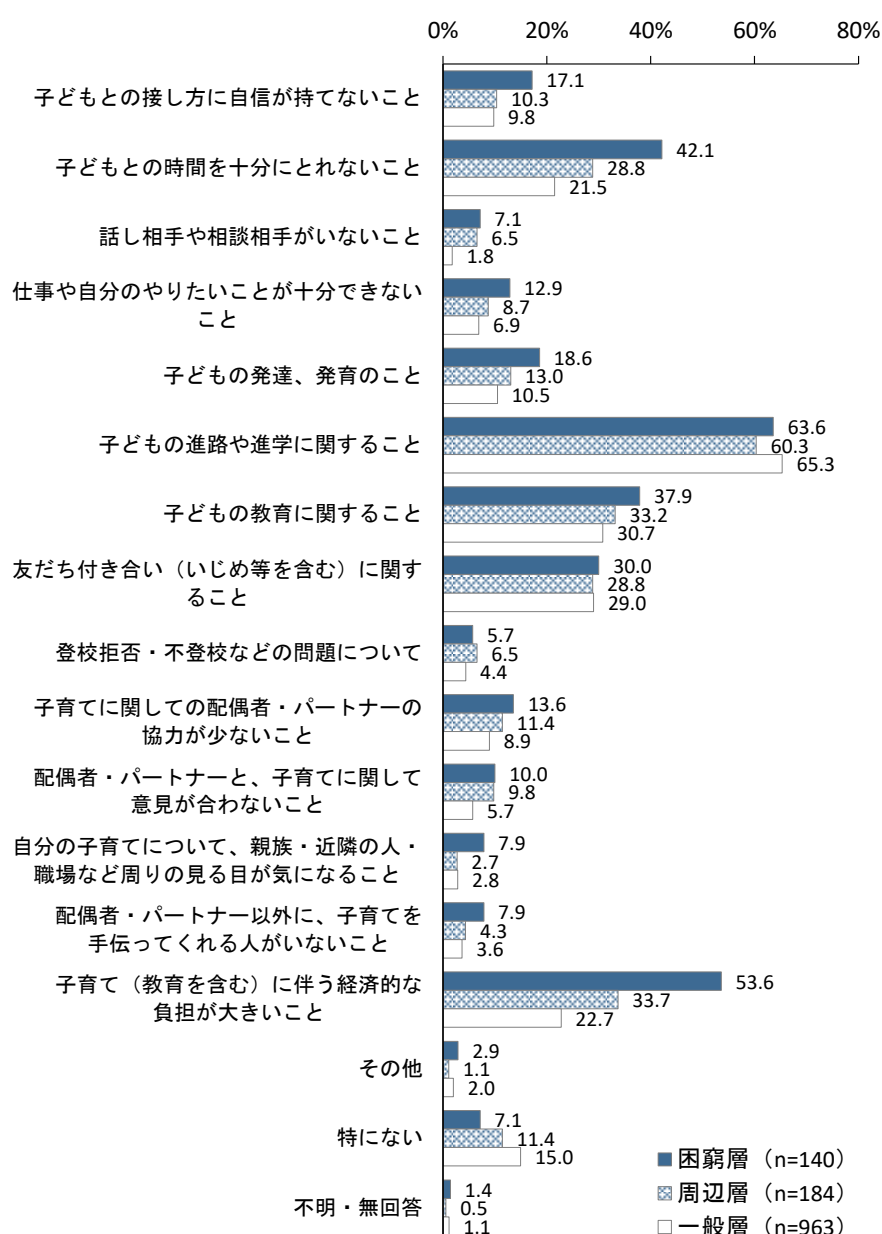
就学前児童・小学生保護者の子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になることについて、困窮層では「子どもとの時間を十分にとれないこと」が54.3%で最も高く、次いで「子育て（教育を含む）に伴う経済的な負担が大きいこと」が53.9%、「子どもの教育に関すること」が37.9%と続いており、「子どもの教育に関すること」、「配偶者・パートナーと、子育てに関して意見が合わないこと」、「その他」、「特にない」以外の全ての項目で困窮層、周辺層、一般層の順で高くなっており、「子育て（教育を含む）に伴う経済的な負担が大きいこと」では、周辺層、一般層に比べ著しく高くなっています。

図3-4-14 子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になること
(就学前児童・小学生)



中学生保護者の子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になることについて、困窮層では「子どもの進路や進学に関すること」が63.6%で最も高く、次いで「子育て（教育を含む）に伴う経済的な負担が大きいこと」が53.6%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が42.1%と続いており、「子どもの進路や進学に関すること」、「友だち付き合い（いじめ等を含む）に関すること」、「登校拒否・不登校などの問題について」、「自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周りの見目が気になること」、「その他」、「特にない」以外の全ての項目で困窮層、周辺層、一般層の順で高くなっています。

図3-4-15 子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になること（中学生）



（４）放課後の過ごし方について

①放課後の過ごし方（小学生）

小学生の放課後の過ごし方について、困窮層では「自宅」が76.1%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が26.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が17.2%と続いており、「児童館」、「放課後子ども教室」、「ファミリー・サポート・センター」で、周辺層、一般層に比べ割合が高く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では、周辺層（37.6%）、一般層（47.4%）に比べ低く、一般層との差（20.7ポイント）が最も大きくなっています。

また、放課後の過ごし方別平均日数については、困窮層が「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」、「児童館」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」、「その他」で、周辺層、一般層に比べ多くなっています。

図 3-4-16 放課後の過ごし方（小学生）

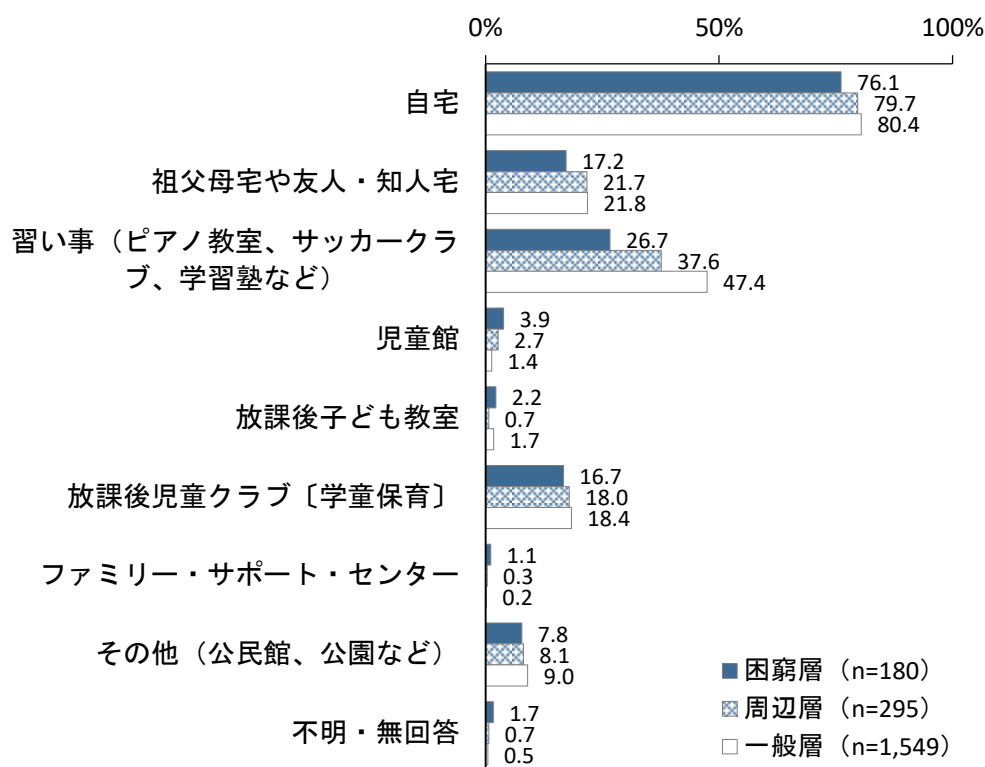


表 3-4-1 放課後の過ごし方別平均日数【小学生】

	困窮層 平均日数 (日)	周辺層 平均日数 (日)	一般層 平均日数 (日)
自宅	4.4	4.2	4.0
祖父母宅や友人・知人宅	2.7	2.6	2.5
習い事	2.2	2.4	2.5
児童館	3.1	2.8	3.0
放課後子ども教室	1.7	1.0	1.7
放課後児童クラブ〔学童保育〕	4.6	4.1	4.1
ファミリー・サポート・センター	3.5	2.0	3.5
その他	3.1	2.4	2.3

②希望する今後の放課後の過ごし方（小学生）

小学生の保護者が希望する今後の放課後の過ごし方について、困窮層では「自宅」が71.1%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が28.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が16.1%と続いており、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では、周辺層（39.7%）、一般層（45.6%）に比べ低く、一般層との差（17.3ポイント）が最も大きくなっています。

また、希望する放課後の過ごし方別平均日数については、困窮層が「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「その他」以外の全ての項目で、周辺層、一般層に比べ多くなっています。

図3-4-17 希望する今後の放課後の過ごし方（小学生）

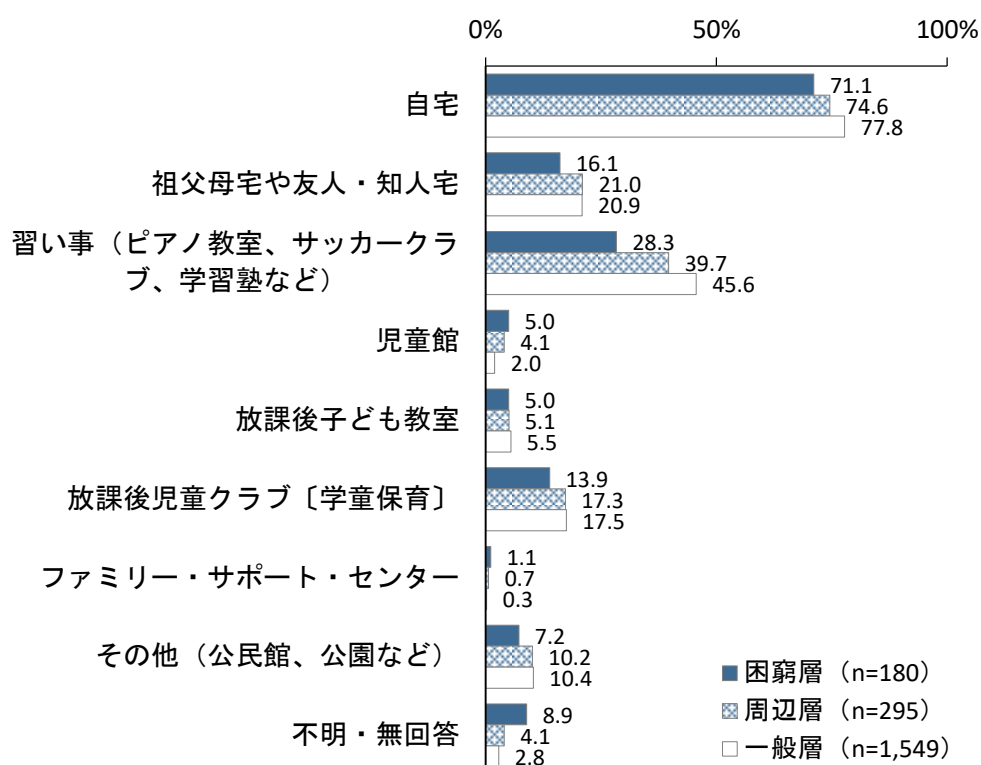


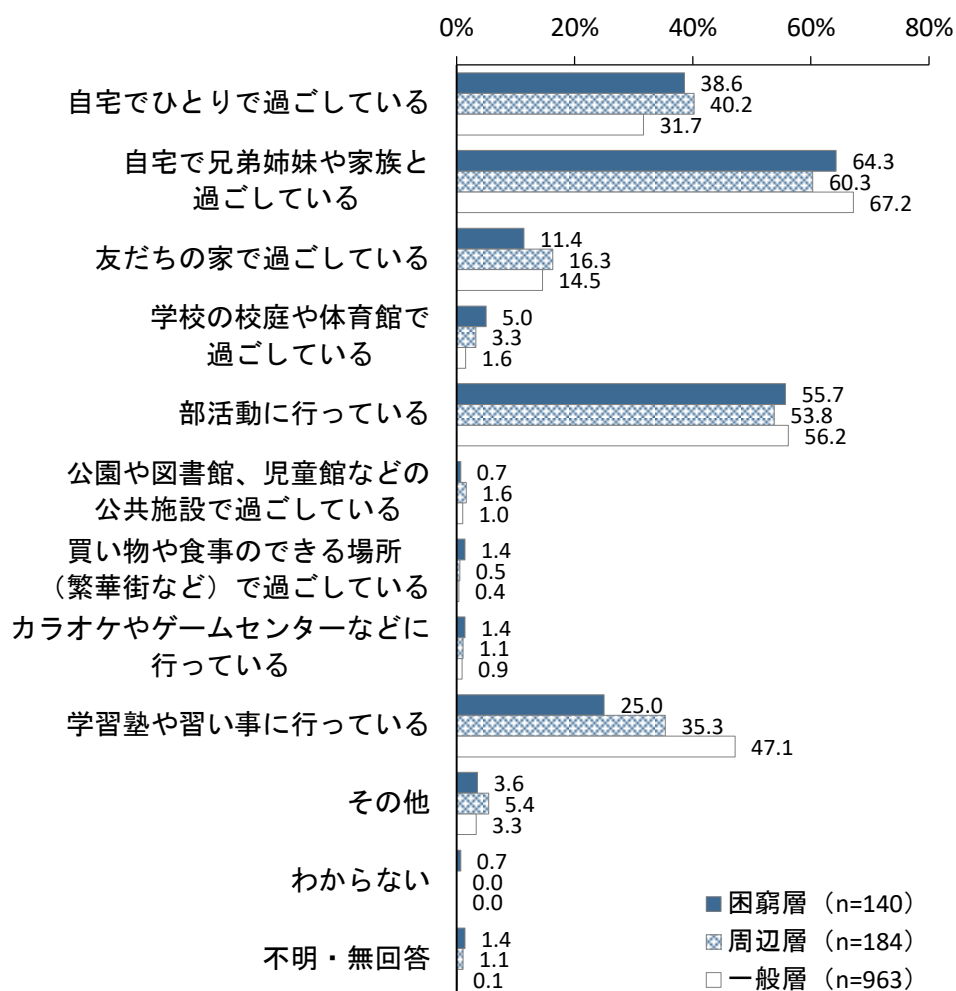
表3-4-2 希望する放課後の過ごし方別平均日数【小学生】

	困窮層 平均日数 (日)	周辺層 平均日数 (日)	一般層 平均日数 (日)
自宅	4.3	3.9	3.9
祖父母宅や友人・知人宅	2.9	2.4	2.3
習い事	2.0	2.3	2.4
児童館	3.3	2.9	2.3
放課後子ども教室	2.9	2.2	2.2
放課後児童クラブ〔学童保育〕	4.5	3.6	3.9
ファミリー・サポート・センター	5.0	3.5	2.0
その他	2.2	2.5	2.3

③放課後の過ごし方（中学生）

中学生の放課後の過ごし方について、困窮層では「自宅で兄弟姉妹や家族と過ごしている」が64.3%で最も高く、次いで「部活動に行っている」が55.7%、「自宅でひとりで過ごしている」が38.6%と続いており、「学習塾や習い事に行っている」（25.0%）では、周辺層（35.3%）、一般層（47.1%）に比べ割合が低く、一般層との差（22.1ポイント）が最も大きくなっています。

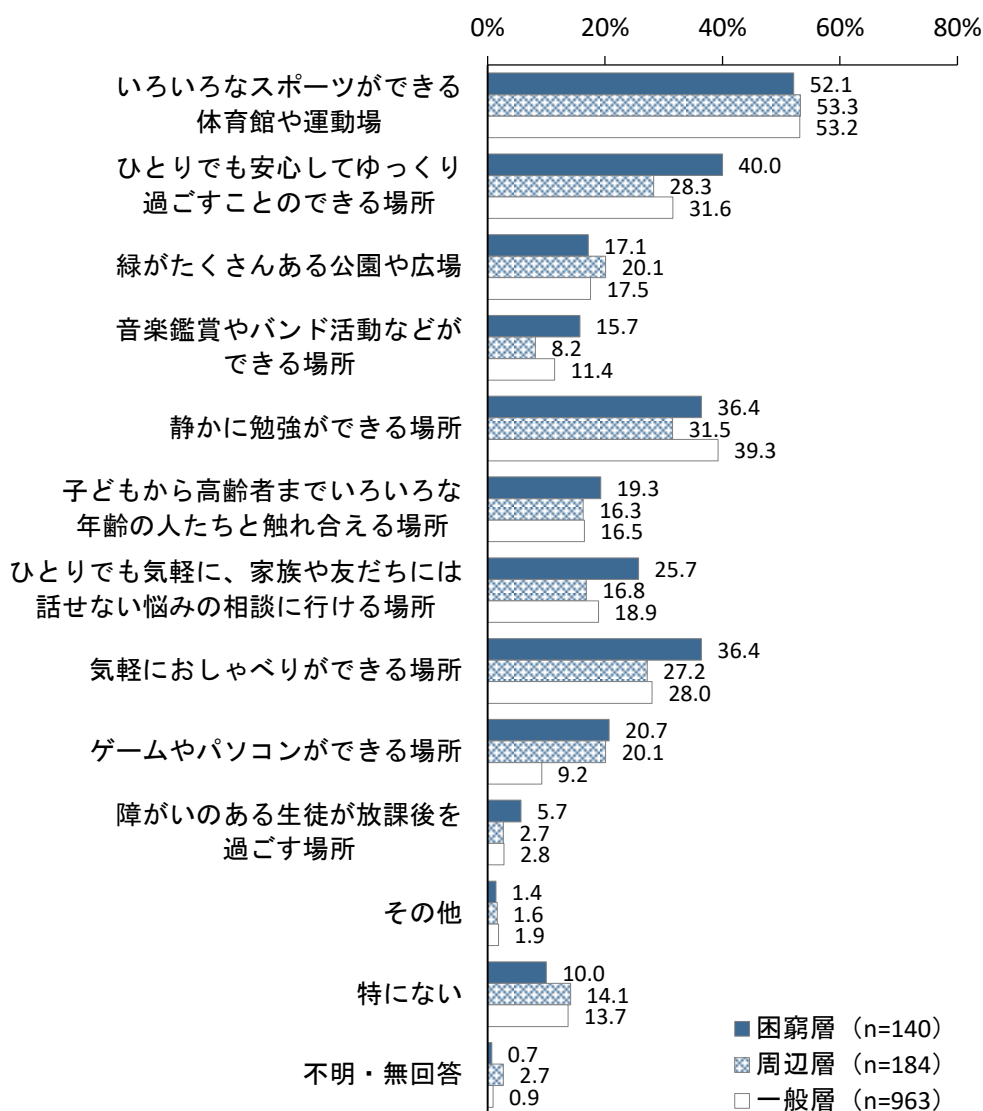
図3-4-18 放課後の過ごし方（中学生）



④希望する放課後を過ごす場所（中学生）

中学生の保護者が希望する放課後を過ごす場所について、困窮層では「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」が52.1%で最も高く、次いで「ひとりでも安心してゆっくり過ごすことのできる場所」が40.0%、「静かに勉強ができる場所」、「気軽にしゃべりができる場所」がいずれも36.4%と続いており、「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」、「緑がたくさんある公園や広場」、「静かに勉強ができる場所」、「その他」、「特にない」以外の項目で周辺層、一般層に比べ割合が高くなっています。

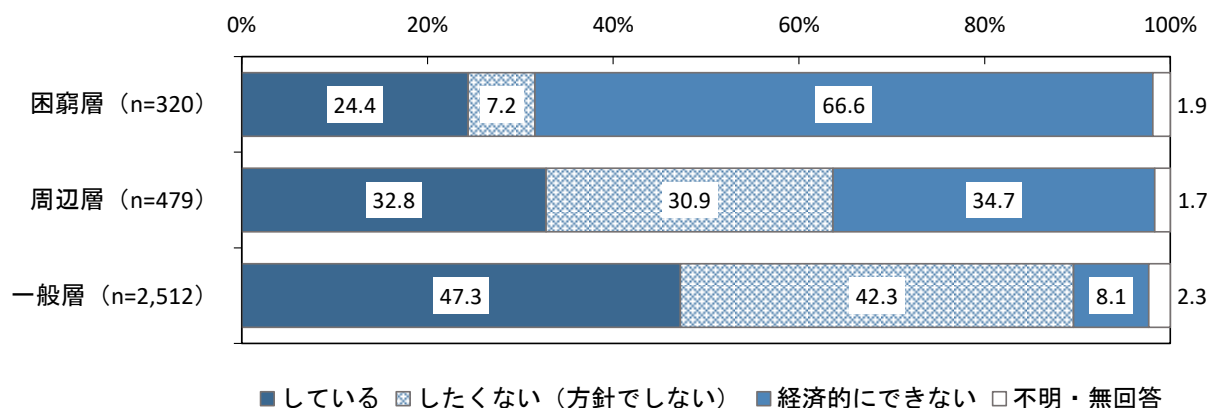
図3-4-19 希望する放課後を過ごす場所（中学生）



⑤学習塾について

小学生・中学生について、学習塾に通わせて（または家庭教師に来てもらって）いるかどうかについては、困窮層では「経済的にできない」が66.6%で最も高く、次いで「している」が24.4%、「したくない（方針でしない）」が7.2%と続いています。

図3-4-20 子どもの体験の有無 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）
（小学生・中学生）



(5) 子どもの将来について

①子どもに対する進学意向

子どもに対する進学意向について、困窮層では「高校まで」が37.4%で最も高く、次いで「大学またはそれ以上」が22.6%、「まだわからない」が27.7%と続いており、「高校まで」では、周辺層(25.2%)、一般層(14.3%)に比べ割合が高くなっています。

また、中学生の保護者の子どもに対する進学意向の理由について、困窮層では「子どもがそう希望しているから」が36.8%で最も高く、次いで「家庭に経済的な余裕がないから」が23.9%、「一般的な進路だと思うから」が21.4%と続いており、「家庭に経済的な余裕がないから」では、周辺層(9.3%)、一般層(1.6%)に比べ割合が高くなっています。

図3-4-21 子どもに対する進学意向

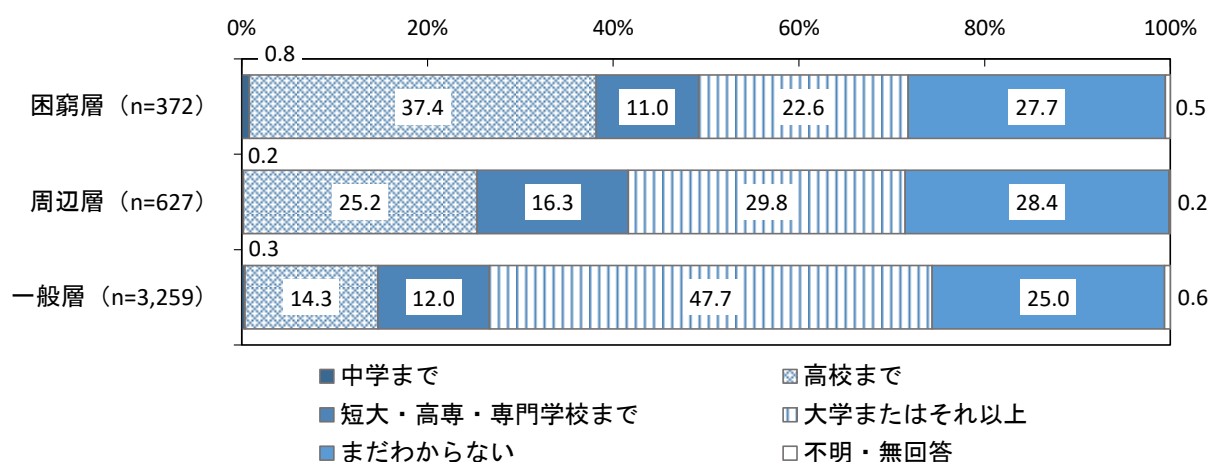
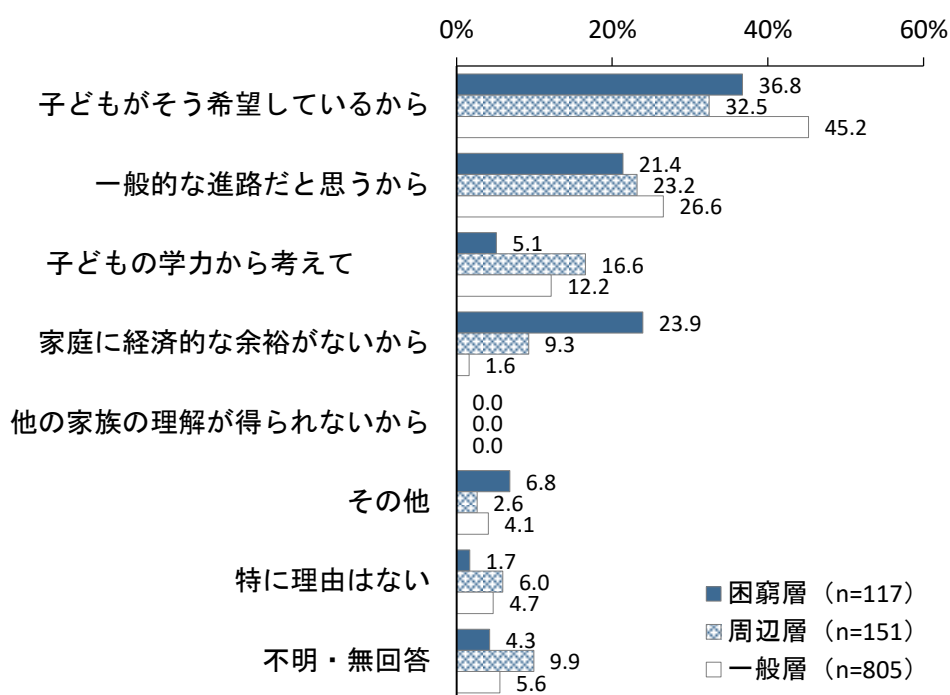


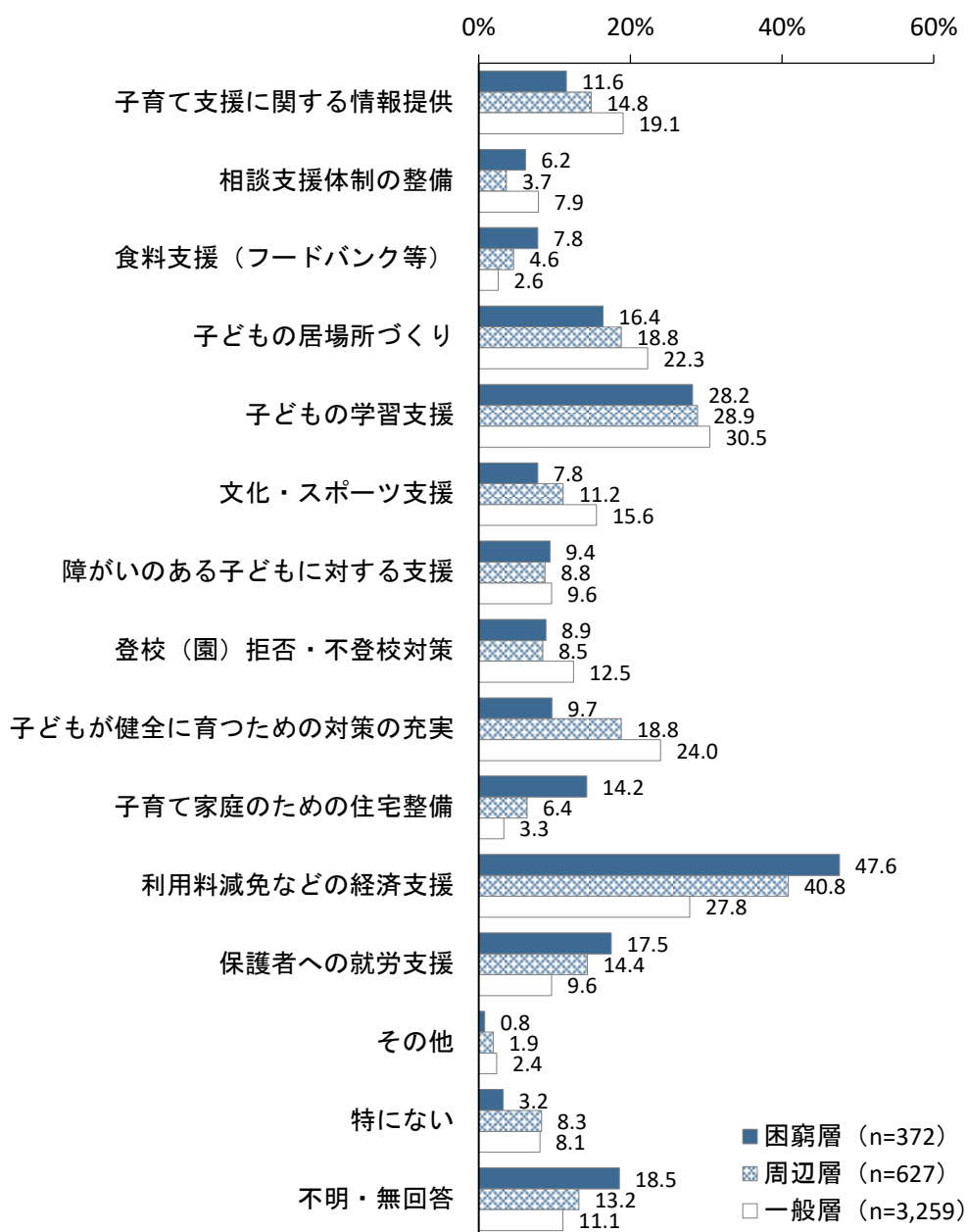
図3-4-22 子どもに対する進学意向の理由(中学生)



（６）必要だと思う子育ての支援策

必要だと思う子育ての支援策について、困窮層では「利用料減免などの経済支援」が47.6%で最も高く、次いで「子どもの学習支援」が28.2%、「保護者への就労支援」が17.5%と続いており、「食料支援（フードバンク等）」、「子育て家庭のための住宅整備」、「利用料減免などの経済支援」、「保護者への就労支援」では困窮層が最も高く、次いで周辺層、一般層の順となっています。

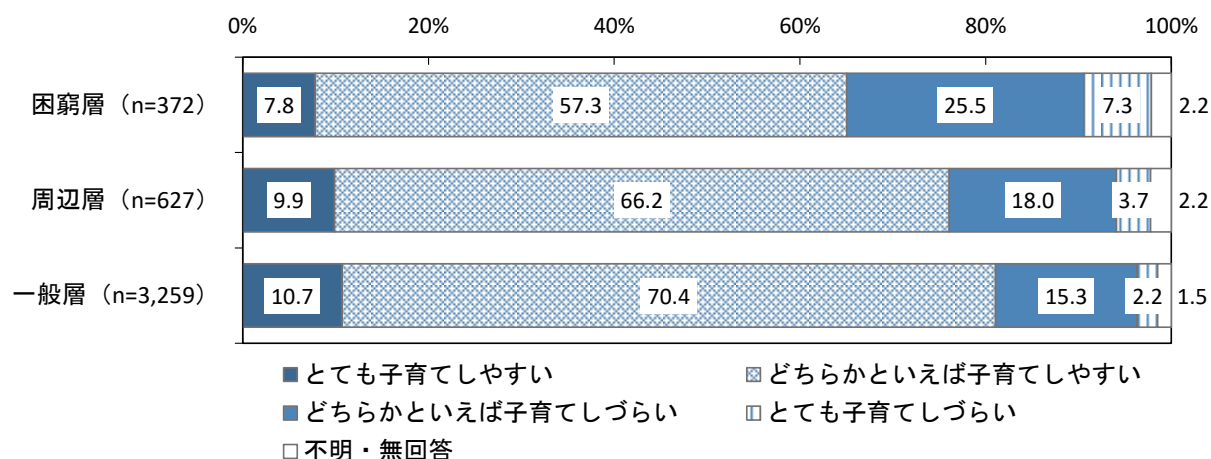
図 3-4-23 必要だと思う子育ての支援策



（７）伊賀市への子育て支援の評価

地域の子育てのしやすさについて、困窮層では「どちらかといえば子育てしやすい」が 57.3% で最も高く、次いで「どちらかといえば子育てしづらい」が 25.5%、「とても子育てしやすい」が 7.8%と続いており、『子育てしづらい』（「どちらかといえば子育てしづらい」と「とても子育てしづらい」の合計）が 32.8%で、周辺層（21.7%）、一般層（17.5%）に比べ割合が高くなっています。

図 3-4-24 地域の子育てのしやすさ



5. 課題の整理

今調査の結果から見えてきた子どもを取り巻く課題について、次のとおり整理しました。

(1) 教育の支援

- 困窮層では、小学生、中学生いずれも塾や習い事など学校外教育に通っている割合が一般層に比べて低く、学校外教育に通うことが経済的にできない割合が7割弱となっていました（図3-4-16、図3-4-18、図3-4-20）。
- 子どもに対する進学意向について、貧困層では、高校までと考えている割合が4割弱で一般層に比べて高く、進学意向の理由について「家庭に経済的な余裕がないから」との回答が約2割となっていました（図3-4-21、図3-4-22）。

(2) 生活の支援

- 困窮層では、中学生において、お子さんとのコミュニケーション（学校などでの出来事について話をしているか）で「話していない」世帯の割合が一般層に比べて高くなっていました（図3-4-7）。
- 子育てについて気軽に相談できる人や場所があるかどうかについて、困窮層では、「いない／ない」が一般層に比べて高く、子育てに関する不安感・負担感について、困窮層では、不安や負担を感じている割合が約6割で、一般層に比べて高くなっていました（図3-4-11、図3-4-13）。
- 子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になることについて、困窮層では、就学前児童・小学生、中学生いずれも「子どもとの時間を十分にとれないこと」の割合が一般層に比べて高くなっていました（図3-4-14、図3-4-15）。
- 中学生保護者が希望する放課後を過ごす場所について、困窮層では、一般層に比べて居場所を希望する回答が多くなっていました（図3-4-19）。
- 必要だと思う子育ての支援策について、困窮層では、食料支援や子育て家庭のための住宅整備など、生活に対する支援を希望する割合が一般層に比べて高くなっていました（図3-4-23）。

(3) 保護者に対する就労の支援

- 母親の就労状況について、困窮層では、就労していない割合が約2割で、一般層に比べて高くなっていました（図3-4-5）。
- 必要だと思う子育ての支援策について、困窮層では、保護者への就労支援を希望する割合が約2割で、一般層に比べて高くなっていました（図3-4-23）。

(4) 経済的支援

- 生活困難層の割合は 23.5%で、約 4 世帯に 1 世帯となっていました（表 3-3-1）。
- 母子世帯における生活困難層の割合は 66.2%で、また、低所得の割合が過半数を占めていました（表 3-3-3、表 3-3-4）。
- 子育てに関して悩んでいること、不安に思うこと、気になることについて、困窮層では、就学前児童・小学生、中学生いずれも「子育て（教育を含む）に伴う経済的な負担が大きいこと」の割合が約 5 割で、一般層に比べて高くなっていました（図 3-4-14、図 3-4-15）。
- 必要だと思う子育ての支援策について、困窮層では、利用料減免などの経済支援を希望する割合が約 5 割で最も高く、一般層に比べて高くなっていました（図 3-4-23）。